
天城町こども計画策定に伴うアンケート調査
報告書

令和 7 年 3 月

天城町

目 次

I 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査地域	1
3. 調査対象者	1
4. 調査方法	1
5. 調査期間	1
6. 配布件数・回収状況等	1
7. 集計上の留意点	2
II 調査結果【未就学児調査（保護者）】	3
お住まいの地区について	3
お子さんご家族の状況について	3
子どもの育ちをめぐる環境について	6
お子さんの保護者の就労状況について	10
お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	15
お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について	22
お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	23
お子さんの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）	25
お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	28
お子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について	32
育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	35
天城町の子育ての環境や支援について	47
ヤングケアラーについて	50
III 調査結果【小学生調査（保護者）】	51
お住まいの地区について	51
お子さんご家族の状況について	51
子どもの育ちをめぐる環境について	54
お子さんの保護者の就労状況について	57
お子さんの平日の小学校終了後や休日の過ごし方について	62
お子さんの病気の際の対応について	64
お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	67
育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	69
天城町の子育ての環境や支援について	72
ヤングケアラーについて	75

IV 調査結果【生活に関する意識調査（保護者）】	76
お子さんとあなたの関係について.....	76
世帯の状況について.....	76
お子さんの親について.....	78
お子さんについて.....	82
お子さんの生活・学習習慣について.....	84
子どもを取り巻く環境・モノについて.....	87
子育ての悩みや相談について.....	90
各種支援・サービスについて.....	92
ヤングケアラーについて.....	94
世帯の経済的状況について.....	95
V 調査結果【生活に関する意識調査（小学5年生）】	97
属性	97
あなたの普段の生活のことについて.....	97
将来の夢について.....	101
持っている物について.....	103
日常生活の状況について.....	104
家庭や家族のことについて.....	108
ヤングケアラーについて.....	110
日常生活の中で感じていることについて.....	111
VI 調査結果【生活に関する意識調査（中学2年生）】	112
属性	112
あなたの普段の生活のことについて.....	112
将来の夢について.....	117
持っている物について.....	119
日常生活の状況について.....	120
家庭や家族のことについて.....	124
ヤングケアラーについて.....	126
日常生活の中で感じていることについて.....	127
VII 調査結果【子ども・若者の意識調査】	128
あなた自身のことについて.....	128
周囲の人とのかかわりについて.....	130
普段の生活について.....	132
ヤングケアラーについて.....	144
将来のことについて.....	145
地域とのかかわりや町の取組について.....	149

Ⅷ 調査結果【ひとり親家庭の生活と意識に関する調査】	152
世帯及びあて名のご本人の状況について	152
仕事と収入について	154
住居について	161
養育費等について	162
生活一般・各種制度について	165

I 調査概要

1. 調査目的

本調査は、町民の皆様の子育てに関する状況や天城町の子育て支援サービスに対するご要望・ご意見、保育ニーズ、子育て世帯の生活状況等について把握し、令和6年度に策定することも計画策定の基礎資料とすることを目的として実施しました。

2. 調査地域

天城町内

3. 調査対象者

天城町在住の「未就学児」の保護者

天城町在住の「小学生」の保護者

天城町在住の「小学5年生」及び「小学5年生」の保護者

天城町在住の「中学2年生」及び「中学2年生」の保護者

天城町在住の18歳～39歳の若者

天城町在住のひとり親世帯

4. 調査方法

- ・郵送発送、郵送回収及びWEB回答による無記名回答方式
- ・学校を通じて配布回収(小学5年生、中学2年生)

5. 調査期間

令和6年7月、8月、9月

6. 配布件数・回収状況等

調査種類	配布件数	郵送回答数	WEB 回答数	合計回答数	有効回答率
未就学児調査（保護者）	186	77	48	125	67.2%
小学生調査（保護者）	116	42	24	66	56.9%
生活に関する意識調査（保護者）	97	30	17	47	48.5%
生活に関する意識調査（小学5年生）	58	54		54	93.1%
生活に関する意識調査（中学2年生）	48	47		47	97.9%
子ども・若者の意識調査	180	34	33	67	37.2%
ひとり親家庭の生活と意識に関する調査	77	46		46	59.7%

7. 集計上の留意点

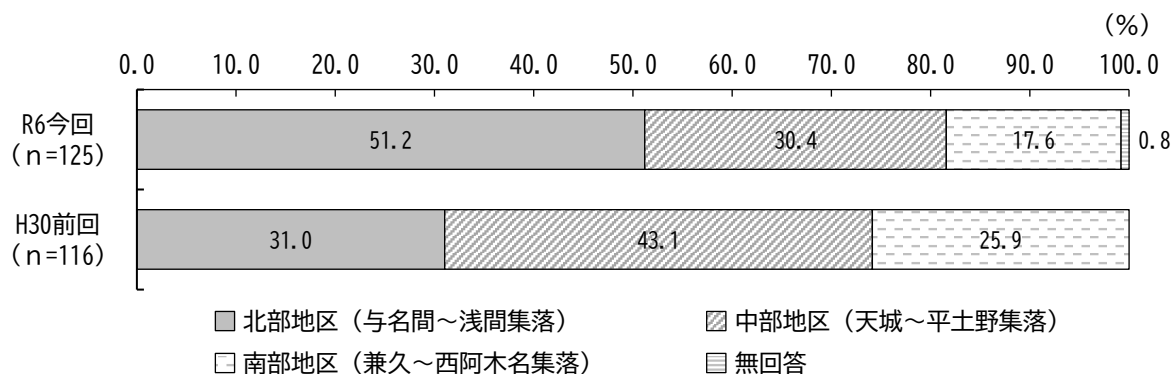
- ①グラフ中の「n=」は、母数となるサンプル数(回答者数)を示している。
- ②集計結果は百分率で算出し、四捨五入の関係上、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- ③複数回答の設問は、すべての構成比(%)を合計すると100%を超える場合がある。

Ⅱ 調査結果【未就学児調査(保護者)】

お住まいの地区について

問1 お住まいの地区について当てはまる答えの番号 1 つに○をつけてください。

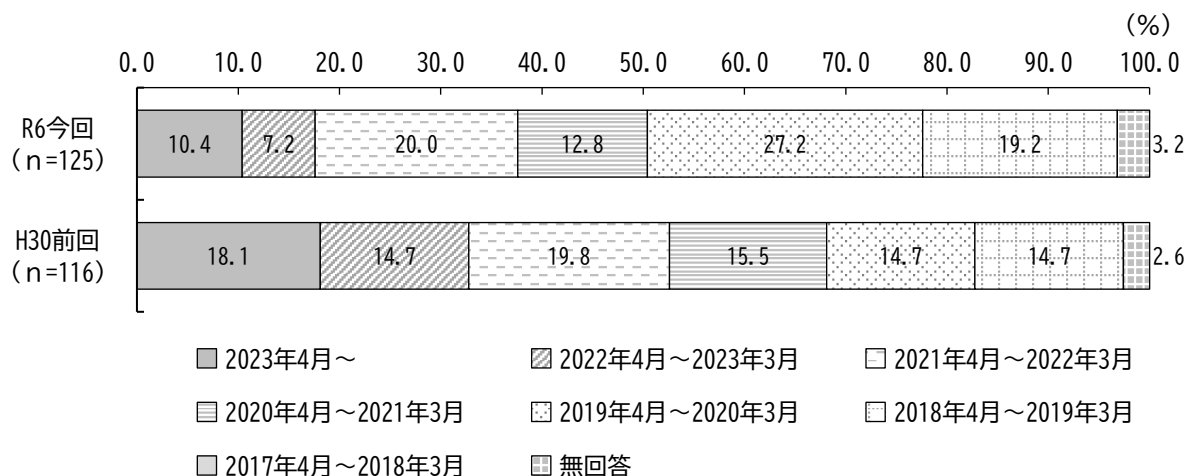
「北部地区(与名間～浅間集落)」が 51.2%と最も高く、次いで「中部地区(天城～平土野集落)」が 30.4%、「南部地区(兼久～西阿木名集落)」が 17.6%となっています。



お子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年(西暦)月をご記入ください。

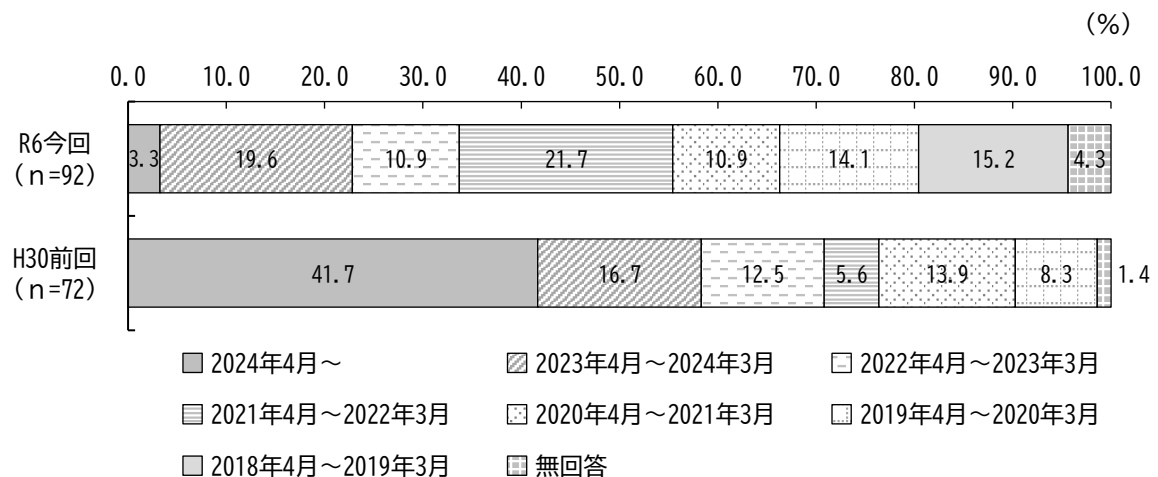
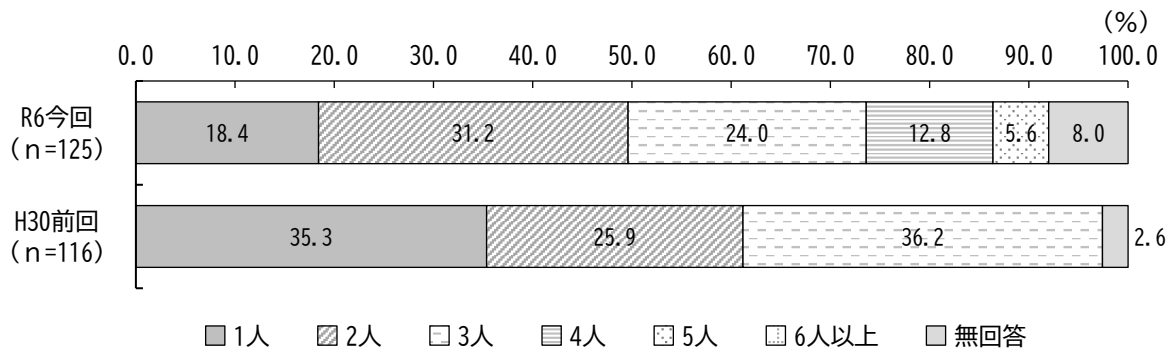
「2019 年 4 月～2020 年 3 月」が 27.2%と最も高く、次いで「2021 年 4 月～2022 年 3 月」が 20.0%、「2018 年 4 月～2019 年 3 月」が 19.2%となっています。



問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、最年少の方の生年(西暦)月をご記入ください。

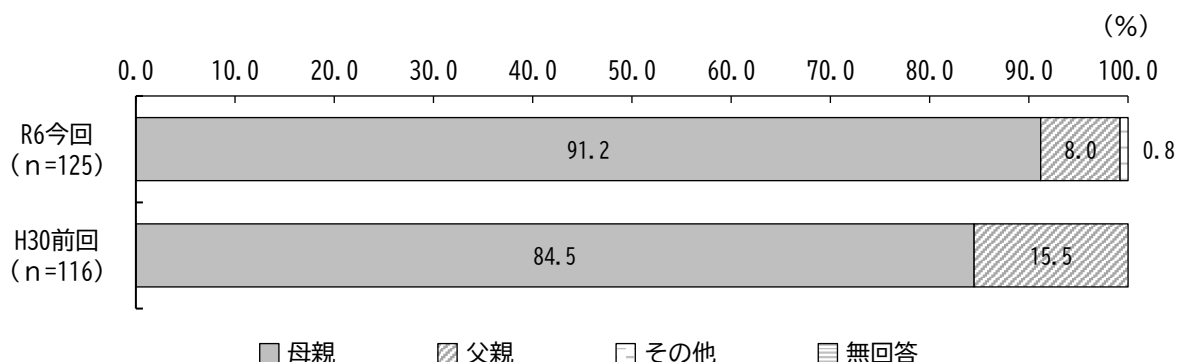
きょうだいでは、「2人」が31.2%と最も高く、次いで「3人」が24.0%、「1人」が18.4%となっています。

最年少の方の生年(西暦)月では、「2021年4月～2022年3月」が21.7%と最も高く、次いで「2023年4月～2024年3月」が19.6%、「2018年4月～2019年3月」が15.2%となっています。



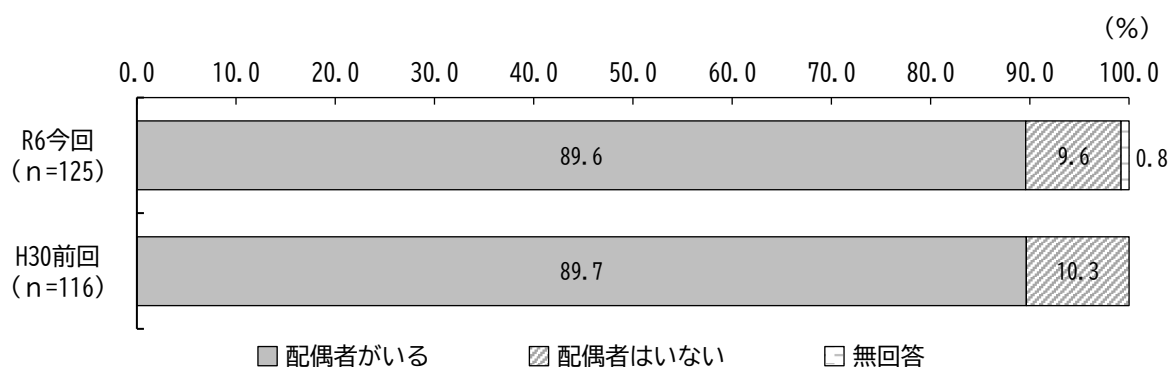
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」が91.2%と最も高く、次いで「父親」が8.0%、「その他」が0.8%となっています。前回調査と比較すると、「母親」の割合が増加し、「父親」の割合が減少しています。



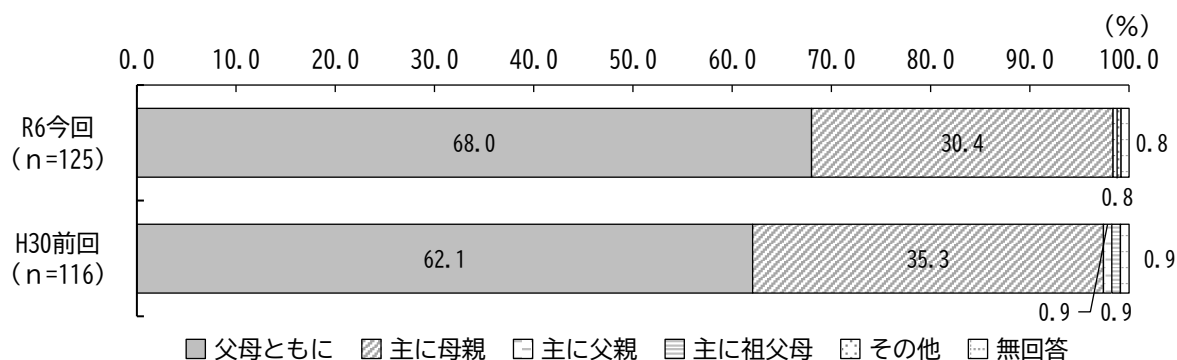
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「配偶者がいる」が 89.6%、「配偶者はいない」が 9.6%となっています。前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



問6 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

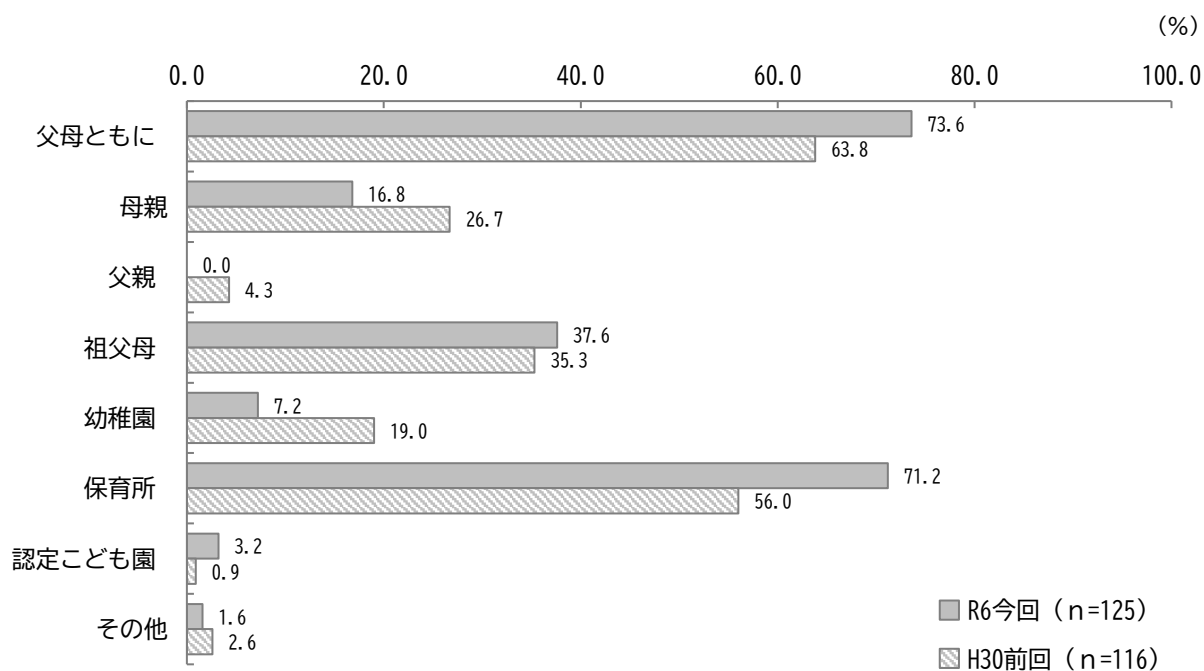
「父母ともに」が 68.0%と最も高く、次いで「主に母親」が 30.4%、「その他」が 0.8%となっています。前回調査と比較すると、「父母ともに」の割合が増加しています。



子どもの育ちをめぐる環境について

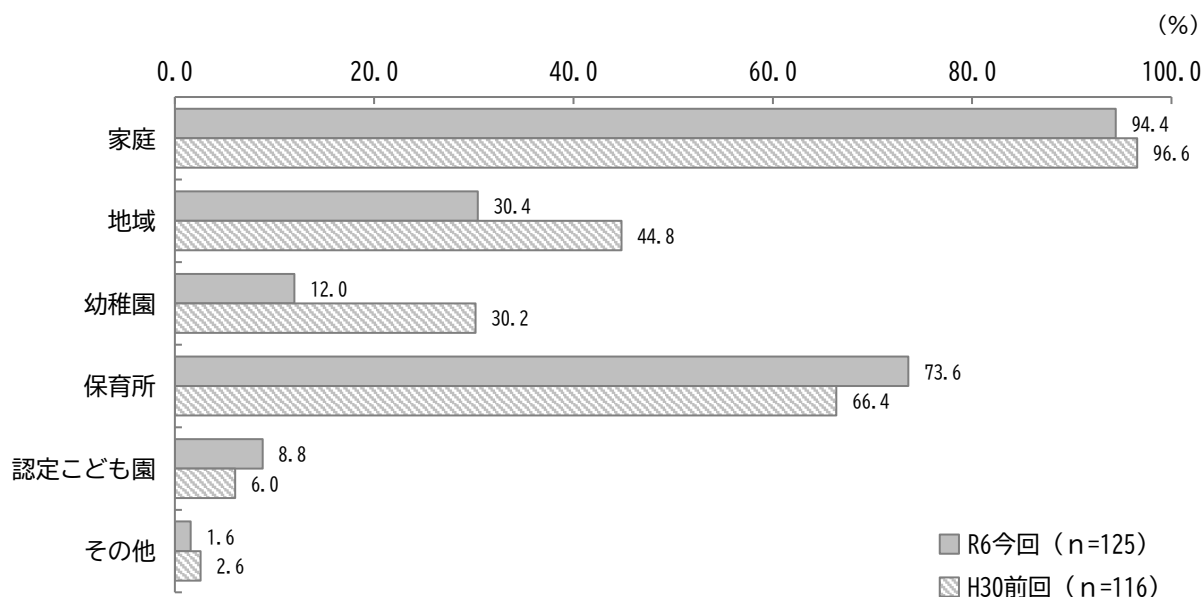
問7 お子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「父母ともに」が 73.6%と最も高く、次いで「保育所」が 71.2%、「祖父母」が 37.6%となっています。前回調査と比較すると、「父母ともに」「保育所」の割合が増加し、「母親」「幼稚園」の割合が減少しています。



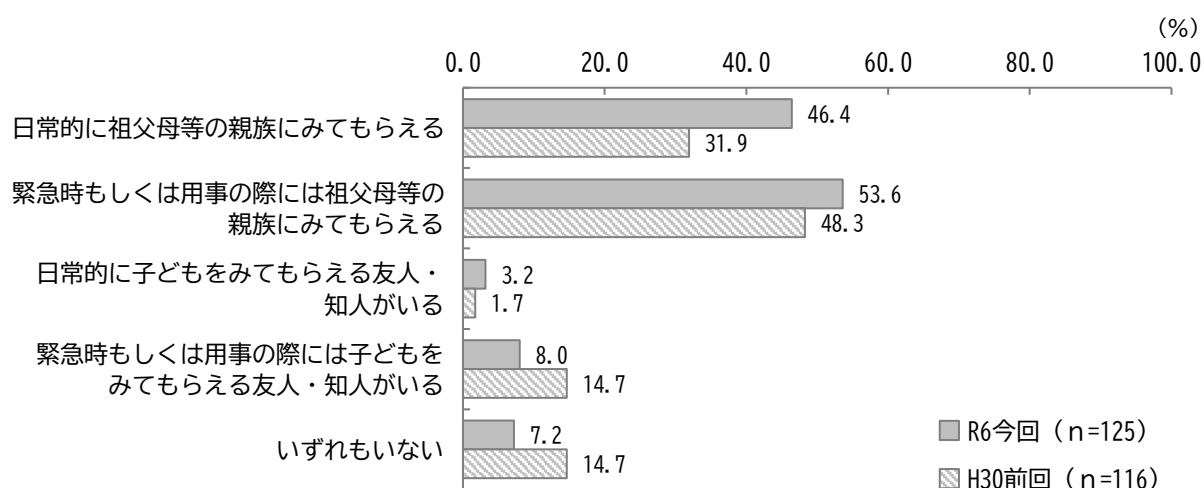
問8 お子さんの子育て(教育を含む)に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

「家庭」が 94.4%と最も高く、次いで「保育所」が 73.6%、「地域」が 30.4%となっています。前回調査と比較すると、「保育所」の割合が増加し、「地域」「幼稚園」の割合が減少しています。



問9 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

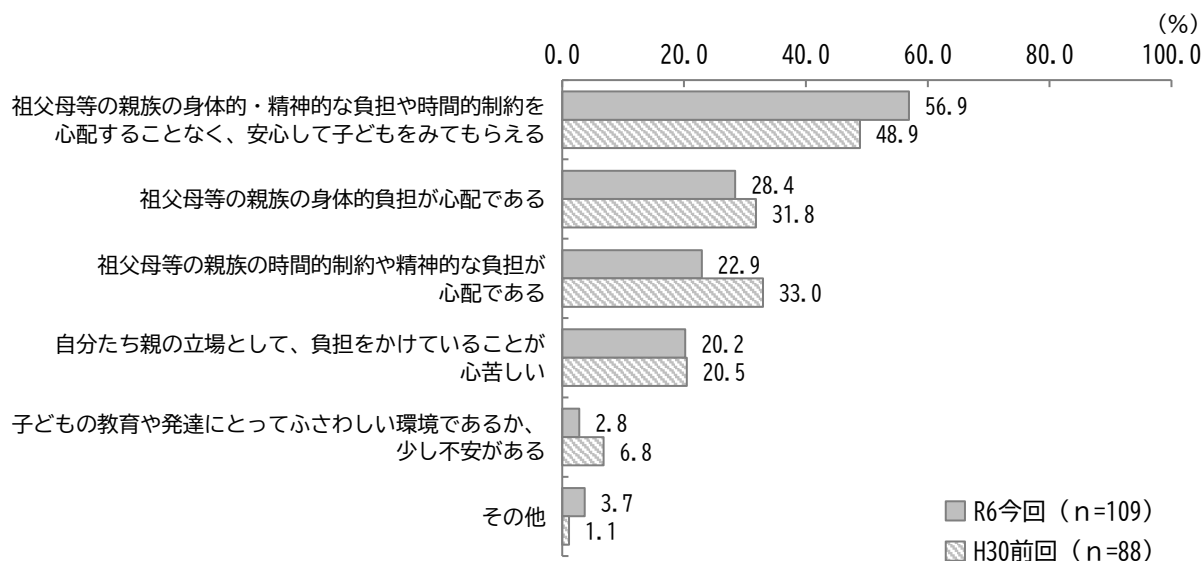
「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 53.6%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 46.4%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 8.0%となっています。前回調査と比較すると、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が増加し、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」「いずれもない」の割合が減少しています。



※問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます

問9-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

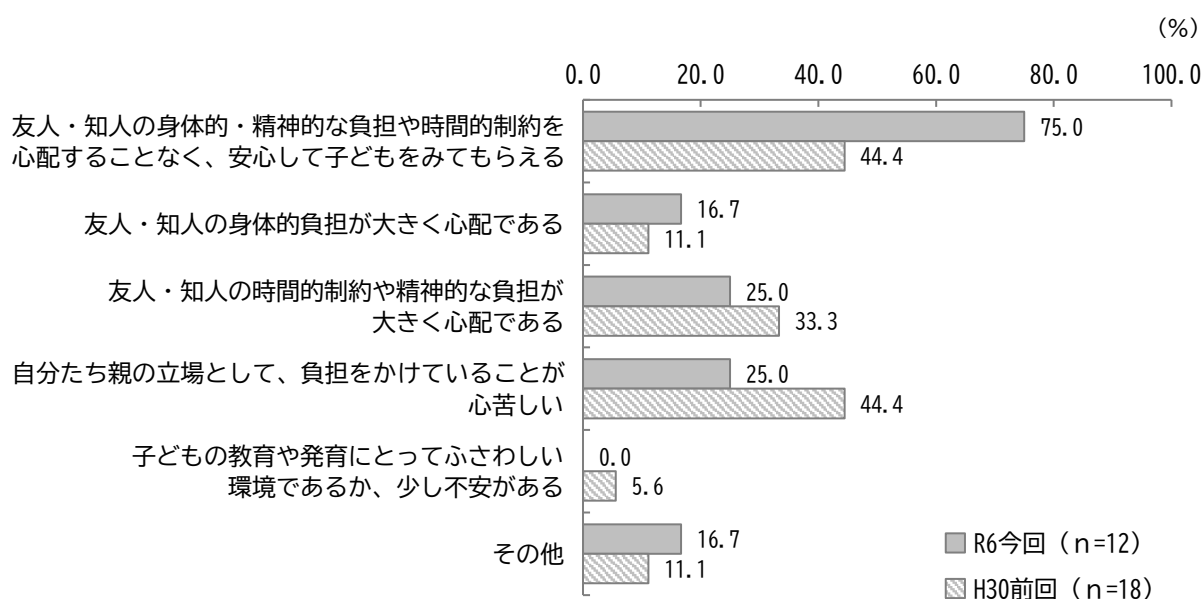
「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 56.9%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が心配である」が 28.4%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が心配である」が 22.9%となっています。前回調査と比較すると、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が増加し、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が心配である」の割合が減少しています。



※問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます

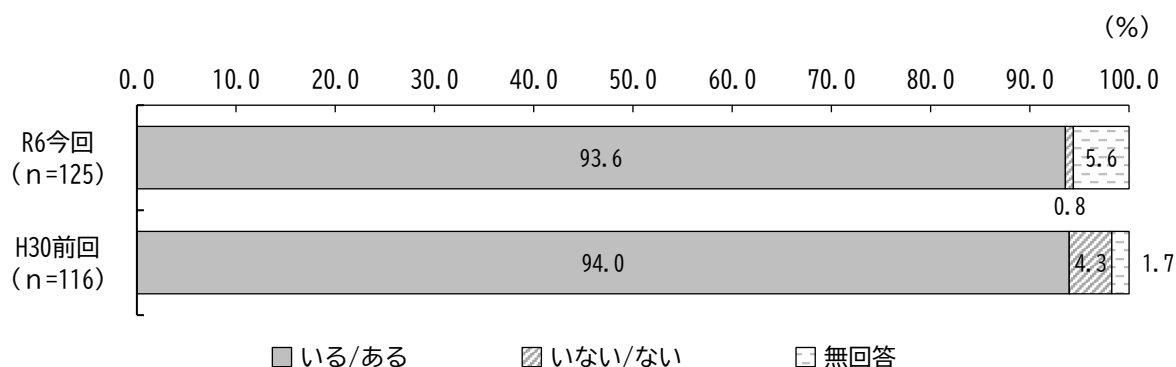
問9-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が75.0%と最も高く、次いで「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」がともに25.0%、「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」「その他」がともに16.7%となっています。前回調査と比較すると、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」「その他」の割合が増加し、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」の割合が減少しています。



問10 お子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

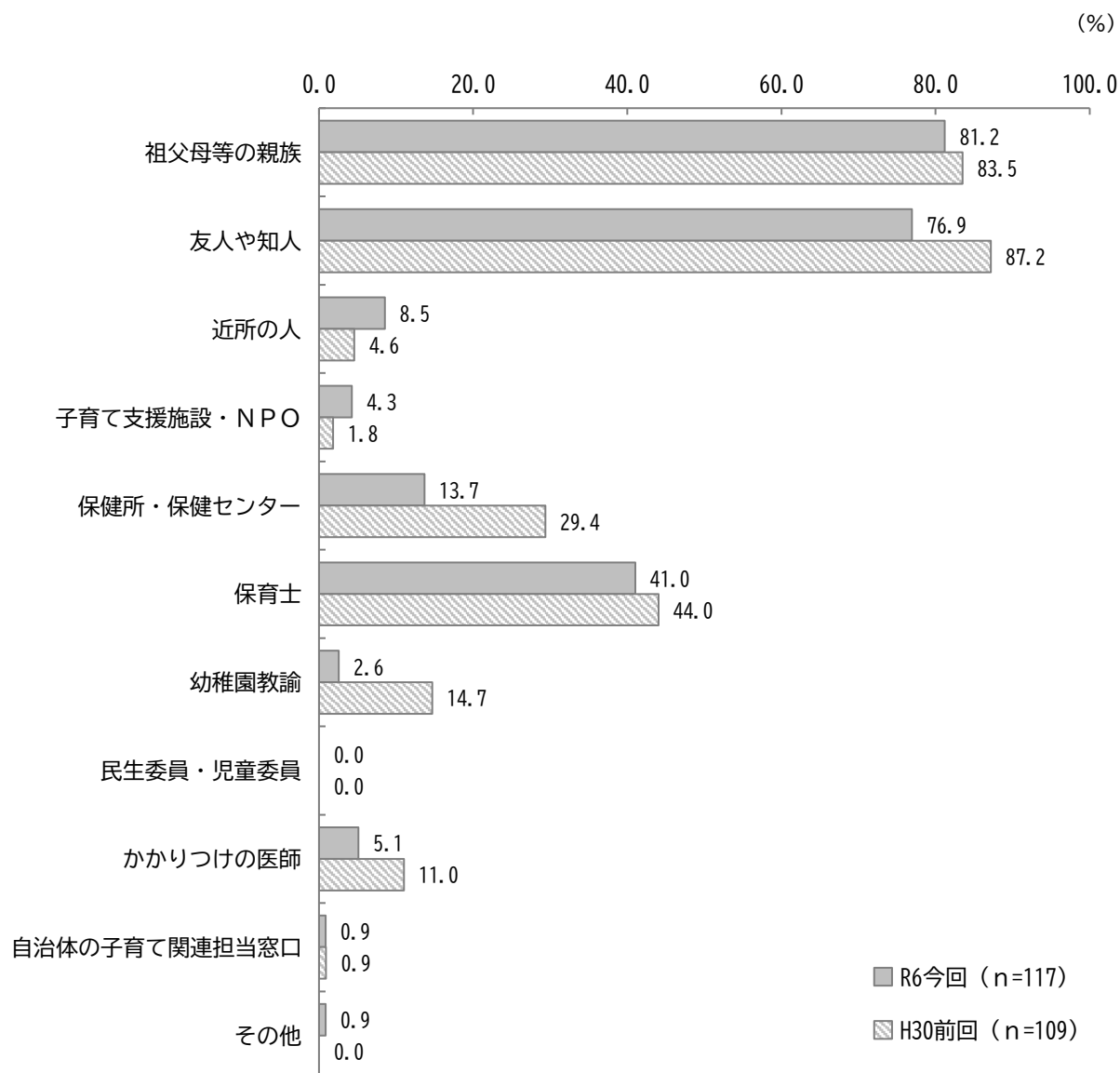
「いる／ある」が93.6%、「いない／ない」が0.8%となっています。前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



※問 10 で「1.いる/ある」に○をつけた方にうかがいます

問10-1 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族」が 81.2%と最も高く、次いで「友人や知人」が 76.9%、「保育士」が 41.0%となっています。前回調査と比較すると、「友人や知人」「保健所・保健センター」「幼稚園教諭」「かかりつけの医師」の割合が減少しています。

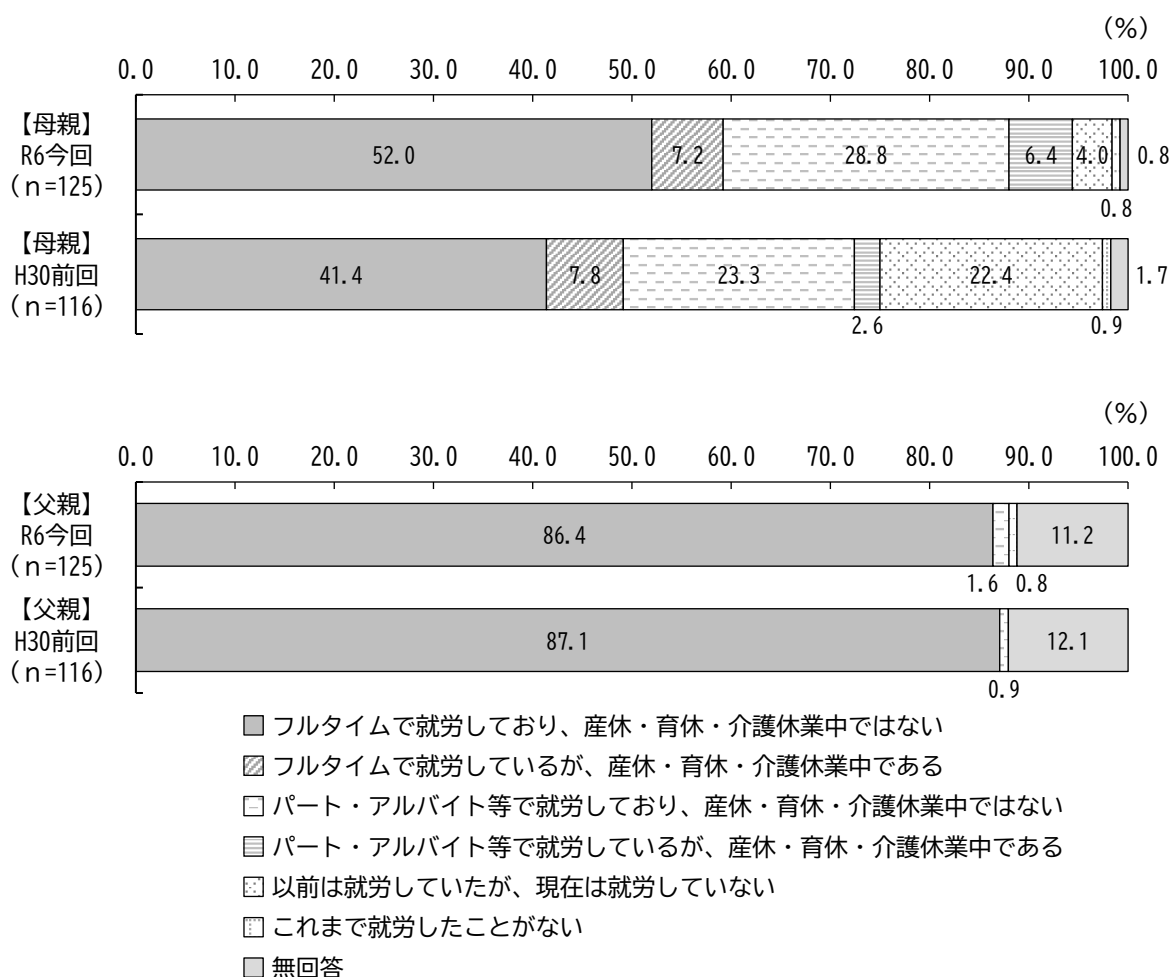


お子さんの保護者の就労状況について

問 12 お子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。母親・父親の就労状況について、母親・父親それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 52.0%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 28.8%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が 7.2%となっています。前回調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加し、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。

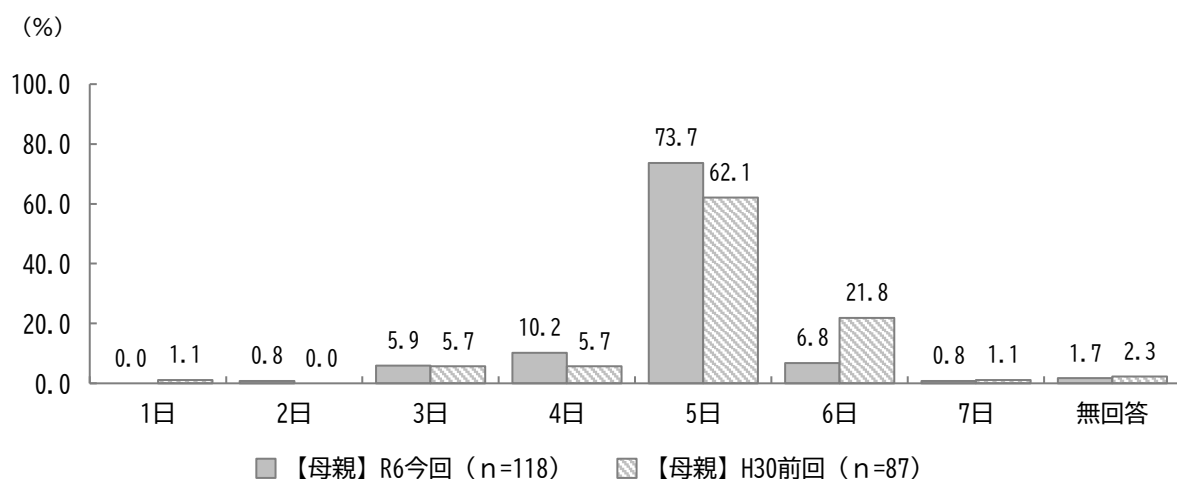
父親では、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 86.4%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 1.6%、「これまで就労したことがない」が 0.8%となっています。前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



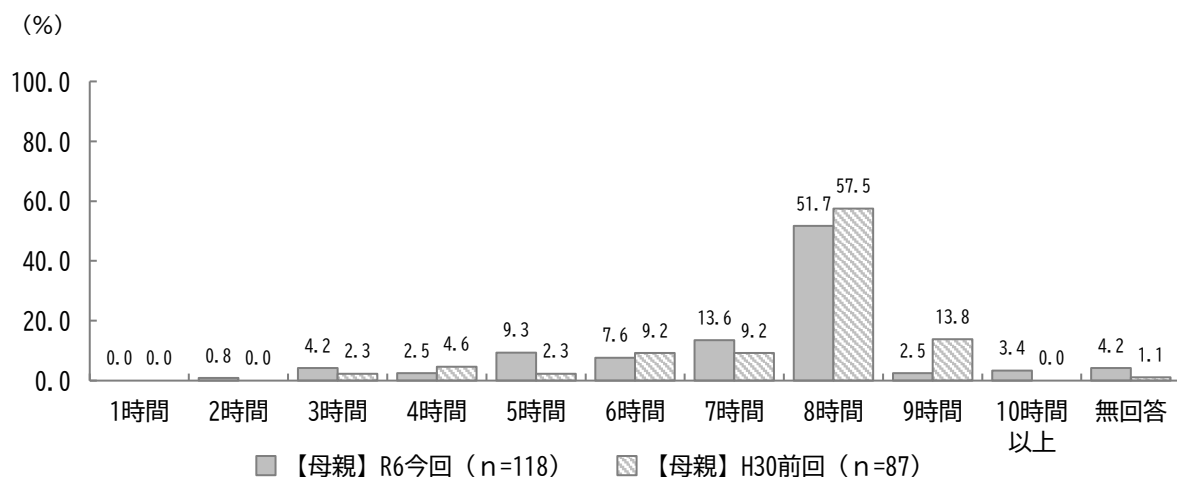
※問 12 で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます

問12-1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。また、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

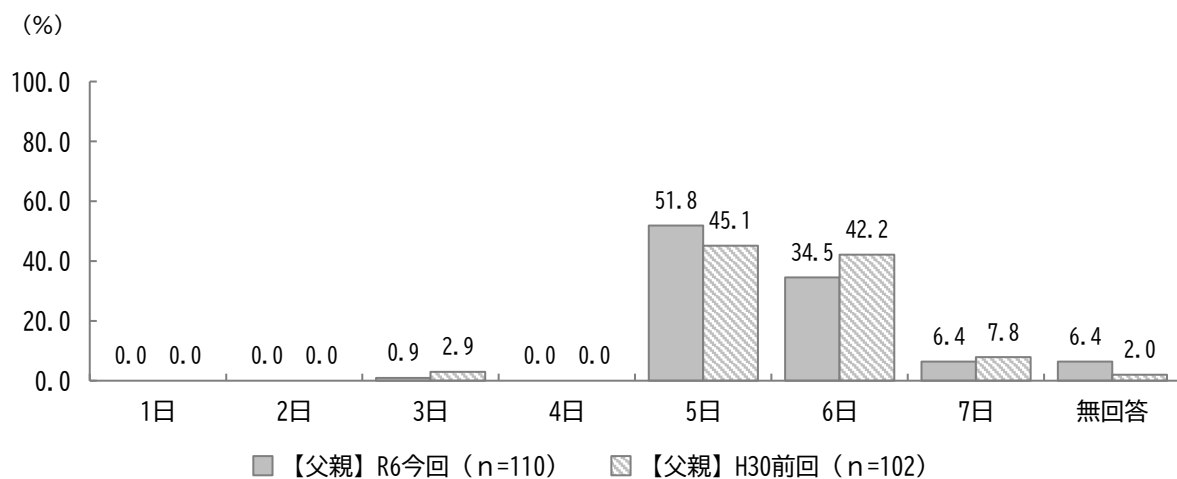
母親の1週当たりの就労日数では、「5日」が 73.7%と最も高く、次いで「4日」が 10.2%、「6日」が 6.8%となっています。前回調査と比較すると、「5日」の割合が増加し、「6日」の割合が減少しています。



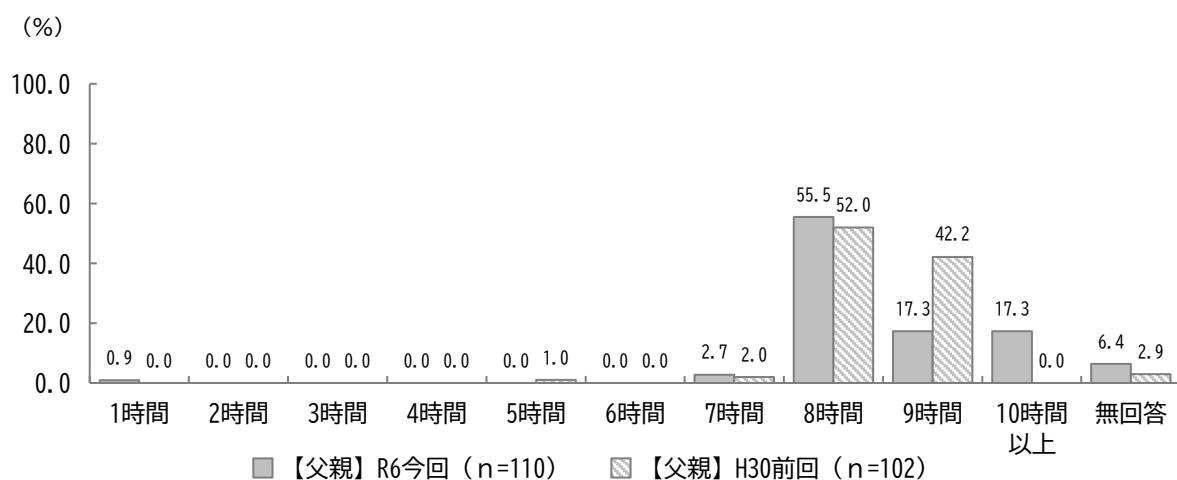
母親の1日当たりの就労時間では、「8時間」が51.7%と最も高く、次いで「7時間」が13.6%、「5時間」が 9.3%となっています。前回調査と比較すると、「5時間」の割合が増加し、「8時間」「9時間」の割合が減少しています。



父親の1週当たりの就労日数では、「5日」が 51.8%と最も高く、次いで「6日」が 34.5%、「7日」が 6.4%となっています。前回調査と比較すると、「5日」の割合が増加し、「6日」の割合が減少しています。



父親の1日当たりの就労時間では、「8時間」が 55.5%と最も高く、次いで「9時間」「10 時間以上」がともに 17.3%、「7時間」が 2.7%となっています。前回調査と比較すると、「9時間」の割合が減少しています。

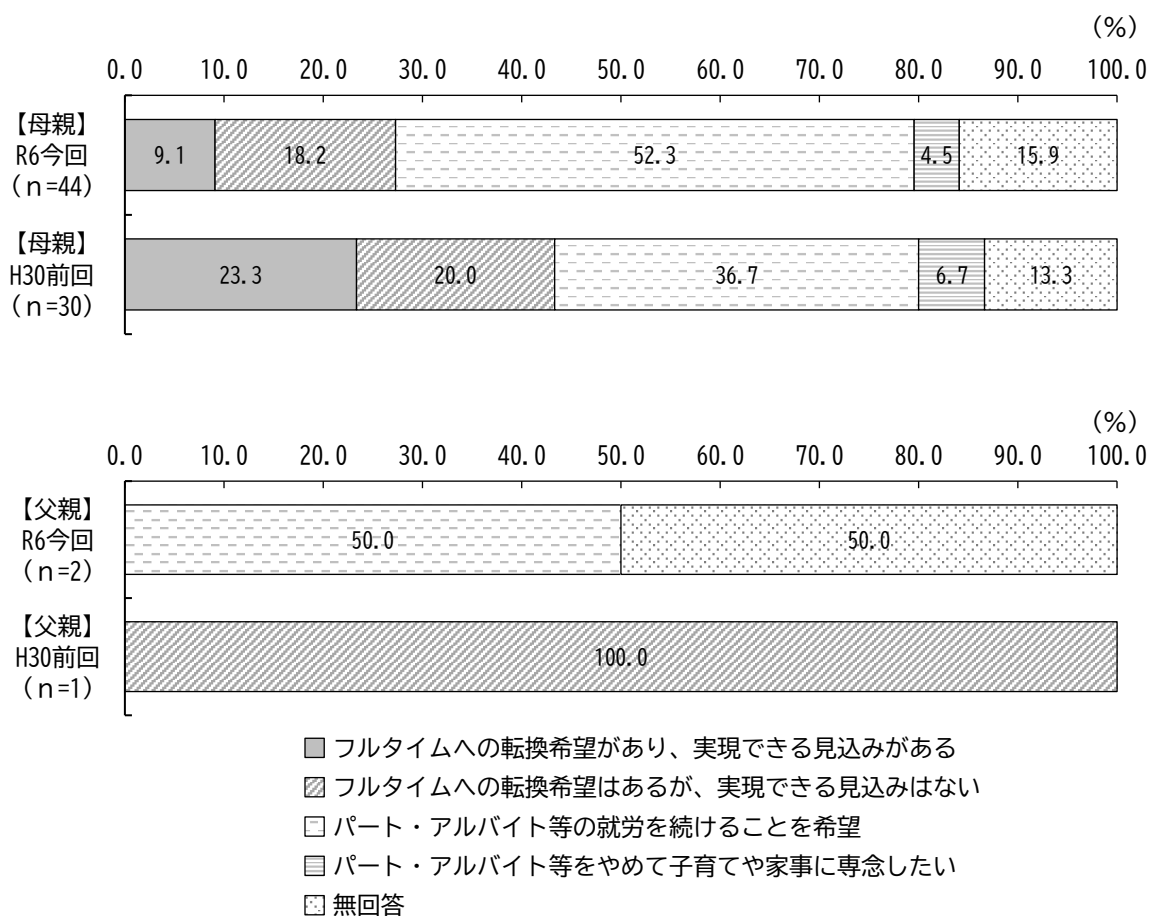


※問 12 で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます

問13 フルタイムへの転換希望はありますか。母親・父親それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 52.3%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 18.2%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 9.1%となっています。前回調査と比較すると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が増加し、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が減少しています。

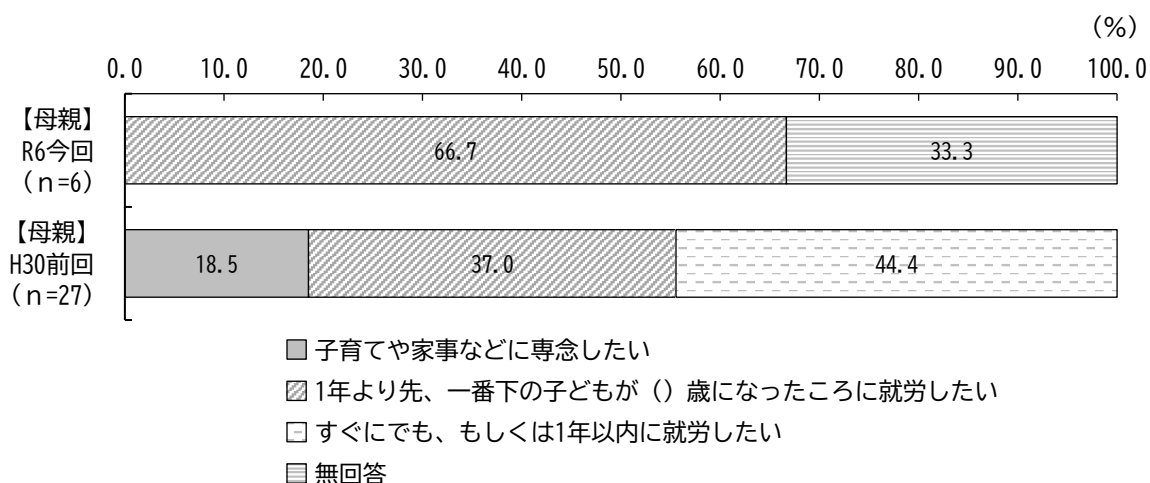
父親では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 50.0%と最も高くなっています。



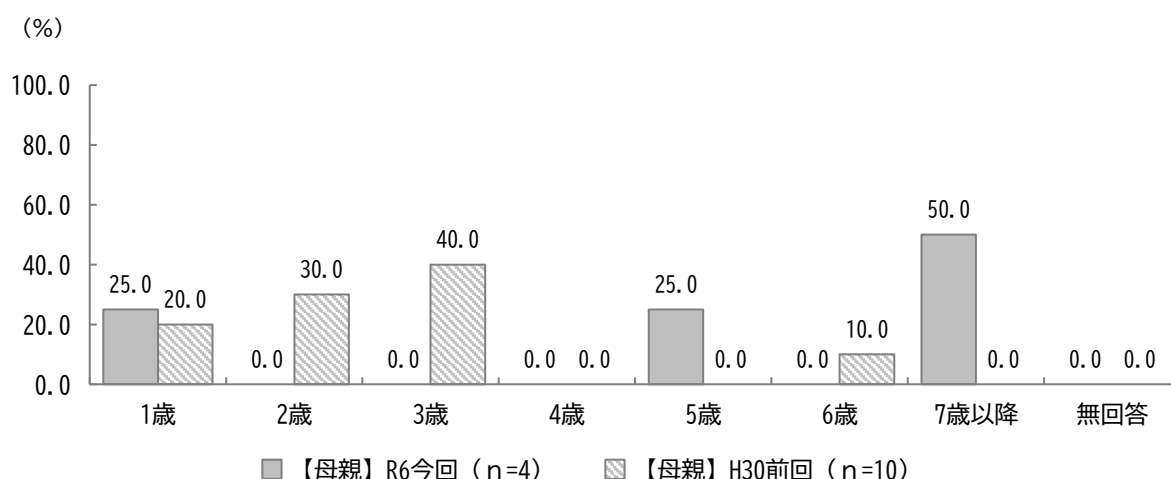
※問 12 で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます

問14 就労したいという希望はありますか。母親・父親それぞれ当てはまる番号・記号にそれぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

母親では、「1年より先、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい」が66.7%と最も高くなっています。前回調査と比較すると、「1年より先、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい」の割合が増加し、「子育てや家事などに専念したい」「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が減少しています。



【1年より先、一番下の子どもが□歳になった頃に就労したい】の子どもの年齢について、母親では「7歳以降」が50.0%と最も高く、次いで「1歳」「5歳」がともに25.0%となっています。前回調査と比較すると、「1歳」「5歳」「7歳」の割合が増加し、「2歳」「3歳」「6歳」の割合が減少しています。



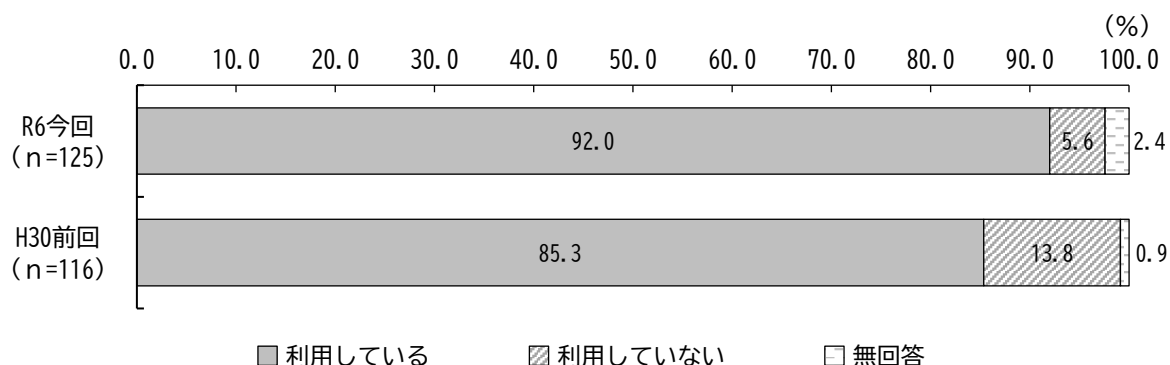
母親の希望する就労形態、1週当たりの希望就労日数、1日当たりの希望就労時間ではいずれも該当者はありませんでした。

父親の就労希望の有無では、該当者はありませんでした。

お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問15 お子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

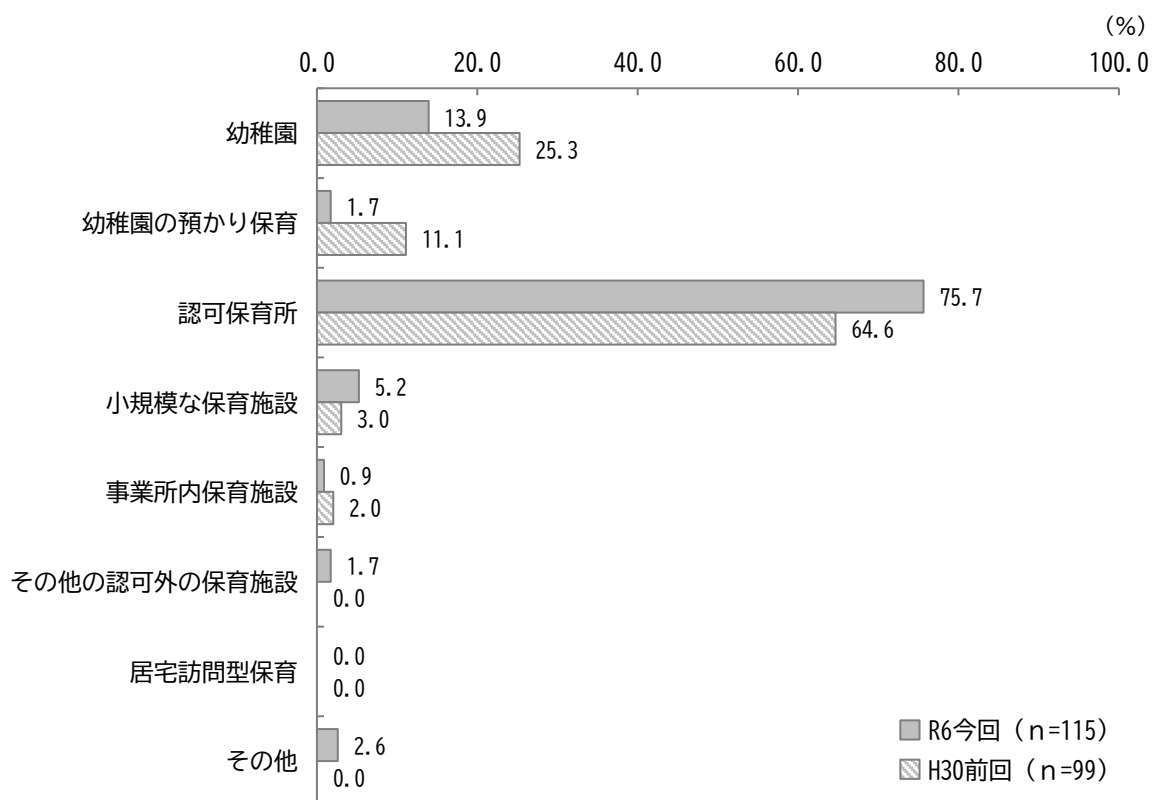
「利用している」が 92.0%、「利用していない」が 5.6%となっています。前回調査と比較すると、「利用している」の割合が増加し、「利用していない」の割合が減少しています。



※問 15 で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます

問15-1 お子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

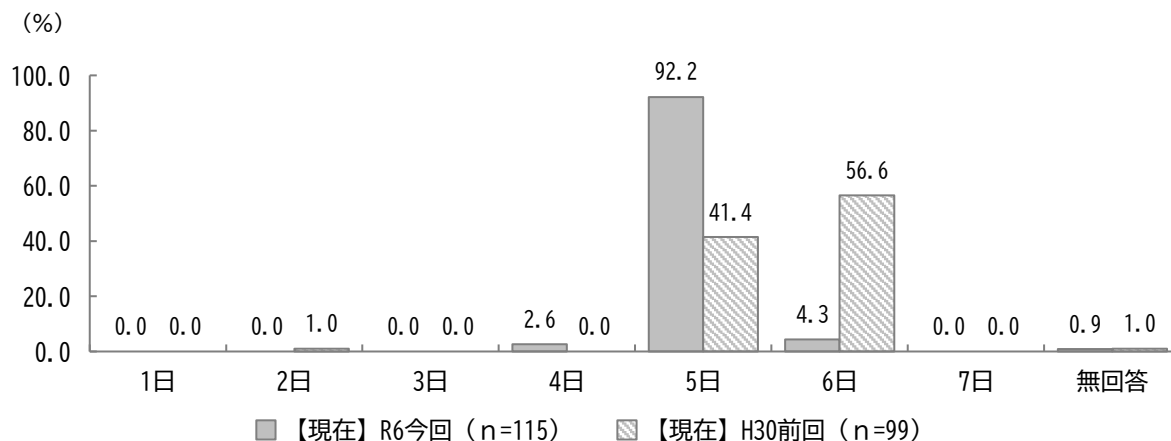
「認可保育所」が 75.7%と最も高く、次いで「幼稚園」が 13.9%、「小規模な保育施設」が 5.2%となっています。前回調査と比較すると、「認可保育所」の割合が増加し、「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」の割合が減少しています。



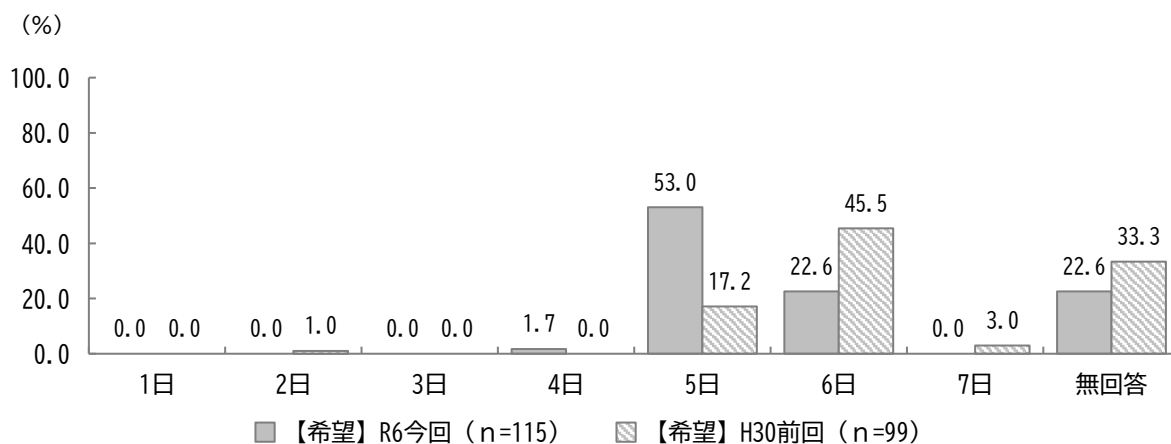
※問 15 で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます

問15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、現在どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを具体的な数字をご記入ください。

現在では「5日」が 92.2%と最も高く、次いで「6日」が 4.3%、「4日」が 2.6%となっています。前回調査と比較すると、「5日」の割合が増加し、「6日」の割合が減少しています。



希望では「5日」が 53.0%と最も高く、次いで「6日」が 22.6%、「4日」が 1.7%となっています。前回調査と比較すると、「5日」の割合が増加し、「6日」の割合が減少しています。

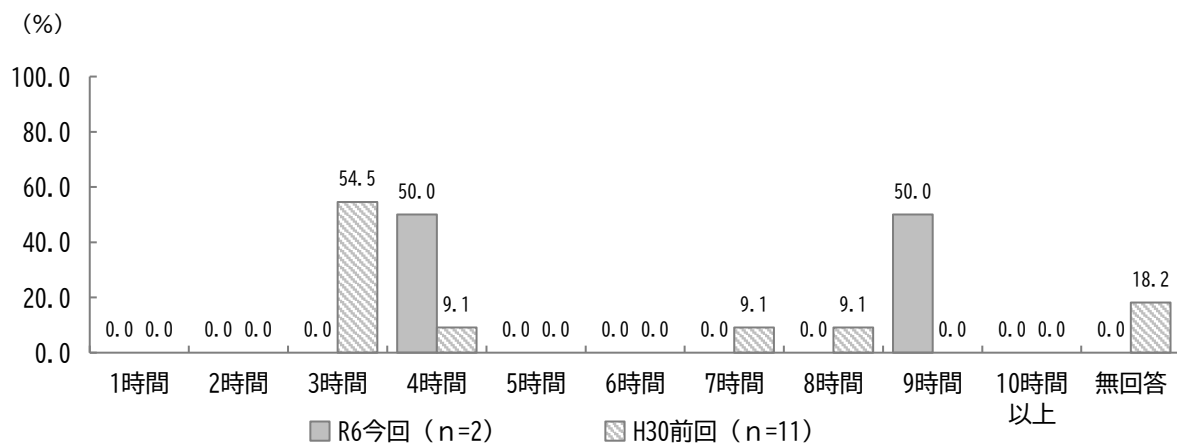
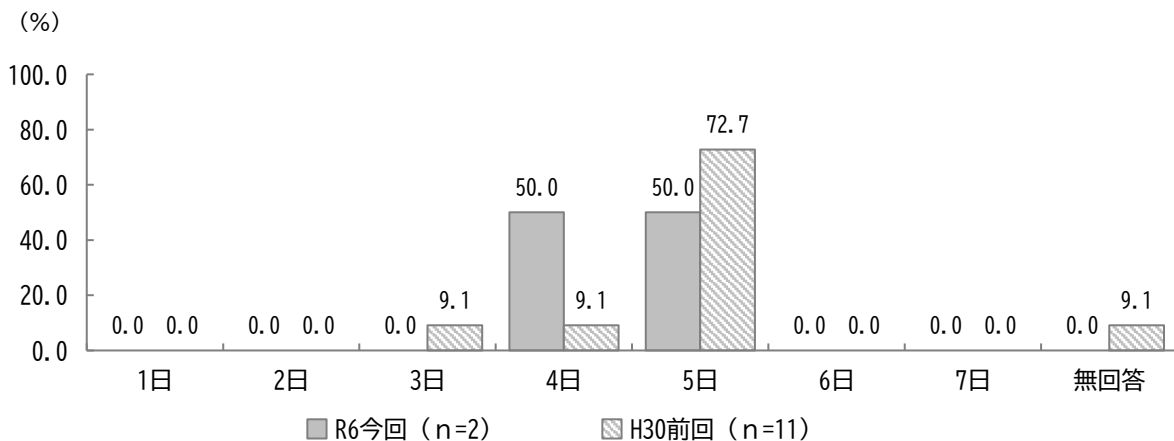


※幼稚園の預かり保育を利用している方にお伺いします

問15-3 「利用日数」、1日当たりの「利用時間」をお答えください。利用日数や利用時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

日数では、「4日」「5日」がともに 50.0%と最も高くなっています。

時間では、「4時間」「9時間」がともに 50.0%と最も高くなっています。



※お子さんが幼稚園を利用している方で、幼稚園の預かり保育を利用していないが、他の保育事業を利用している方にお伺いします

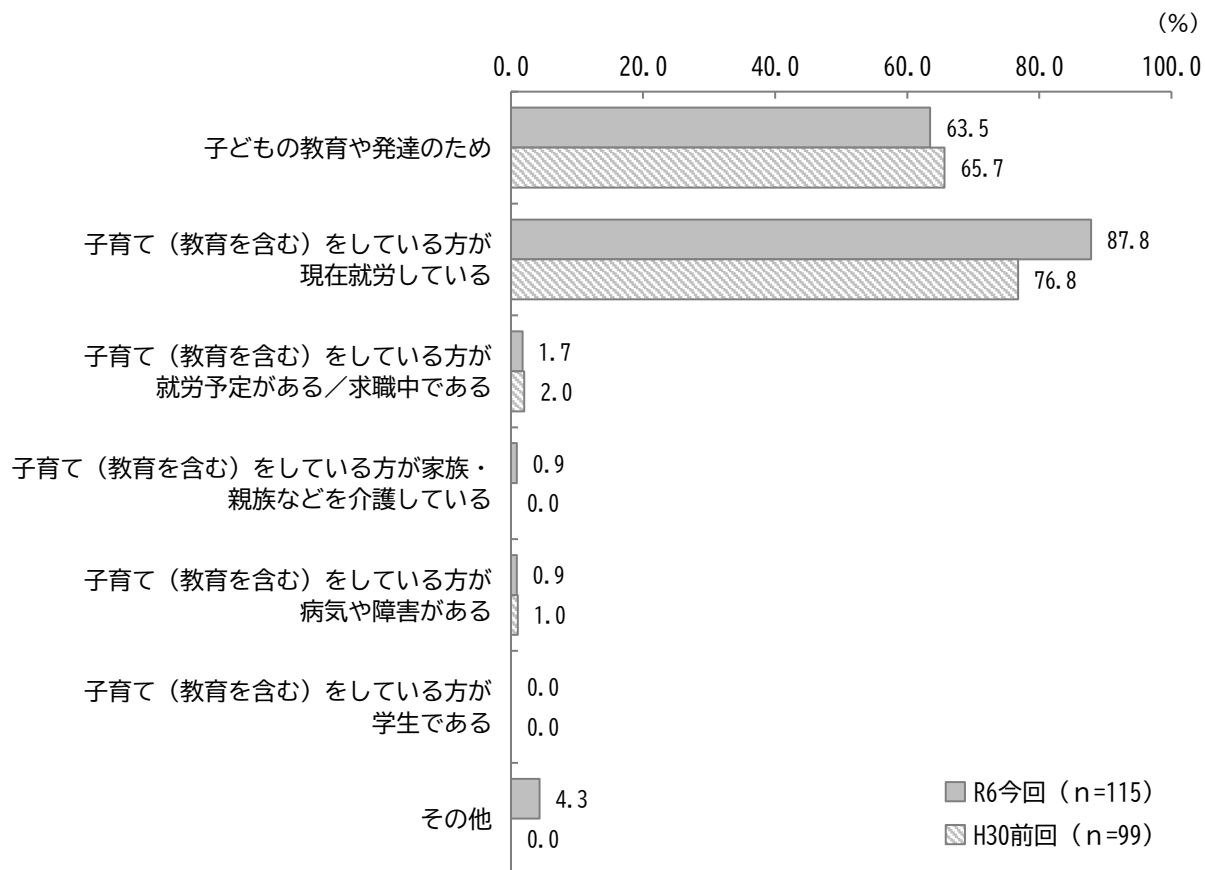
問15-4 具体的な事業名をご記入ください。また、週当たりの「利用日数」、1日当たりの「利用時間」をお答えください。

該当者はありませんでした。

※問 15 で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます

問15-5 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

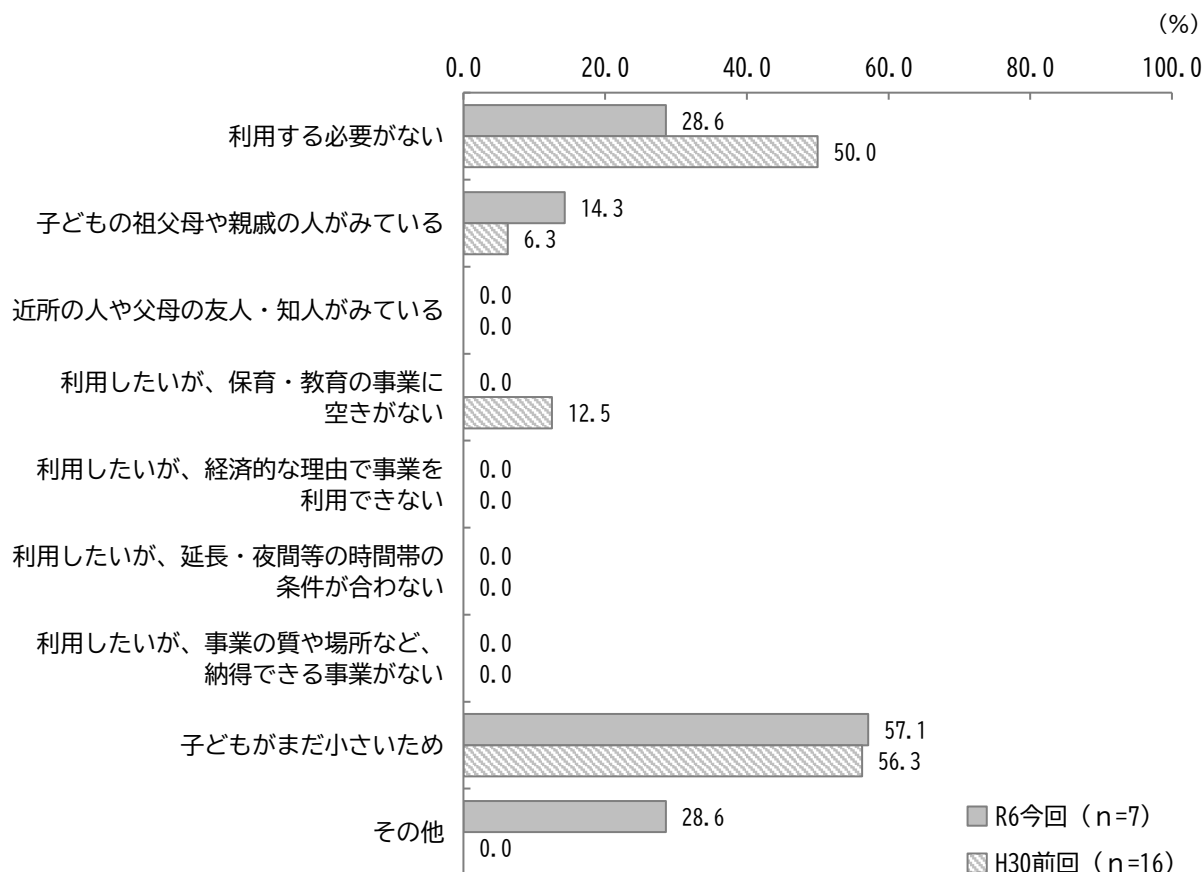
「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」が 87.8%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が63.5%、「その他」が4.3%となっています。前回調査と比較すると、「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」の割合が増加しています。



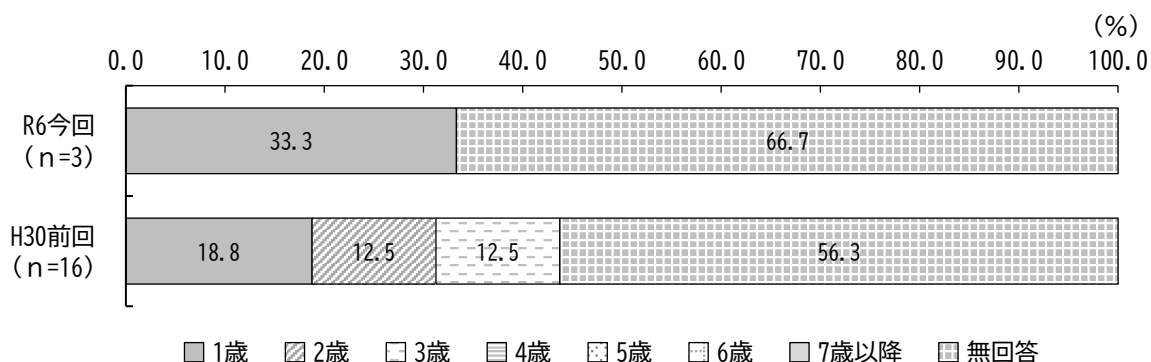
※問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます

問15-6 利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもがまだ小さいため」が 57.1%と最も高く、次いで「利用する必要がある」「その他」がともに 28.6%、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が 14.3%となっています。前回調査と比較すると、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」「その他」の割合が増加し、「利用する必要がある」「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」が減少しています。

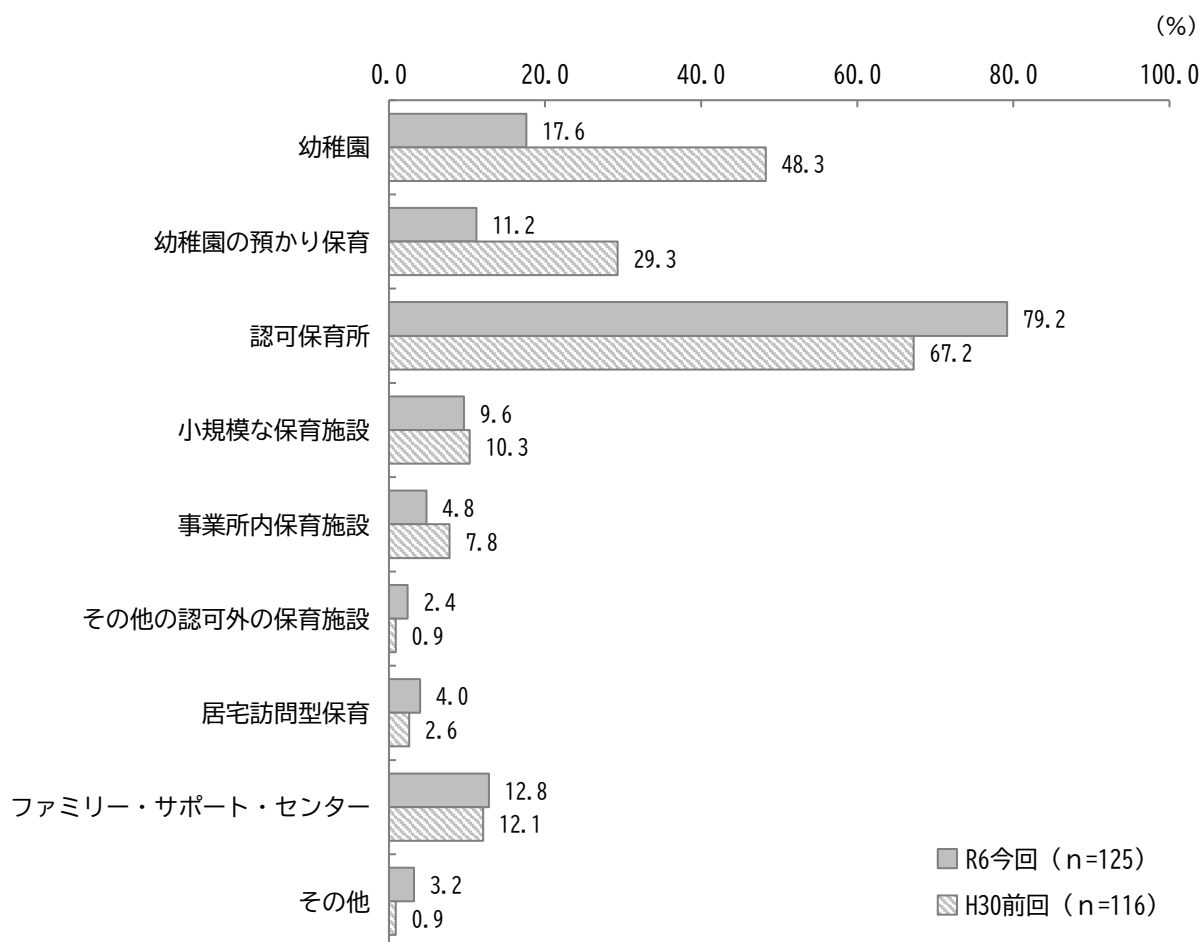


【子どもがまだ小さいため(□歳くらいになったら利用しようと考えている)】の子どもの年齢について、「1歳」が 33.3%と最も高くなっています。



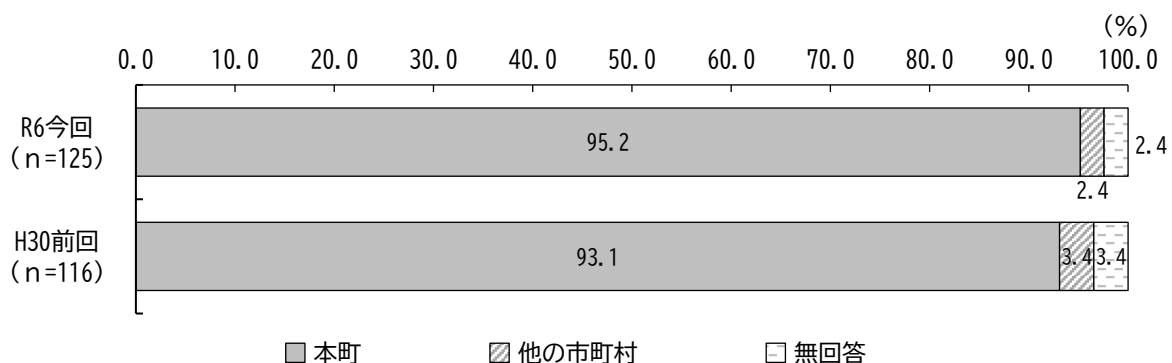
問16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「定期的に」利用したいと考えるに事業についてみると、「認可保育所」が 79.2%と最も高く、次いで「幼稚園」が 17.6%、「ファミリー・サポート・センター」が 12.8%となっています。前回調査と比較すると、「認可保育所」の割合が増加し、「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」の割合が減少しています。



問16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。いずれか 1 つに○をつけてください。

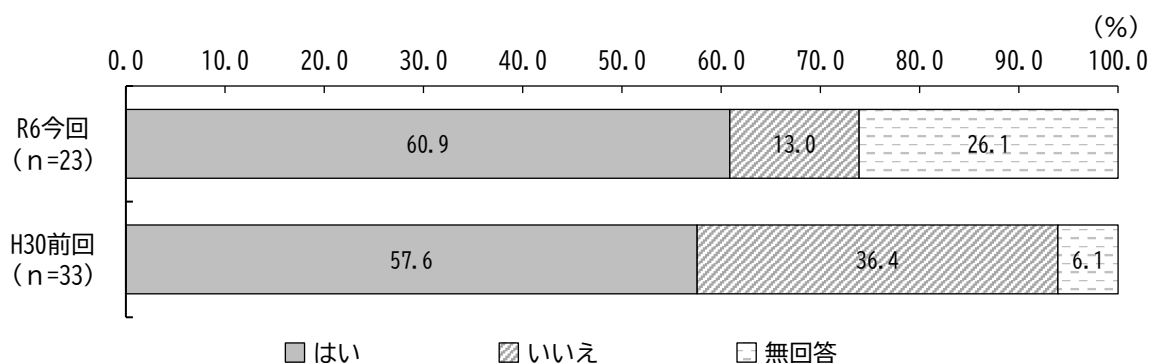
「本町」が 95.2%、「他の市町村」が 2.4%となっています。前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



※問16で「1. 幼稚園(通常の就園時間の利用)」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～9にも○をつけた方にうかがいます

問16-2 特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

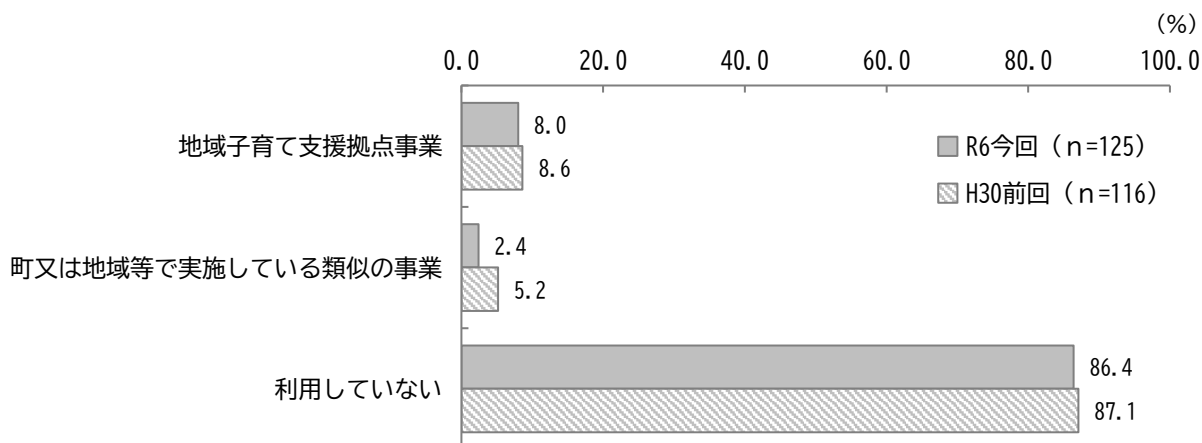
「はい」が 60.9%、「いいえ」が 13.0%となっています。前回調査と比較すると、「いいえ」の割合が減少しています。



お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

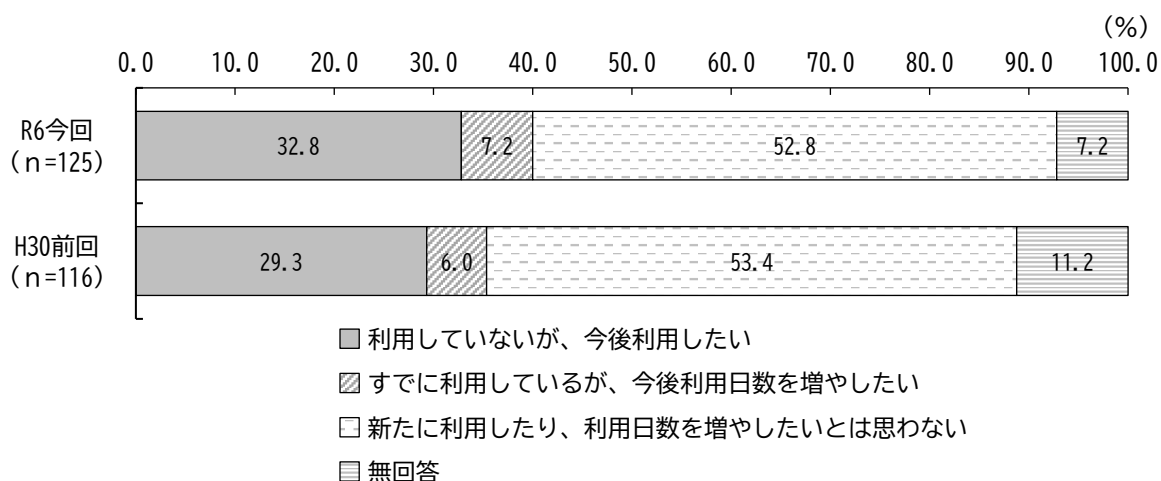
問17 次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数(頻度)を数字でご記入ください。

「利用していない」が86.4%と最も高く、次いで「地域子育て支援拠点事業」が8.0%、「町又は地域等で実施している類似の事業」が2.4%となっています。前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



問18 地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)を利用したいですか。また、おおよその利用回数(頻度)と時間について必ず(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。

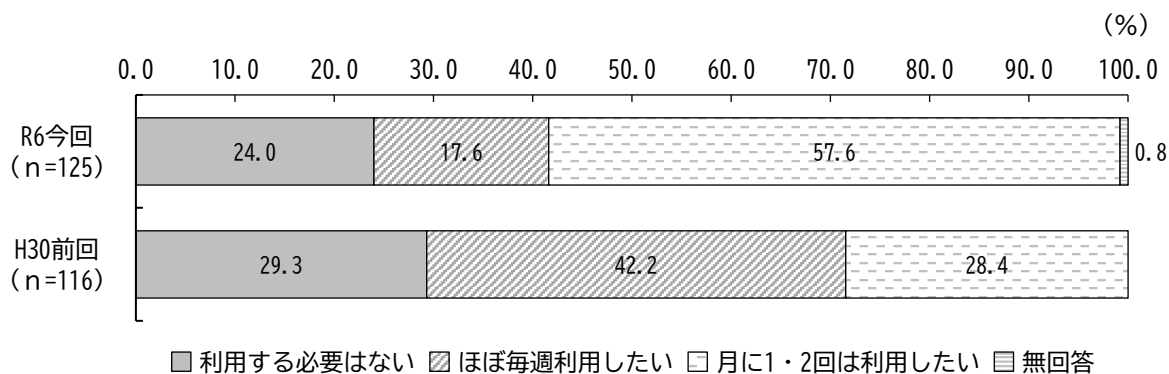
「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が52.8%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が32.8%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が7.2%となっています。前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



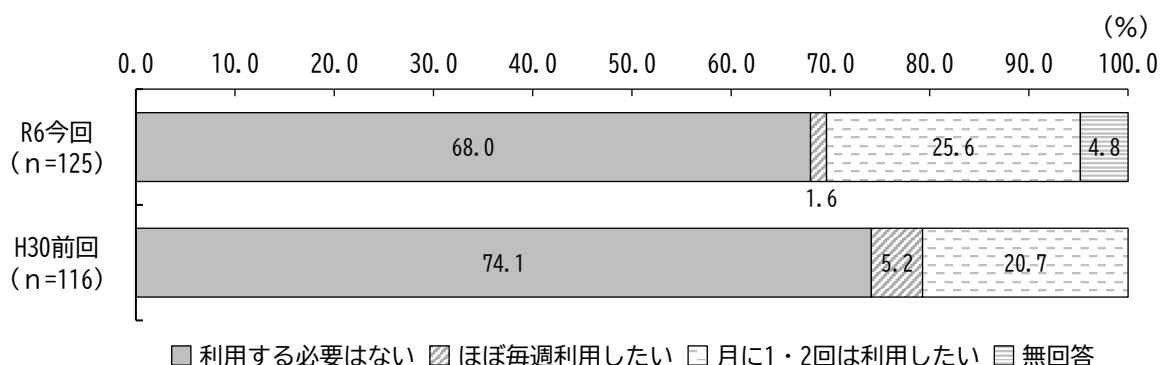
お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問19 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。当てはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

土曜日では「月に1・2回は利用したい」が57.6%と最も高く、次いで「利用する必要はない」が24.0%、「ほぼ毎週利用したい」が17.6%となっています。前回調査と比較すると、「月に1・2回は利用したい」の割合が増加し、「利用する必要はない」「ほぼ毎週利用したい」の割合が減少しています。



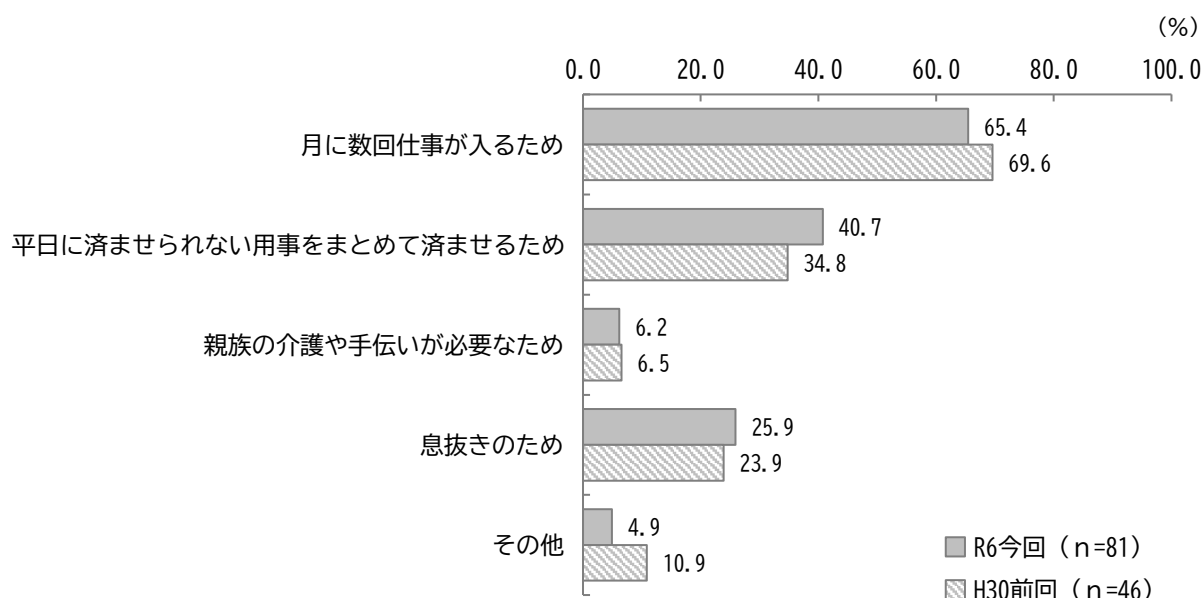
日曜日・祝日では「利用する必要はない」が68.0%と最も高く、次いで「月に1・2回は利用したい」が25.6%、「ほぼ毎週利用したい」が1.6%となっています。前回調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が減少しています。



※問 19 の(1)もしくは(2)で、「3.月に1・2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます

問19-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

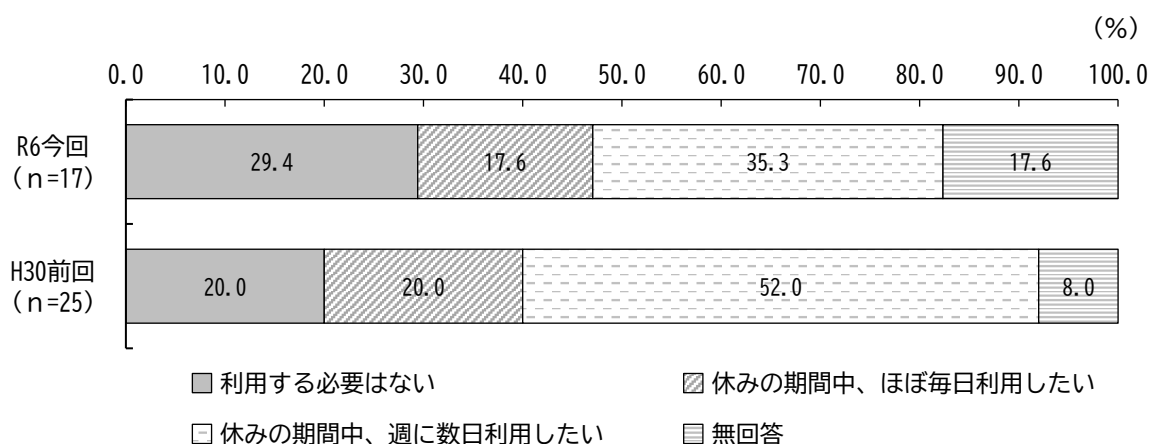
「月に数回仕事が入るため」が 65.4%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 40.7%、「息抜きのため」が 25.9%となっています。前回調査と比較すると、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が増加しています。



※「幼稚園」を利用されている方にうかがいます

問20 お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

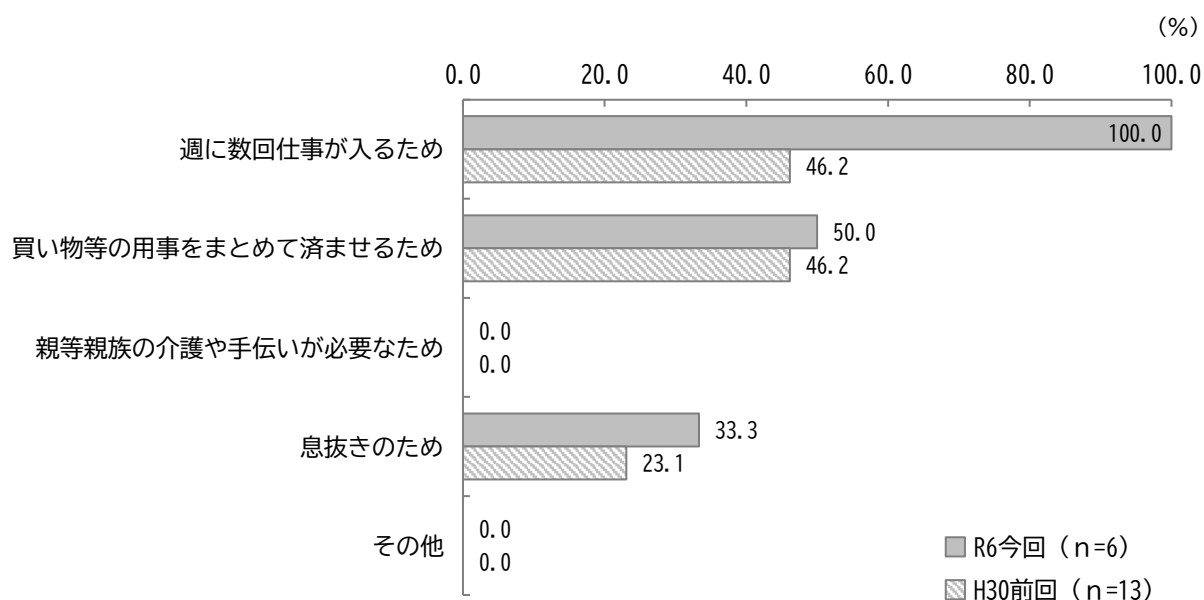
「休みの期間中、週に数日利用したい」が 35.3%と最も高く、次いで「利用する必要はない」が 29.4%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 17.6%となっています。前回調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加し、「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が減少しています。



※問 20 で、「3.週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます

問20-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「週に数回仕事が入るため」が 100.0%と最も高く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が 50.0%、「息抜きのため」が 33.3%となっています。前回調査と比較すると、「週に数回仕事が入るため」「買い物等の用事をまとめて済ませるため」「息抜きのため」の割合が増加しています。

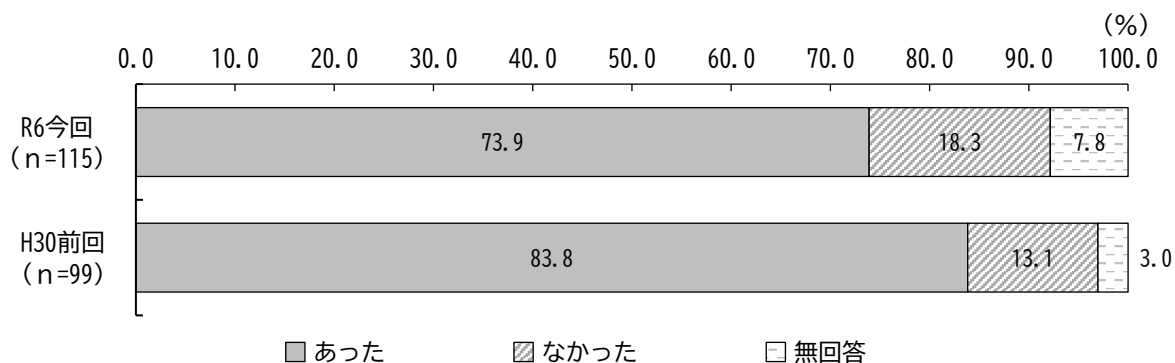


お子さんの病気の際の対応について(平日の教育・保育を利用する方のみ)

※平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方(問 15 で1に○をつけた方)にうかがいます。

問21 この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

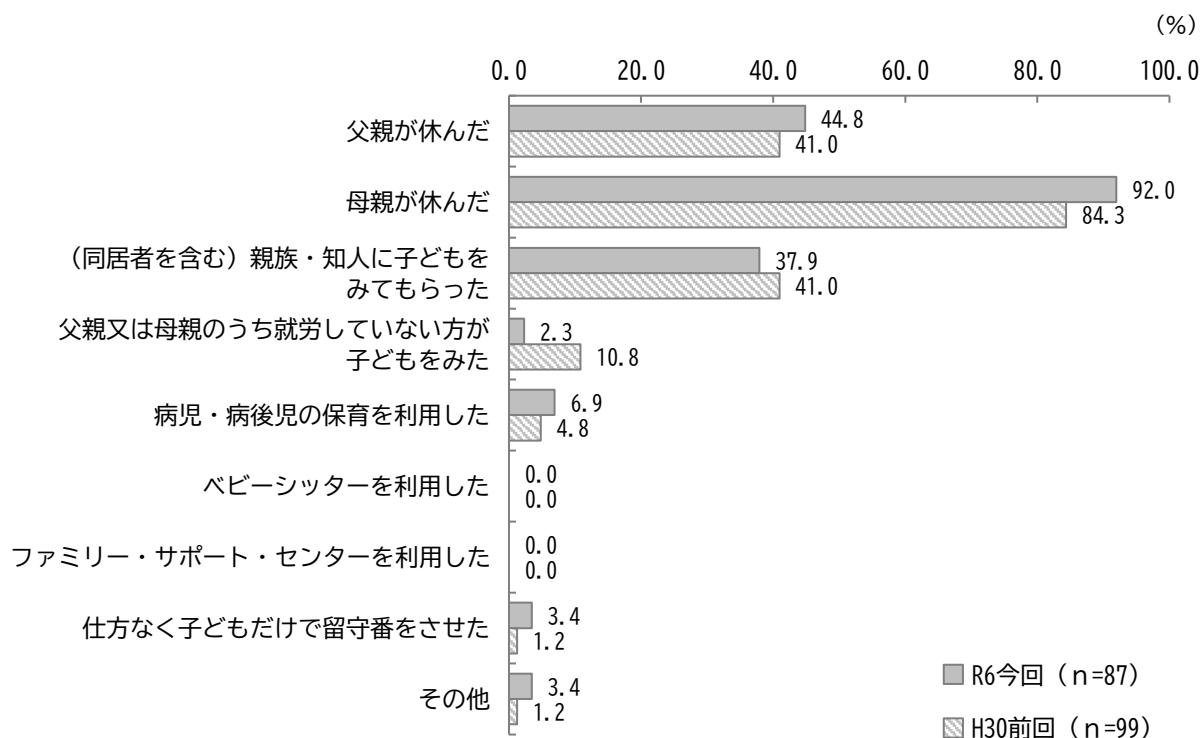
「あった」が 73.9%、「なかった」が 18.3%となっています。前回調査と比較すると、「なかった」の割合が増加し、「あった」の割合が減少しています。



※問 21 で「1.あった」に○をつけた方にうかがいます

問21-1 お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数もご記入ください。

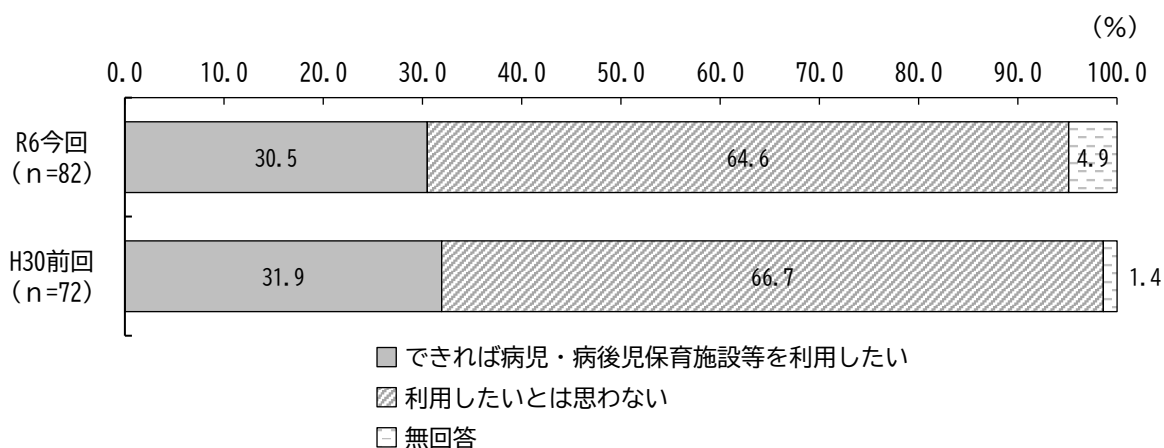
「母親が休んだ」が 92.0%と最も高く、次いで「父親が休んだ」が 44.8%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が 37.9%となっています。前回調査と比較すると、「父親が休んだ」「母親が休んだ」の割合が増加し、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が減少しています。



※問 21-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます

問21-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についてもご記入ください。

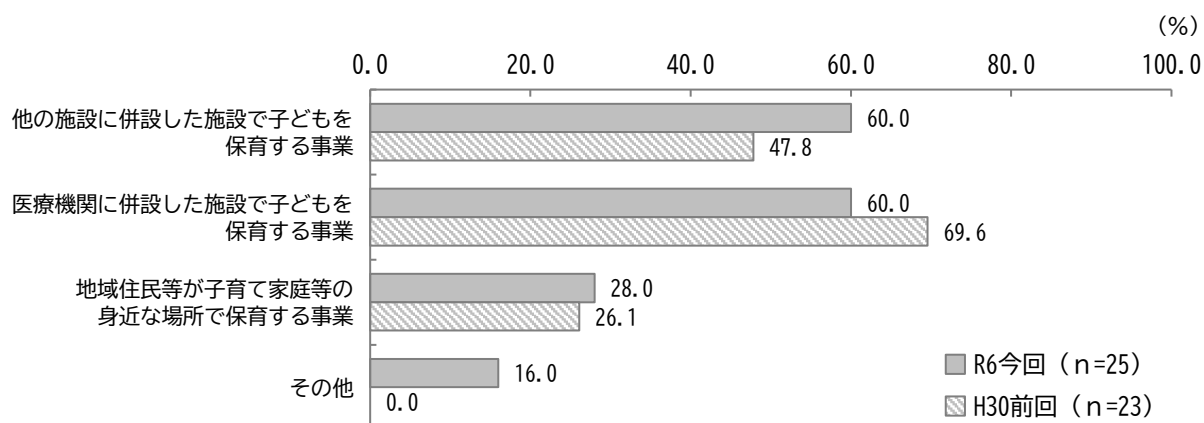
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 30.5%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 64.6%となっています。前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



※問 21-2で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます

問21-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

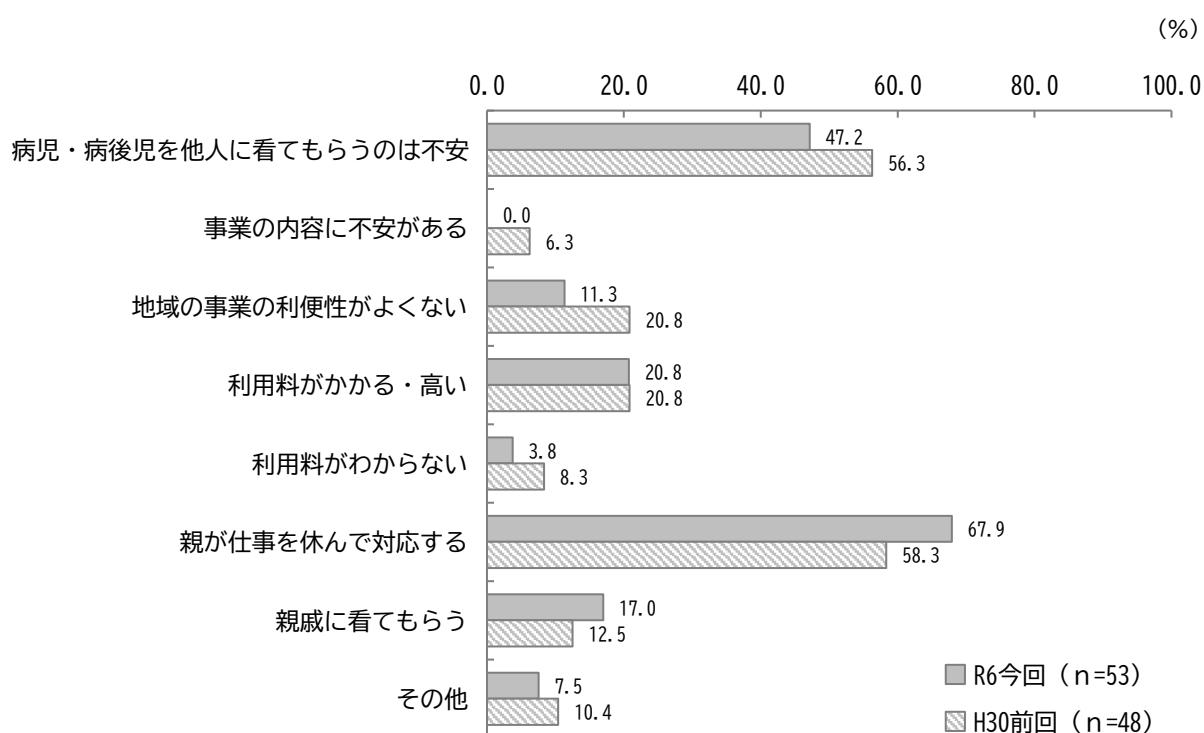
「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」「医療機関に併設した施設で子どもを保育する事業」がともに 60.0%と最も高く、次いで「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が 28.0%となっています。前回調査と比較すると、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」「その他」の割合が増加しています。



※問 21-2 で「2.利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます

問21-4 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

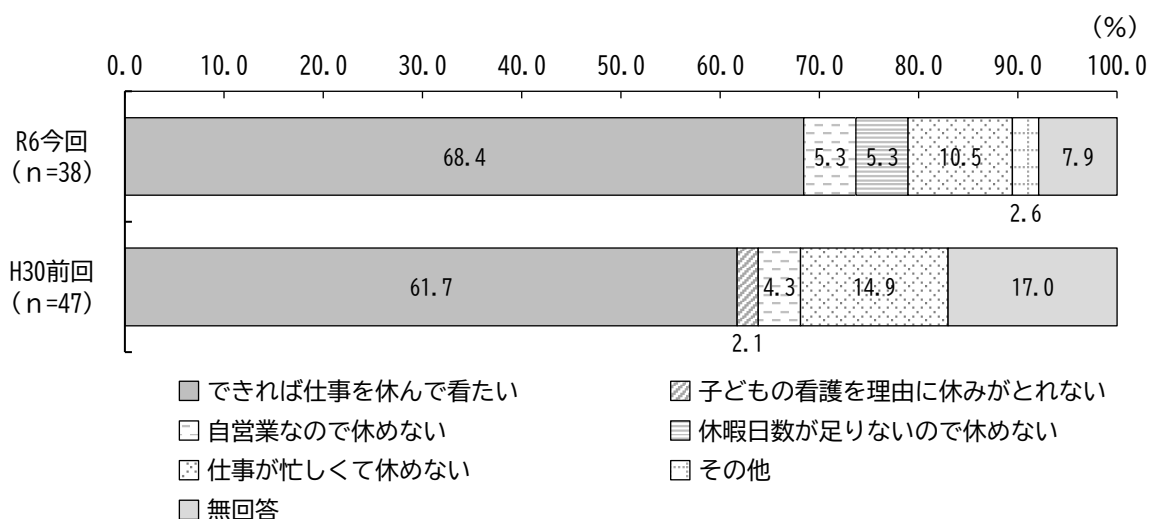
「親が仕事を休んで対応する」が 67.9%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 47.2%、「利用料がかかる・高い」が 20.8%となっています。前回調査と比較すると、「親が仕事を休んで対応する」の割合が増加し、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」「地域の事業の利便性がよくない」の割合が減少しています。



※問 21-1で「ウ.」から「ケ.」のいずれかに回答した方にうかがいます

問21-5 その際、「できれば父母いずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

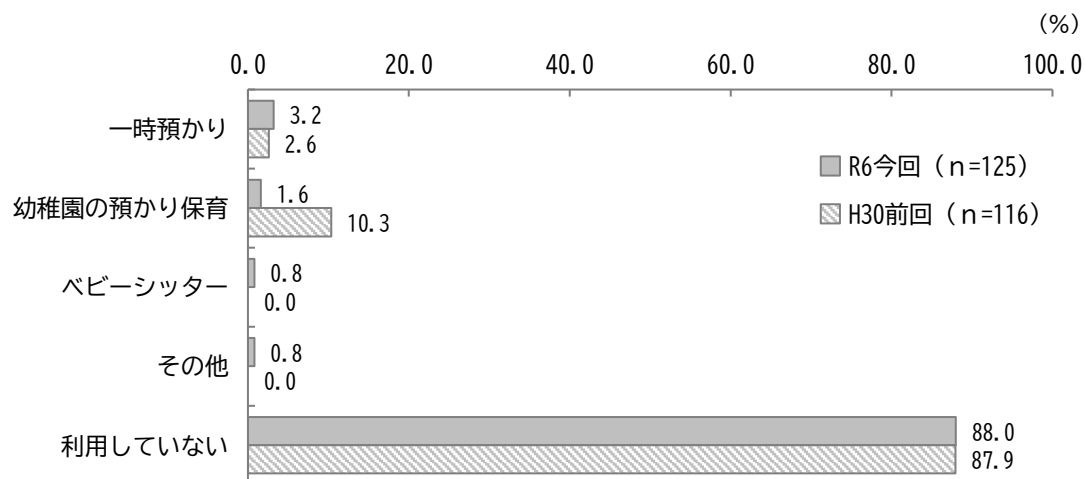
「できれば仕事を休んで看たい」が 68.4%と最も高く、次いで「仕事が忙しくて休めない」が 10.5%、「自営業なので休めない」「休暇日数が足りないので休めない」がともに 5.3%となっています。前回調査と比較すると、「できれば仕事を休んで看たい」「休暇日数が足りないので休めない」の割合が増加しています。



お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問22 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)もご記入ください。

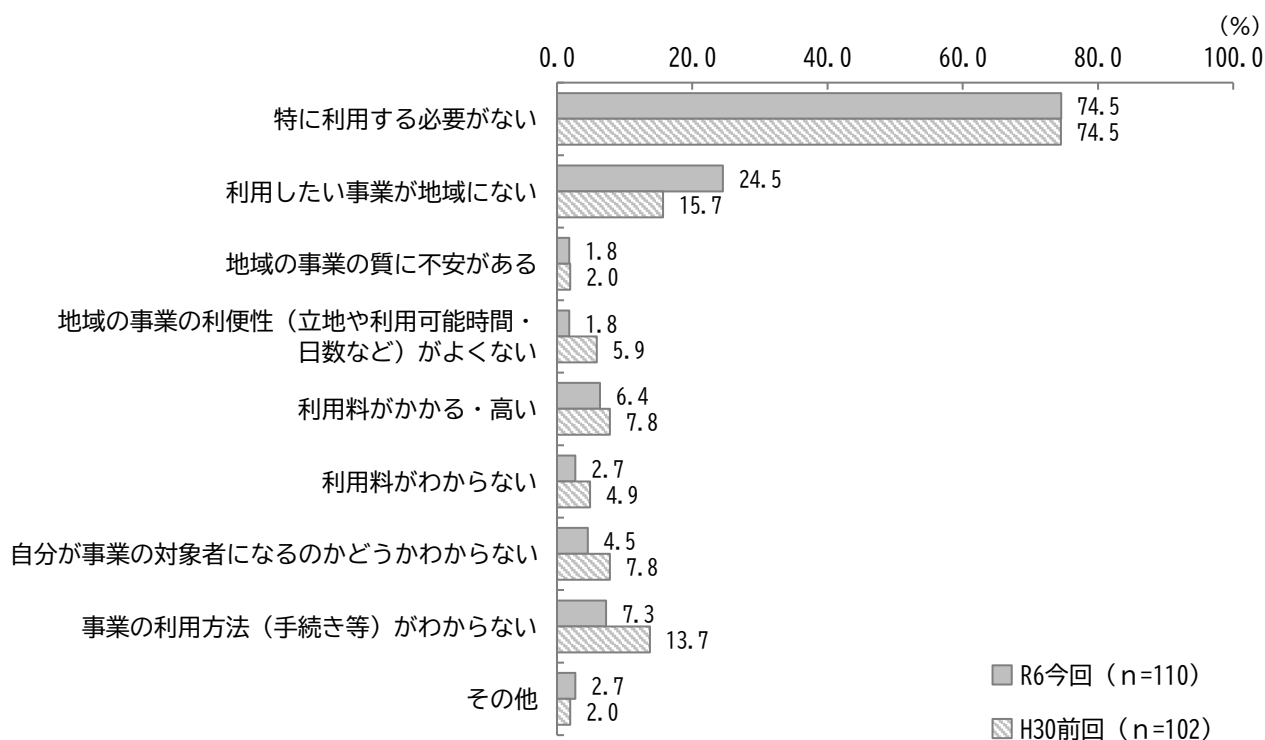
「利用していない」が 88.0%と最も高く、次いで「一時預かり」が 3.2%、「幼稚園の預かり保育」が 1.6%となっています。前回調査と比較すると、「幼稚園の預かり保育」の割合が減少しています。



※問 22 で「5. 利用していない」と回答した方にうかがいます

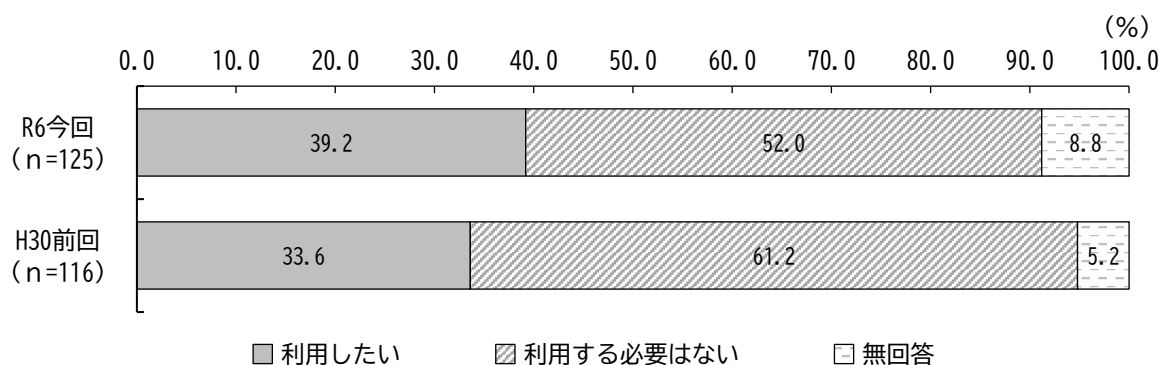
問22－1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に利用する必要がない」が 74.5%と最も高く、次いで「利用したい事業が地域にない」が 24.5%、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が 7.3%となっています。前回調査と比較すると、「利用したい事業が地域にない」の割合が増加し、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」の割合が減少しています。

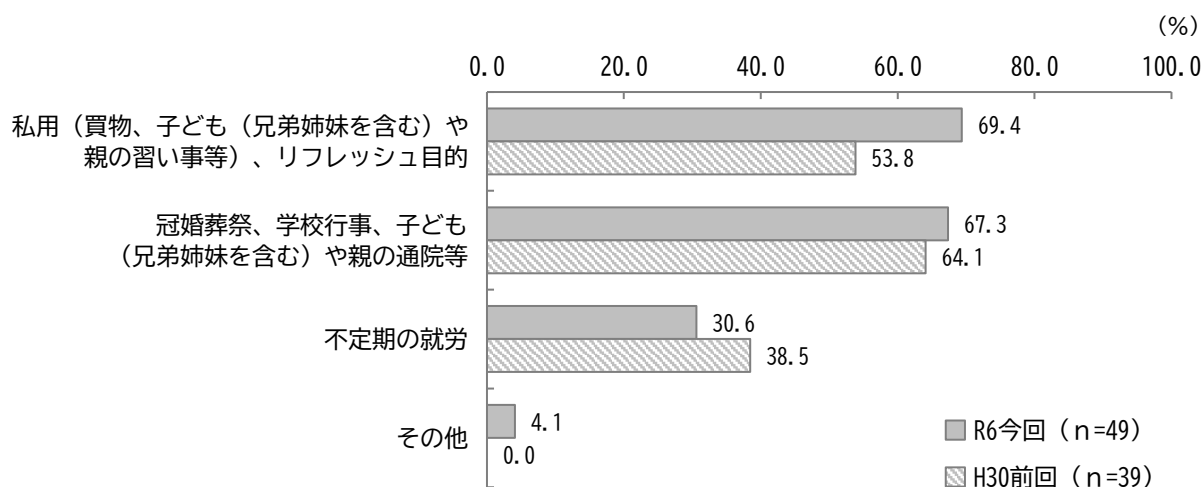


問23 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、利用したい日数の合計と目的別の内訳の日数をご記入ください。

「利用したい」が 39.2%、「利用する必要はない」が 52.0%となっています。前回調査と比較すると、「利用したい」の割合が増加し、「利用する必要はない」の割合が減少しています。



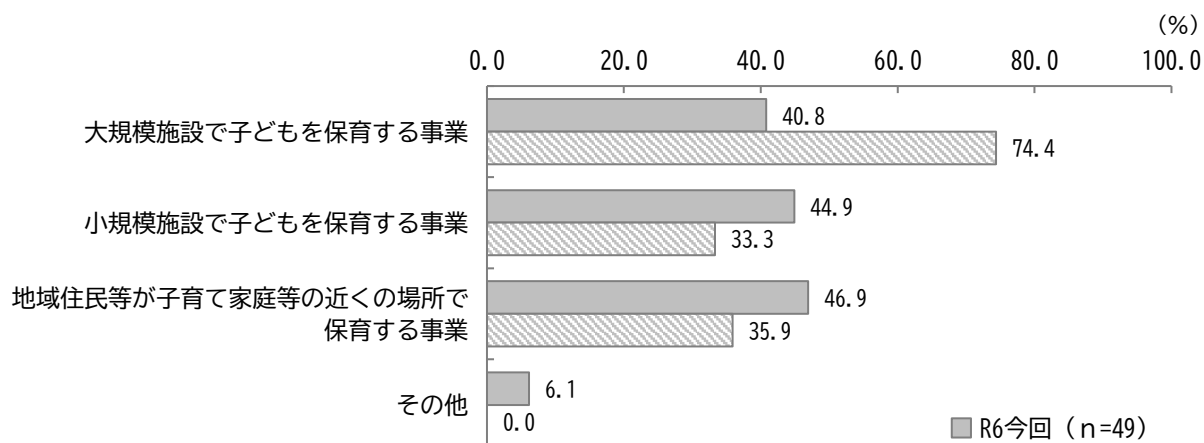
「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」が 69.4%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」が 67.3%、「不定期の就労」が 30.6%となっています。前回調査と比較すると、「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」の割合が増加し、「不定期の就労」の割合が減少しています。



※問 23 で「1.利用したい」に○をつけた方にうかがいます

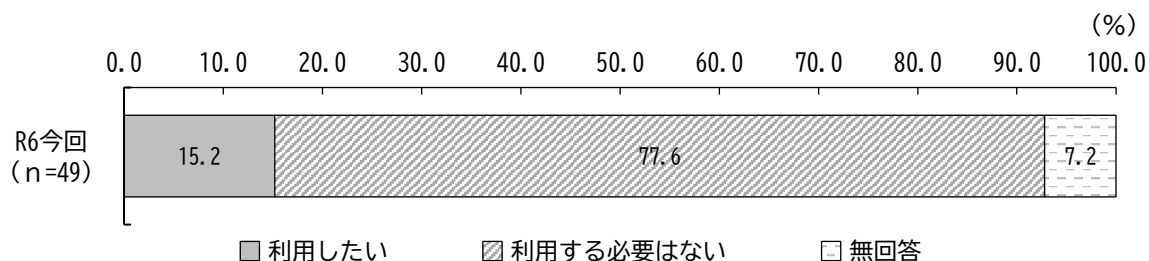
問23-1 問 23 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」が 46.9%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」が 44.9%、「大規模施設で子どもを保育する事業」が 40.8%となっています。前回調査と比較すると、「小規模施設で子どもを保育する事業」「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」「その他」の割合が増加し、「大規模施設で子どもを保育する事業」の割合が減少しています。

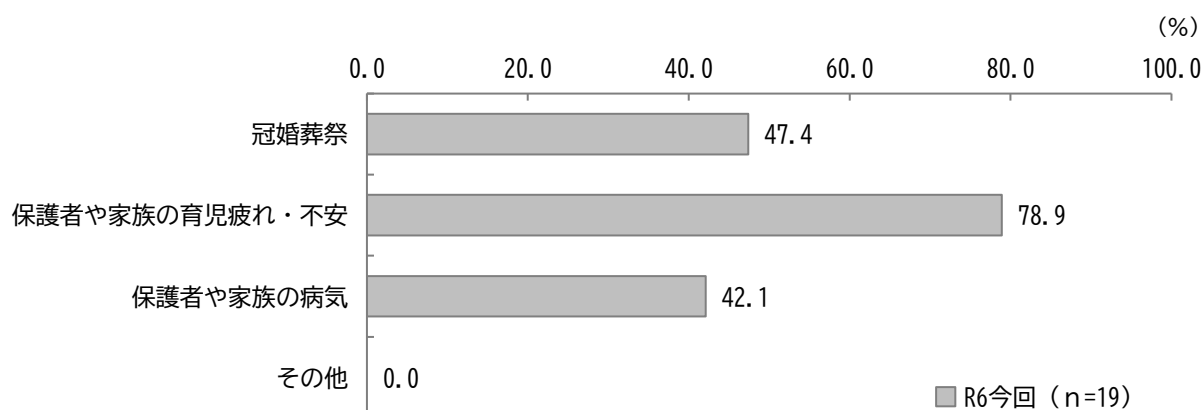


問24 お子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業(ショートステイ)(里親等で一定期間、子どもを保護する事業)の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数をご記入ください。

「利用したい」が15.2%、「利用する必要はない」が77.6%となっています。



事業を利用したい理由では、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が78.9%と最も高く、次いで「冠婚葬祭」が47.4%、「保護者や家族の病気」が42.1%となっています。

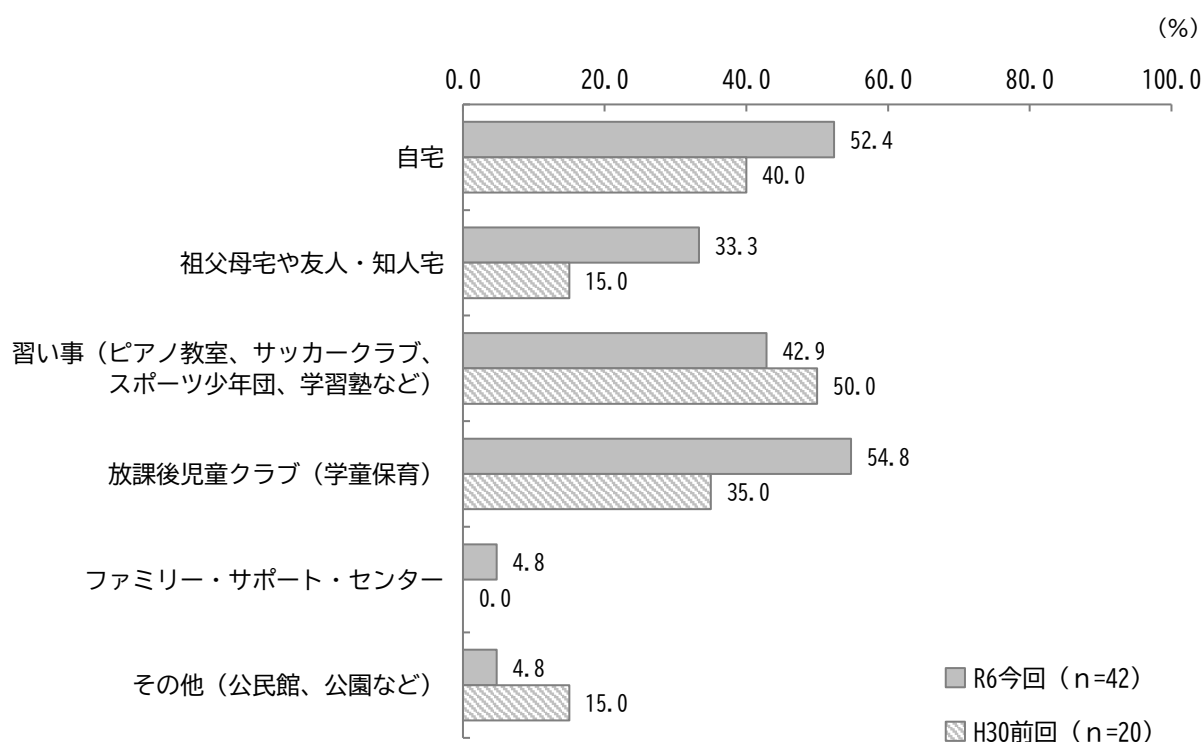


お子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について

※宛名のお子さんが5歳未満の方は、問 29 へ

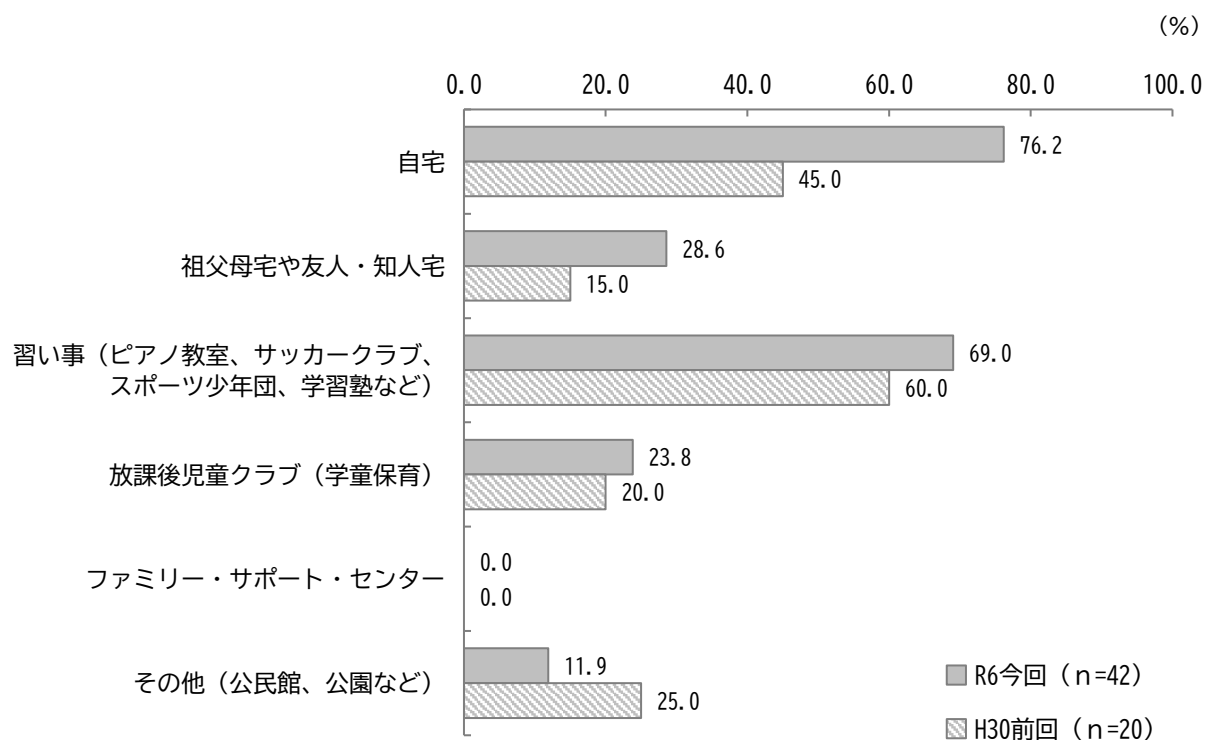
問25 お子さんについて、小学校低学年(1～3 年生)のうち、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数をご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間をご記入ください。

「放課後児童クラブ(学童保育)」が 54.8%と最も高く、次いで「自宅」が 52.4%、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、スポーツ少年団、学習塾など)」が 42.9%となっています。前回調査と比較すると、「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「放課後児童クラブ」「ファミリー・サポート・センター」の割合が増加し、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、スポーツ少年団、学習塾など)」「その他(公民館、公園など)」の割合が減少しています。



問26 お子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数をご記入ください。

「自宅」が 76.2%と最も高く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、スポーツ少年団、学習塾など)」が 69.0%、「祖父母宅や友人・知人宅」が 28.6%となっています。前回調査と比較すると、「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、スポーツ少年団、学習塾など)」の割合が増加し、「その他(公民館、公園など)」の割合が減少しています。

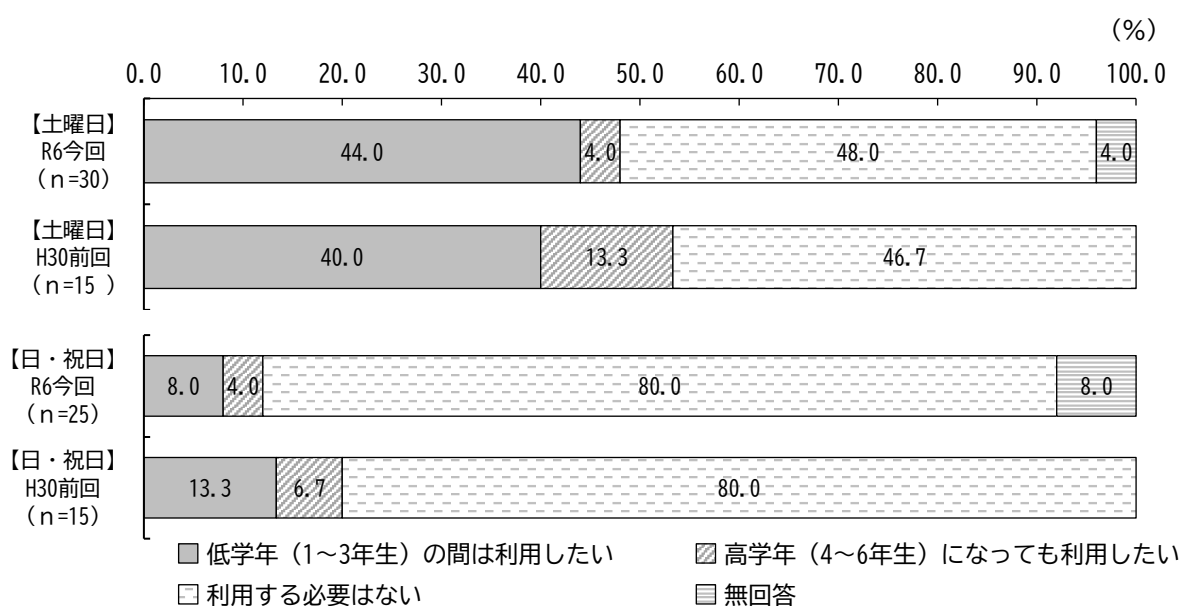


※問 25 または問 26 で「4. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方にうかがいます

問27 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

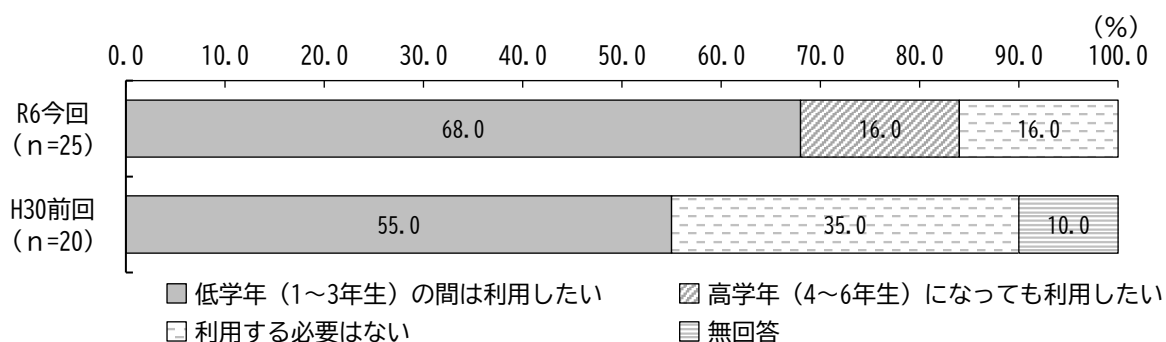
土曜日では、「利用する必要はない」が 48.0%と最も高く、次いで「低学年(1～3 年生)の間は利用したい」が 44.0%、「高学年(4～6 年生)になっても利用したい」が 4.0%となっています。前回調査と比較すると、「高学年(4～6 年生)になっても利用したい」の割合が減少しています。

日曜日・祝日では、「利用する必要はない」が 80.0%と最も高く、次いで「低学年(1～3 年生)の間は利用したい」が 8.0%、「高学年(4～6 年生)になっても利用したい」が 4.0%となっています。前回調査と比較すると、「低学年(1～3 年生)の間は利用したい」の割合が減少しています。



問28 お子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯をご記入ください。

「低学年(1～3 年生)の間は利用したい」が 68.0%と最も高く、次いで「高学年(4～6 年生)になっても利用したい」「利用する必要はない」がともに 16.0%となっています。前回調査と比較すると、「低学年(1～3 年生)の間は利用したい」「高学年(4～6 年生)になっても利用したい」の割合が増加し、「利用する必要はない」の割合が減少しています。

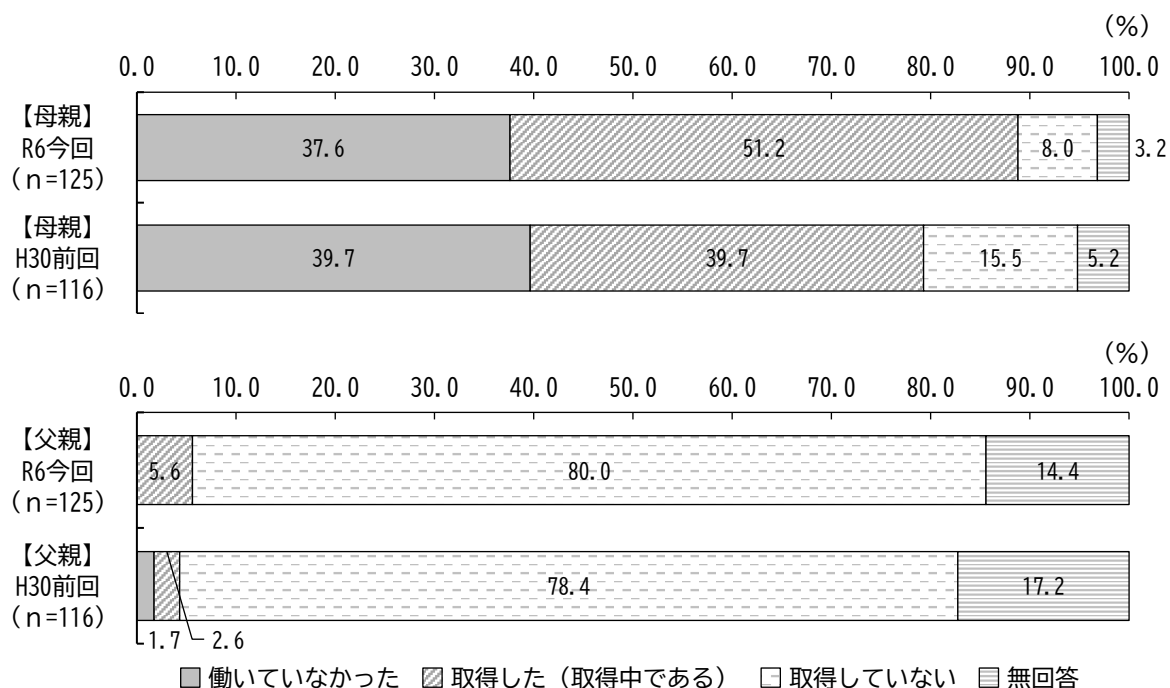


育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問29 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では「取得した(取得中である)」が51.2%と最も高く、次いで「働いていなかった」が37.6%、「取得していない」が8.0%となっています。前回調査と比較すると、「取得した(取得中である)」の割合が増加し、「取得していない」の割合が減少しています。

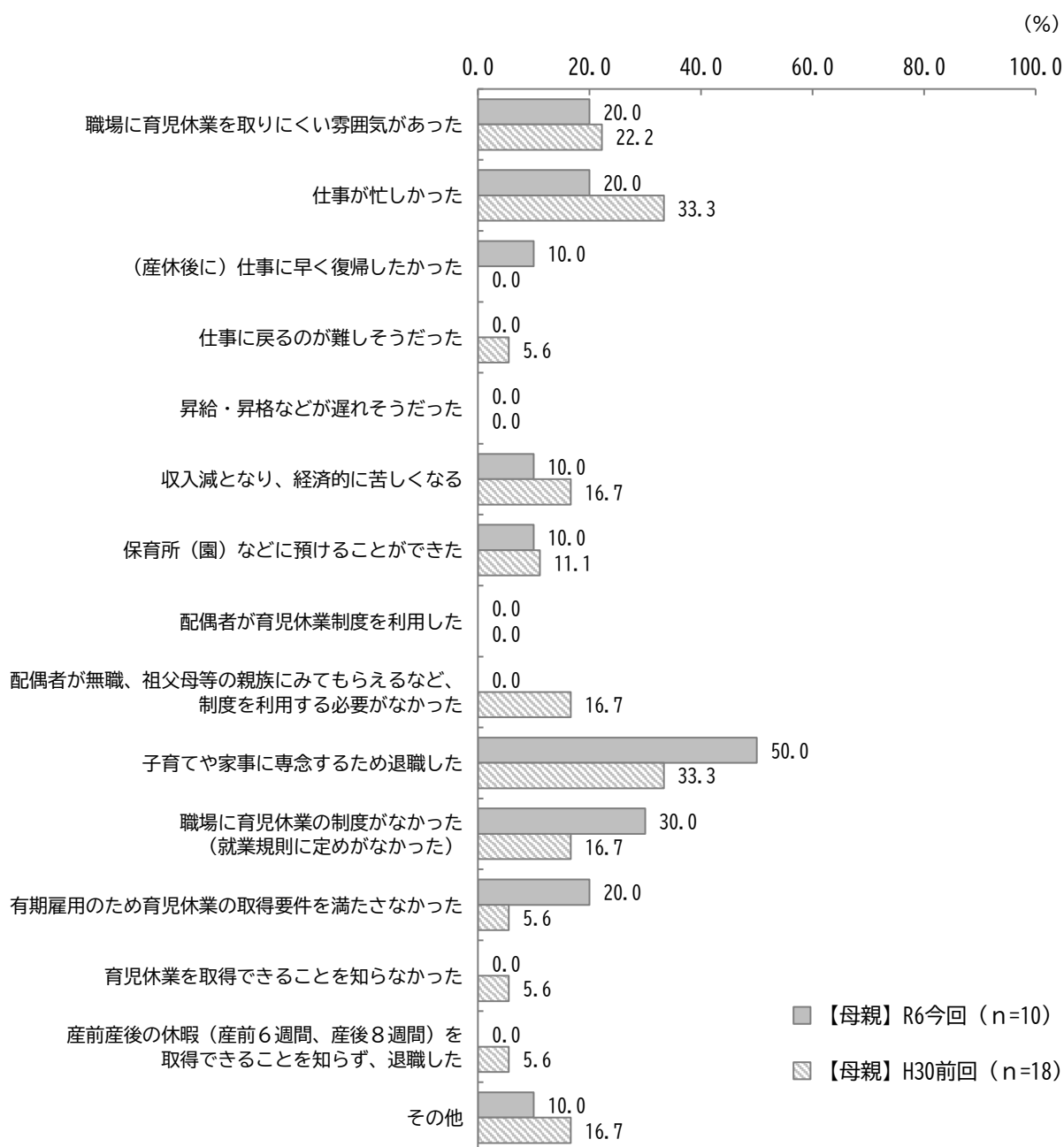
父親では「取得していない」が80.0%と最も高く、次いで「取得した(取得中である)」が5.6%となっています。前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



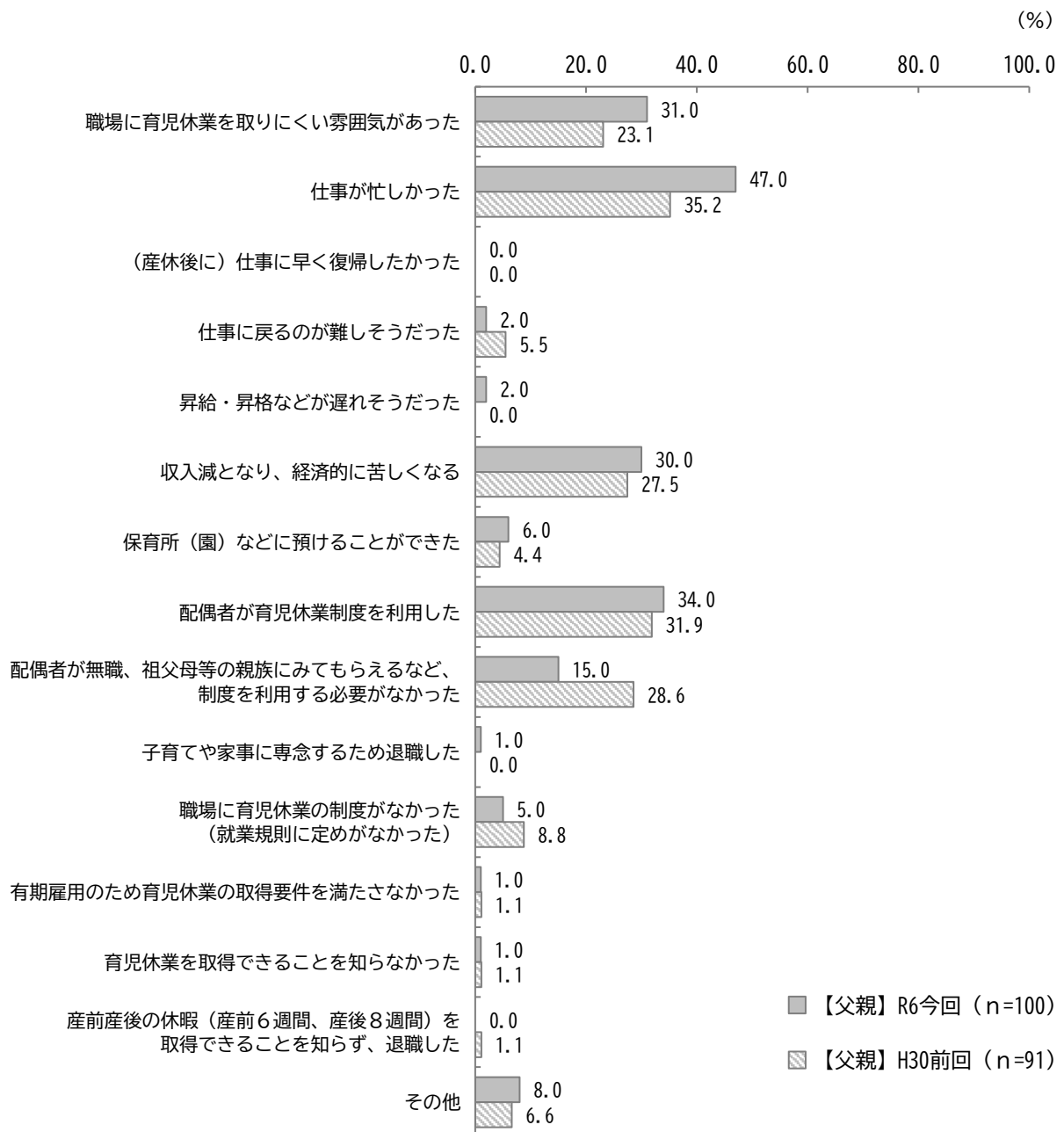
※問 29 で「3.取得していない」に○をつけた方に伺います

問29-1 取得していない理由は何ですか。「母親」「父親」欄のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が 50.0%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が 30.0%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」がいずれも 20.0%となっています。前回調査と比較すると、「(産休後に)仕事に早く復帰したかった」「子育てや家事に専念するため退職した」「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」の割合が増加し、「仕事が忙しかった」「仕事に戻るのが難しそうだった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」「育児休業を取得できることを知らなかった」「産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した」「その他」の割合が減少しています。

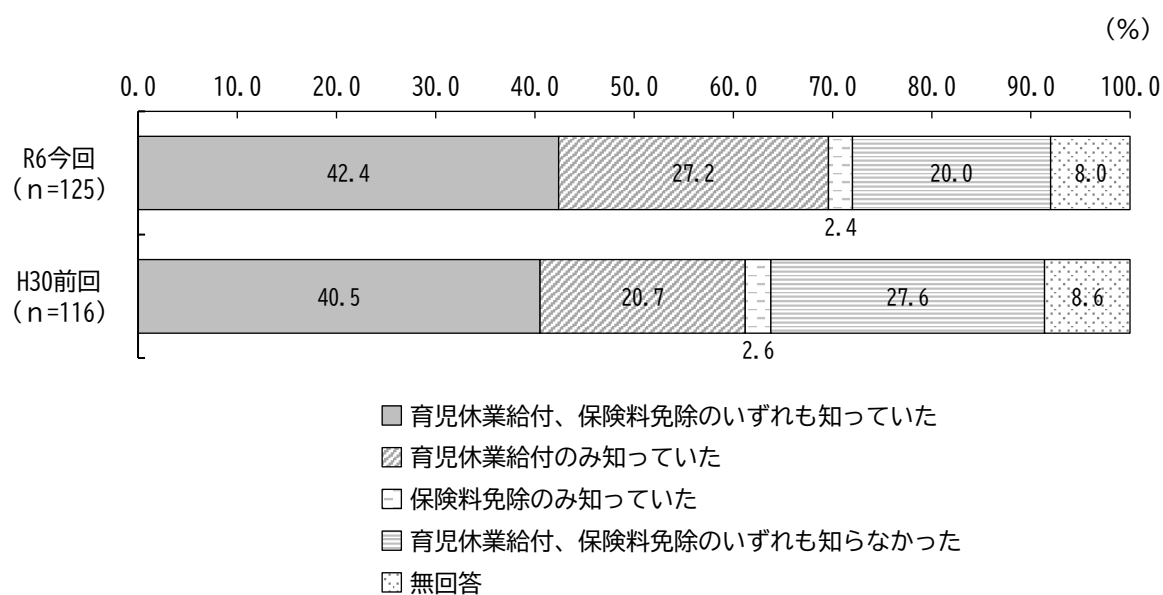


父親では「仕事が忙しかった」が 47.0%と最も高く、次いで「配偶者が育児休業制度を利用した」が 34.0%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 31.0%となっています。前回調査と比較すると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」の割合が増加し、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が減少しています。



問29-2 子どもが原則1歳(一定の要件を満たす場合は1歳6月)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が42.4%と最も高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」が27.2%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が20.0%となっています。前回調査と比較すると、「育児休業給付のみ知っていた」の割合が増加し、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が減少しています。

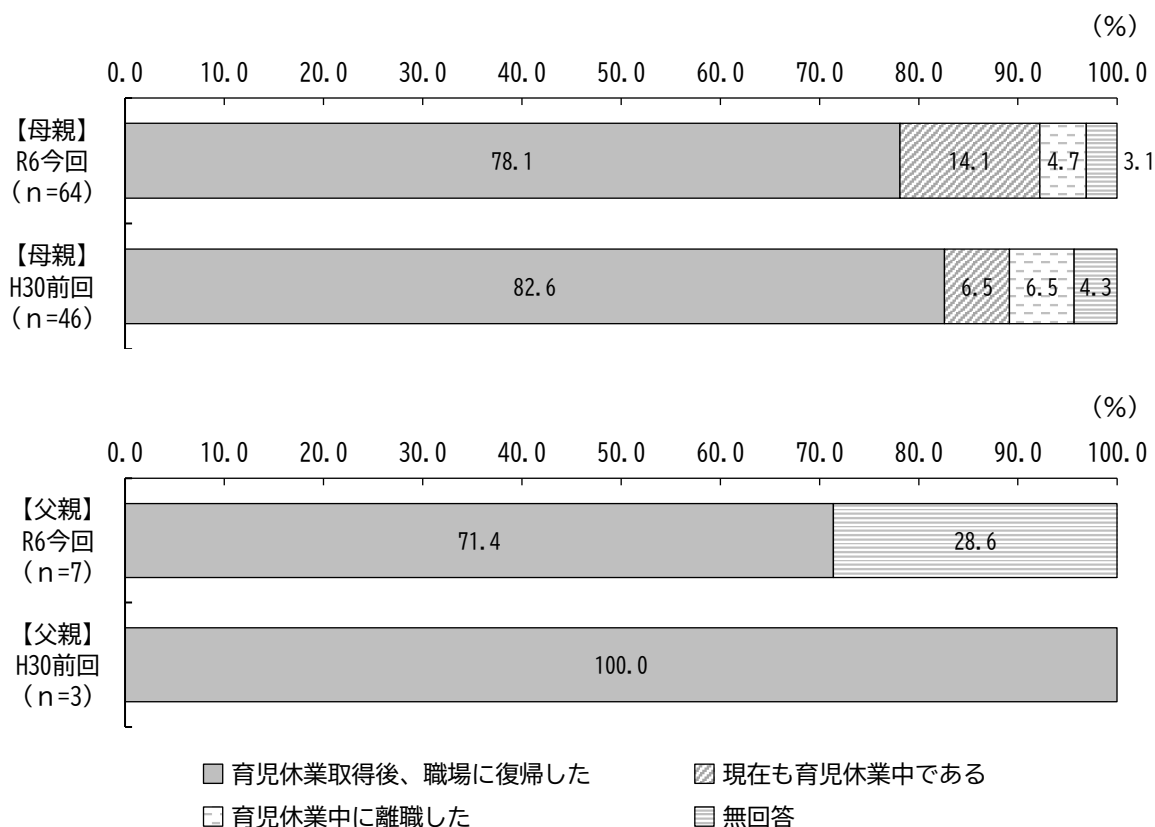


※問 29 で「2.取得した(取得中である)」と回答した方にうかがいます

問29-3 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。母親・父親それぞれ、当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が 78.1%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」が 14.1%、「育児休業中に離職した」が 4.7%となっています。前回調査と比較すると、「現在も育児休業中である」の割合が増加しています。

父親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が 71.4%と最も高くなっています。前回調査と比較すると、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が減少しています。

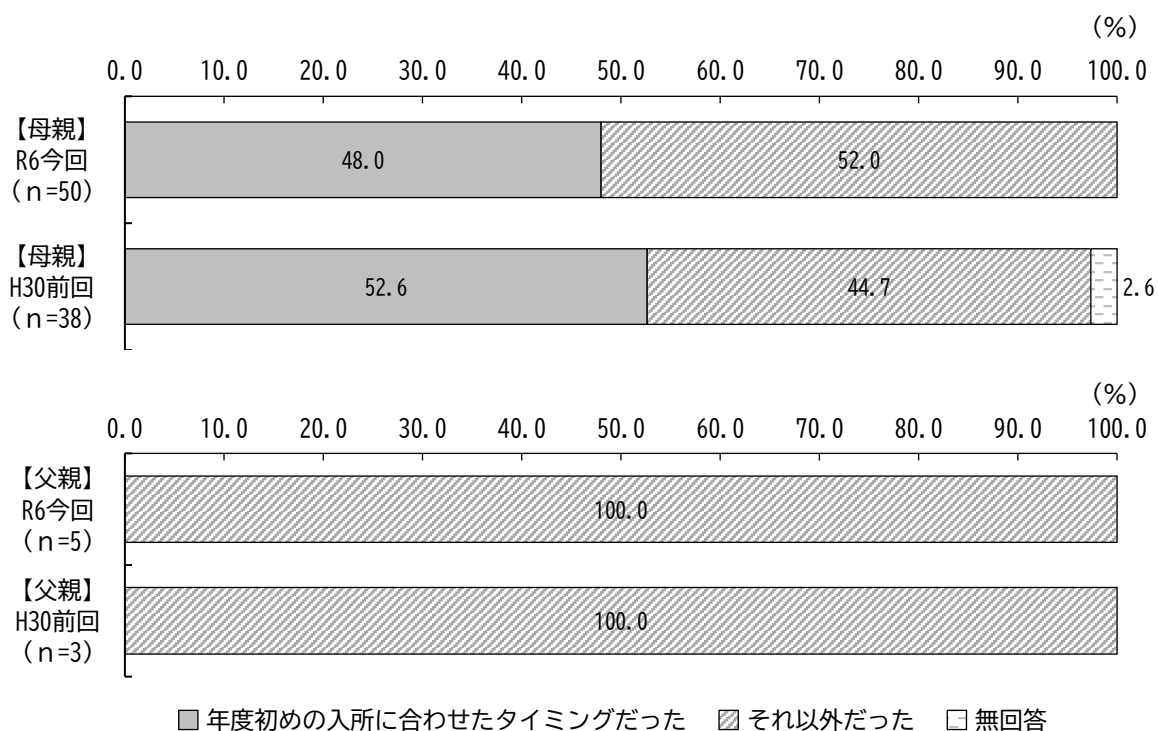


※問 29-3で「1.育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます

問29-4 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。母親・父親それぞれ、当てはまる番号1つに○をつけてください。

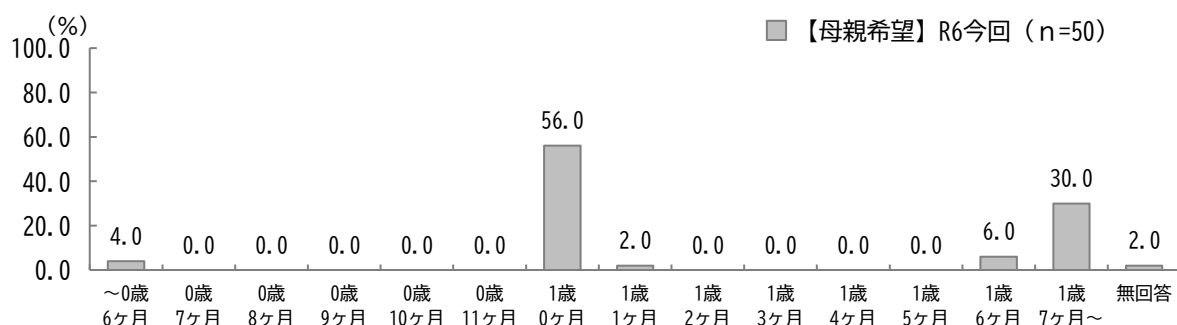
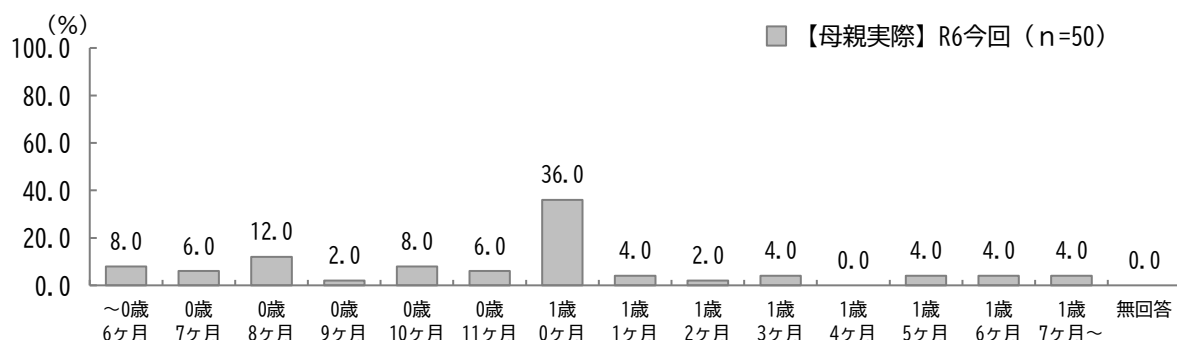
母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 48.0%、「それ以外だった」が 52.0%となっています。前回調査と比較すると、「それ以外だった」の割合が増加しています。

父親では「それ以外だった」が 100.0%となっています。

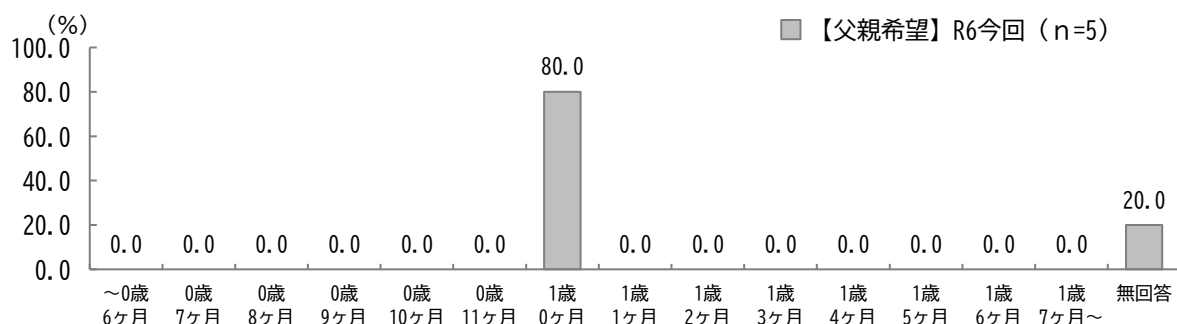
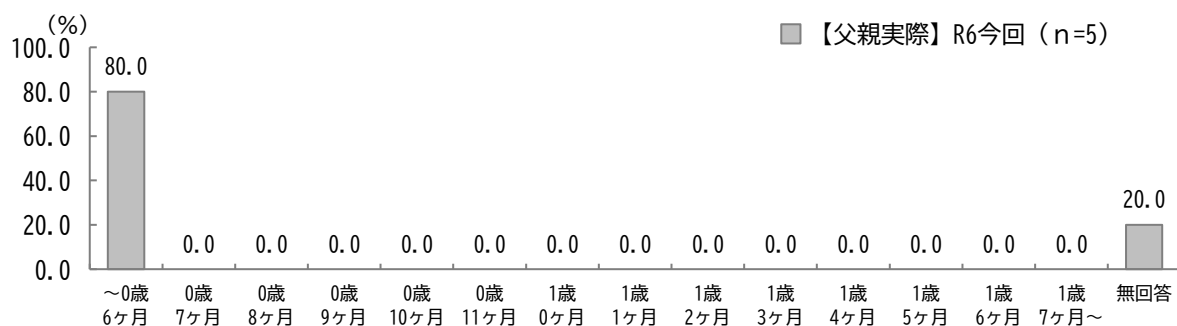


問29-5 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。母親・父親それぞれ数字でご記入ください。

母親の育児休業の実際の取得期間では「1歳0ヶ月」が36.0%と最も高く、次いで「～0歳8ヶ月」が12.0%、「～0歳」「0歳10ヶ月」がともに8.0%となっています。希望の取得期間では「1歳0ヶ月」が56.0%と最も高く、次いで「1歳7ヶ月」が30.0%、「1歳6ヶ月」が6.0%となっています。



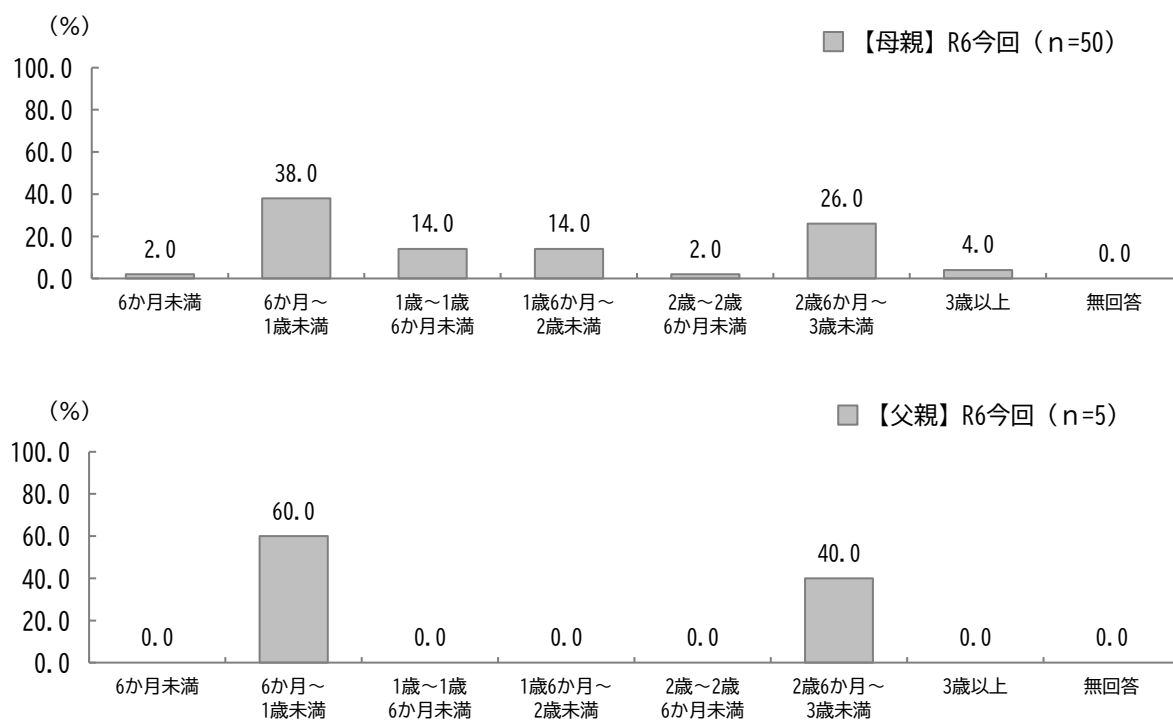
父親の育児休業の実際の取得期間では「～0歳6ヶ月」が80.0%と最も高くなっています。希望の取得期間では「1歳0ヶ月」が80.0%と最も高くなっています。



問29-6 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。母親・父親それぞれ数字でご記入ください。

母親では「6 か月～1 歳未満」が 38.0%と最も高く、次いで「2 歳 6 か月～3 歳未満」が 26.0%、「1 歳～1 歳 6 か月未満」「1 歳 6 か月～2歳未満」がともに 14.0%となっています。

父親では「6 か月～1 歳未満」が 60.0%と最も高く、次いで「2 歳 6 か月～3 歳未満」が 40.0%となっています。



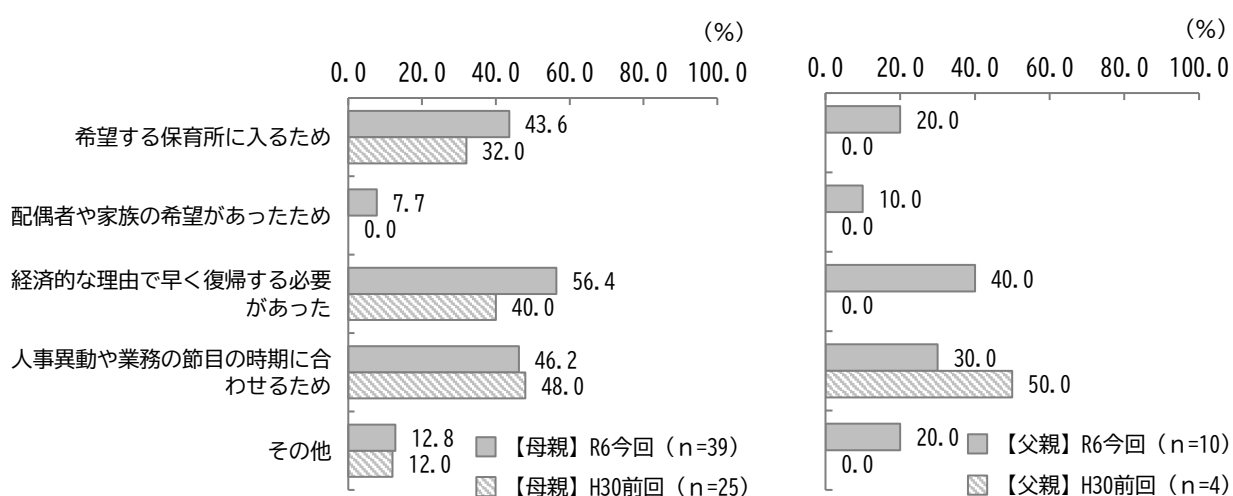
※問 29-5で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます

問29-7 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。母親・父親それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1)希望より早く復帰した方

母親では「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が56.4%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が46.2%、「希望する保育所に入るため」が43.6%となっています。前回調査と比較すると、「希望する保育所に入るため」「配偶者や家族の希望があったため」「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が増加しています。

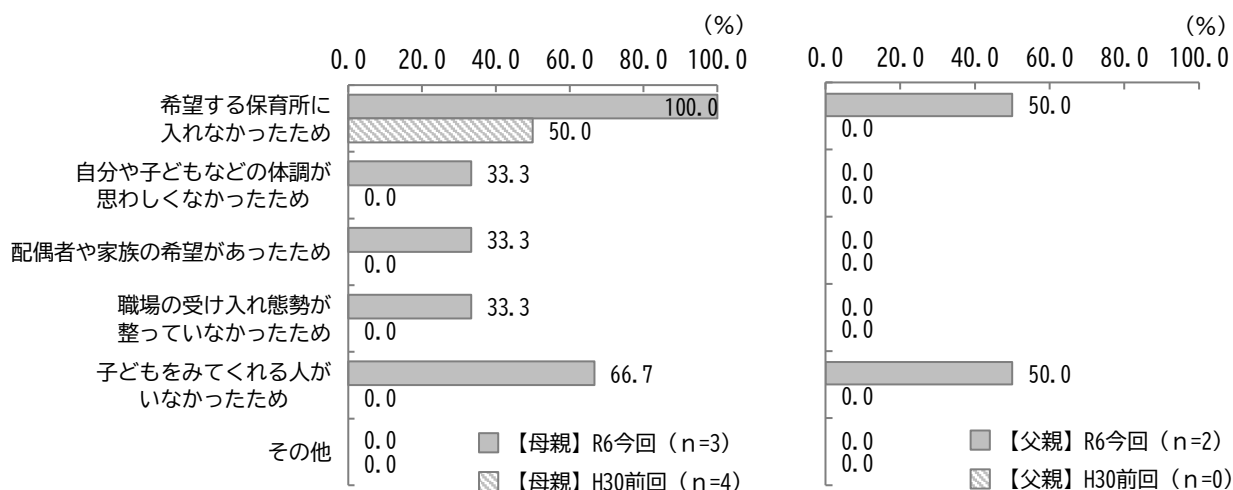
父親では「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が40.0%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が30.0%、「希望する保育所に入るため」「その他」がともに20.0%となっています。



(2)希望より遅く復帰した方

母親では「希望する保育所に入れなかったため」が100.0%と最も高く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」が66.7%、「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」「配偶者や家族の希望があったため」「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」がいずれも33.3%となっています。

父親では「希望する保育所に入れなかったため」「子どもをみてくれる人がいなかったため」がともに50.0%と最も高くなっています。



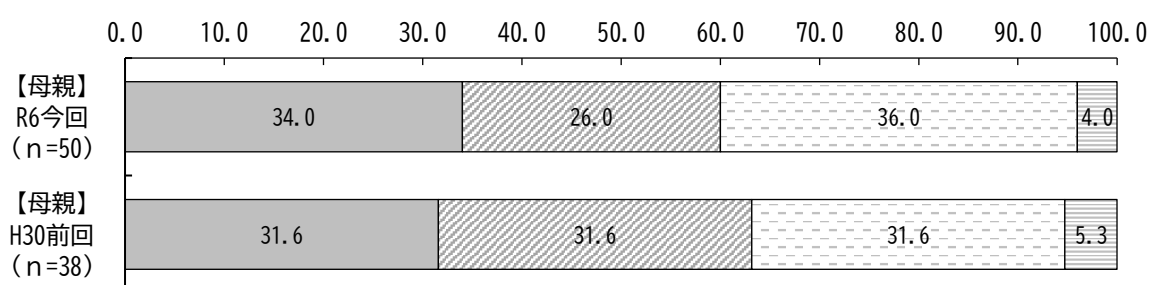
※問 29-3で「1.育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます

問29-8 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。母親・父親それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

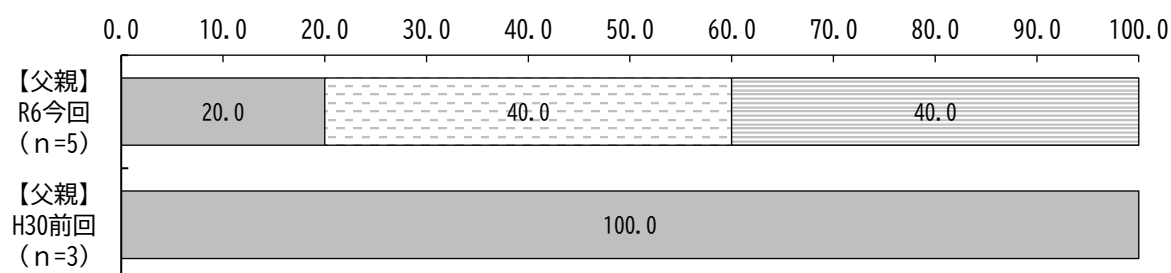
母親では「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が36.0%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が34.0%、「利用した」が26.0%となっています。前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。

父親では「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が40.0%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が20.0%となっています。前回調査と比較すると、「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」の割合が増加し、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」の割合が減少しています。

(%)



(%)

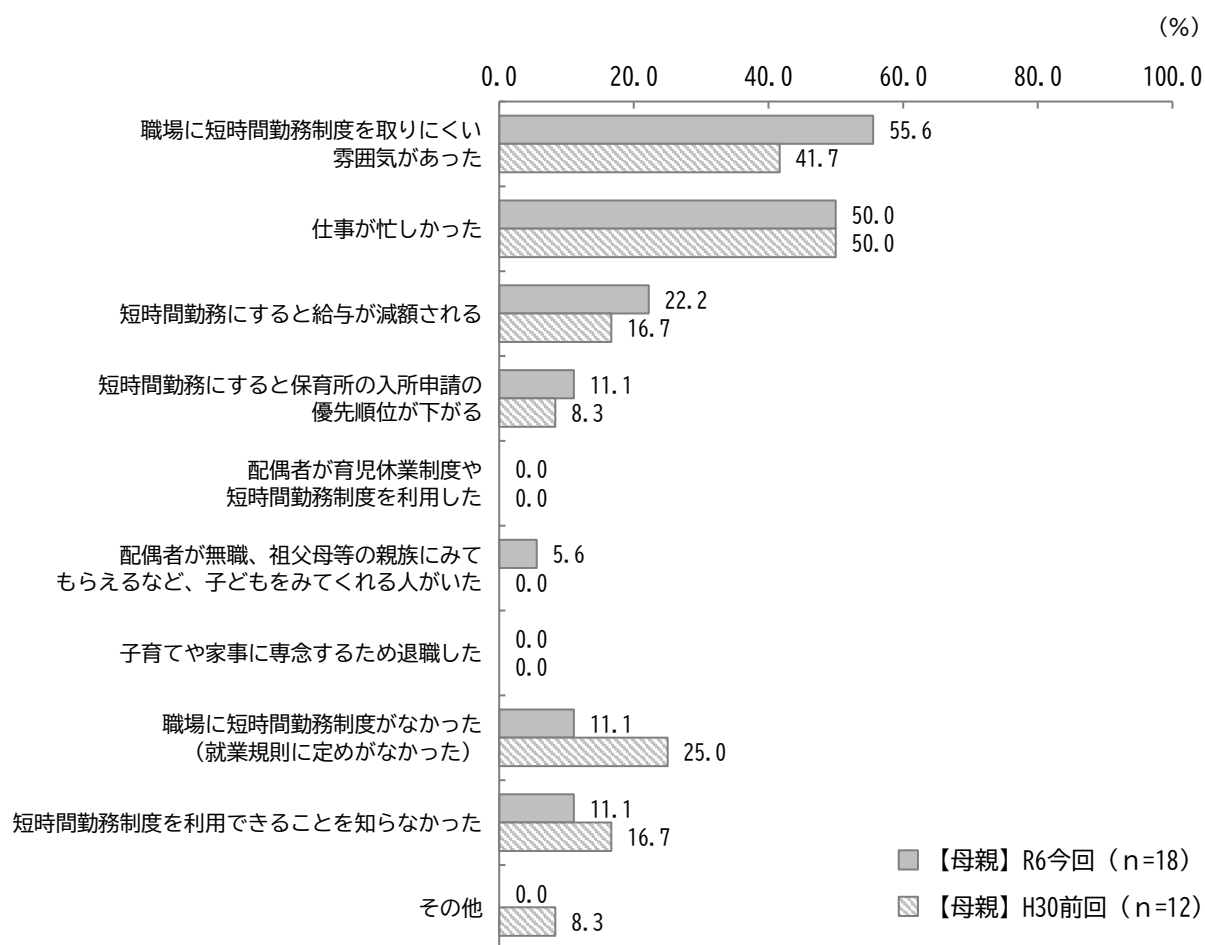


- 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
- ▨ 利用した
- 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)
- 無回答

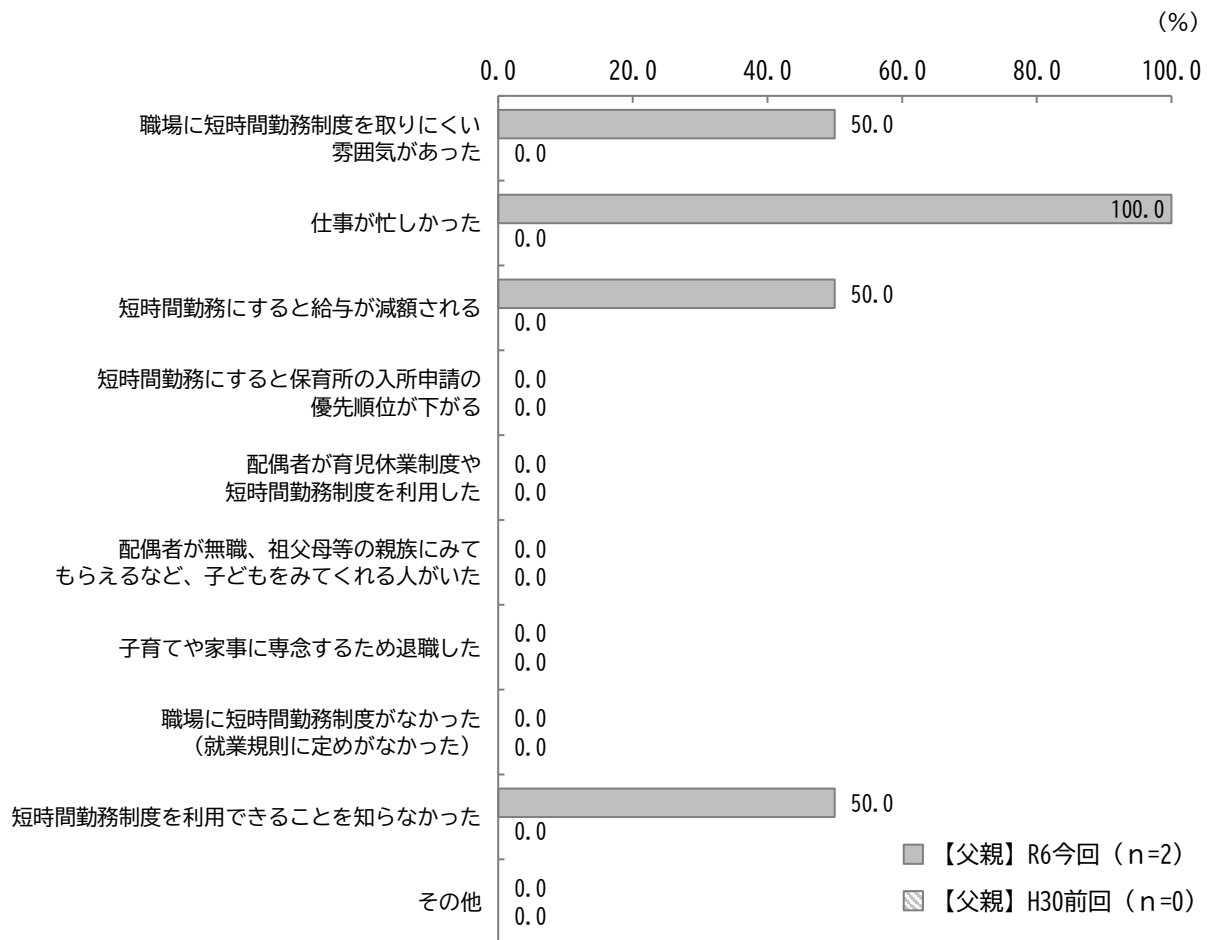
※問 29-8で「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方にうかがいます

問29－9 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。母親・父親それぞれ当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

母親では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 55.6%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が 50.0%、「短時間勤務にすると給与が減額される」が 22.2%となっています。前回調査と比較すると、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」「短時間勤務にすると給与が減額される」「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた」の割合が増加し、「職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」「短時間勤務制度を利用できることを知らなかった」の割合が減少しています。



父親では「仕事が忙しかった」が 100.0%と最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」「短時間勤務にすると給与が減額される」「短時間勤務制度を利用できることを知らなかった」がいずれも 50.0%なっています。

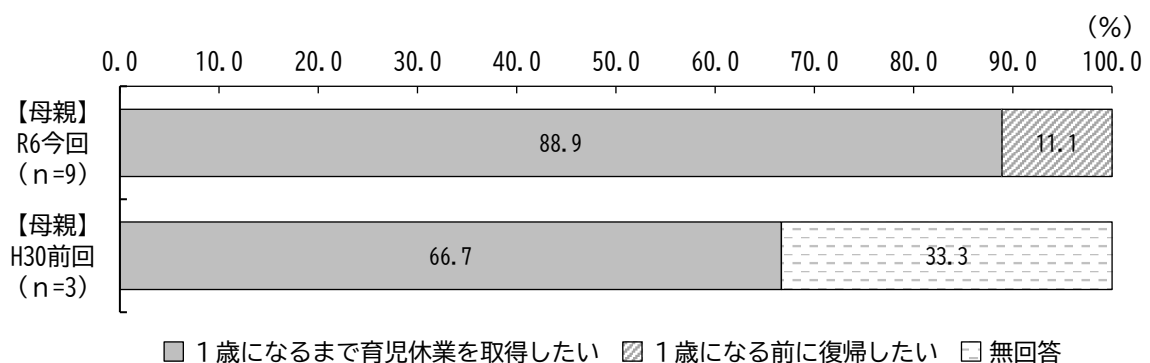


※問 29-3で「2.現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます

問29-10 お子さんが 1 歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1 歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても 1 歳になる前に復帰しますか。母親・父親それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が 88.9%、「1歳になる前に復帰したい」が 11.1%となっています。前回調査と比較すると、どちらの項目も増加しています。

父親では該当者がありませんでした。

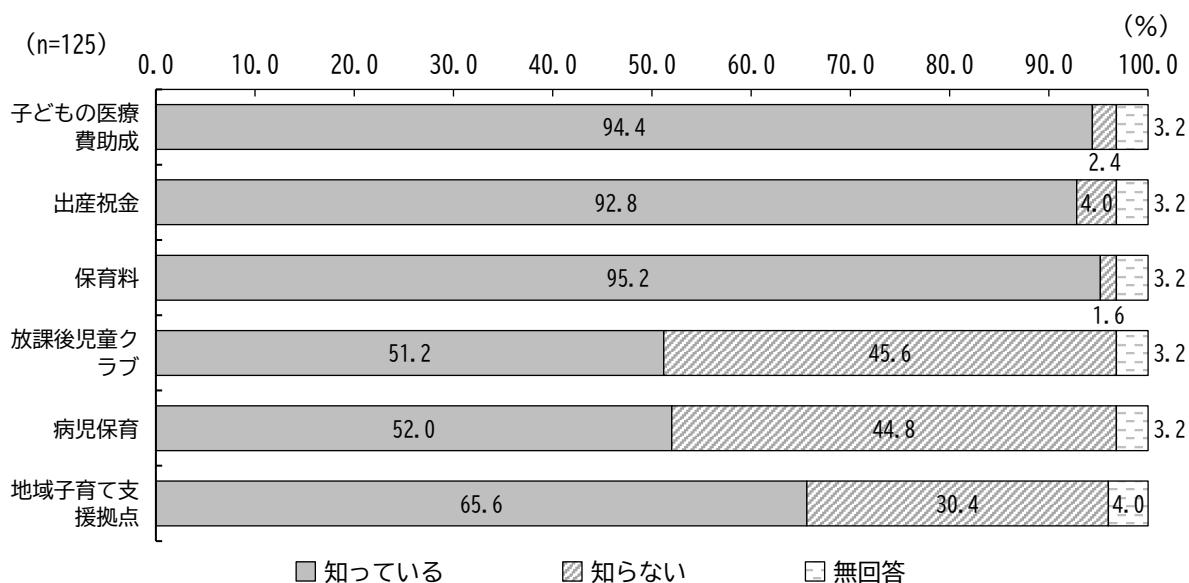


天城町の子育ての環境や支援について

問30 下記の天城町独自の子育て支援事業を知っていますか。また、知っている場合充実していると思いますか。①～⑥の事業について「認知度」、「充実度」ごとに該当する番号に○をつけてください。

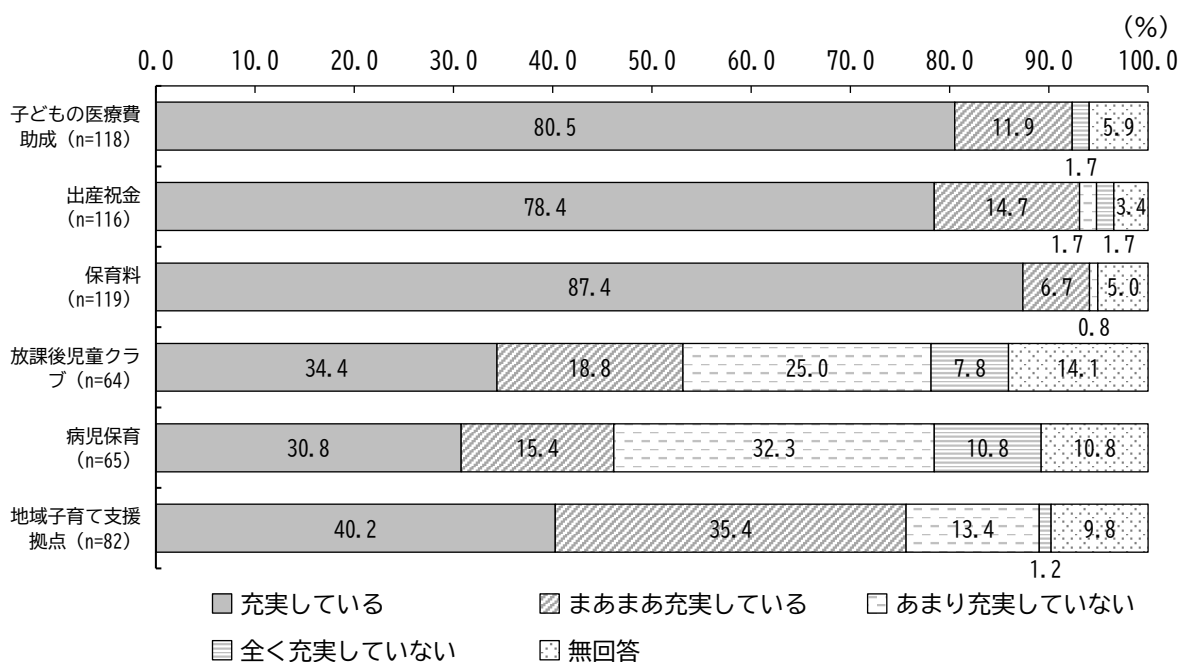
【認知度】

「知っている」の割合が「子どもの医療費助成」「出産祝金」「保育料」では9割台、「地域子育て支援拠点」では8割台となっているものの、「放課後児童クラブ」「病児保育」では5割台となり、他の項目に比べて認知度が低くなっています。



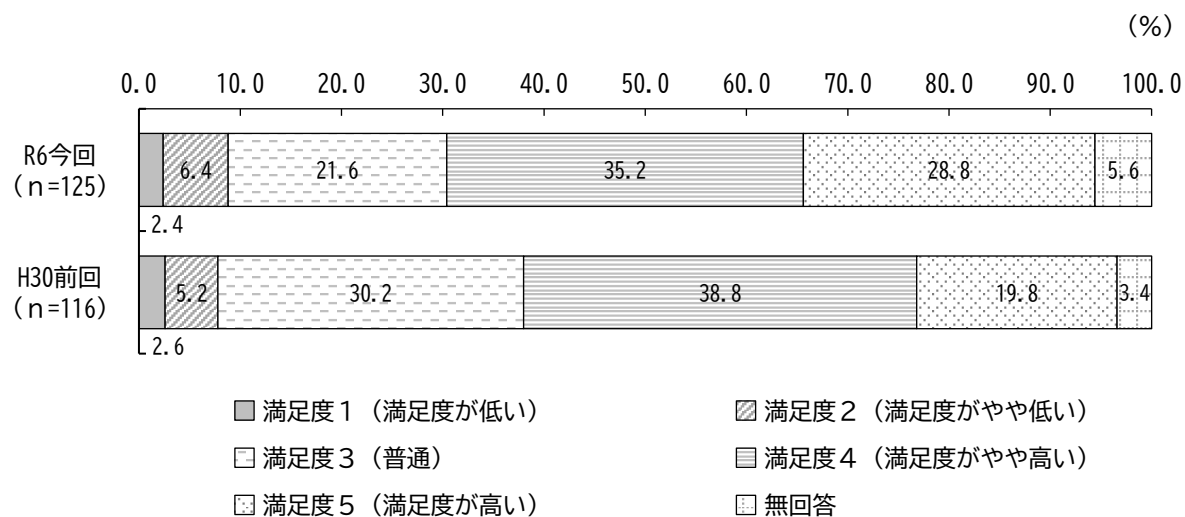
【充実度】

「充実している(充実している+まあまあ充実している)」の割合が「子どもの医療費助成」「出産祝金」「保育料」では9割台、「地域子育て支援拠点」では7割台あるものの、「病児保育」では4割台となり、他の項目に比べて充実度が低くなっています。



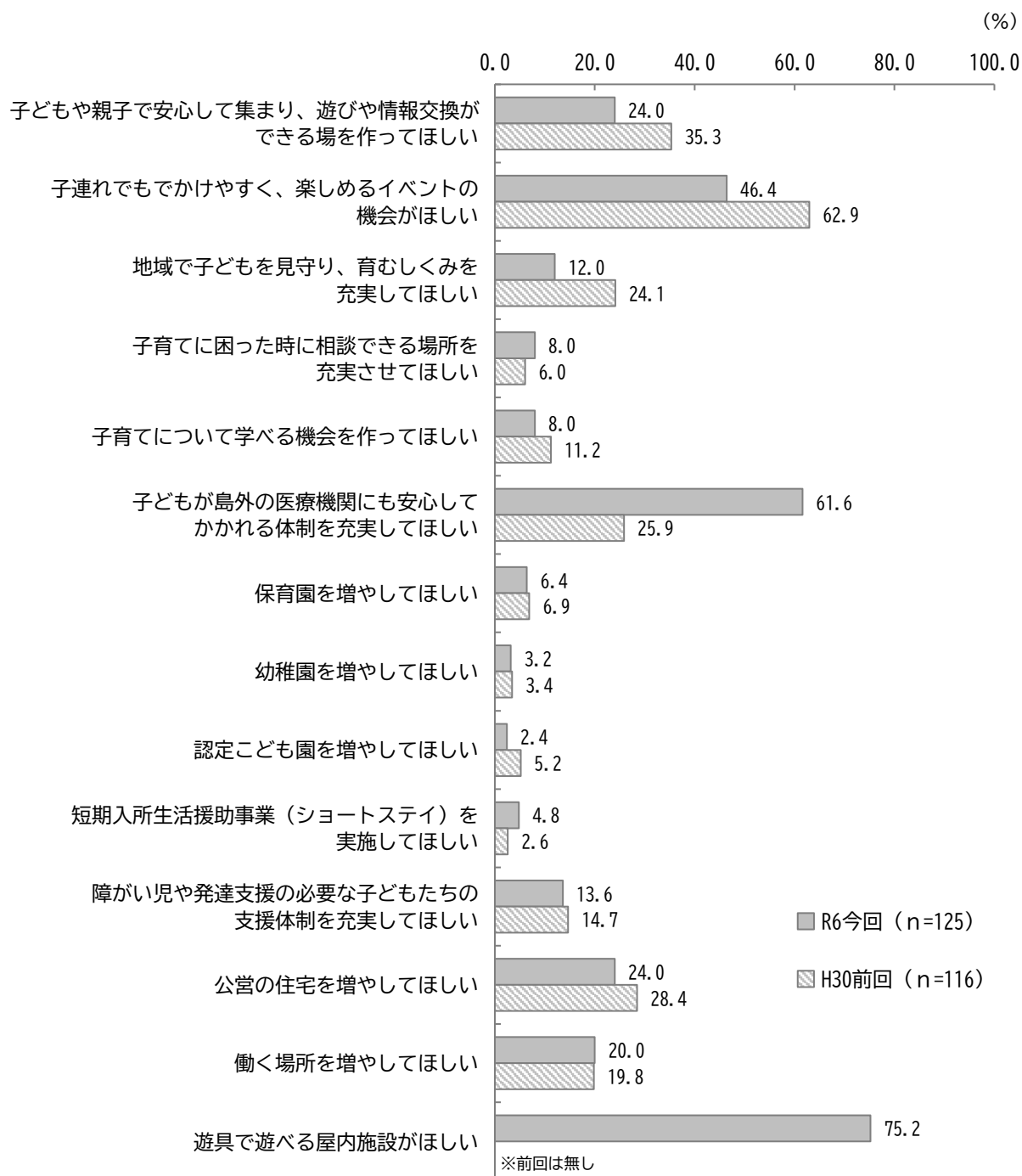
問31 天城町の子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

「満足度4(満足度がやや高い)」が35.2%と最も高く、次いで「満足度5(満足度が高い)」が28.8%、「満足度3(普通)」が21.6%となっています。前回調査と比較すると、「満足度5(満足度が高い)」の割合が増加し、「満足度3(普通)」の割合が減少しています。



問32 天城町に今後どのような子育て支援の充実を図ってほしいですか。当てはまる番号に3つだけ○をつけてください。

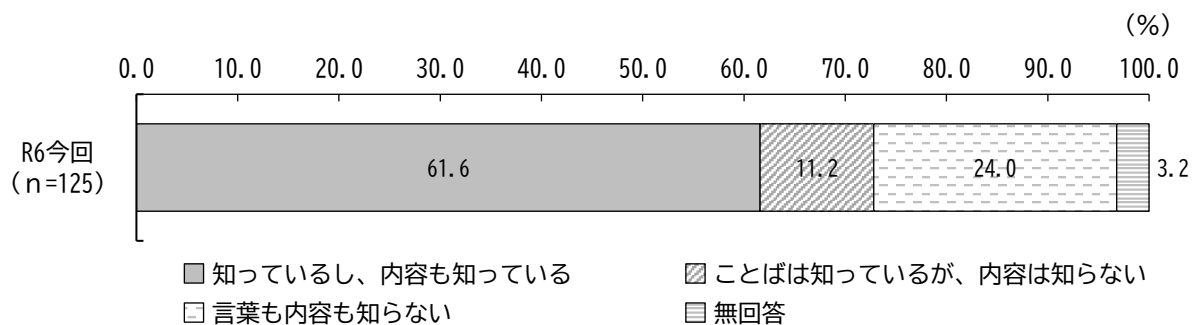
「遊具で遊べる屋内施設がほしい」が 75.2%と最も高く、次いで、「子どもが島外の医療機関にも安心してかかる体制を充実してほしい」が 61.6%、「子連れでもでかけやすく、楽しめるイベントの機会がほしい」が 46.4%となっています。前回調査と比較すると、「子どもが島外の医療機関にも安心してかかる体制を充実してほしい」の割合が増加し、「子どもや親子で安心して集まり、遊びや情報交換ができる場を作してほしい」「子連れでもでかけやすく、楽しめるイベントの機会がほしい」「地域で子どもを見守り、育むしぐみを充実してほしい」の割合が減少しています。



ヤングケアラーについて

問33 「ヤングケアラー」ということばを知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

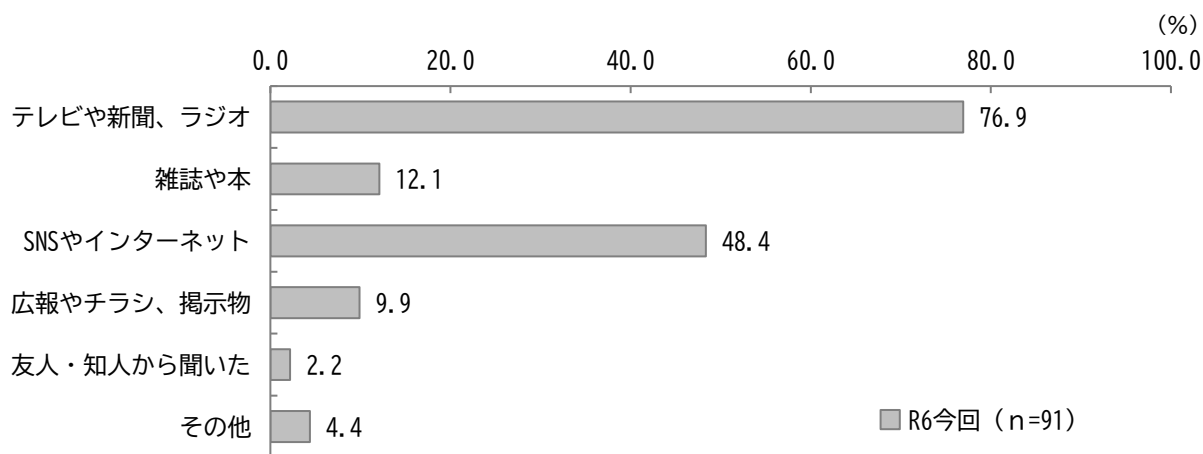
「知っているし、内容も知っている」が 61.6%と最も高く、次いで「言葉も内容も知らない」が 24.0%、「ことばは知っているが、内容は知らない」が 11.2%となっています。



※問33で「1」「2」(ことばを知っている)に○をつけた方におたずねします

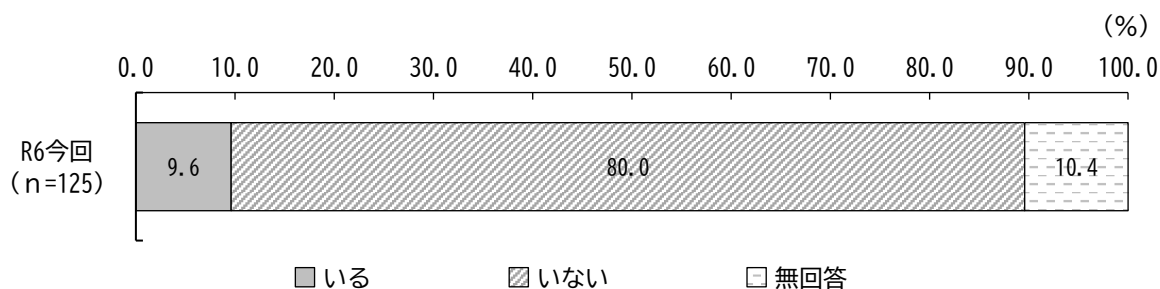
問33-1 「ヤングケアラー」ということばをどこで知りましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「テレビや新聞、ラジオ」が 76.9%と最も高く、次いで「SNS やインターネット」が 48.4%、「雑誌や本」が 12.1%となっています。



問34 現在、あなたの周囲のこどもの中で、「ヤングケアラーに該当する」と感じるこどもはいませんか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いる」が 9.6%、「いない」が 80.0%となっています。

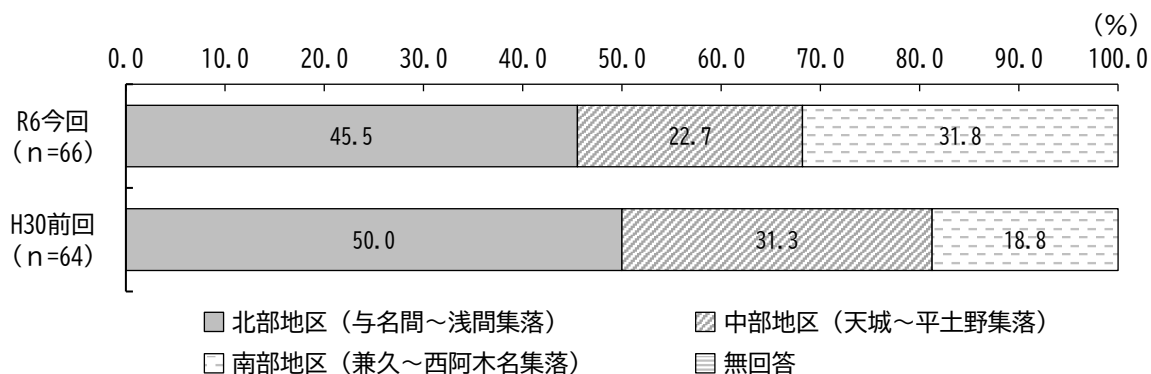


Ⅲ 調査結果【小学生調査(保護者)】

お住まいの地区について

問1 お住まいの地区について当てはまる答えの番号 1 つに○をつけてください。

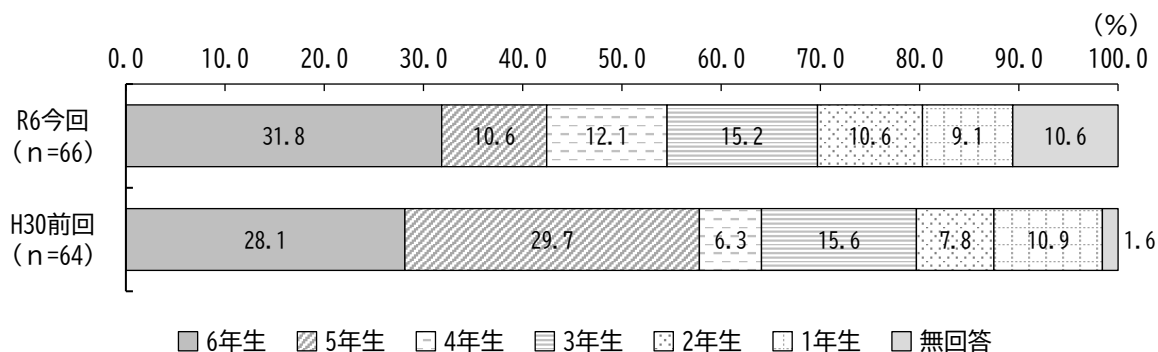
「北部地区(与名間～浅間集落)」が 45.5%と最も高く、次いで「南部地区(兼久～西阿木名集落)」が 31.8%、「中部地区(天城～平土野集落)」が 22.7%となっています。



お子さんご家族の状況について

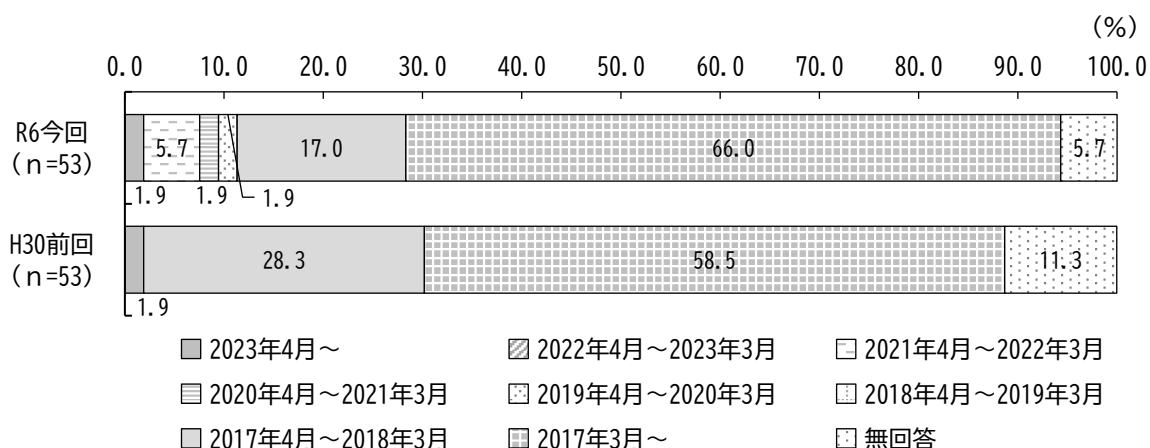
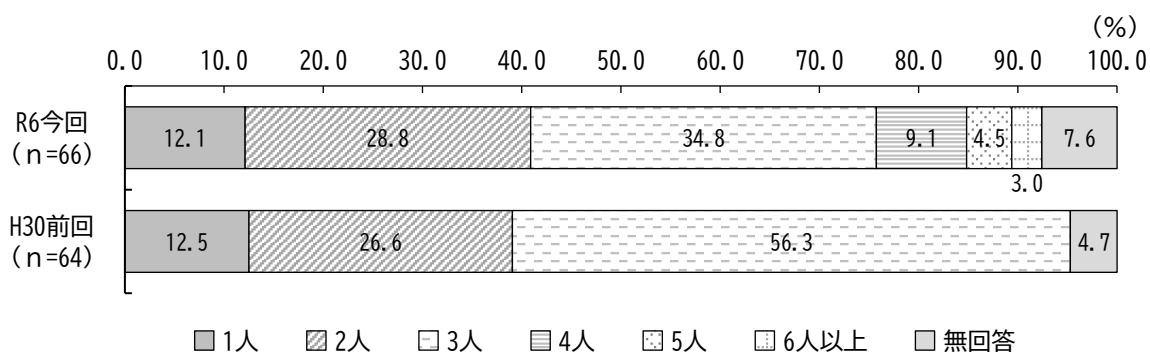
問2 小学校のお子さんのうち最年長のお子さんの生年(西暦)月をご記入ください。

「6年生」が 31.8%と最も高く、次いで「3年生」が 15.2%、「4年生」が 12.1%となっています。



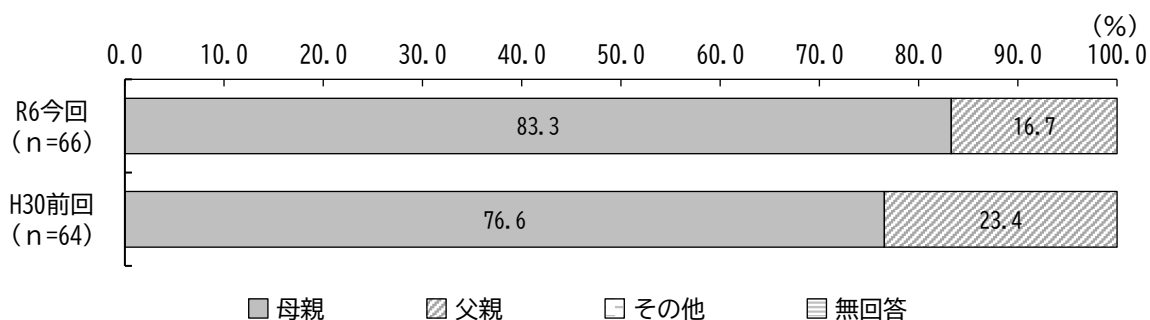
問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、最年少の方の生年(西暦)月をご記入ください。

きょうだいは、「3人」が34.8%と最も高く、次いで「2人」が28.8%、「1人」が12.1%となっています。最年少の方の生年(西暦)月は、「2017年3月～」が66.0%と最も高く、次いで「2017年4月～2018年3月」が17.0%、「2021年4月～2022年3月」が5.7%となっています。



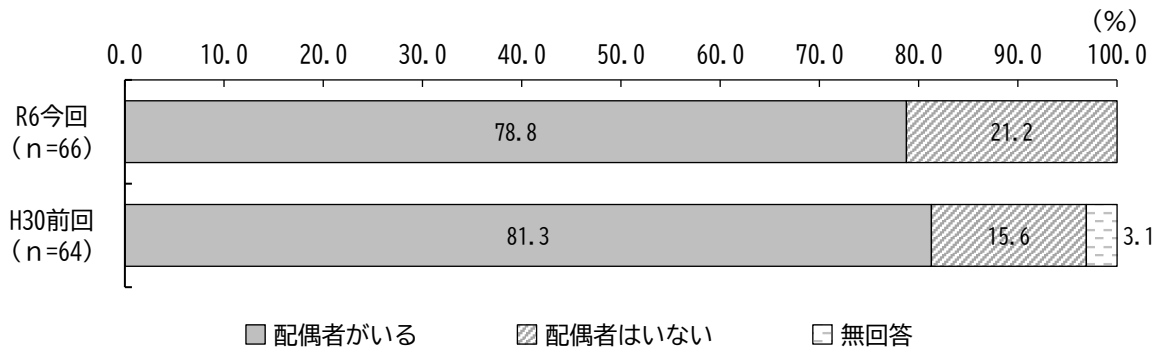
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」が83.3%と最も高く、次いで「父親」が16.7%となっています。前回調査と比較すると、「母親」の割合が増加し、「父親」の割合が減少しています。



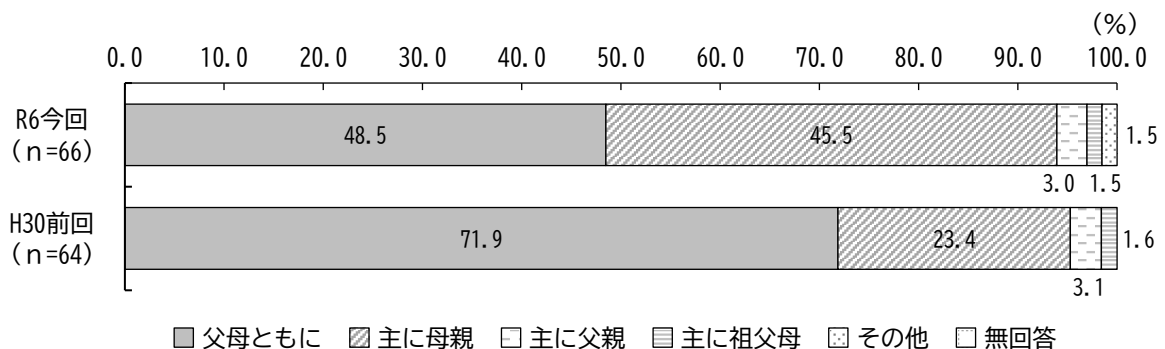
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「配偶者がいる」が 78.8%、「配偶者はいない」が 21.2%となっています。前回調査と比較すると、「配偶者はいない」の割合が増加しています。



問6 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係で当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

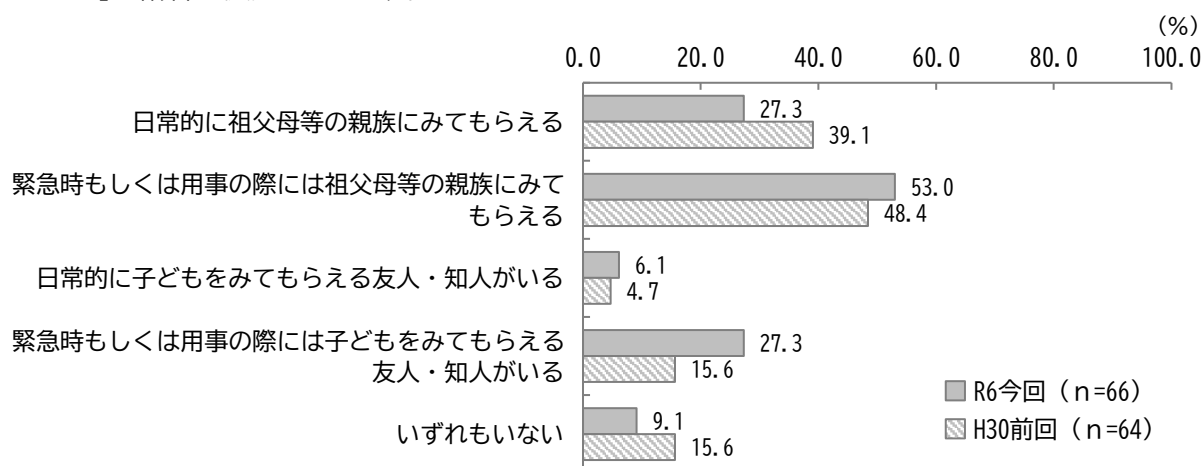
「父母ともに」が 48.5%と最も高く、次いで「主に母親」が 45.5%、「主に父親」が 3.0%となっています。前回調査と比較すると、「主に母親」の割合が増加し、「父母ともに」の割合が減少しています。



子どもの育ちをめぐる環境について

問7 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

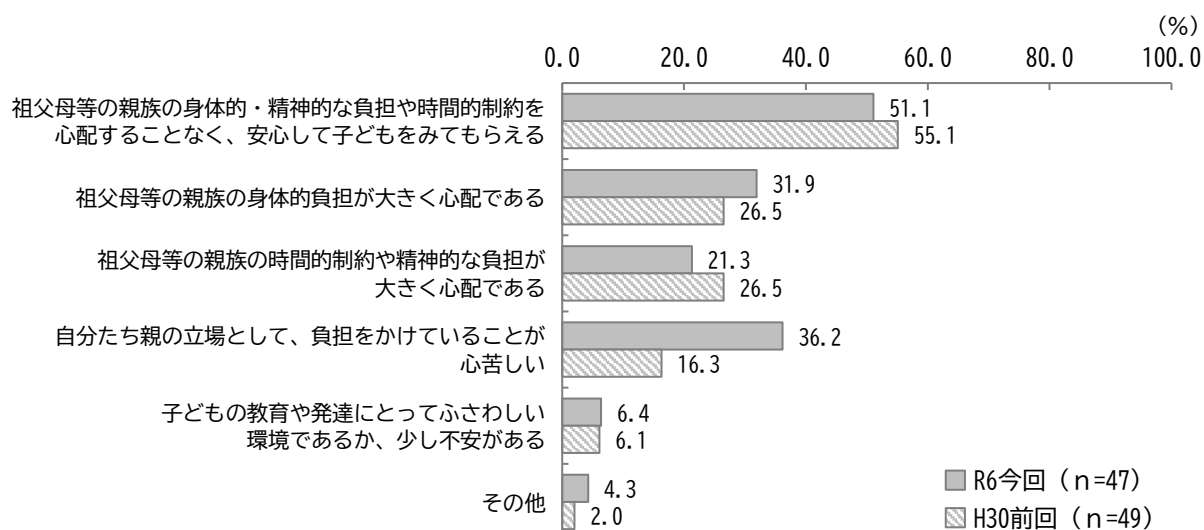
「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 53.0%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」がともに 27.3%、「いずれもない」が 9.1%となっています。前回調査と比較すると、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が増加し、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が減少しています。



※問7で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます

問7-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

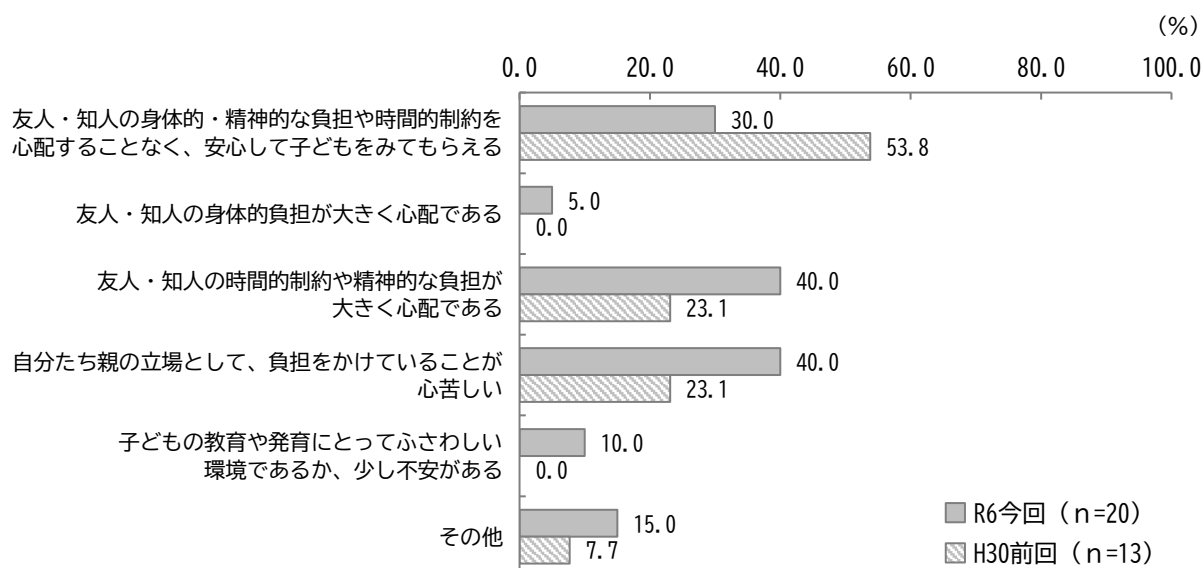
「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 51.1%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 36.2%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が 31.9%となっています。前回調査と比較すると、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が増加し、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が減少しています。



※問7で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます

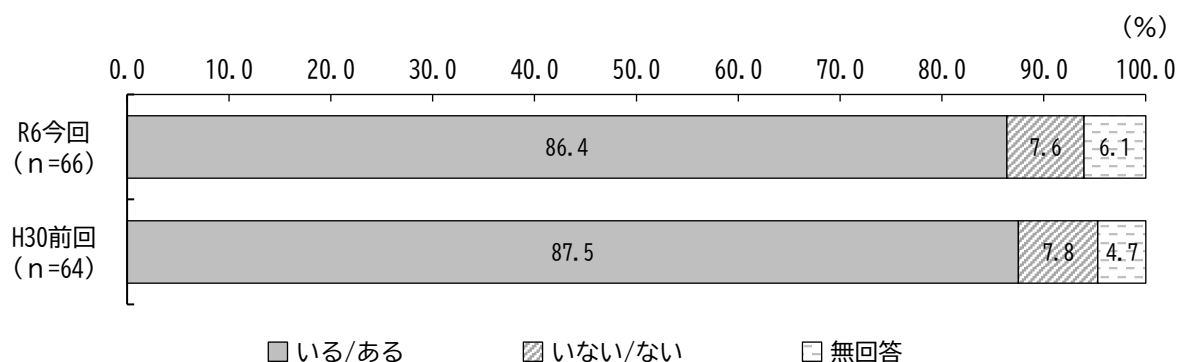
問7-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」がともに 40.0%と最も高く、次いで「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 30.0%、「その他」が 15.0%となっています。前回調査と比較すると、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」「その他」の割合が増加し、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が減少しています。



問8 お子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

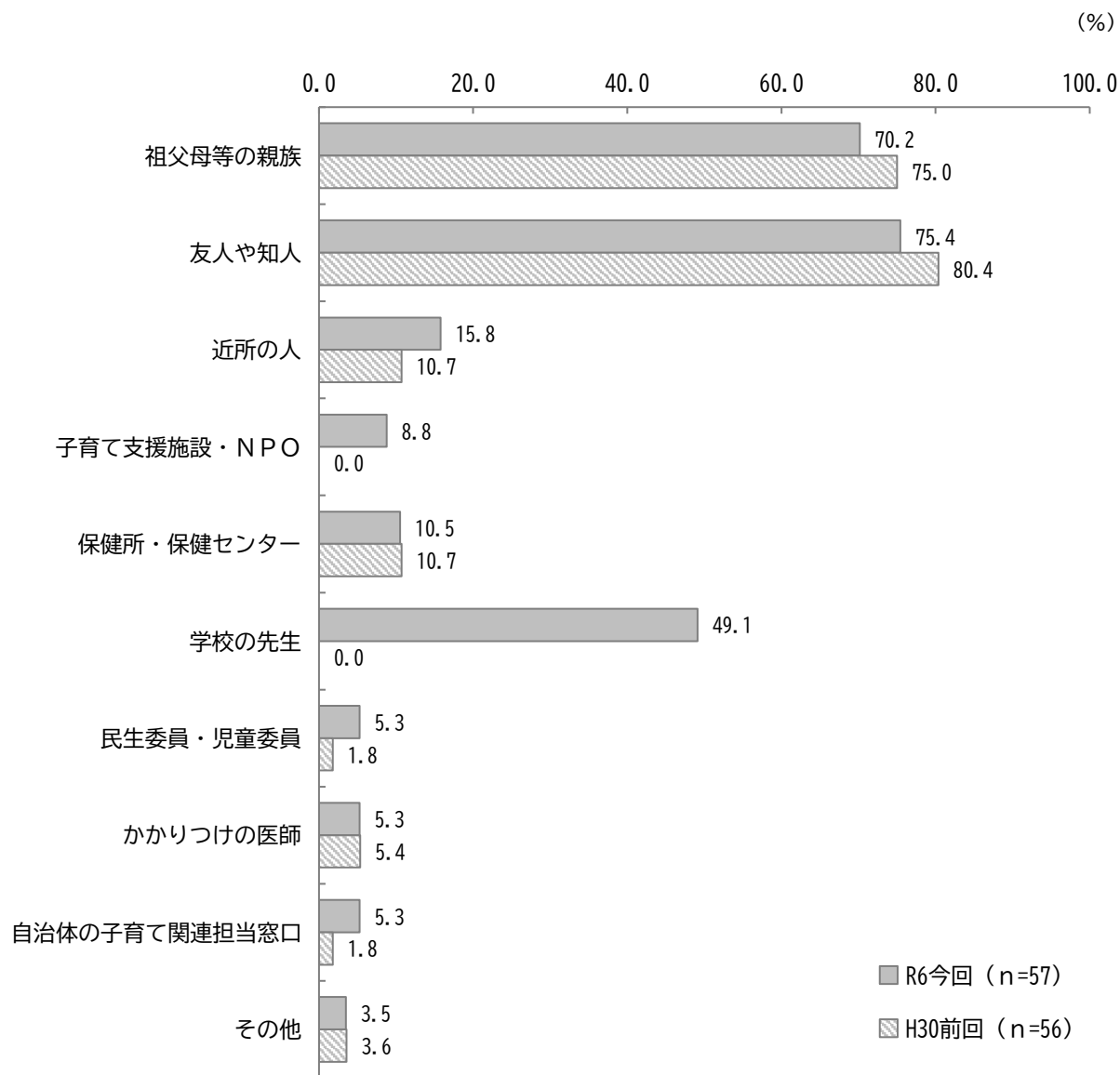
「いる／ある」が 86.4%、「いない／ない」が 7.6%となっています。前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



※問8で「1.いる/ある」に○をつけた方にうかがいます

問8-1 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人や知人」が75.4%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」が70.2%、「学校の先生」が49.1%となっています。

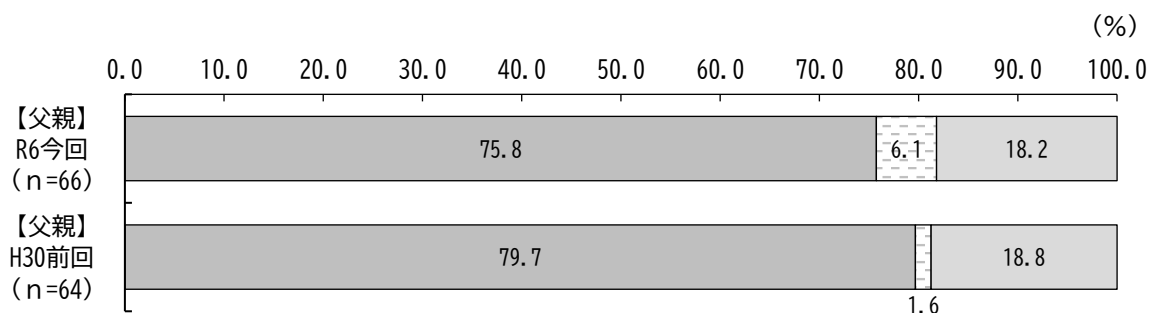
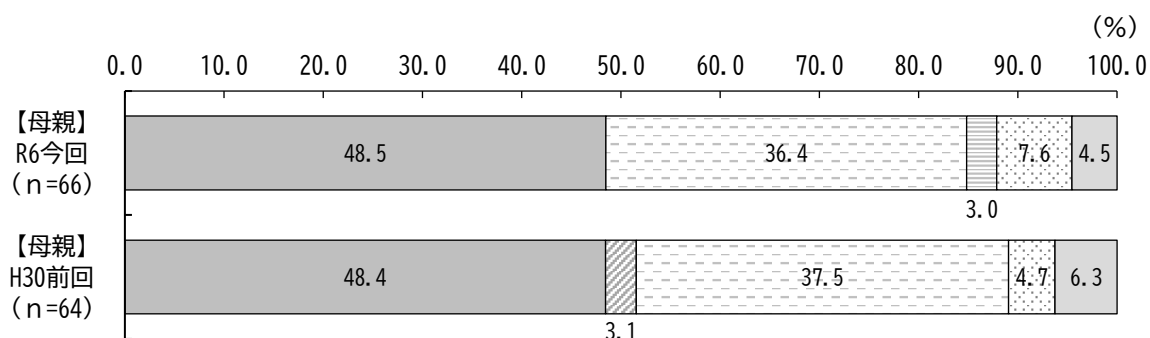


お子さんの保護者の就労状況について

問 10 お子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。母親・父親の就労状況について、母親・父親それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 48.5%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 36.4%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 7.6%となっています。前回調査と比較すると大きな変化は見られません。

父親は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 75.8%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 6.1%となっています。前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。

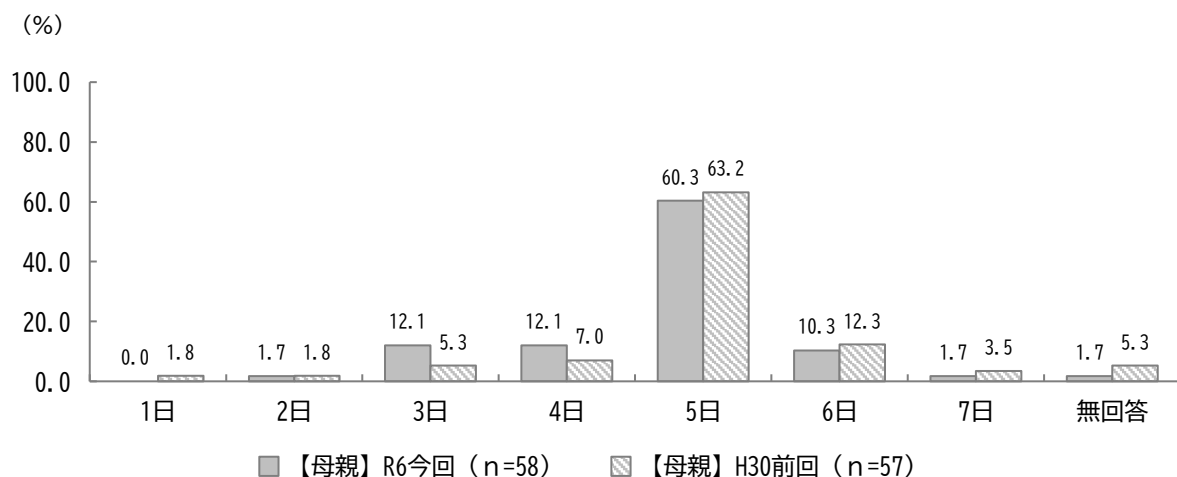


- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▨ フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▤ パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▦ 以前は就労していたが、現在は就労していない
- ░ これまで就労したことがない
- 無回答

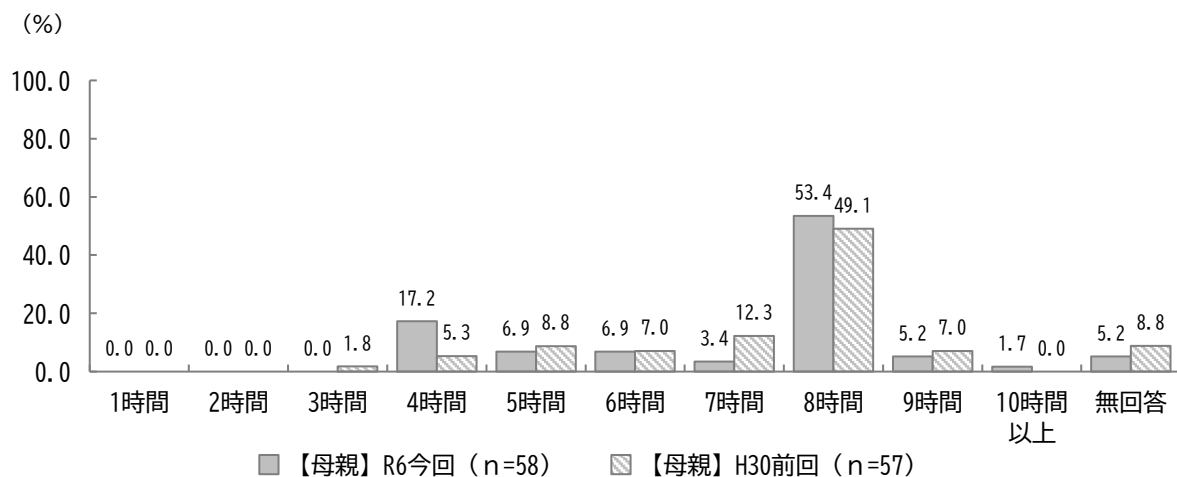
※問 10 で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます

問10-1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。また、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

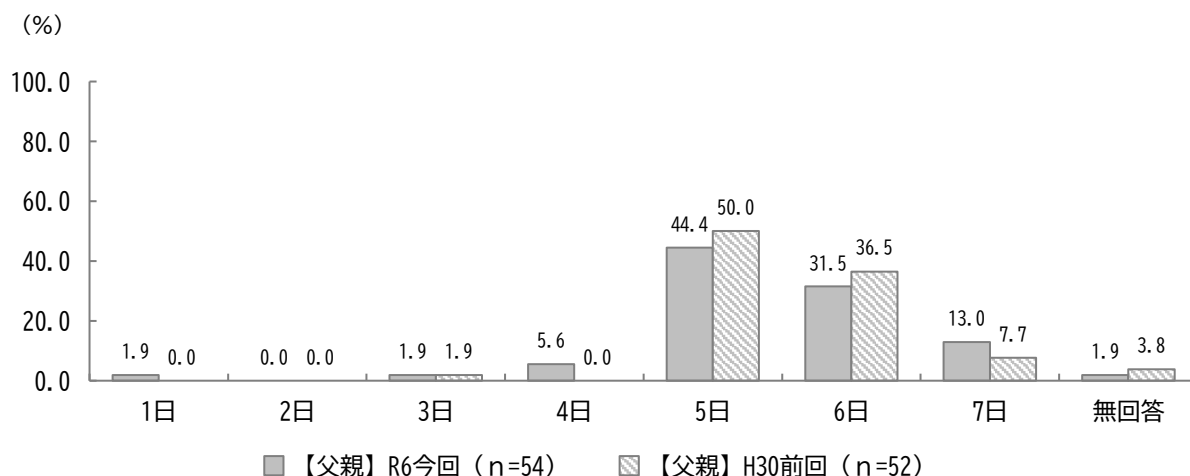
母親の1週当たりの就労日数では、「5日」が 60.3%と最も高く、次いで「3日」「4日」がともに 12.1%、「6日」が 10.3%となっています。前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



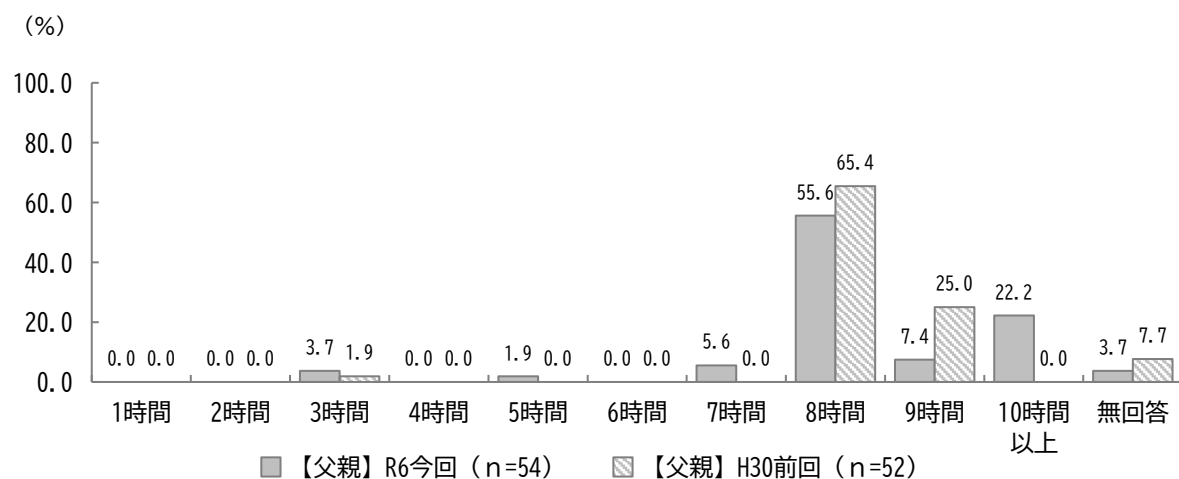
母親の1日当たりの就労時間では、「8時間」が 53.4%と最も高く、次いで「4時間」が 17.2%、「5時間」「6時間」がともに 6.9%となっています。前回調査と比較すると、「4時間」の割合が増加しています。



父親の1週当たりの就労日数では、「5日」が 44.4%と最も高く、次いで「6日」が 31.5%、「7日」が 13.0%となっています。前回調査と比較すると、「5日」「6日」の割合が減少しています。



父親の1日当たりの就労時間では、「8時間」が 55.6%と最も高く、次いで「10 時間以上」が 22.2%、「9時間」が 7.4%となっています。前回調査と比較すると、「8時間」「9時間」の割合が減少しています。

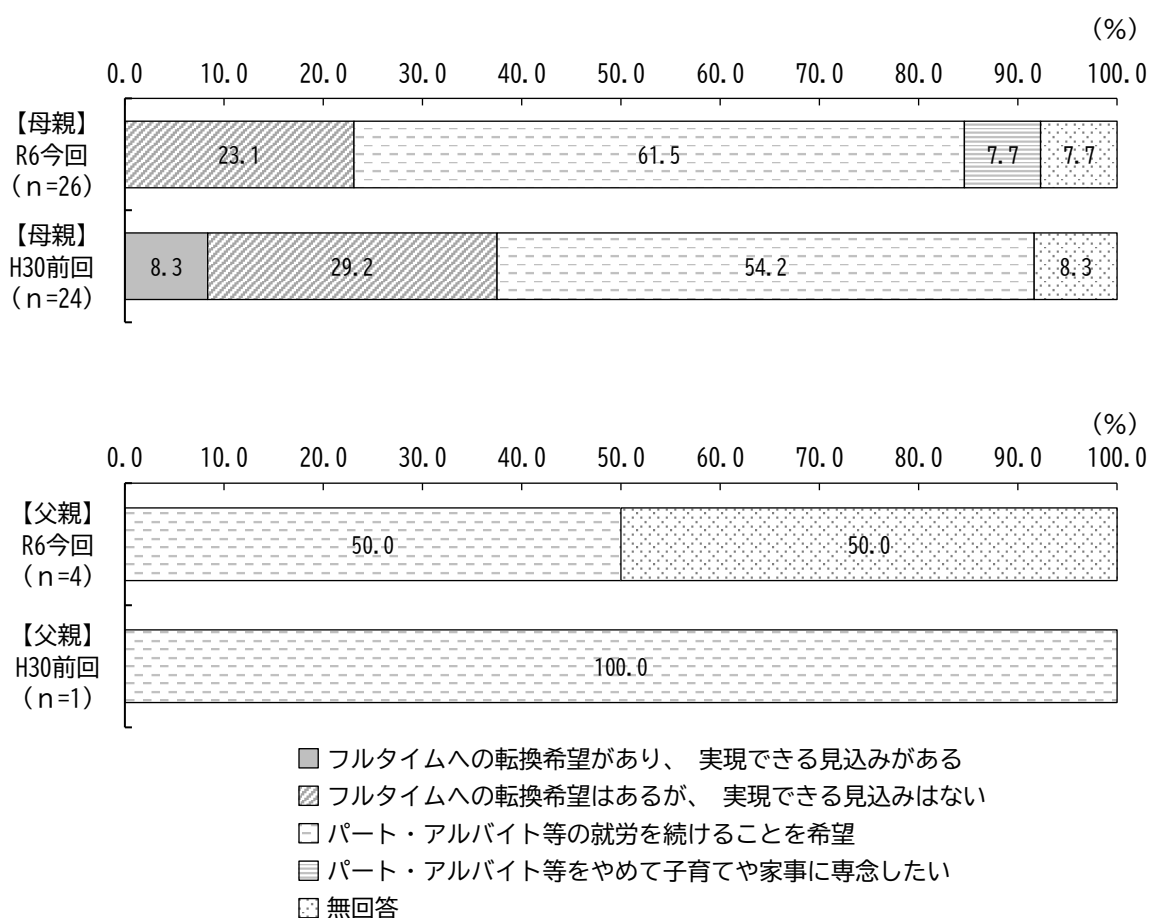


※問 10 で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます

問11 フルタイムへの転換希望はありますか。母親・父親それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 61.5%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 23.1%、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」が 7.7%となっています。前回調査と比較すると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」の割合が増加し、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が減少しています。

父親では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 50.0%と最も高くなっています。

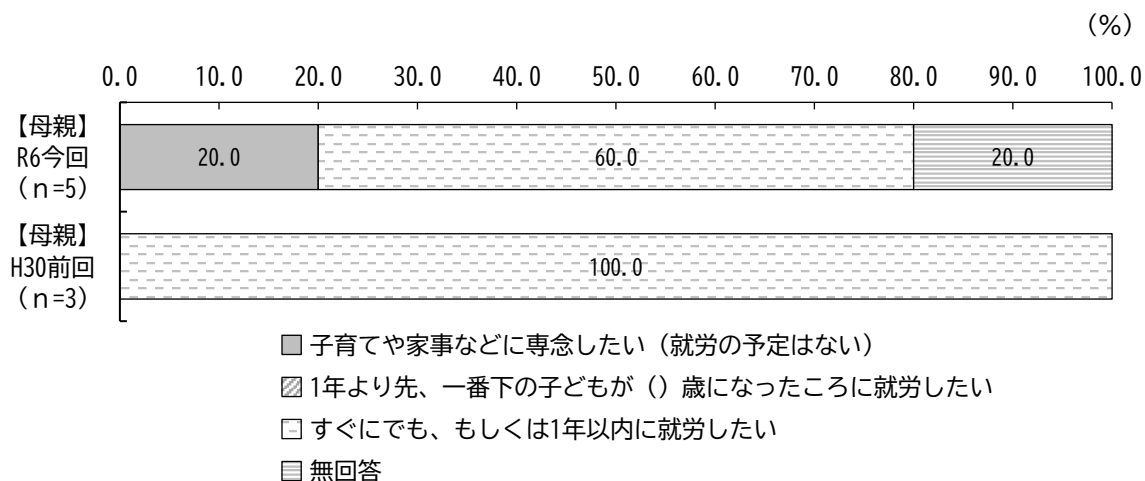


※問 10 で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます

問12 就労したいという希望はありますか。母親・父親それぞれ当てはまる番号・記号にそれぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

母親では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が60.0%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい」が20.0%となっています。前回調査と比較すると、「子育てや家事などに専念したい」の割合が増加し、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が減少しています。

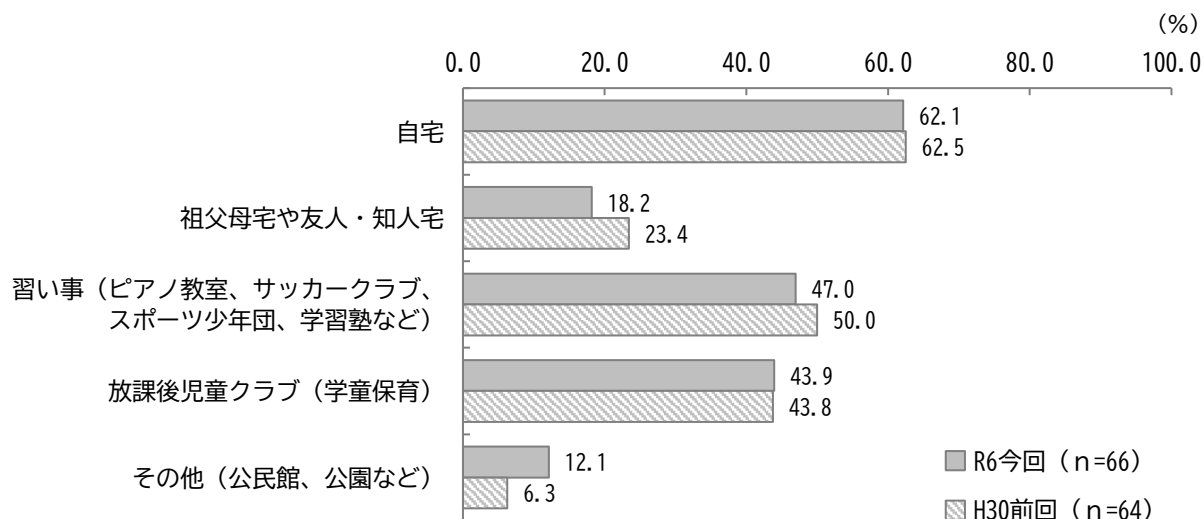
父親では、該当者がありませんでした。



お子さんの平日の小学校終了後や休日の過ごし方について

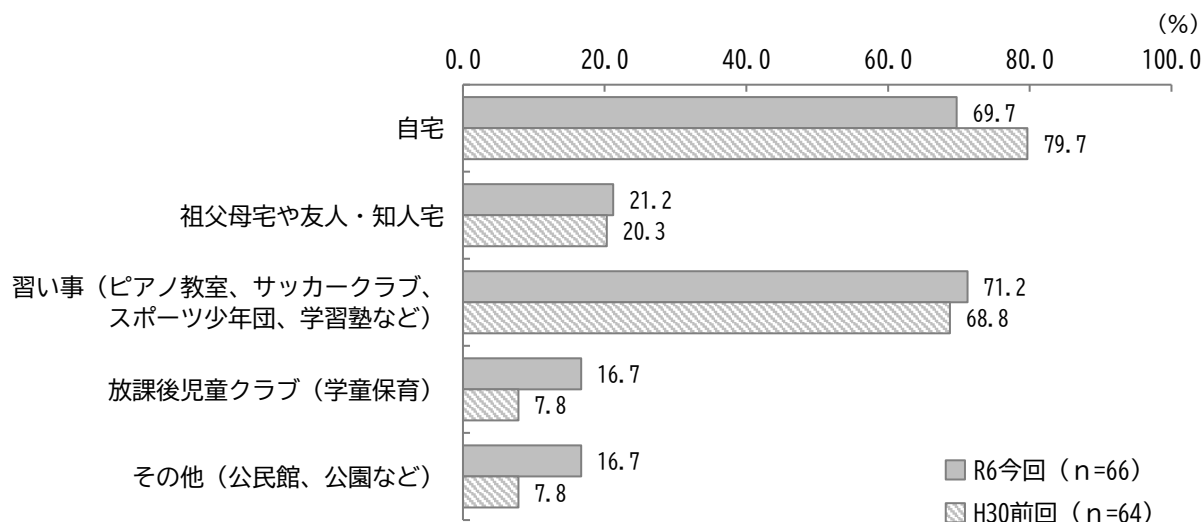
問13 お子さんについて、小学校低学年(1～3 年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたい(過ごさせたかった)と思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数をご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。

「自宅」が 62.1%と最も高く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、スポーツ少年団、学習塾など)」が 47.0%、「放課後児童クラブ(学童保育)」が 43.9%となっています。前回調査と比較すると、「その他」の割合が増加し、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が減少しています。



問14 お子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数をご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間もご記入ください。

「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、スポーツ少年団、学習塾など)」が 71.2%と最も高く、次いで「自宅」が 69.7%、「祖父母宅や友人・知人宅」が 21.2%となっています。前回調査と比較すると、「放課後児童クラブ」「その他(公民館、公園など)」の割合が増加し、「自宅」の割合が減少しています。

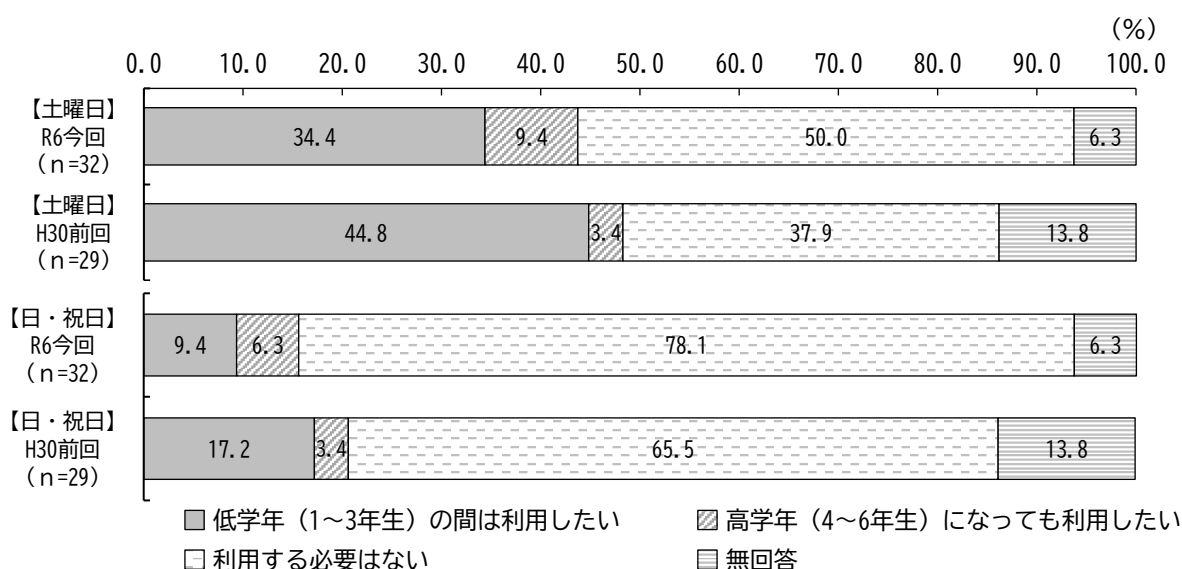


※問 13 又は問 14 で「5. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方に伺います

問15 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯をご記入ください。

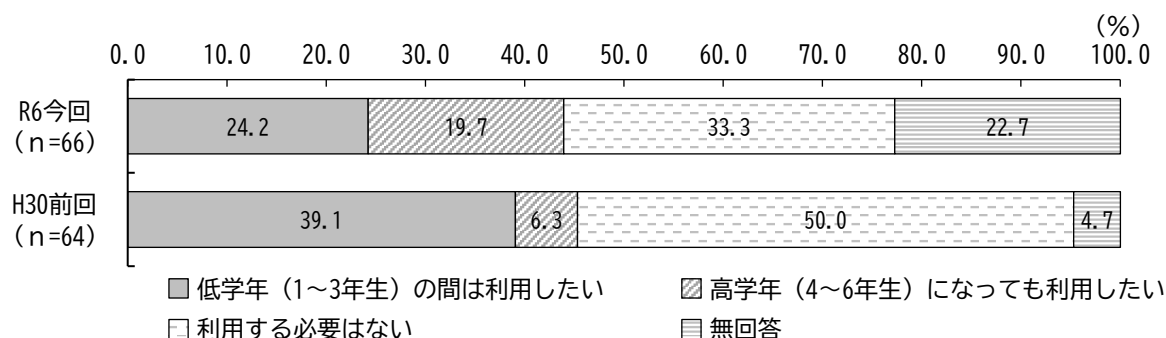
土曜日では「利用する必要はない」が 50.0%と最も高く、次いで「低学年(1～3 年生)の間は利用したい」が 34.4%、「高学年(4～6 年生)になっても利用したい」が 9.4%となっています。前回調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加し、「低学年(1～3 年生)の間は利用したい」の割合が減少しています。

日曜日・祝日では、「利用する必要はない」が 78.1%と最も高く、次いで「低学年(1～3 年生)の間は利用したい」が 9.4%、「高学年(4～6 年生)になっても利用したい」が 6.3%となっています。前回調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加し、「低学年(1～3 年生)の間は利用したい」の割合が減少しています。



問16 お子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯をご記入ください。

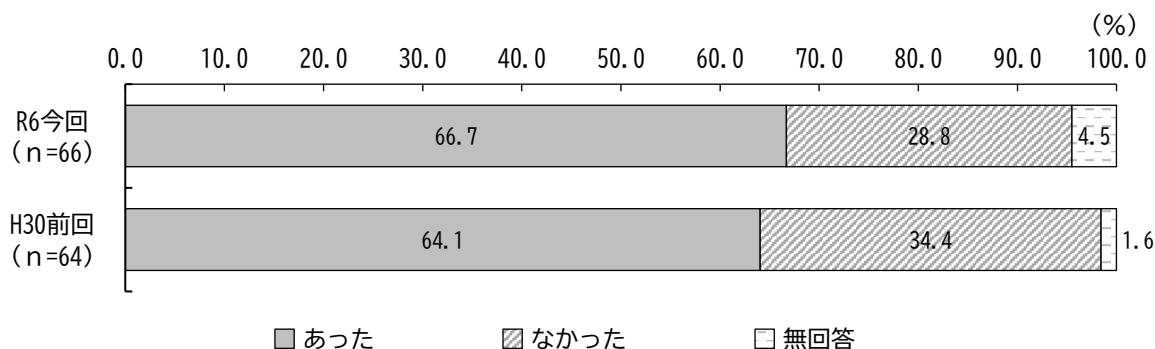
「利用する必要はない」が 33.3%と最も高く、次いで「低学年(1～3 年生)の間は利用したい」が 24.2%、「高学年(4～6 年生)になっても利用したい」が 19.7%となっています。前回調査と比較すると、「高学年(4～6 年生)になっても利用したい」の割合が増加し、「低学年(1～3 年生)の間は利用したい」「利用する必要はない」の割合が減少しています。



お子さんの病気の際の対応について

問 17 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校に行けなかったことはありますか。

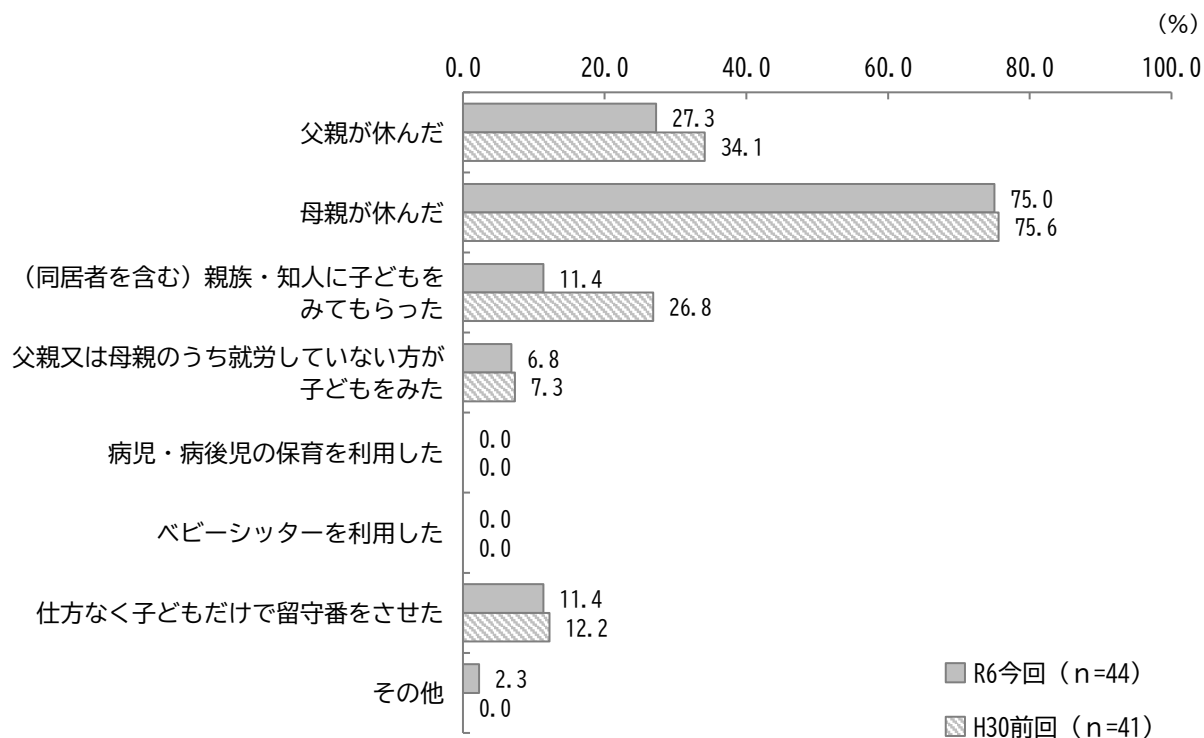
「あった」が 66.7%、「なかった」が 28.8%となっています。前回調査と比較すると、「なかった」の割合が減少しています。



※問 17 で「1.あった」に○をつけた方にうかがいます

問 17-1 お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数もご記入ください。

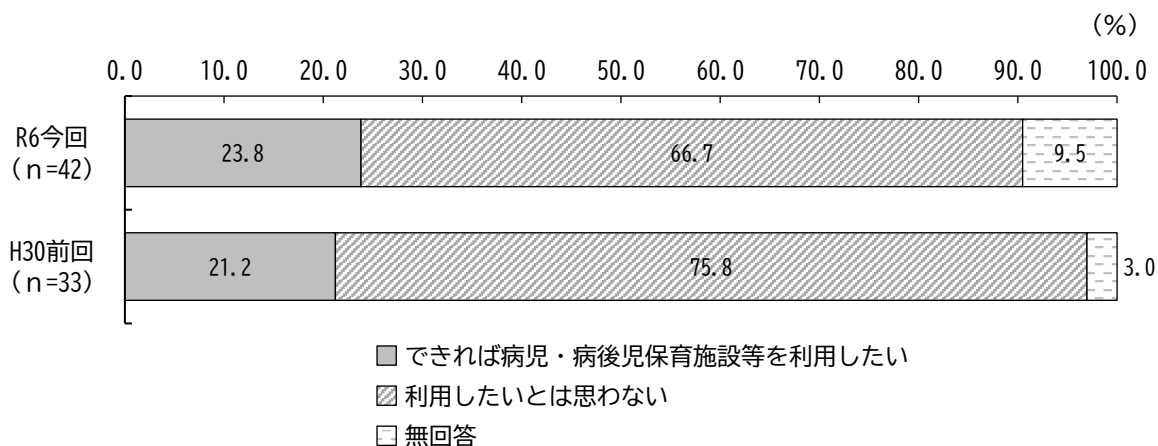
「母親が休んだ」が 75.0%と最も高く、次いで「父親が休んだ」が 27.3%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」がともに 11.4%となっています。前回調査と比較すると、「父親が休んだ」「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が減少しています。



※問 17-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます

問 17-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についてもご記入ください。

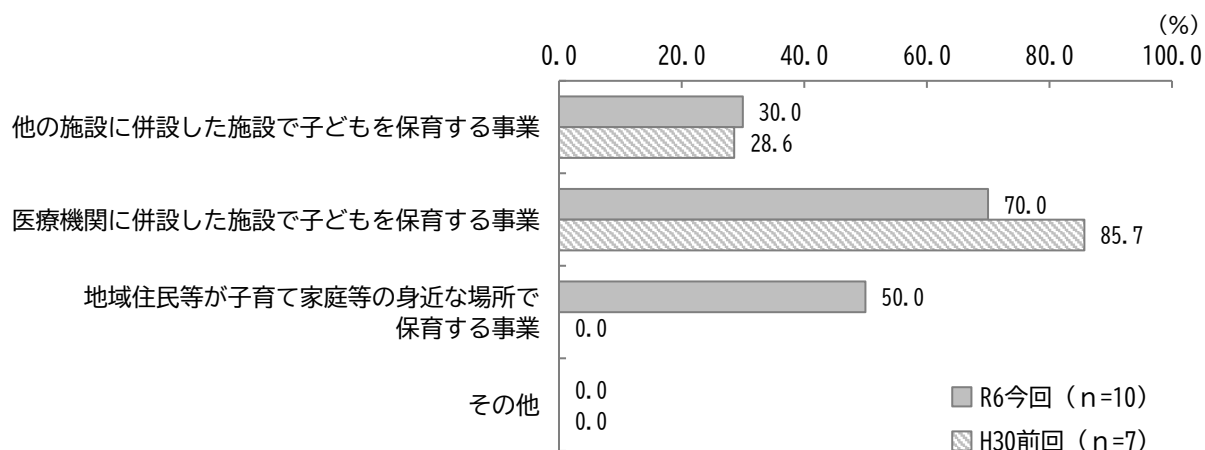
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 23.8%、「利用したいとは思わない」が 66.7%となっています。前回調査と比較すると、「利用したいとは思わない」の割合が減少しています。



※問 17-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます

問 17-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われ
ますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

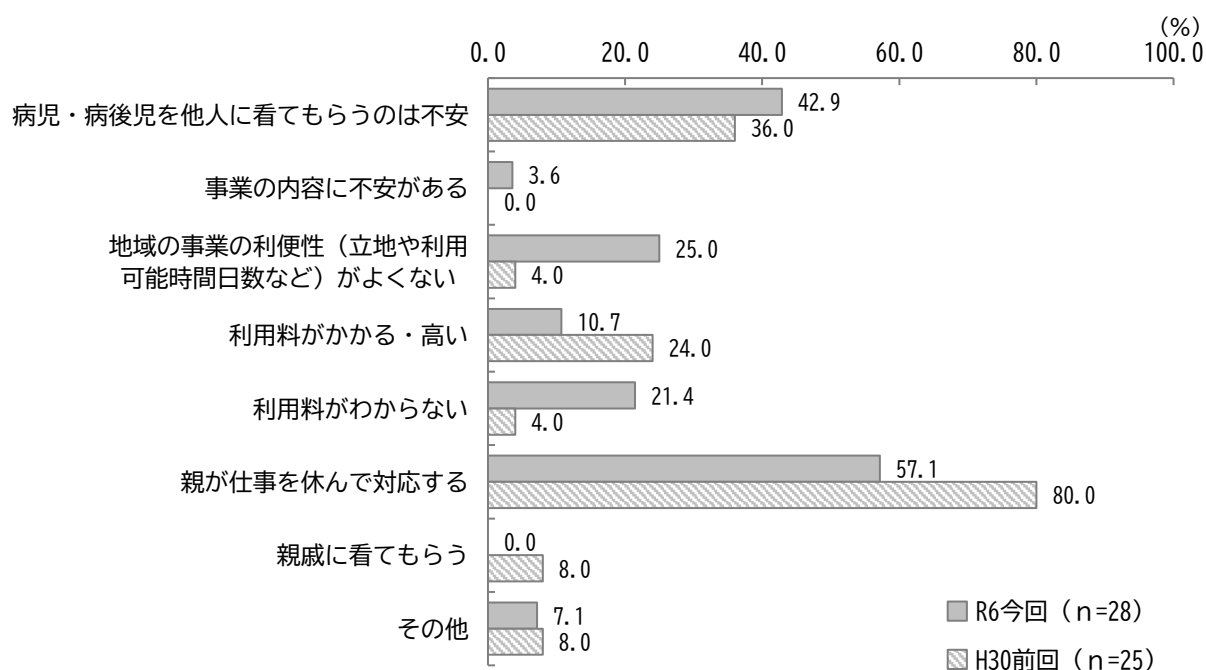
「医療機関に併設した施設で子どもを保育する事業」が 70.0%と最も高く、次いで「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が 50.0%、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が 30.0%となっています。前回調査と比較すると、「医療機関に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が減少しています。



※問 17-2 で「2.利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます

問 17-4 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

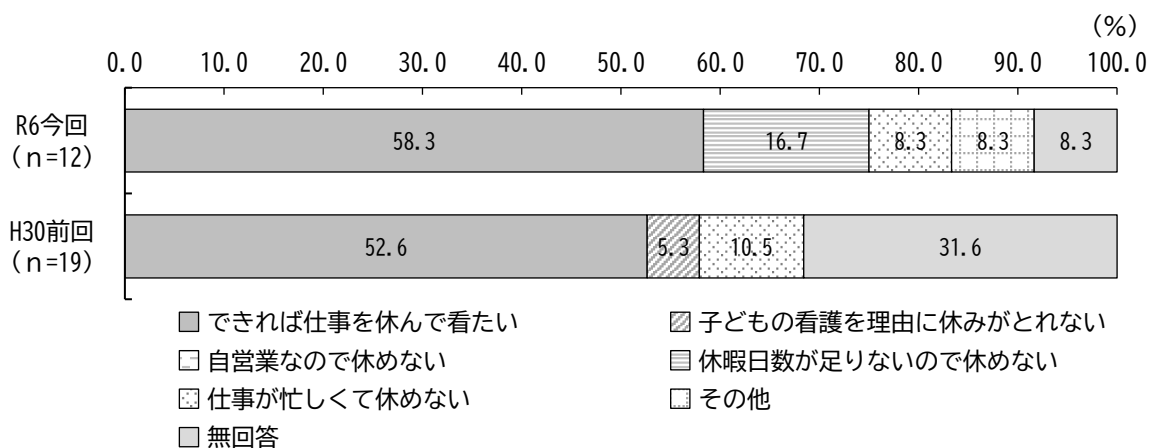
「親が仕事を休んで対応する」が 57.1%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 42.9%、「地域の事業の利便性(立地や利用可能時間日数など)がよくない」が 25.0%となっています。前回調査と比較すると、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」「事業の内容に不安がある」「地域の事業の利便性(立地や利用可能時間日数など)がよくない」「利用料がわからない」の割合が増加し、「利用料がかかる・高い」「親が仕事を休んで対応する」の割合が減少しています。



※問 17-1で「ウ.」から「ケ.」のいずれかに回答した方にうかがいます

問 17-5 その際、「できれば父母いずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

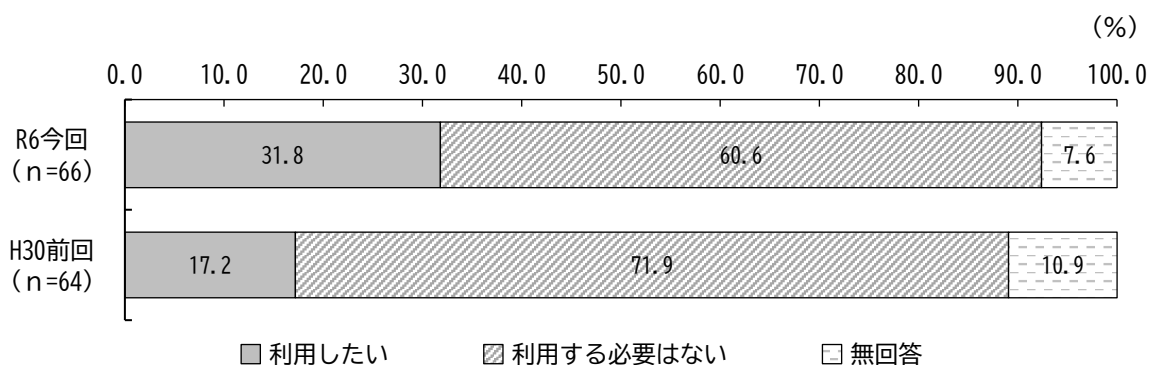
「できれば仕事を休んで看たい」が 58.3%と最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」が 16.7%、「仕事が忙しくて休めない」「その他」がともに 8.3%となっています。前回調査と比較すると、「できれば仕事を休んで看たい」「休暇日数が足りないので休めない」「その他」の割合が増加しています。



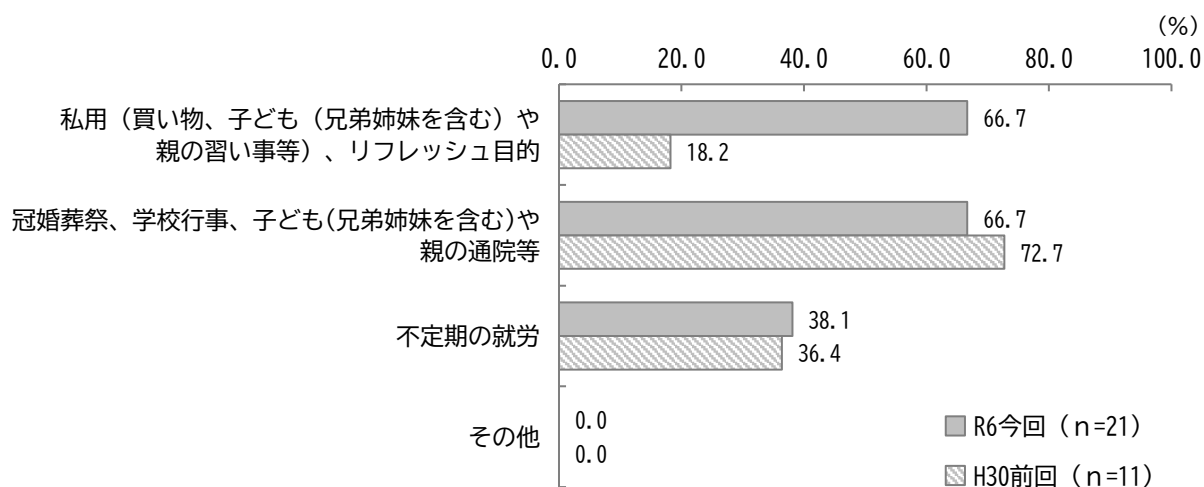
お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 18 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)もご記入ください。

「利用したい」が 31.8%、「利用する必要はない」が 60.6%となっています。前回調査と比較すると、「利用したい」の割合が増加し、「利用する必要はない」の割合が減少しています。



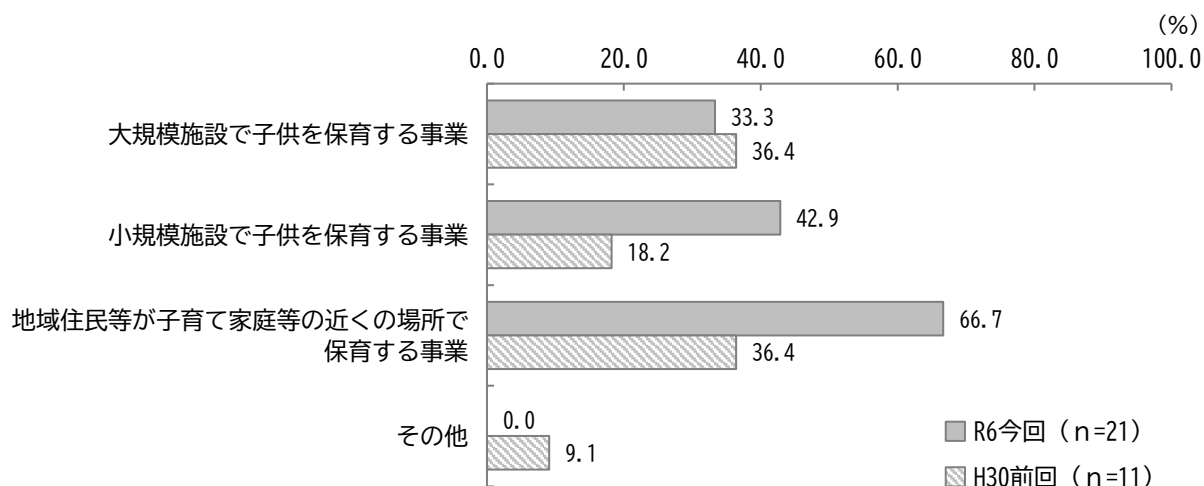
「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」がともに 66.7%と最も高く、次いで「不定期の就労」が 38.1%となっています。前回調査と比較すると、「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」の割合が増加しています。



※問 18 で「1.利用したい」に○をつけた方に伺います

問 18-1 問 18 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

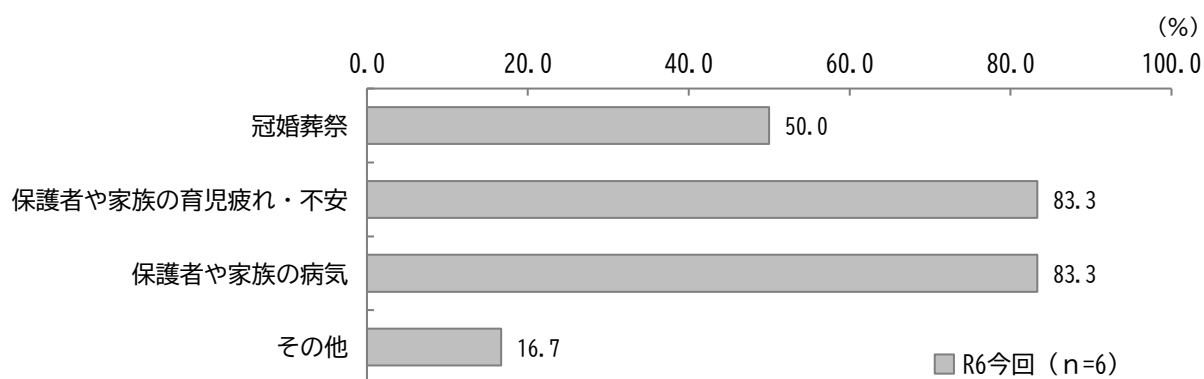
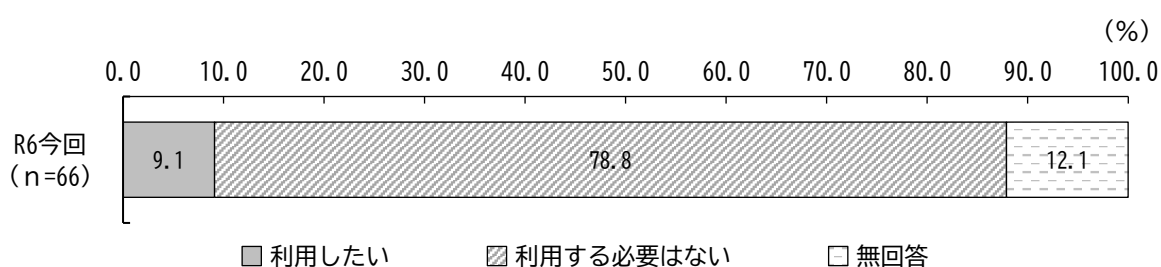
「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」が 66.7%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」が 42.9%、「大規模施設で子どもを保育する事業」が 33.3%となっています。前回調査と比較すると、「小規模施設で子どもを保育する事業」「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」の割合が増加しています。



問 19 お子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

「利用したい」が 9.1%、「利用する必要はない」が 78.8%となっています。

事業を利用したい理由は「保護者や家族の育児疲れ・不安」「保護者や家族の病気」がともに 83.3%と最も高く、次いで「冠婚葬祭」が 50.0%、「その他」が 16.7%となっています。

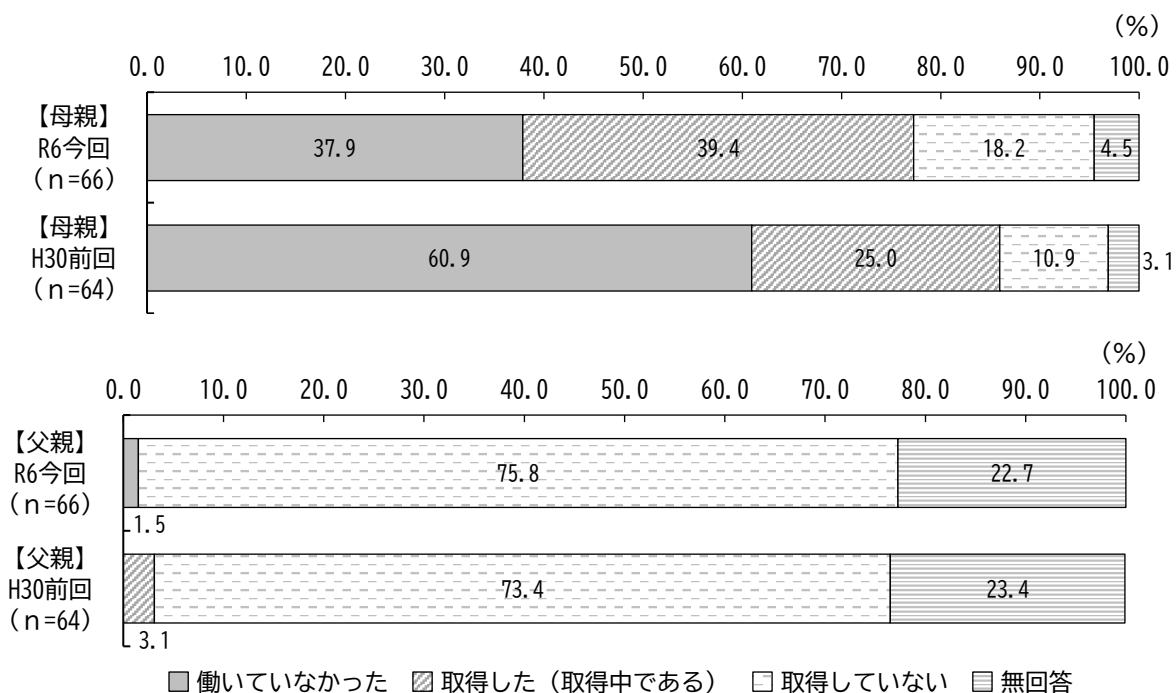


育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問20 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では「取得した(取得中である)」が 39.4%と最も高く、次いで「働いていなかった」が 37.9%、「取得していない」が 18.2%となっています。前回調査と比較すると、「取得した(取得中である)」の割合が増加し、「働いていなかった」の割合が減少しています。

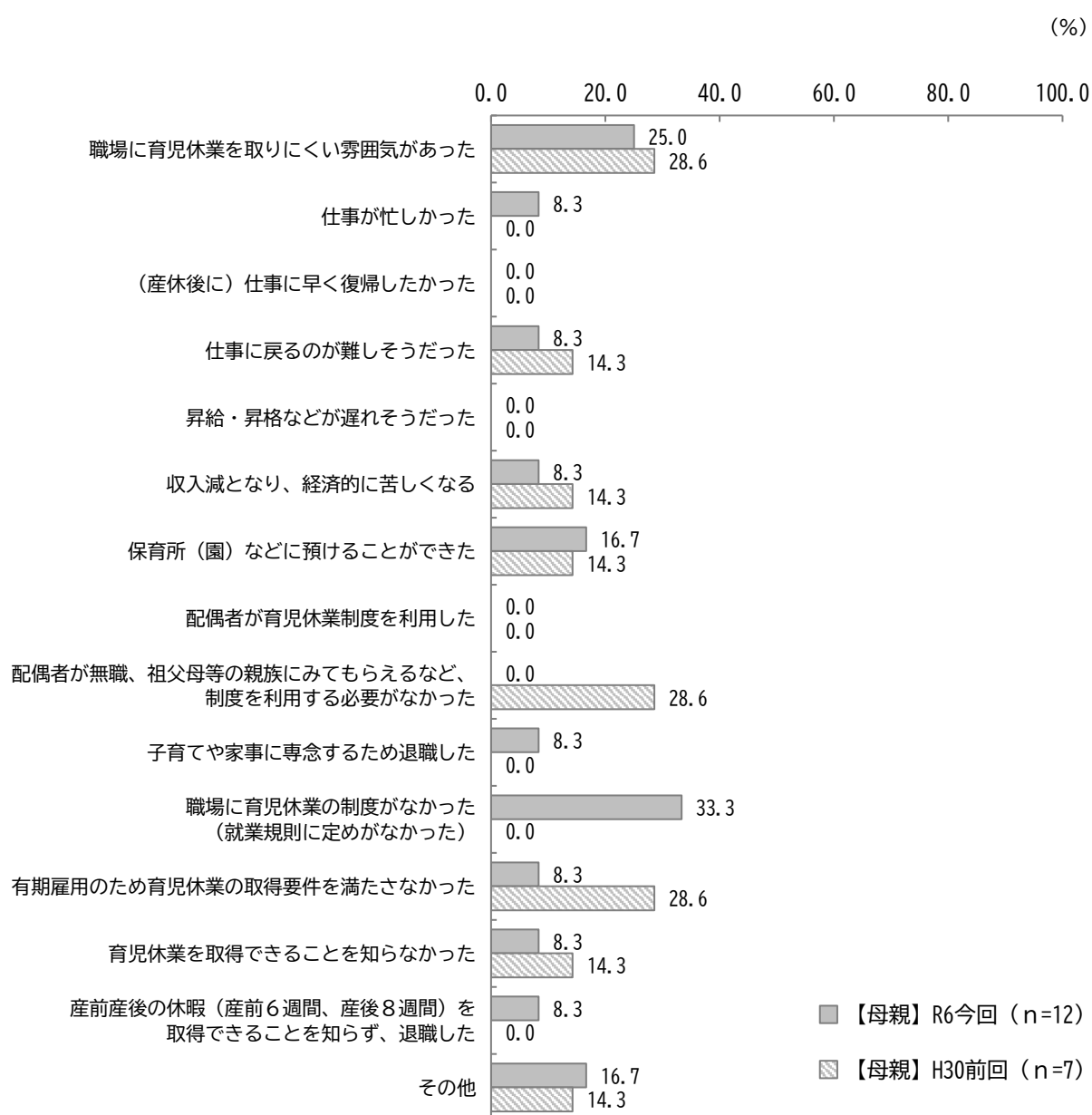
父親では「取得していない」が75.8%と最も高く、次いで「働いていなかった」が1.5%となっています。前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



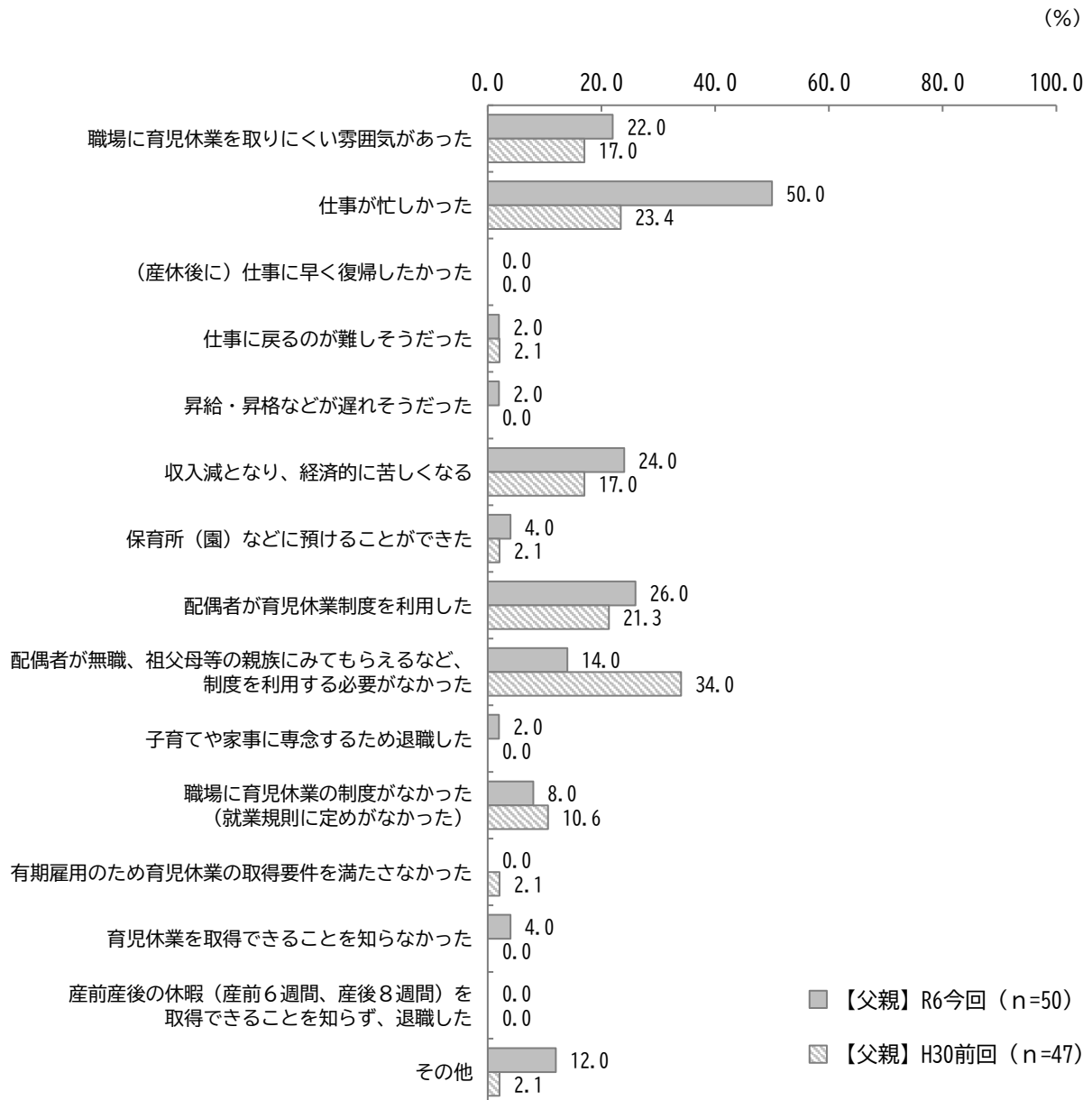
※問 20 で「3.取得していない」に○をつけた方に伺います

問20-1 取得していない理由は何ですか。「母親」「父親」欄のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

母親では「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が 33.3%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 25.0%、「保育所(園)などに預けることができた」「その他」がともに 16.7%となっています。前回調査と比較すると、「仕事が忙しかった」「子育てや家事に専念するため退職した」「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」「産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した」「その他」の割合が増加し、「仕事に戻るのが難しそうだった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」「育児休業を取得できることを知らなかった」の割合が減少しています。



父親では「仕事が忙しかった」が 50.0%と最も高く、次いで「配偶者が育児休業制度を利用した」が 26.0%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 24.0%となっています。前回調査と比較すると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」「配偶者が育児休業制度を利用した」「その他」の割合が増加し、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が減少しています。

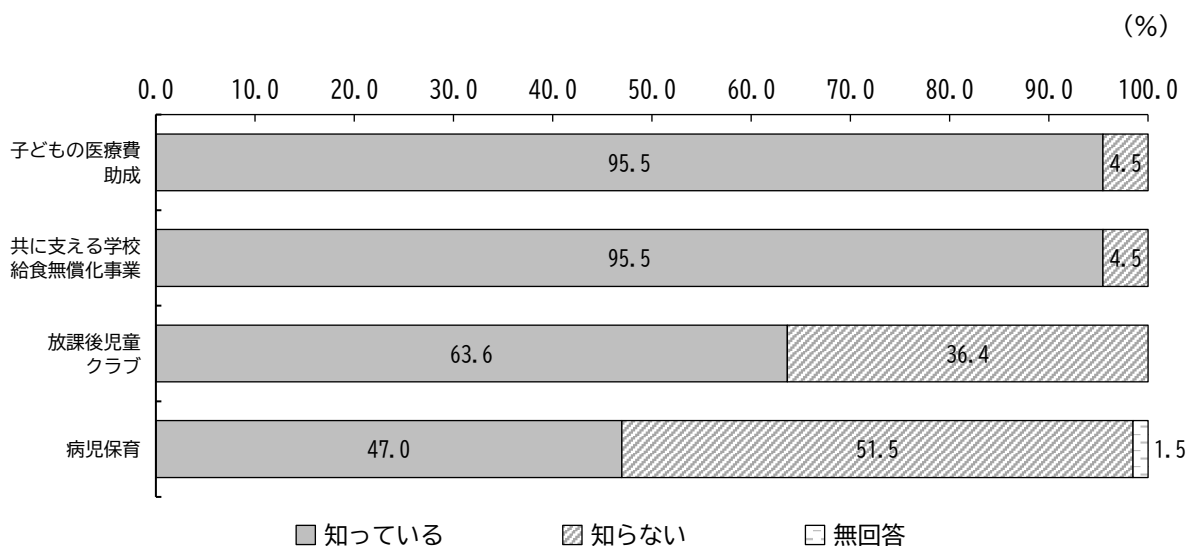


天城町の子育ての環境や支援について

問 21 下記の天城町独自の子育て支援事業を知っていますか。また、知っている場合充実していると思いますか。①～④の事業について「認知度」、「充実度」ごとに該当する番号に○をつけてください。

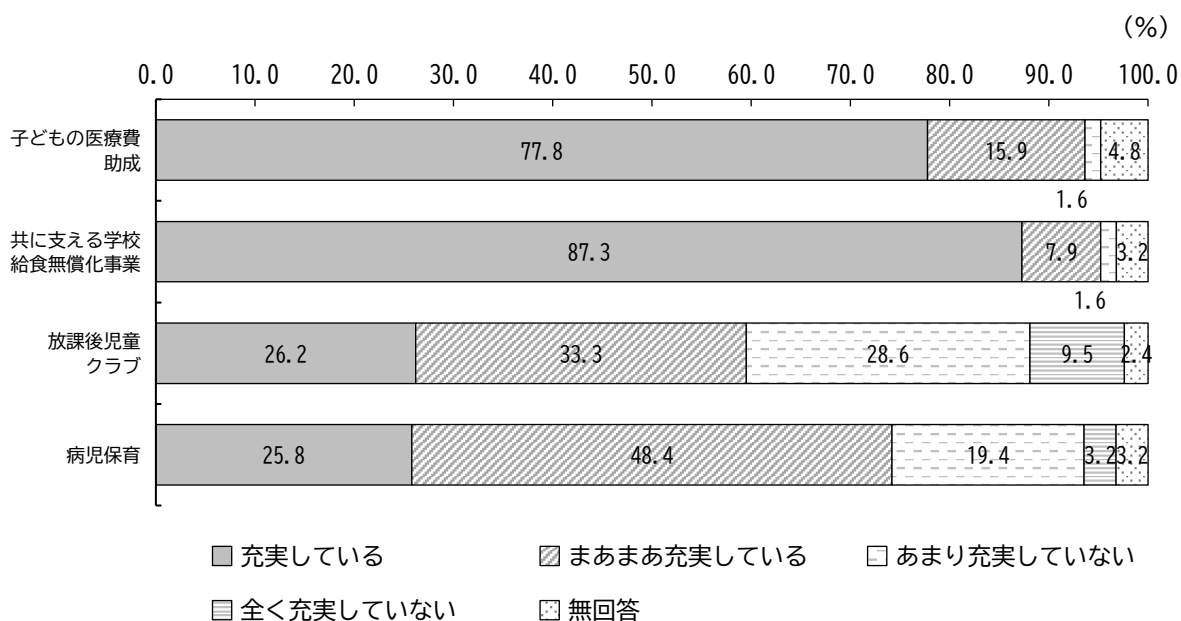
【認知度】

「知っている」の割合が「子どもの医療費助成」「共に支える学校給食無償化事業」では9割台となっているものの、「病児保育」では4割台となり、他の項目に比べて認知度が低くなっています。



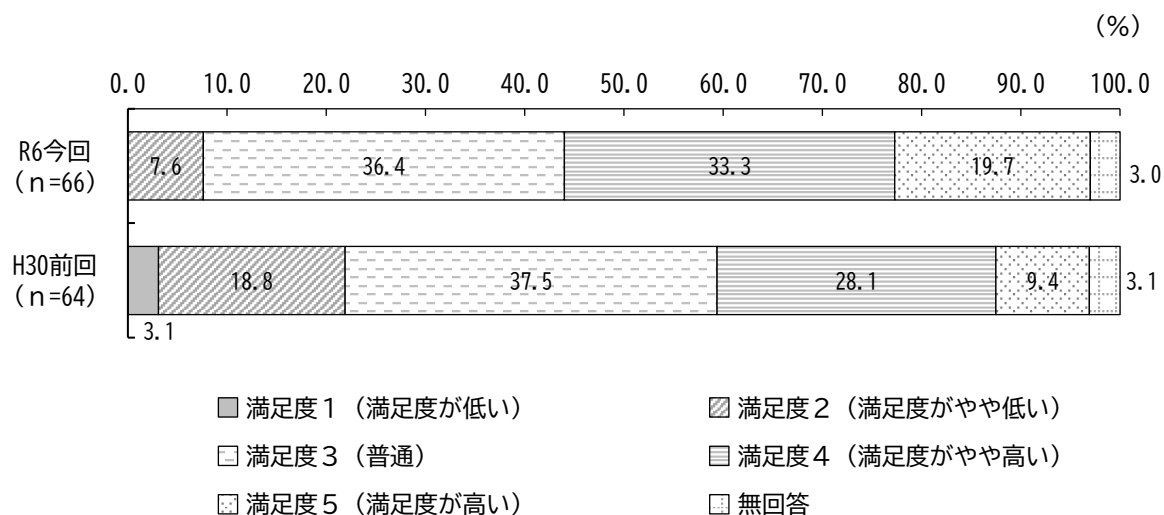
【充実度】

「充実している(充実している+まあまあ充実している)」の回答割合は「子どもの医療費助成」「共に支える学校給食無償化事業」が9割台、「病児保育」が7割台となっているものの、「放課後児童クラブ」は5割台となり、他の項目より充実度が低くなっています。



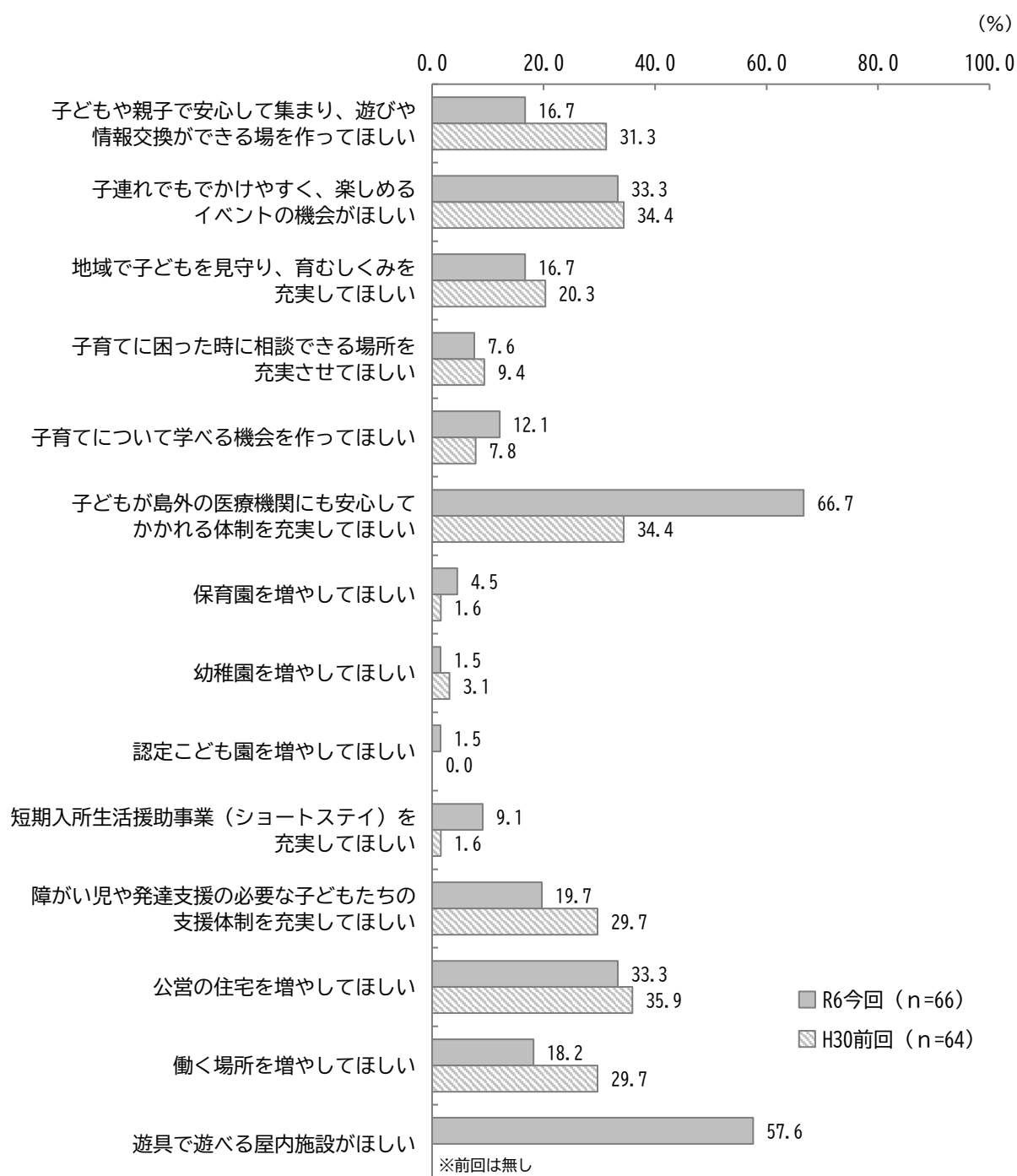
問 22 天城町の子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

「満足度3(普通)」が 36.4%と最も高く、次いで「満足度 4(満足度がやや高い)」が 33.3%、「満足度 5(満足度が高い)」が 19.7%となっています。前回調査と比較すると、「満足度5(満足度が高い)」の割合が増加し、「満足度2」の割合が減少しています。



問 24 天城町に今後どのような子育て支援の充実を図ってほしいですか。当てはまる番号に3つだけ○をつけてください。

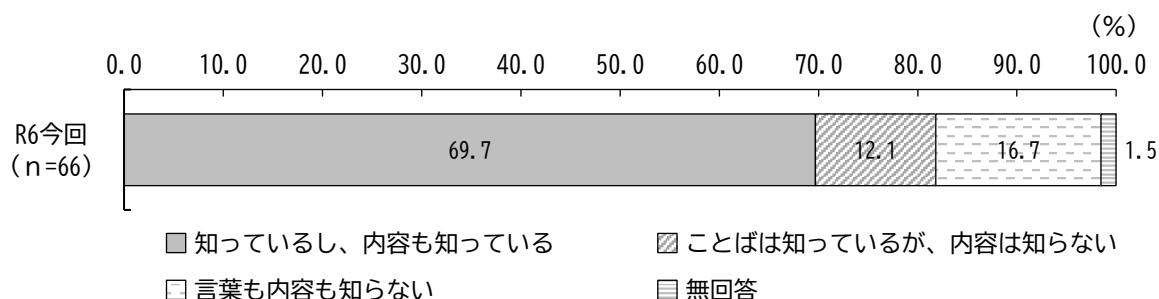
「子どもが島外の医療機関にも安心してかけられる体制を充実してほしい」が66.7%と最も高く、次いで、「遊具で遊べる屋内施設がほしい」が57.6%、「子連れでもでかけやすく、楽しめるイベントの機会がほしい」「公営の住宅を増やしてほしい」がともに33.3%となっています。前回調査と比較すると、「子どもが島外の医療機関にも安心してかけられる体制を充実してほしい」「短期入所生活援助事業(ショートステイ)を充実してほしい」の割合が増加し、「子どもや親子で安心して集まり、遊びや情報交換ができる場を作してほしい」「子どもや親子で安心して集まり、遊びや情報交換ができる場を作してほしい」「障がい児や発達支援の必要な子どもたちの支援体制を充実してほしい」「働く場所を増やしてほしい」の割合が減少しています。



ヤングケアラーについて

問 25 「ヤングケアラー」ということばを知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

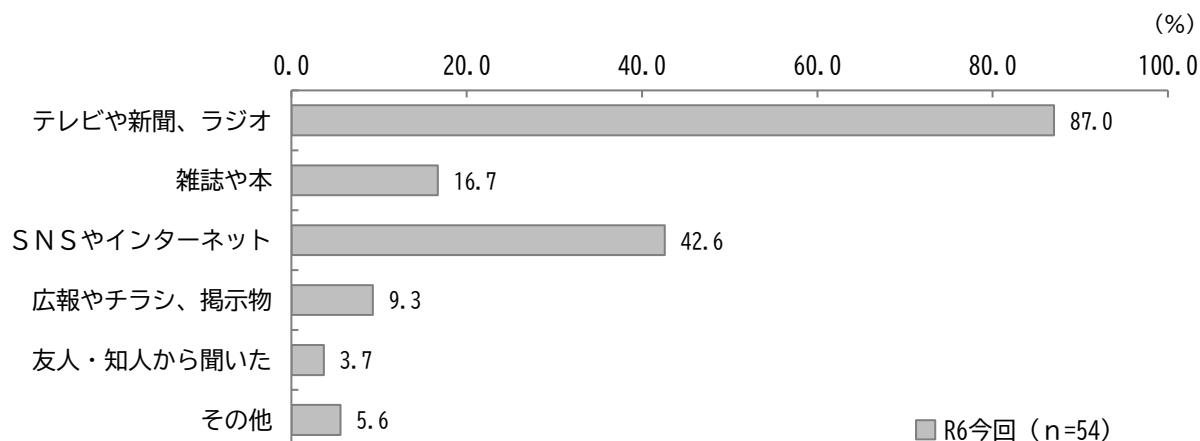
「知っているし、内容も知っている」が 69.7%と最も高く、次いで「言葉も内容も知らない」が 16.7%、「ことばは知っているが、内容は知らない」が 12.1%となっています。



※問 25 で「1」「2」(ことばを知っている)に○をつけた方におたずねします

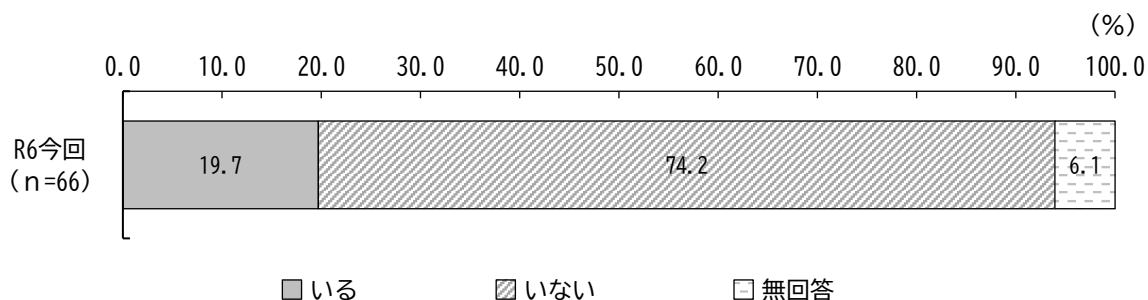
問 25-1 「ヤングケアラー」ということばをどこで知りましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「テレビや新聞、ラジオ」が 87.0%と最も高く、次いで「SNS やインターネット」が 42.6%、「雑誌や本」が 16.7%となっています。



問 26 現在、あなたの周囲のこどもの中で、「ヤングケアラーに該当する」と感じるこどもはいますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いる」が 19.7%、「いない」が 74.2%となっています。

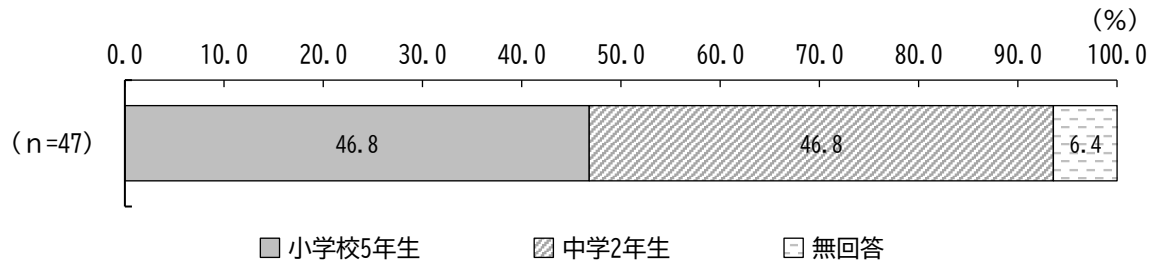


IV 調査結果【生活に関する意識調査(保護者)】

お子さんとあなたの関係について

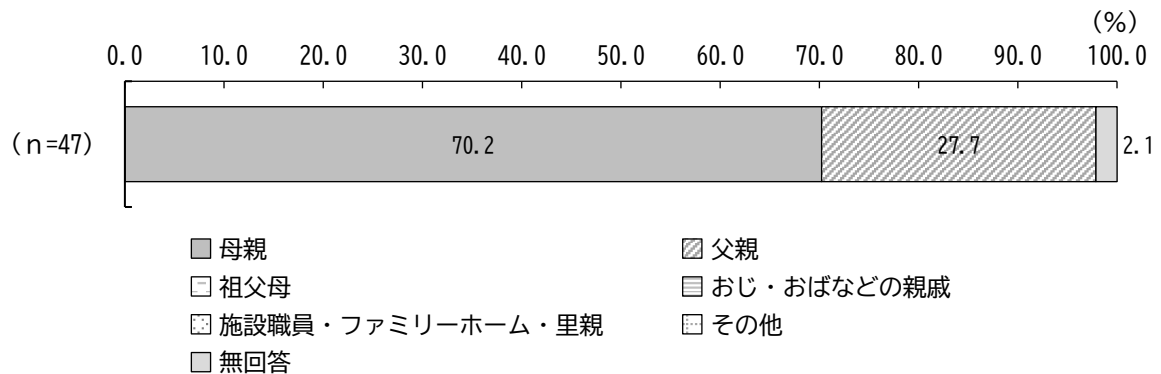
問1 調査票の宛名のお子さんの年齢をご記入ください。

「小学5年生」「中学2年生」がともに 46.8%となっています。



問1-1 この調査に回答いただいている方にお尋ねします。お子さんとあなたの関係について教えてください。(いずれか1つに○)

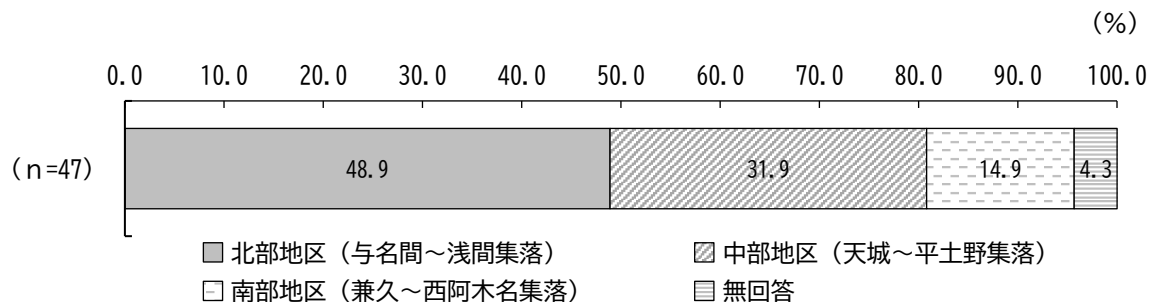
「母親」が 70.2%と最も高く、次いで「父親」が 27.7%となっています。



世帯の状況について

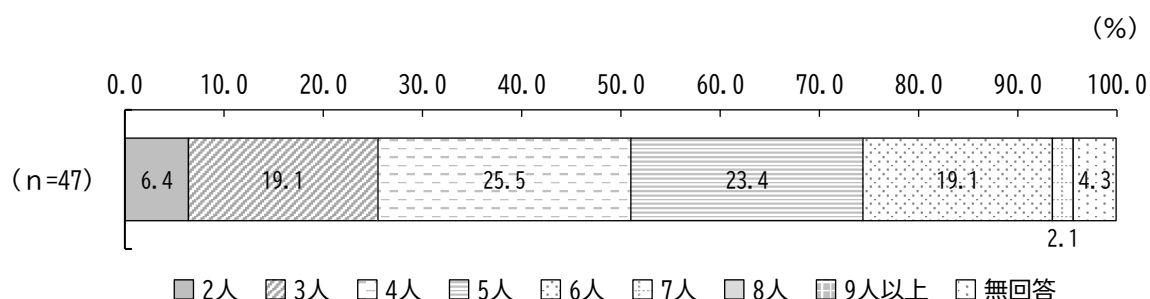
問2 現在のお住まいの地区について教えてください。(いずれか1つに○)

「北部地区(与名間～浅間集落)」が 48.9%と最も高く、次いで「中部地区(天城～平土野集落)」が 31.9%、「南部地区(兼久～西阿木名集落)」が 14.9%となっています。



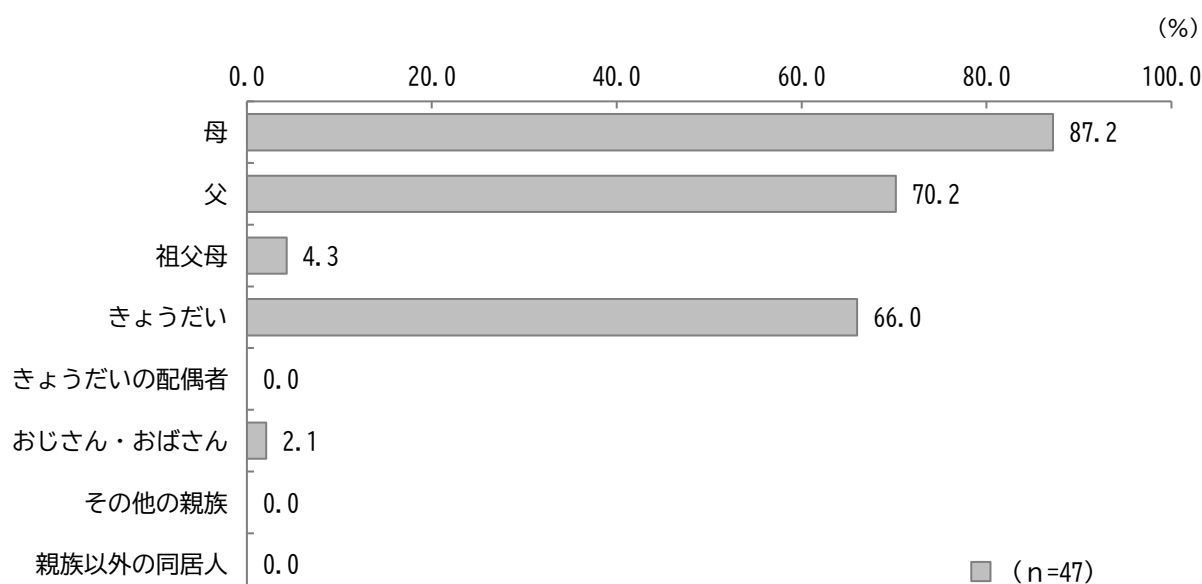
問2-1 世帯員の人数は何人ですか。(調査票を受け取ったお子さんを含め、いずれか1つに○)

「4人」が25.5%と最も高く、次いで「5人」が23.4%、「3人」「6人」がともに19.1%となっています。



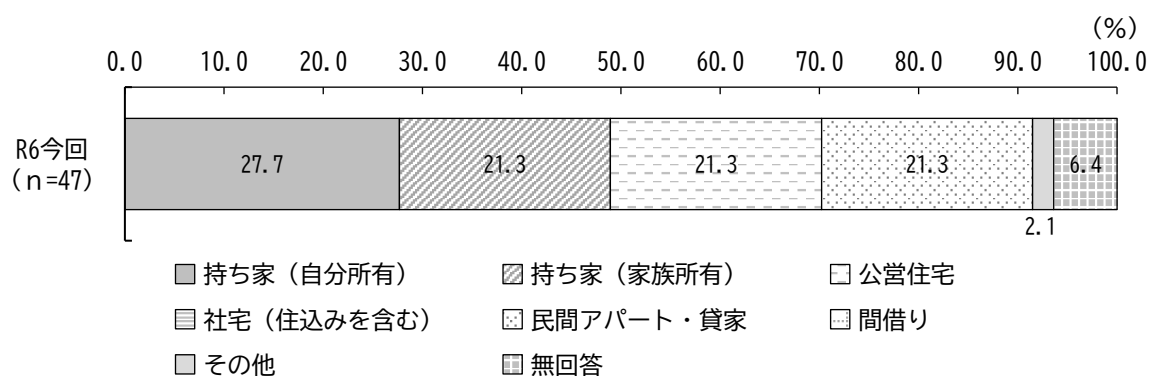
問2-2 世帯員について、お子さんからみた関係に当てはまる方すべてに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

「母」が87.2%と最も高く、次いで「父」が70.2%、「きょうだい」が66.0%となっています。



問3 現在のお住まいについてお答えください。(いずれか1つに○)

「持ち家(自分所有)」が27.7%と最も高く、次いで「持ち家(家族所有)」「公営住宅」「民間アパート・貸家」がいずれも21.3%、「その他」が2.1%となっています。



問4 ご家族のうち、お子さんについて、それぞれ人数をご記入ください。

子どもの人数は下表の通りとなっています。

単位（人）

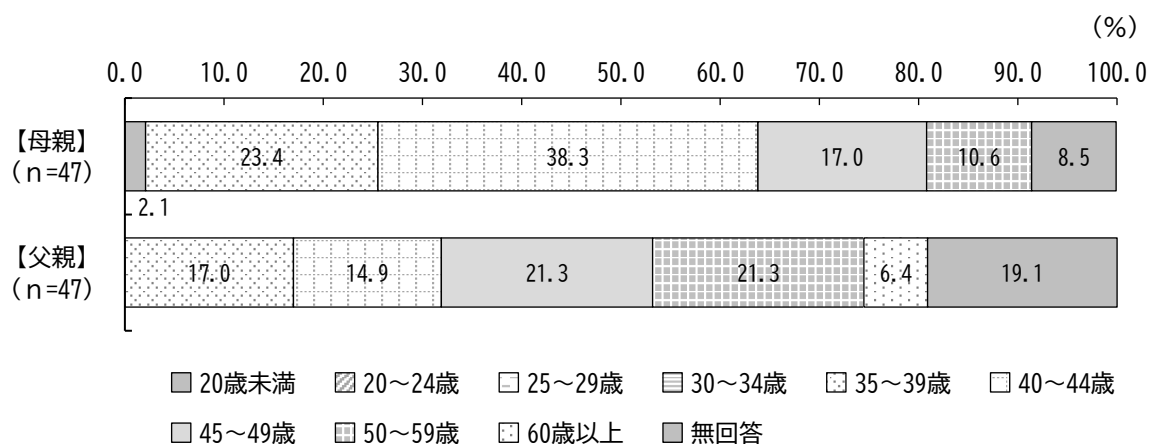
	未就学	小学生	中学生	高校生	大学生 (短大・ 専門学校等 を含む)	働いている	いずれにも 該当しない
1人	10	16	25	7	4	3	0
2人	2	16	4	2	0	0	0
3人	0	1	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
合計	12	33	29	9	4	3	0

お子さんの親について

問5 お子さんの親の年齢についてお答えください。(項目ごとに、いずれか1つに○)

母親は「40～44 歳」が 38.3%と最も高く、次いで「35～39 歳」が 23.4%、「45～49 歳」が 17.0%となっています。

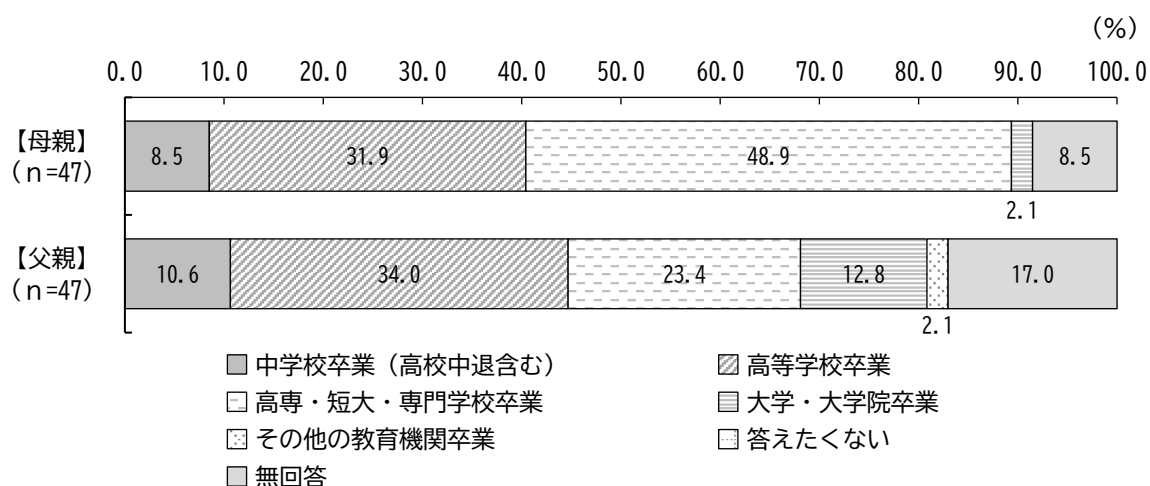
父親は「45～49 歳」「50～59 歳」がともに 21.3%と最も高く、次いで「35～39 歳」が 17.0%、「40～44 歳」が 14.9%となっています。



問6 お子さんの親の最終学歴を教えてください。(項目ごとに、いずれか1つに○)

母親は「高専・短大・専門学校卒業」が48.9%と最も高く、次いで「高等学校卒業」が31.9%、「中学校卒業(高校中退含む)」が8.5%となっています。

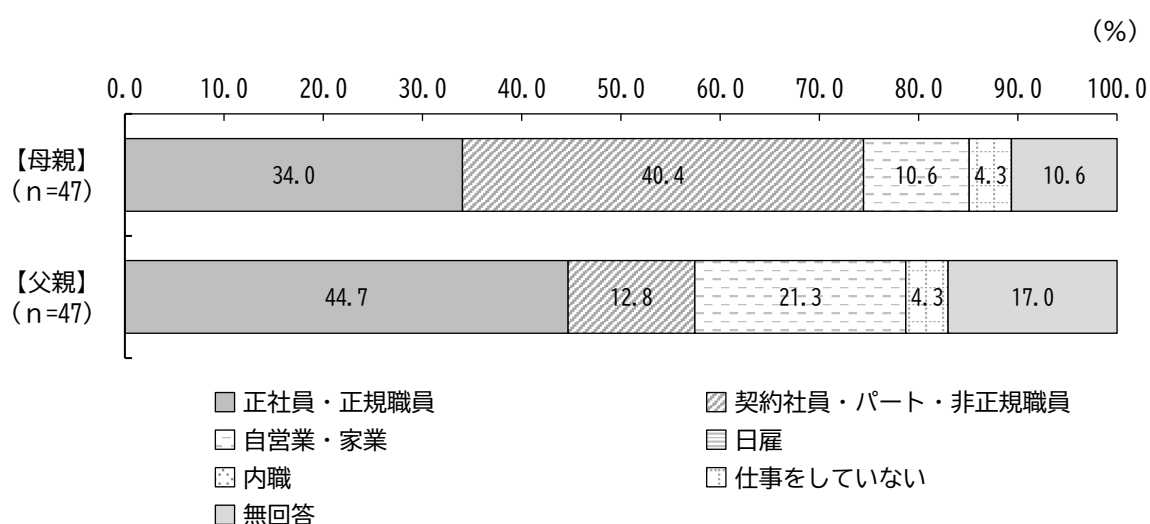
父親は「高等学校卒業」が34.0%と最も高く、次いで「高専・短大・専門学校卒業」が23.4%、「大学・大学院卒業」が12.8%となっています。



問7 お子さんの親の現在の就業形態についてお尋ねします。(項目ごとに、いずれか1つに○)

母親は「契約社員・パート・非正規職員」が40.4%と最も高く、次いで「正社員・正規職員」が34.0%、「自営業・家業」が10.6%となっています。

父親は「正社員・正規職員」が44.7%と最も高く、次いで「自営業・家業」が21.3%、「契約社員・パート・非正規職員」が12.8%となっています。

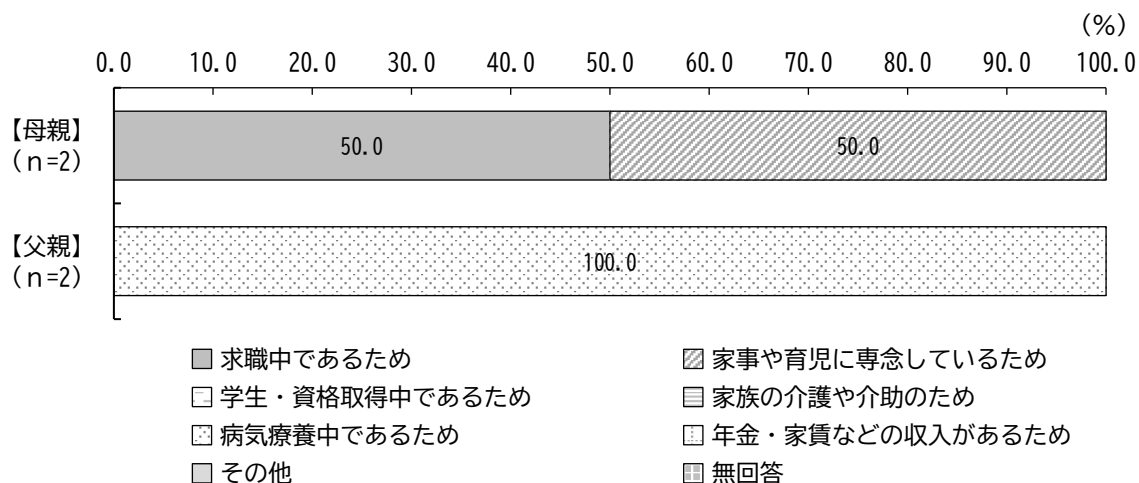


※問7で「6. 仕事をしていない」と答えた方にお尋ねします

問7-1 仕事をしていない主な理由を教えてください。(項目ごとに、それぞれ1つに○)

母親は「求職中であるため」「家事や育児に専念しているため」がともに 50.0%となっています。

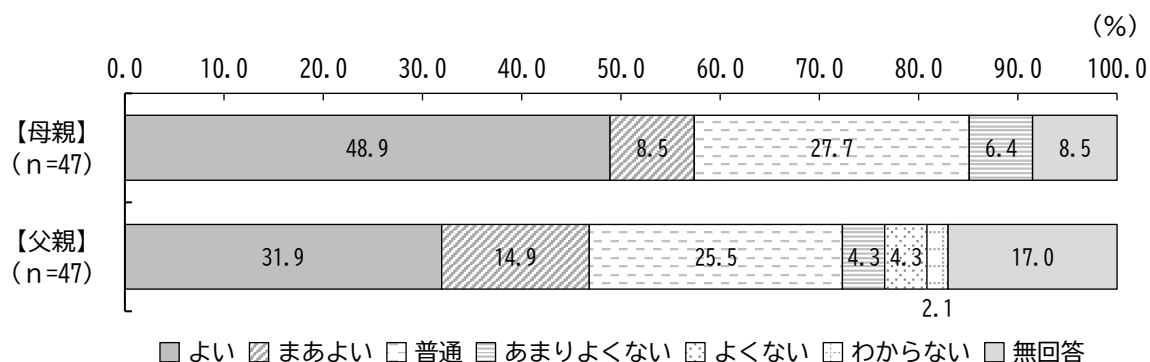
父親は「病気療養中であるため」が 100.0%となっています。



問8 お子さんの親の健康状態についてお答えください。(項目ごとに、いずれか1つに○)

母親は「よい」が 48.9%と最も高く、次いで「普通」が 27.7%、「まあよい」が 8.5%となっています。

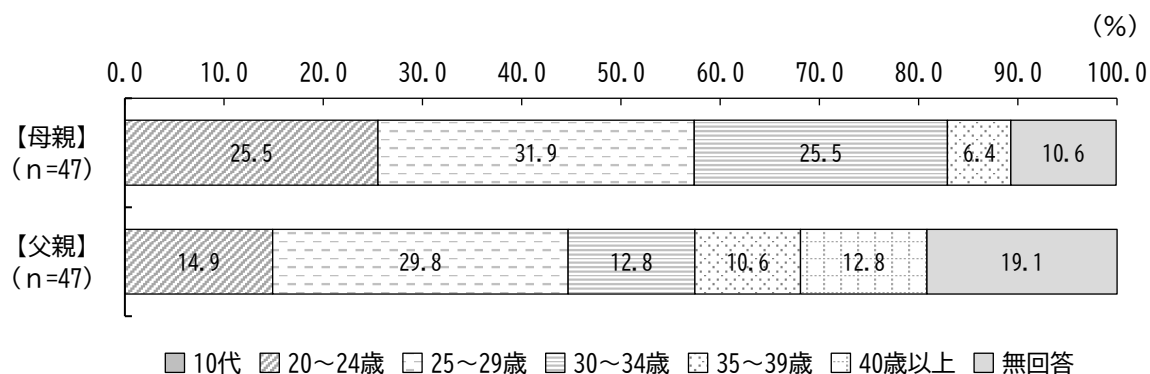
父親は「よい」が 31.9%と最も高く、次いで「普通」が 25.5%、「まあよい」が 14.9%となっています。



問9 お子さんの親が初めて親となった年齢はいくつですか。(実子以外も含みます)

母親は「25～29 歳」が 31.9%と最も高く、次いで「20～24 歳」「30～34 歳」がともに 25.5%、「35～39 歳」が 6.4%となっています。

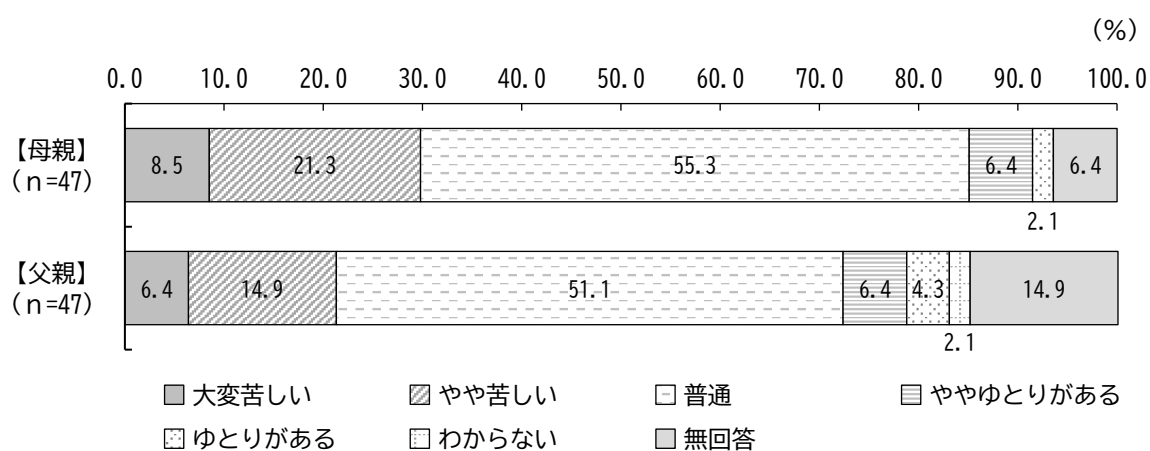
父親は「25～29 歳」が 29.8%と最も高く、次いで「20～24 歳」が 14.9%、「30～34 歳」「40 歳以上」がともに 12.8%となっています。



問10 お子さんの親がこどもの頃、ご家族の暮らし向きはどうだったと感じますか。

母親は「普通」が 55.3%と最も高く、次いで「やや苦しい」が 21.3%、「大変苦しい」が 8.5%となっています。

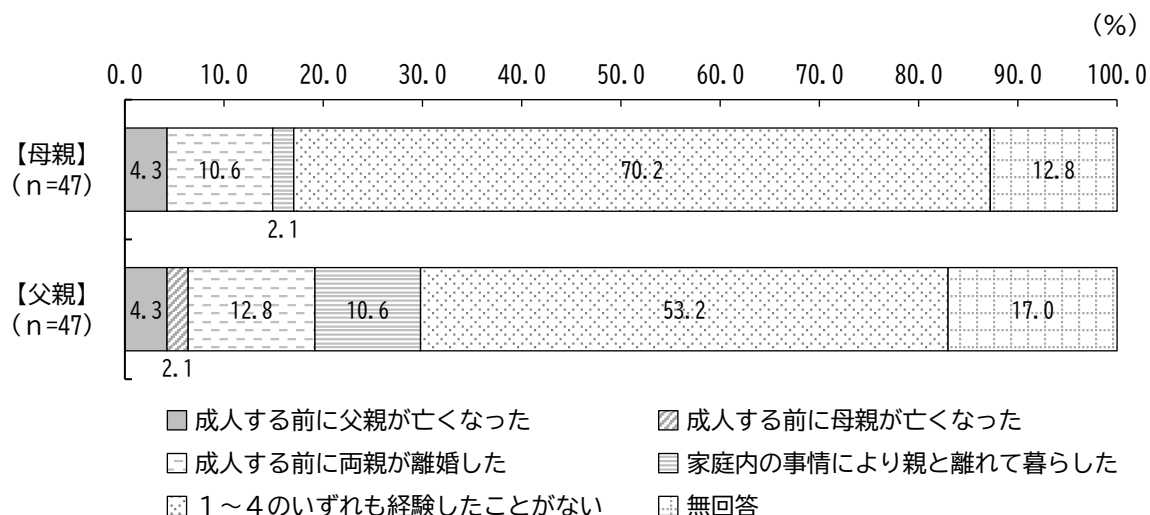
父親は「普通」が 51.1%と最も高く、次いで「やや苦しい」が 14.9%、「大変苦しい」「ややゆとりがある」がともに 6.4%となっています。



問11 お子さんの親は、これまでに次のような経験をしたことがありますか。

母親は「1～4のいずれも経験したことがない」が70.2%と最も高く、次いで「成人する前に両親が離婚した」が10.6%、「成人する前に父親が亡くなった」が4.3%となっています。

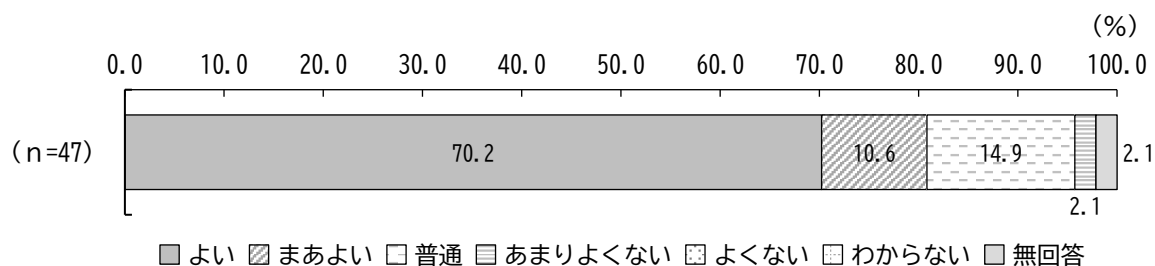
父親は「1～4のいずれも経験したことがない」が53.2%と最も高く、次いで「成人する前に両親が離婚した」が12.8%、「家庭内の事情により親と離れて暮らした」が10.6%となっています。



お子さんについて

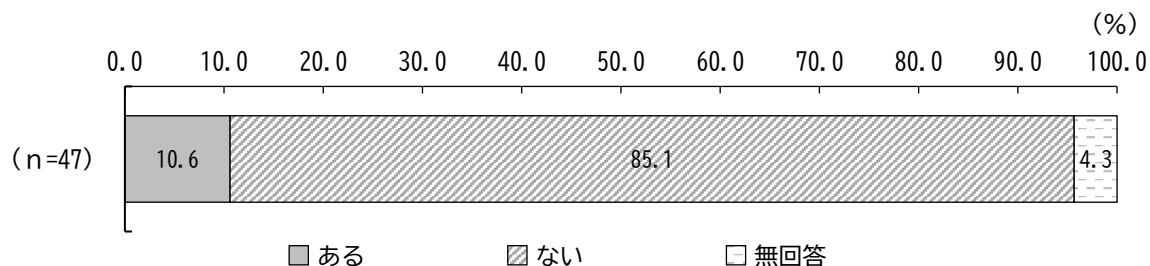
問12 お子さんの健康状態について教えてください。(いずれか1つに○)

「よい」が70.2%と最も高く、次いで「普通」が14.9%、「まあよい」が10.6%となっています。



問13 過去 1 年間に、お子さんの病気や怪我の治療のために病院や診療所を受診したほうがよいと思ったのに、実際には受診しなかったことがありますか。(いずれか1つに○)

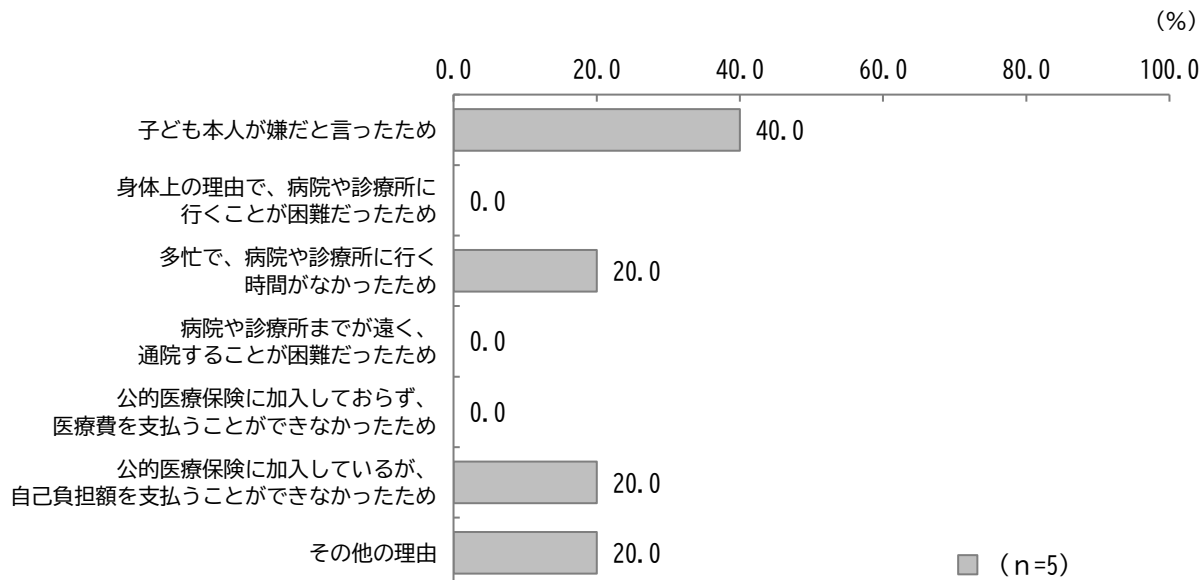
「ある」が10.6%、「ない」が85.1%となっています。



※問 13 で「1. ある」を選んだ方にうかがいます

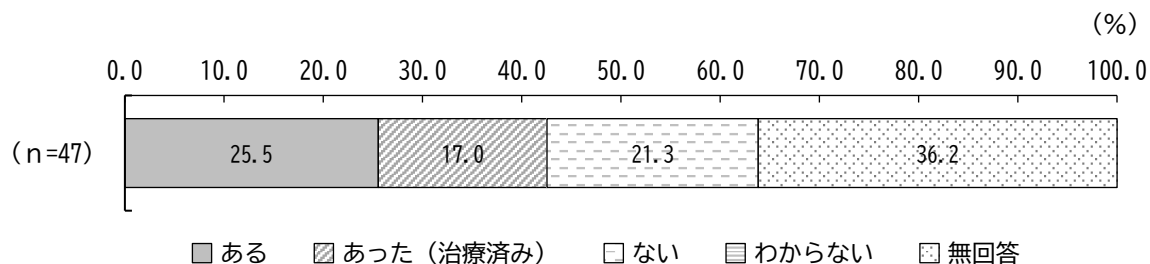
問13-1 受診しなかった理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「子ども本人が嫌だと言ったため」が 40.0%と最も高く、次いで「多忙で、病院や診療所に行く時間がなかったため」「公的医療保険に加入しているが、自己負担額を支払うことができなかったため」「その他の理由」がいずれも 20.0%となっています。



問14 お子さんには、現在むし歯がありますか。または過去にむし歯がありましたか。(いずれか1つに○)

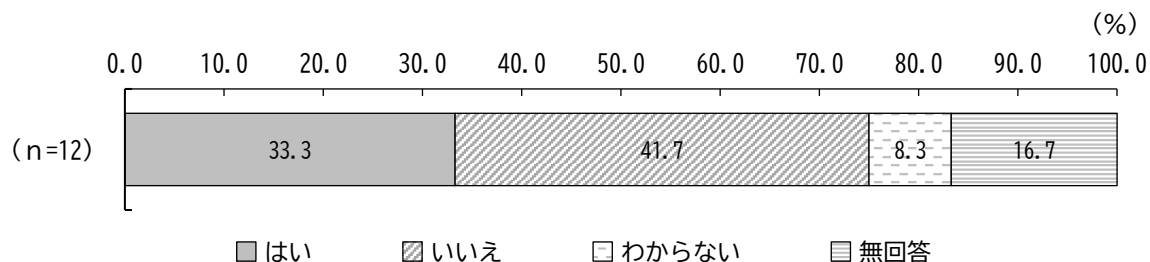
「ある」が25.5%と最も高く、次いで「ない」が21.3%、「あった(治療済み)」が17.0%となっています。



※問 14 で「1. ある」を選んだ方にうかがいます

問14-1 現在、むし歯を治療中ですか。(いずれか1つに○)

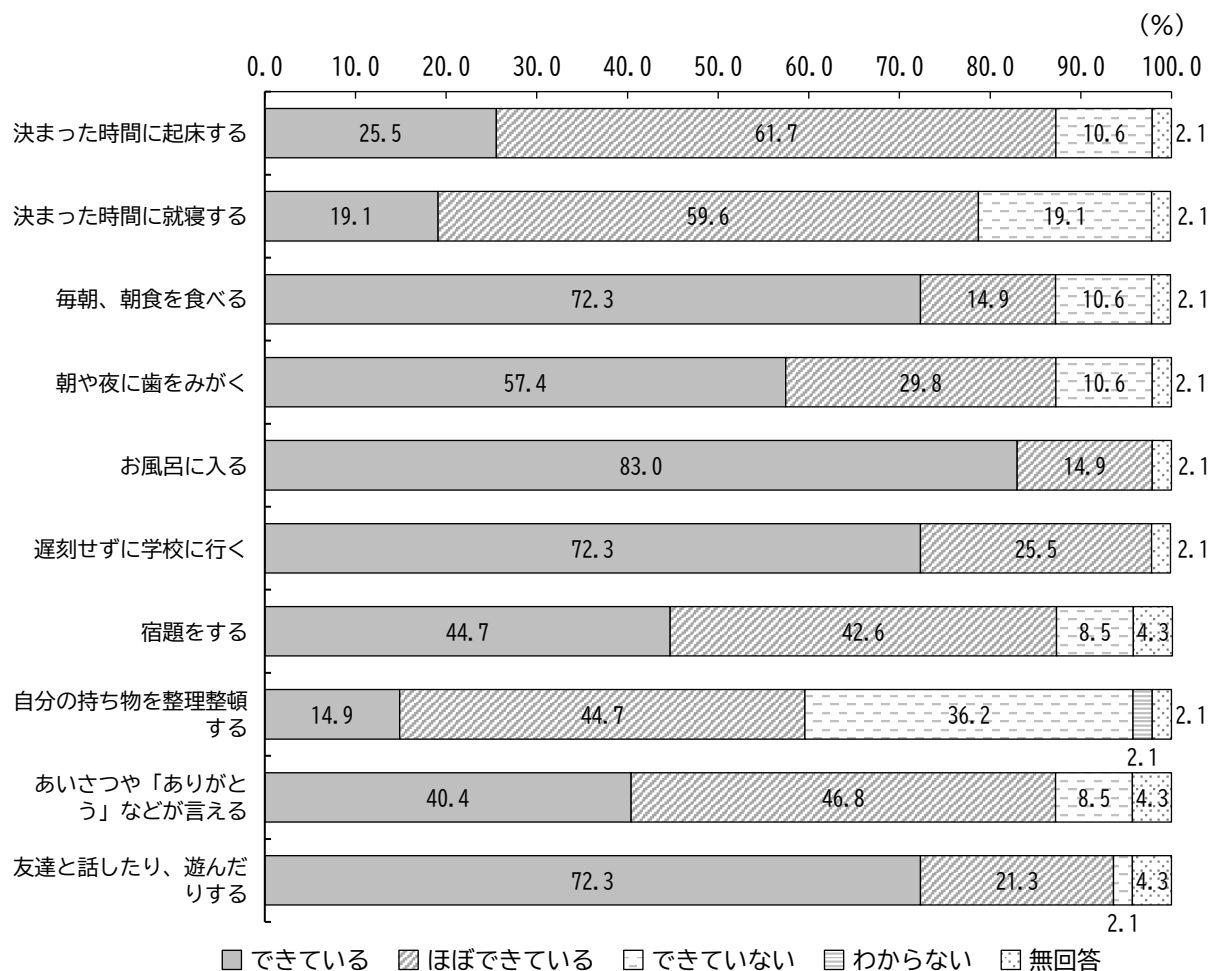
「いいえ」が 41.7%と最も高く、次いで「はい」が 33.3%、「わからない」が 8.3%となっています。



お子さんの生活・学習習慣について

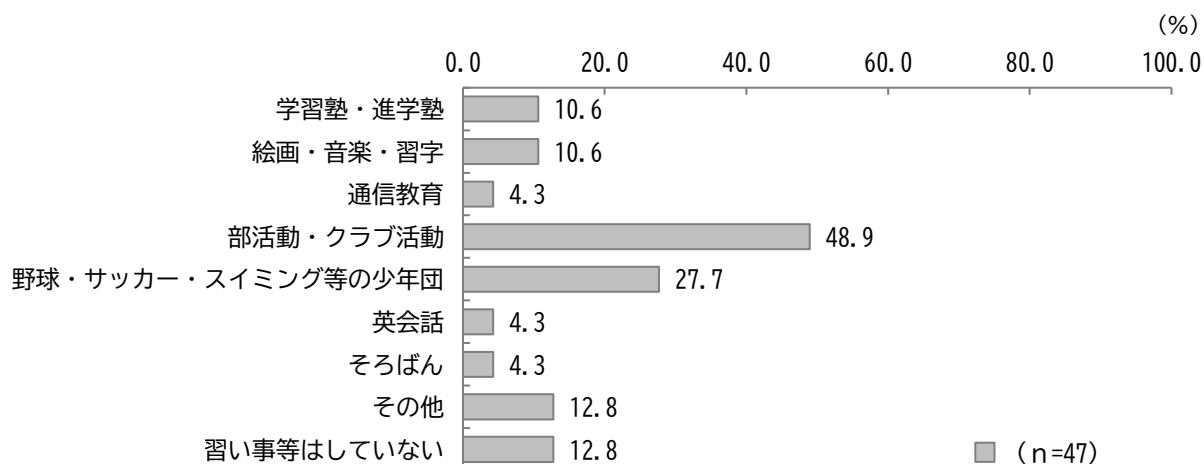
問15 お子さんの基本的な生活・学習習慣について、各項目の状況をお答えください。(項目ごとに、それぞれ1つに○)

「できている(できている+ほぼできている)」では、「自分の持ち物を整理整頓する」が5割台であるものの、他の項目は7割以上を占めています。



問16 お子さんは、現在、習い事等をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

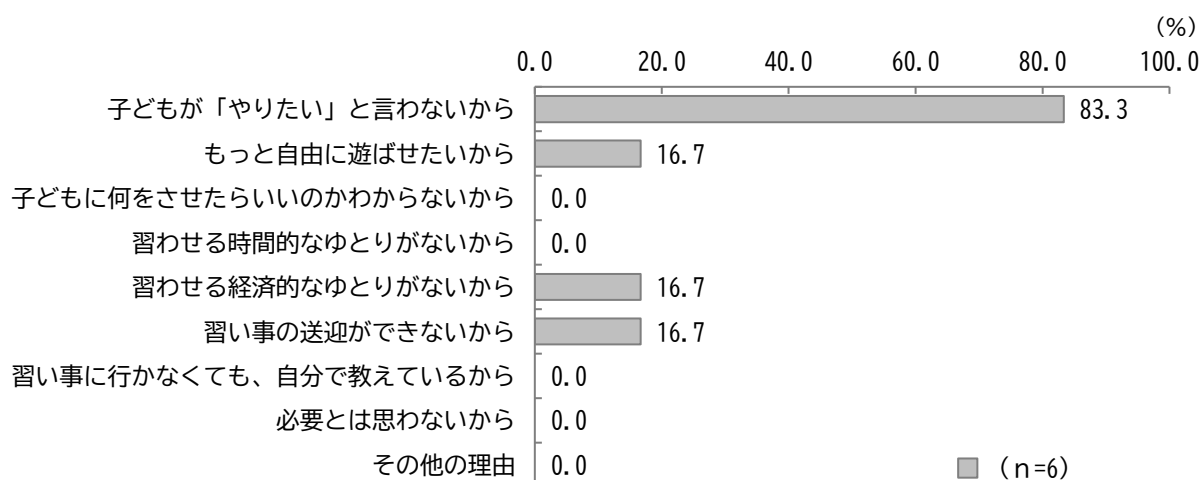
「部活動・クラブ活動」が48.9%と最も高く、次いで「野球・サッカー・スイミング等の少年団」が27.7%、「その他」「習い事等はしていない」がともに12.8%となっています。



※問 16 で「8. 習い事等をしていない」を選んだ方にうかがいます

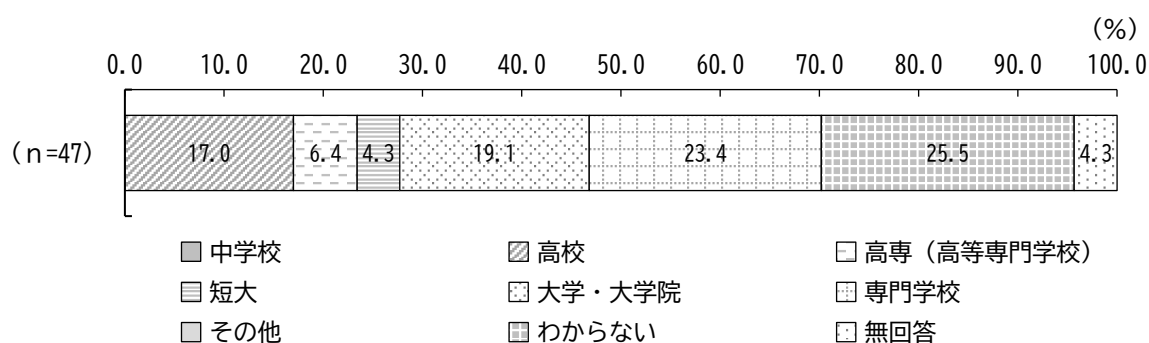
問 16-1 習い事等をしていない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「子どもが「やりたい」と言わないから」が83.3%と最も高く、次いで「もっと自由に遊ばせたいから」「習わせる経済的なゆとりがないから」「習い事の送迎ができないから」がいずれも 16.7%となっています。



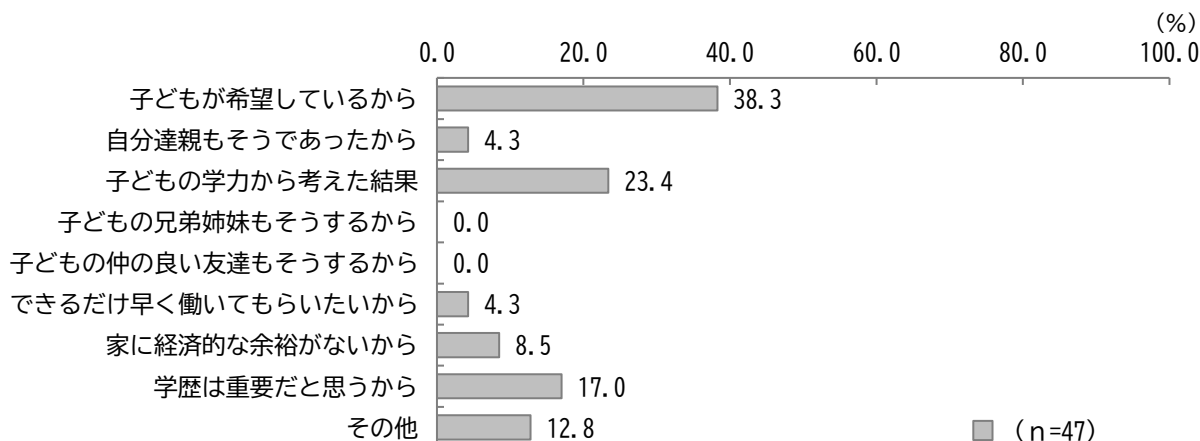
問 17 お子さんは、将来どの学校まで行くことになると思いますか。(いずれか1つに○)

「わからない」が 25.5%と最も高く、次いで「専門学校」が 23.4%、「大学・大学院」が 19.1%となっています。



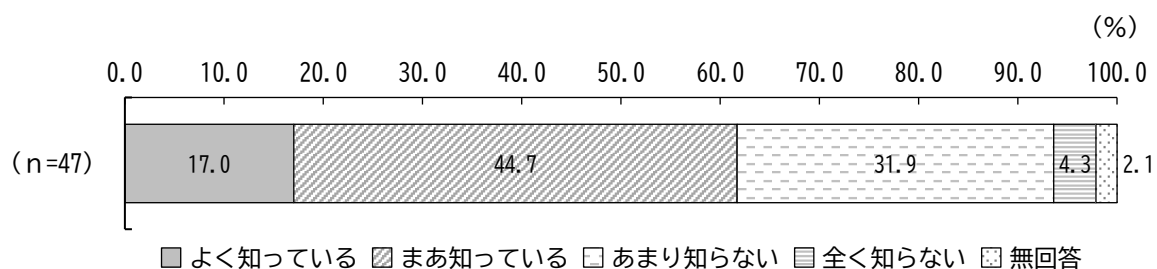
問 18 問 17 でそう考える理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「子どもが希望しているから」が 38.3%と最も高く、次いで「子どもの学力から考えた結果」が 23.4%、「学歴は重要だと思うから」が 17.0%となっています。



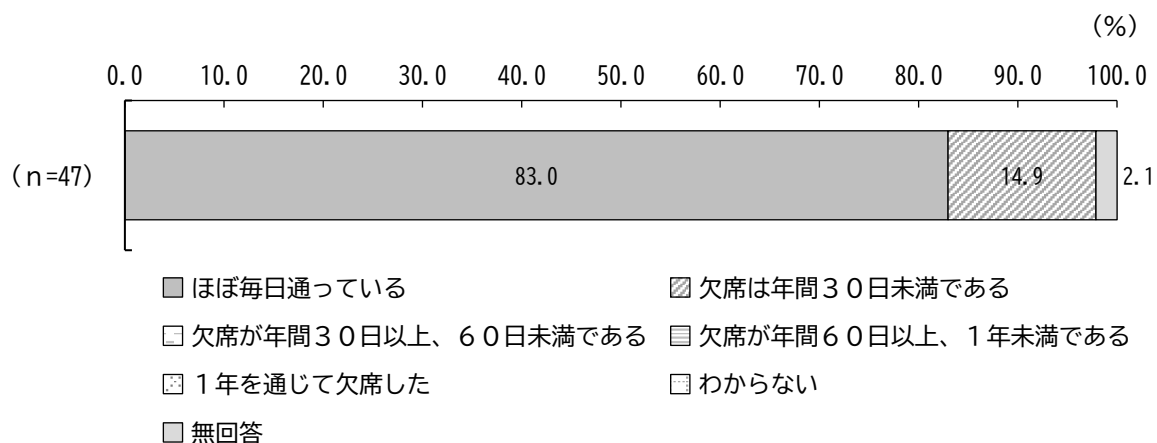
問 19 高校や大学等へ進学するための奨学金制度について、知っていますか。(いずれか1つに○)

「まあ知っている」が 44.7%と最も高く、次いで「あまり知らない」が 31.9%、「よく知っている」が 17.0%となっています。



問20 お子さんの登校の状況(昨年1年間)について教えてください。(いずれか1つに○)

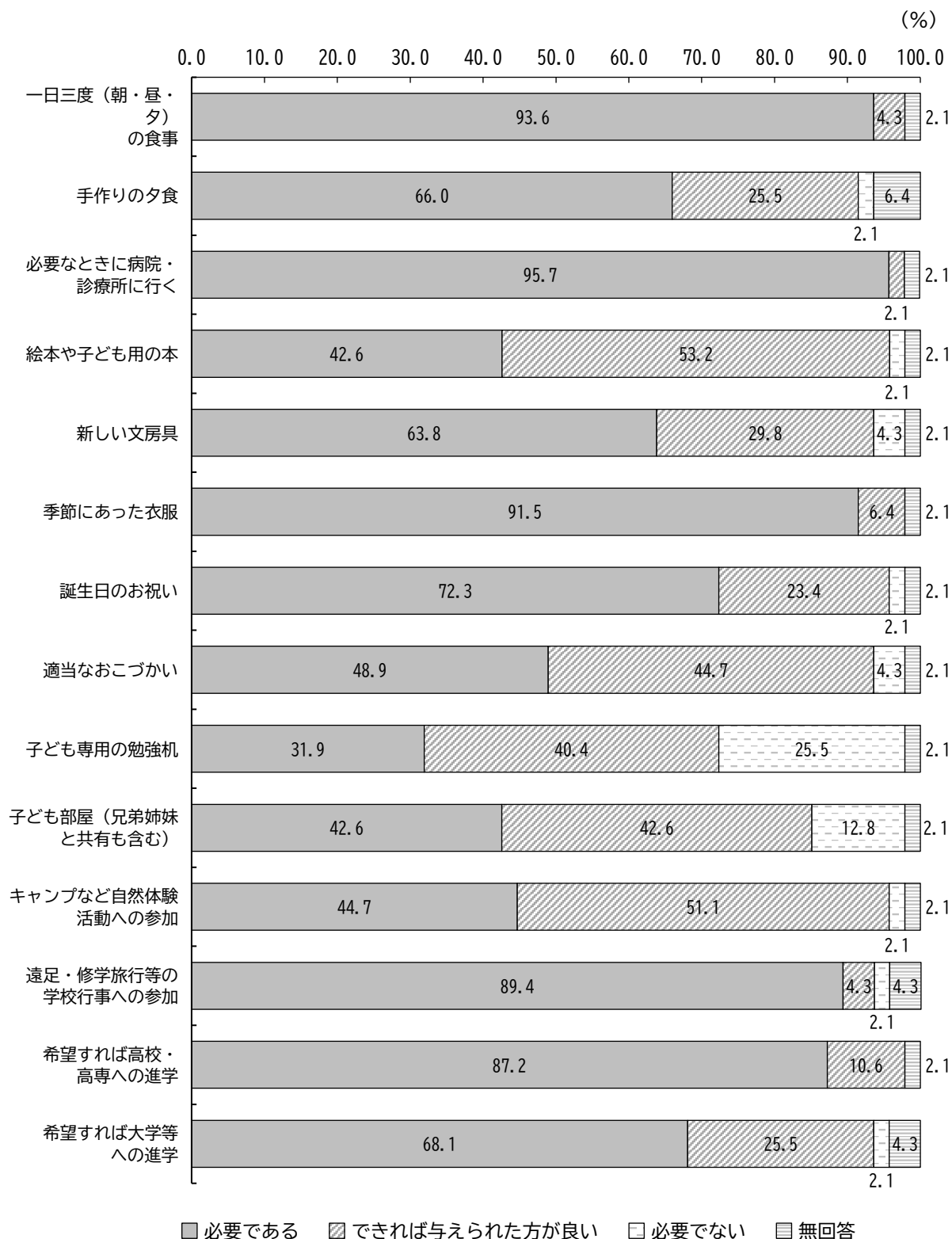
「ほぼ毎日通っている」が 83.0%と最も高く、次いで「欠席は年間30日未満である」が 14.9%となっています。



子どもを取り巻く環境・モノについて

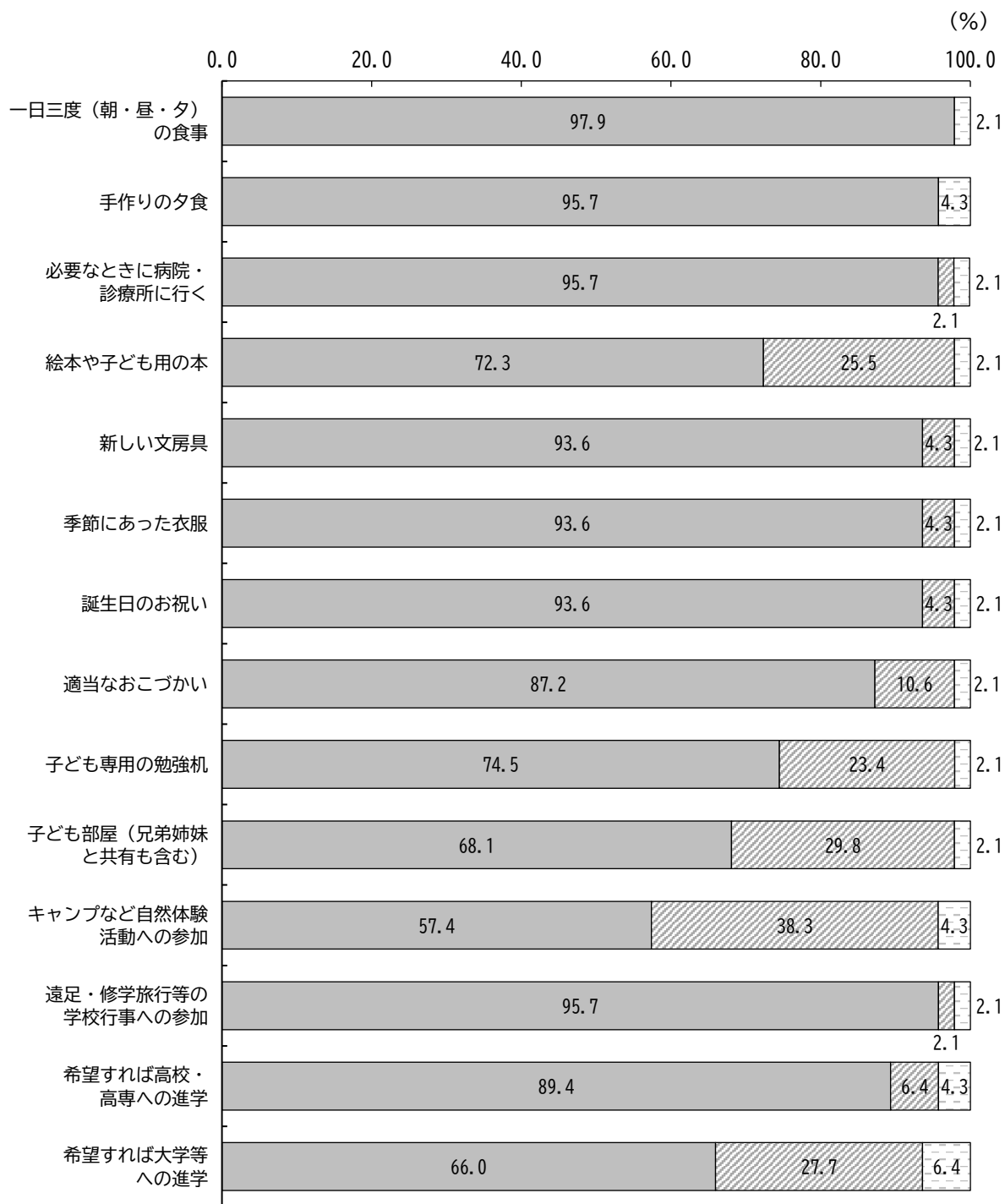
問21 次のような環境やモノは、子どもにとって必要だと思いますか。(項目ごとに、それぞれ1つに○)

「絵本や子ども用の本」「適当なおこづかい」「子ども専用の勉強机」「子ども部屋(兄弟姉妹と共有も含む)」「キャンプなど自然体験活動への参加」では「必要である」の割合が4割台以下となっています。



問22 次のような環境・モノについて、あなたの家庭ではお子さんに与えられていますか。または、与えられそうですか。(項目ごとに、それぞれ1つに○)

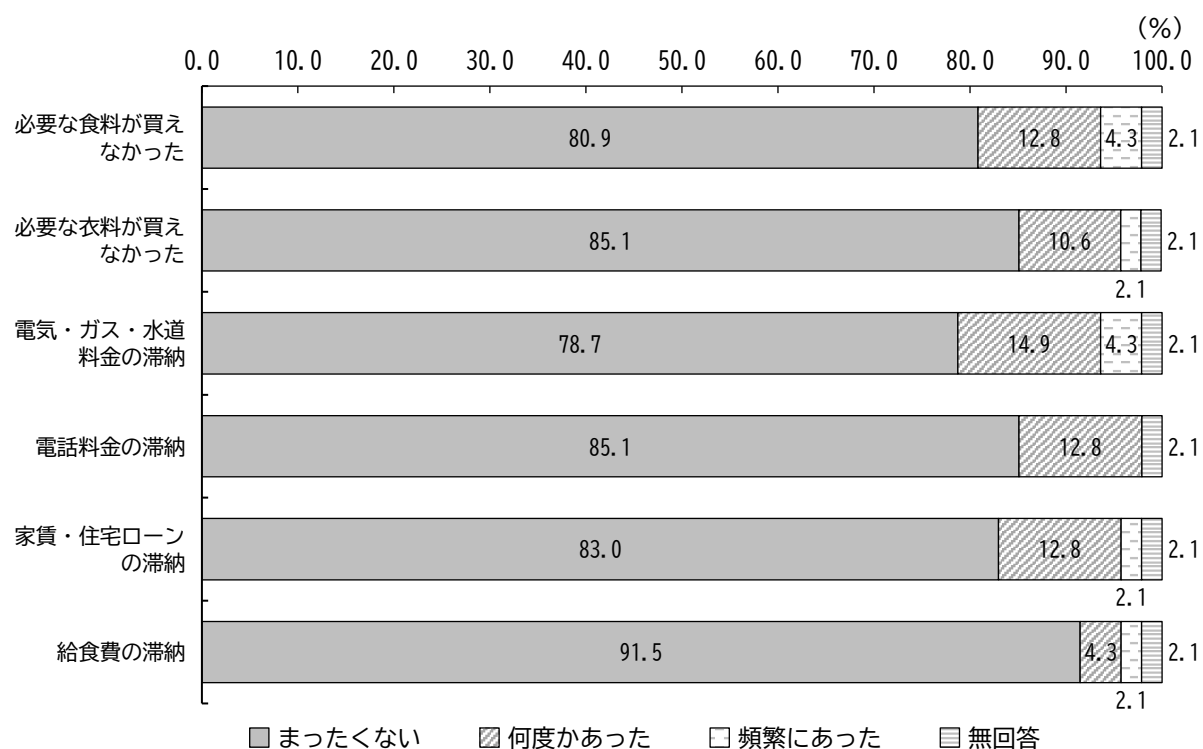
「キャンプなど自然体験活動への参加」では「与えられている(与えられる見込みである)」の割合が5割台となっており、他の項目に比べて低くなっています。



■ 与えられている(与えられる見込みである) ▨ 与えられていない(与えられそうにない) □ 無回答

問23 あなたの世帯(家庭)では、過去1年間に、経済的な理由による次のような経験がありましたか。(項目ごとに、それぞれ1つに○)

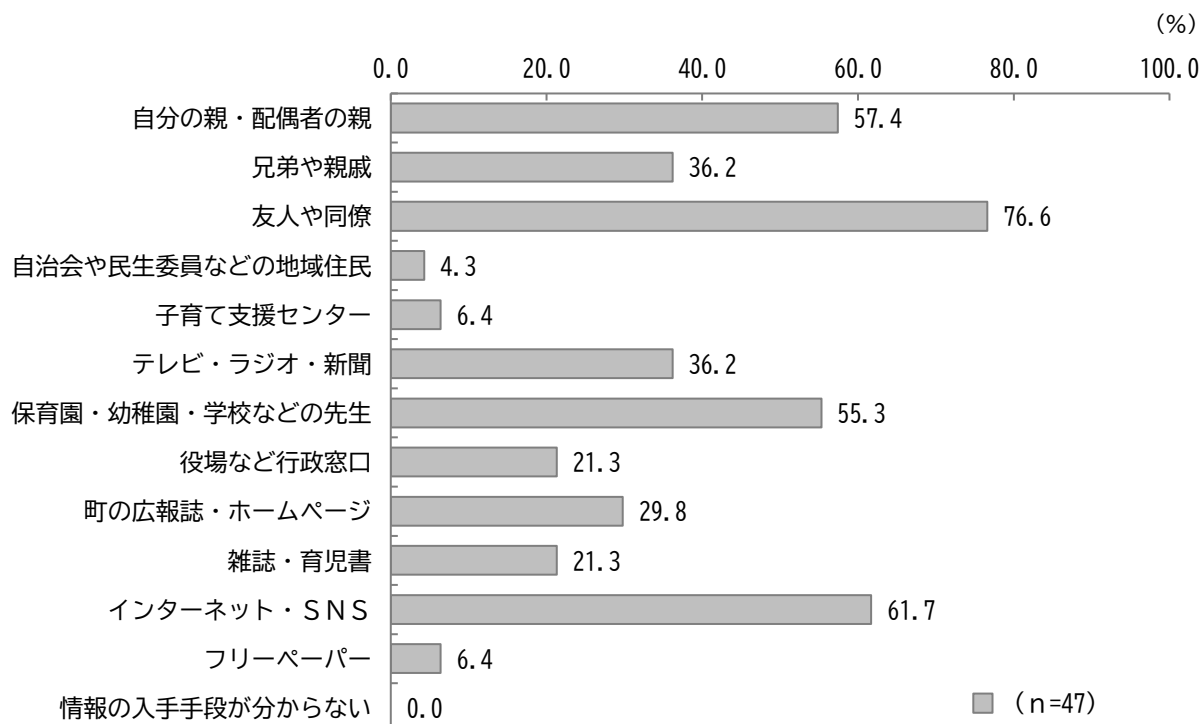
「何度かあった」「頻繁にあった」を合わせた割合は、「給食費の滞納」は1割未満であるものの、他の項目は1割台を占めています。



子育ての悩みや相談について

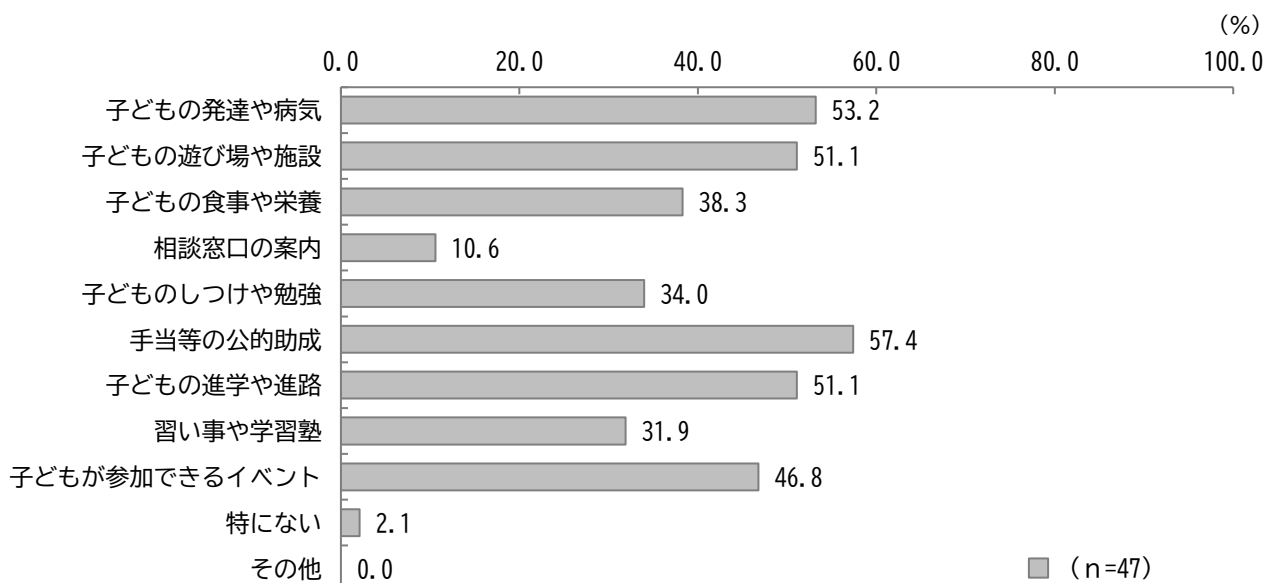
問24 子育てに関する情報についてお尋ねします。あなたは、子育てに関する情報をどこから入手しますか。(あてはまるものすべてに○)

「友人や同僚」が 76.6%と最も高く、次いで「インターネット・SNS」が 61.7%、「自分の親・配偶者の親」が 57.4%となっています。



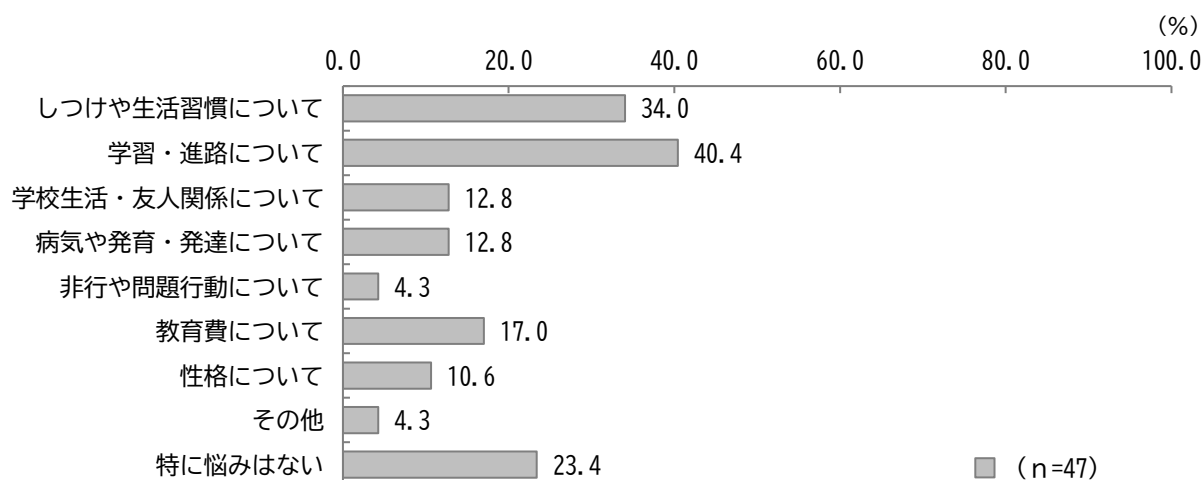
問25 子育てに関する情報について、どのような内容のものがあれば良いと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「手当等の公的助成」が 57.4%と最も高く、次いで「子どもの発達や病気」が 53.2%、「子どもの遊び場や施設」「子どもの進学や進路」がともに 51.1%となっています。



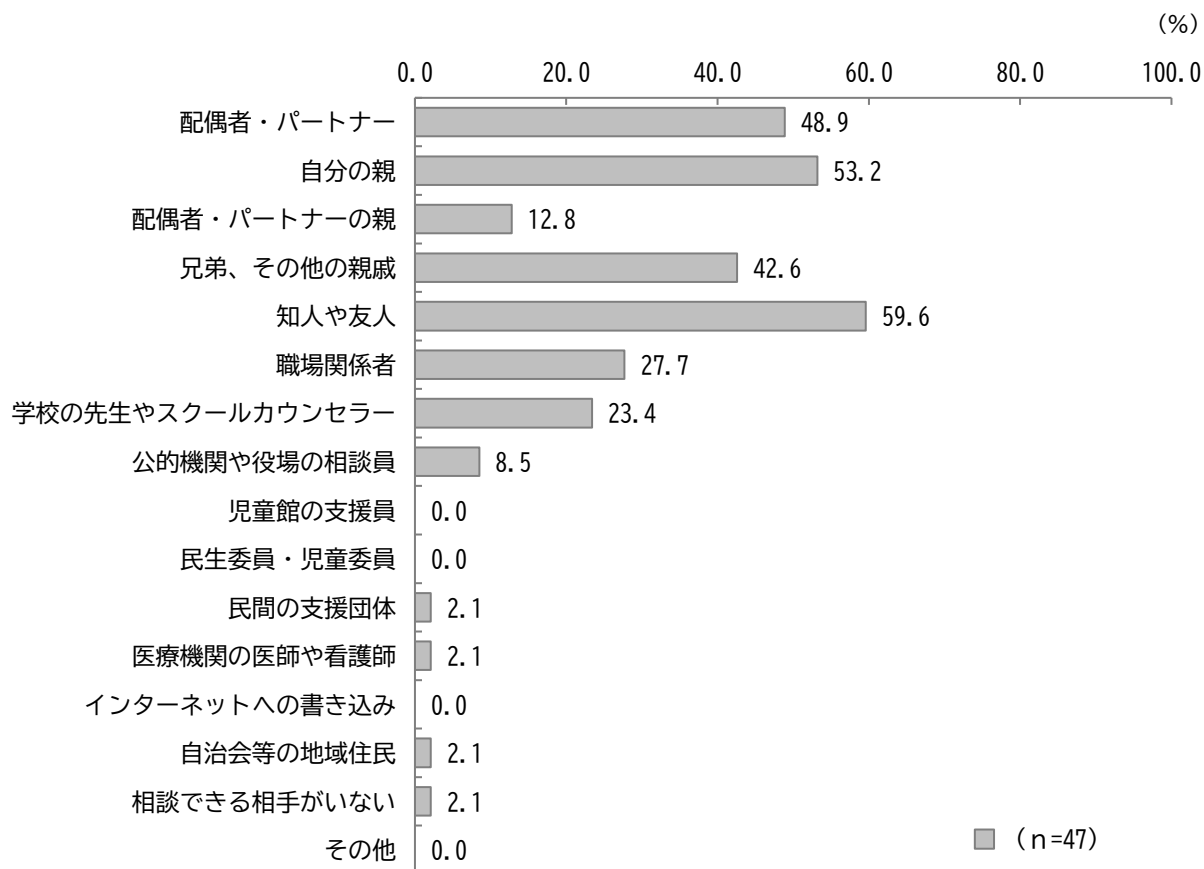
問26 お子さんのことについて、家庭内で悩んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「学習・進路について」が40.4%と最も高く、次いで「しつけや生活習慣について」が34.0%、「特に悩みはない」が23.4%となっています。



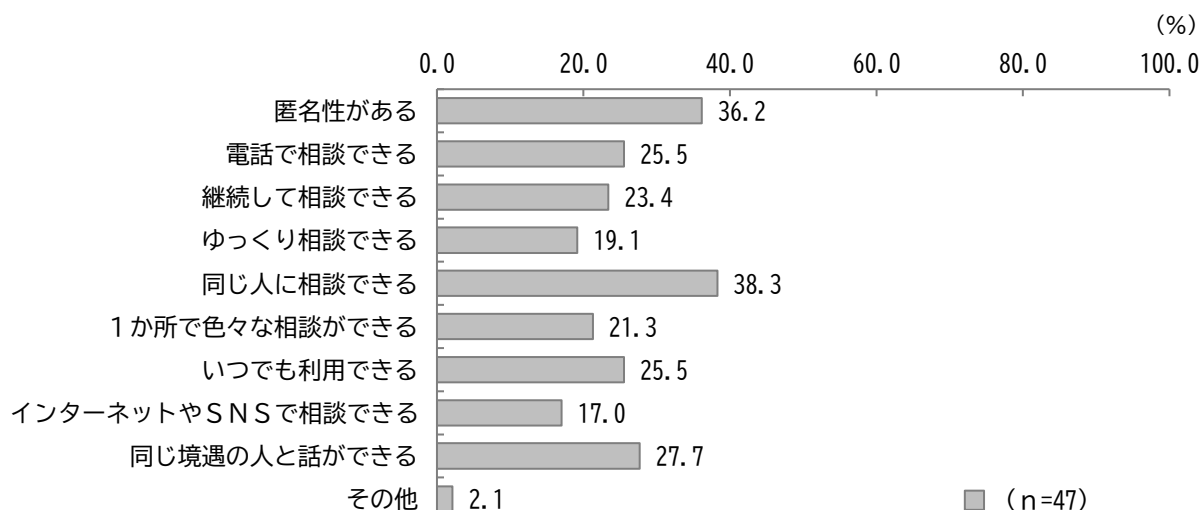
問27 あなたが困った時や悩みがある時、相談相手や相談先はどこですか。

「知人や友人」が59.6%と最も高く、次いで「自分の親」が53.2%、「配偶者・パートナー」が48.9%となっています。



問28 あなたは、役場の相談窓口がどのような場所(相手)であれば相談しやすいですか。(あてはまるものすべてに○)

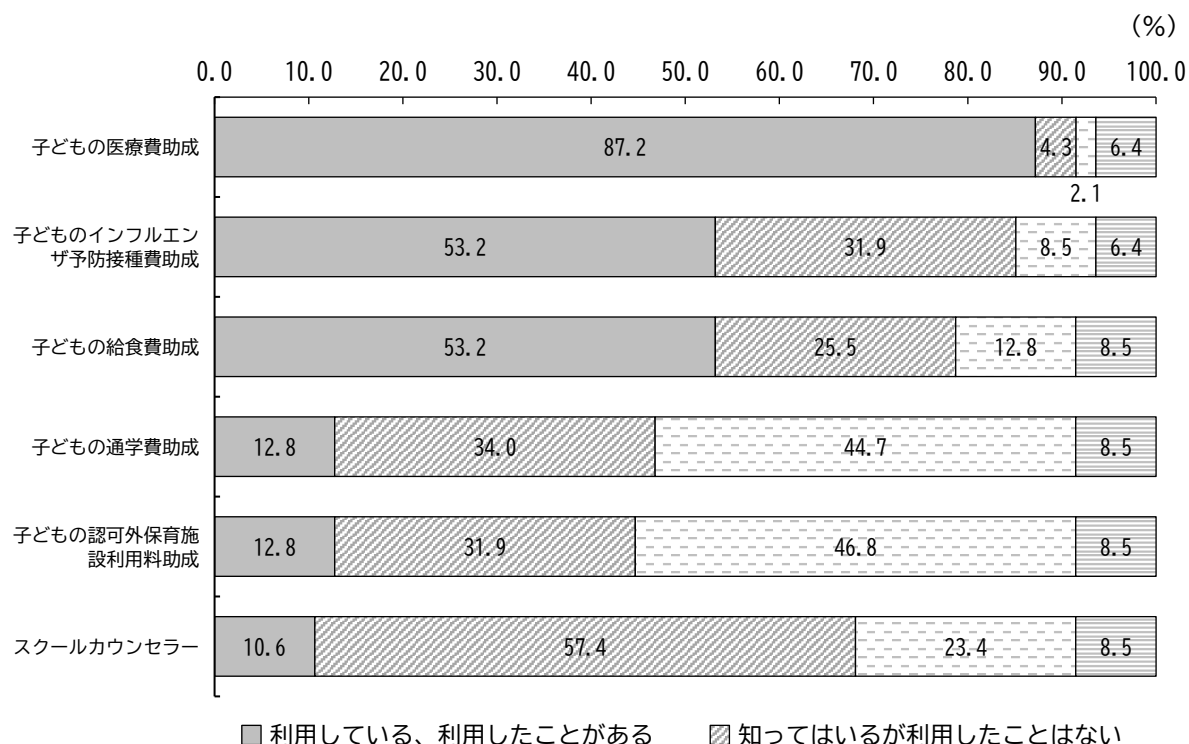
「同じ人に相談できる」が 38.3%と最も高く、次いで「匿名性がある」が 36.2%、「同じ境遇の人と話ができる」が 27.7%となっています。



各種支援・サービスについて

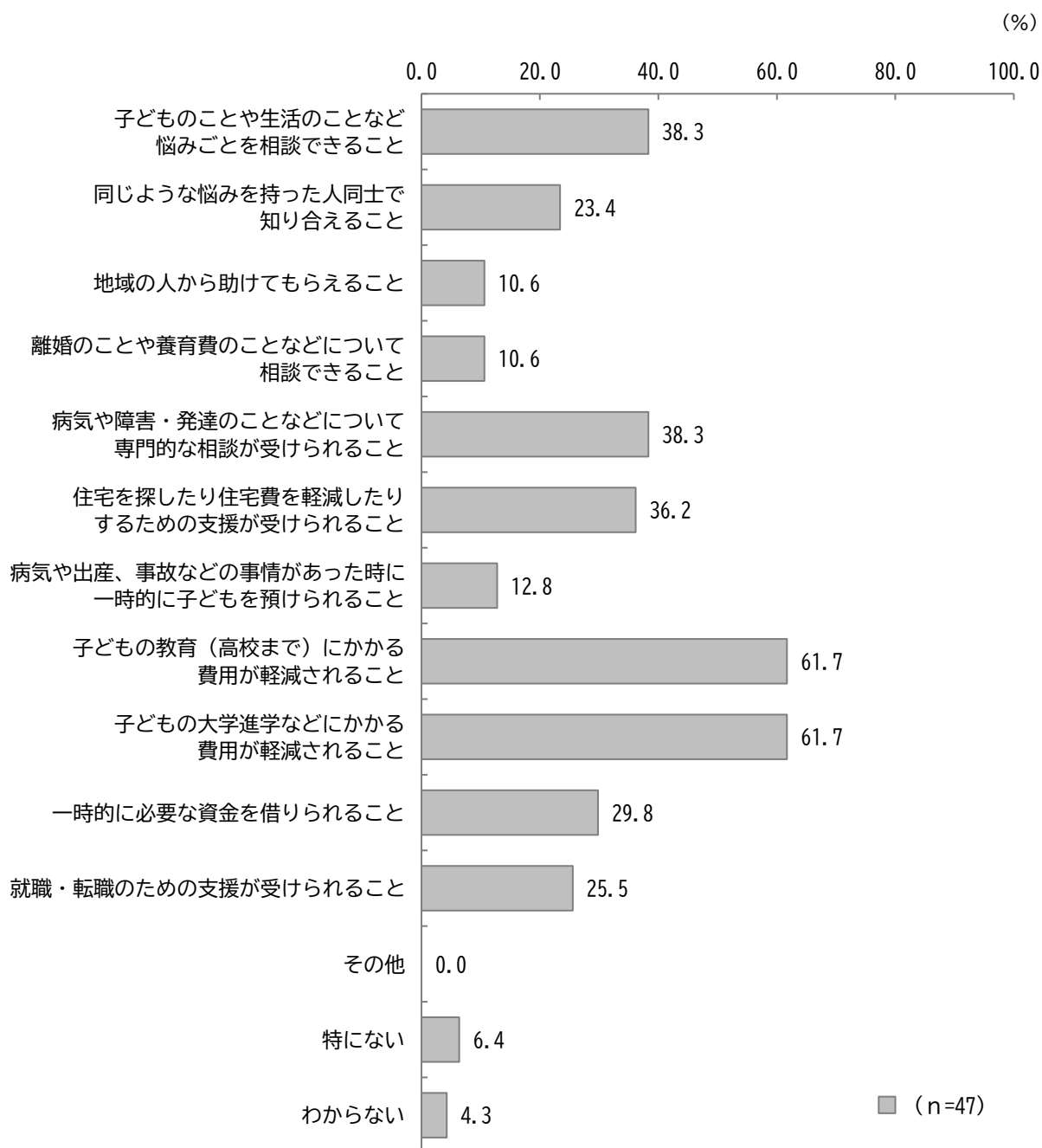
問29 あなたは、次のような支援・サービスなどを利用したことがありますか。(それぞれ1つに○)

「利用している」の割合は、「子どもの医療費助成」では8割台、「子どものインフルエンザ予防接種費助成」「子どもの給食費助成」では5割台を占めているものの、他の項目では1割台となっています。



問30 現在必要としていること、重要だと思う支援策はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

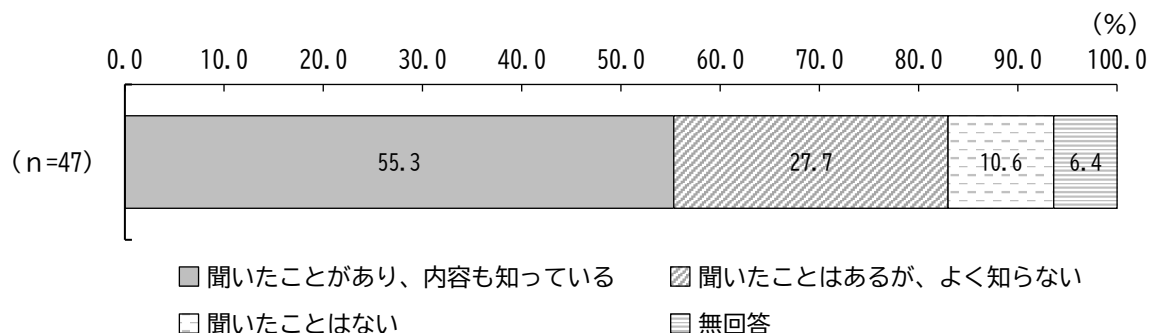
「子どもの教育(高校まで)にかかる費用が軽減されること」「子どもの大学進学などにかかる費用が軽減されること」がともに 61.7%と最も高く、次いで「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」「病気や障害・発達のことなどについて専門的な相談が受けられること」がともに 38.3%、「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」が 36.2%となっています、



ヤングケアラーについて

問31 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。(1つだけ)

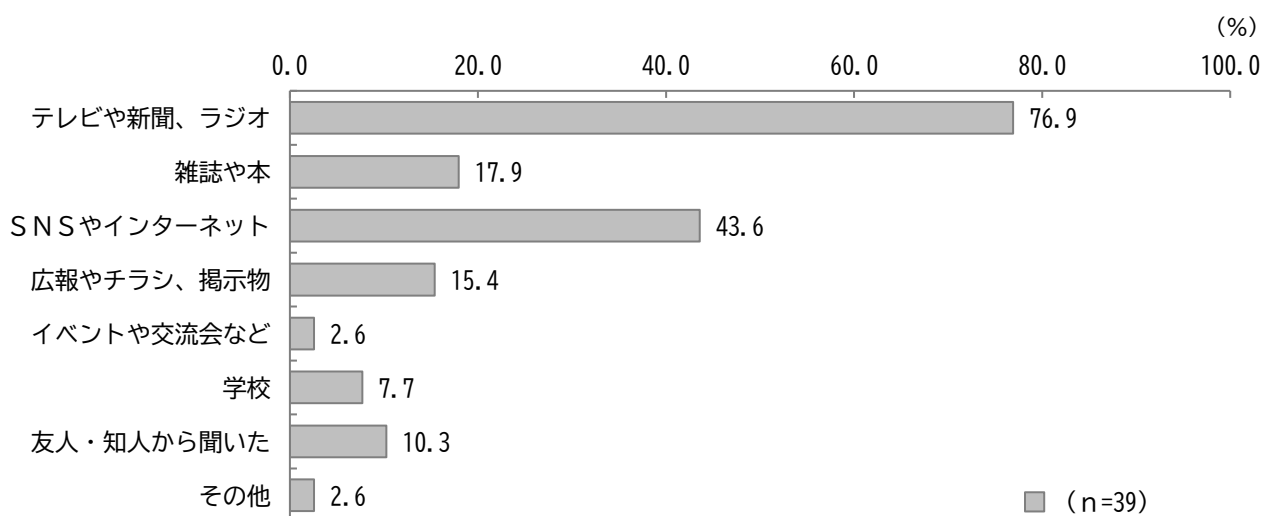
「聞いたことがあります、内容も知っている」が 55.3%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」が 27.7%、「聞いたことはない」が 10.6%となっています。



※問 31 で「1」「2」を選んだ方のみ、お答えください

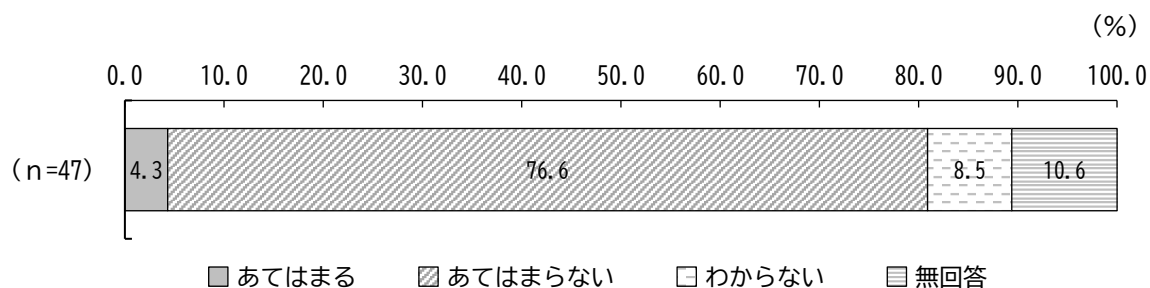
問32 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。(いくつでも)

「テレビや新聞、ラジオ」が 76.9%と最も高く、次いで「SNSやインターネット」が 43.6%、「雑誌や本」が 17.9%となっています。



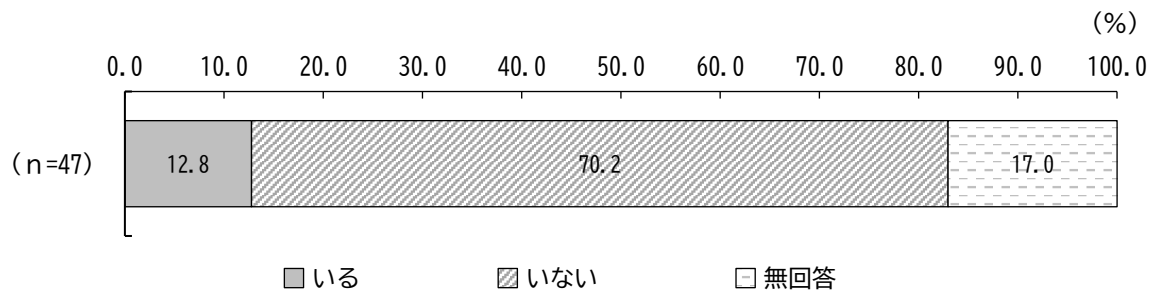
問33 お子さんは「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。(1つだけ)

「あてはまらない」が 76.6%と最も高く、次いで「わからない」が 8.5%、「あてはまる」が 4.3%となっています。



問34 現在、あなたの周囲のこどもの中で、「ヤングケアラーに該当する」と感じるこどもはい
ますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

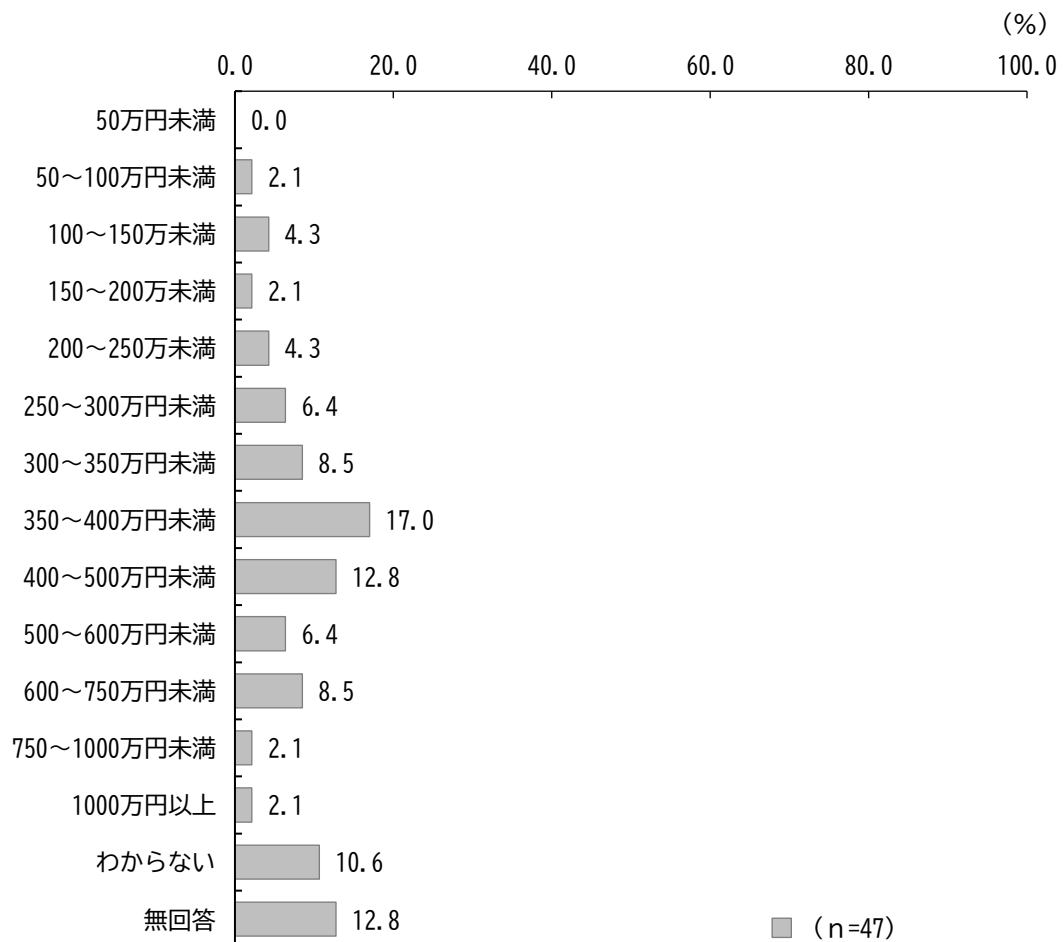
「いる」が12.8%、「いない」が70.2%となっています。



世帯の経済的状況について

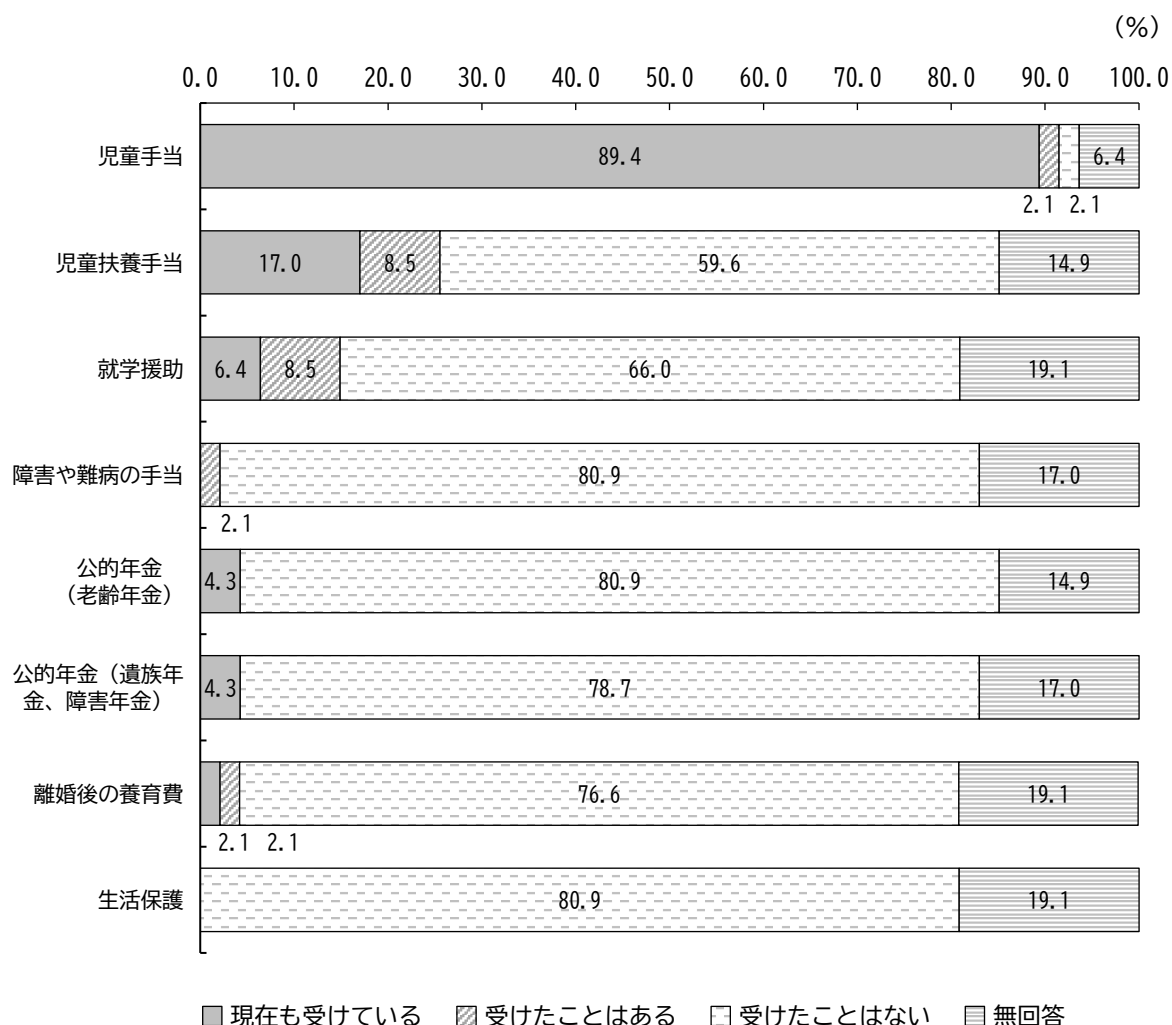
問35 一緒にお住まいで、生計を共にしているご家族全員の収入を合わせた「世帯の年間収入
(税込み)」について、昨年(令和5年)はおよそいくらでしたか。(いずれか1つに○)

「350～400 万円未満」が17.0%と最も高く、次いで「400～500 万円未満」が12.8%、「わから
ない」が10.6%となっています。



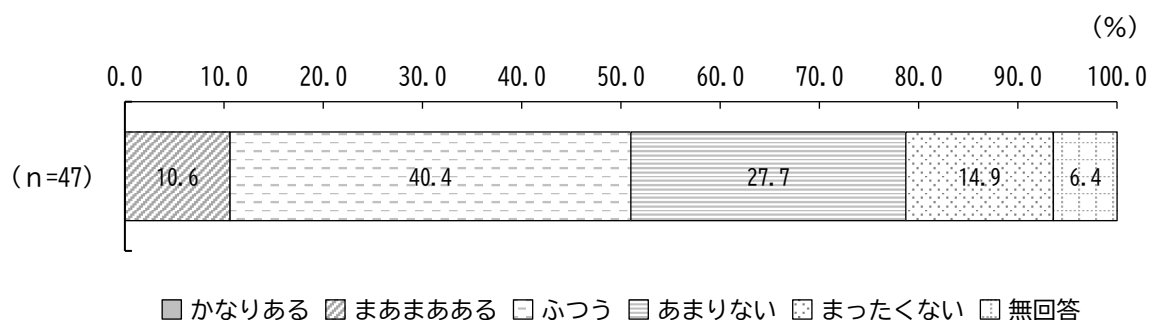
問36 あなたの世帯では、過去1年間に次のような手当や援助等を受けたことがありますか。

「現在も受けている」「受けたことはある」を合わせた割合は、「児童手当」では9割台を占めているものの、他の項目では2割台以下となっています。



問37 あなたの世帯では、現在の生活に経済的なゆとりがありますか。(いずれか1つに○)

「ふつう」が40.4%と最も高く、次いで「あまりない」が27.7%、「まったくない」が14.9%となっています。

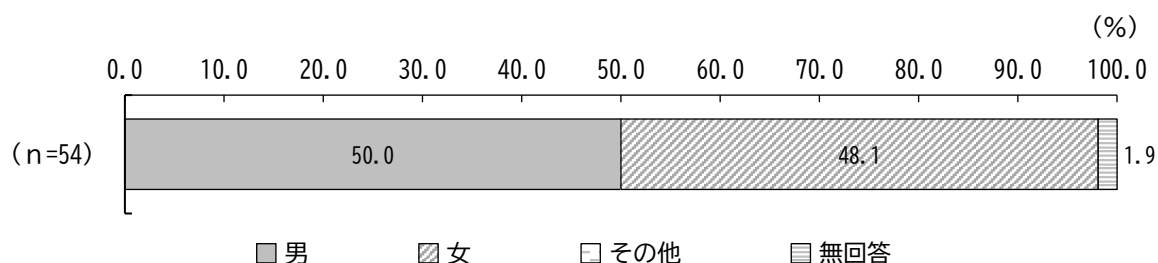


V 調査結果【生活に関する意識調査(小学5年生)】

属性

あなたの性別について教えてください。

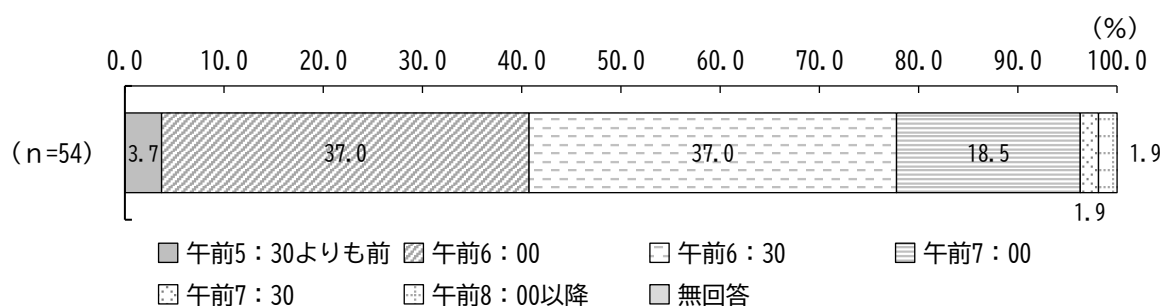
「男」が50.0%と最も高く、次いで「女」が48.1%となっています。



あなたの普段の生活のことについて

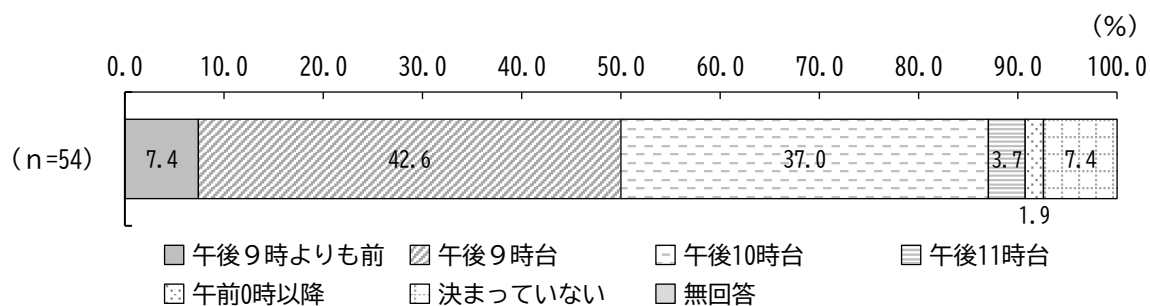
問1 あなたは、学校のある日は何時に起きていますか。

「午前6:00」「午前6:30」がともに37.0%と最も高く、次いで「午前7:00」が18.5%、「午前5:30よりも前」が3.7%となっています。



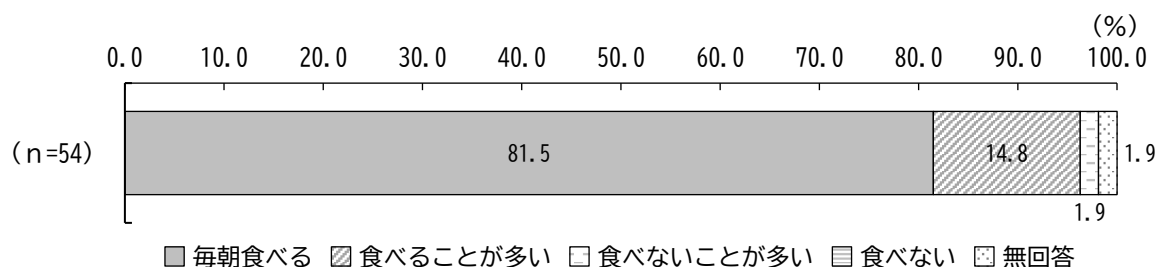
問2 あなたは、学校のある日は何時に寝ていますか。

「午後9時台」が42.6%と最も高く、次いで「午後10時台」が37.0%、「午後9時よりも前」「決まっていない」がともに7.4%となっています。



問3 朝食についておたずねします。あなたは週にどのくらい、朝食を食べていますか。

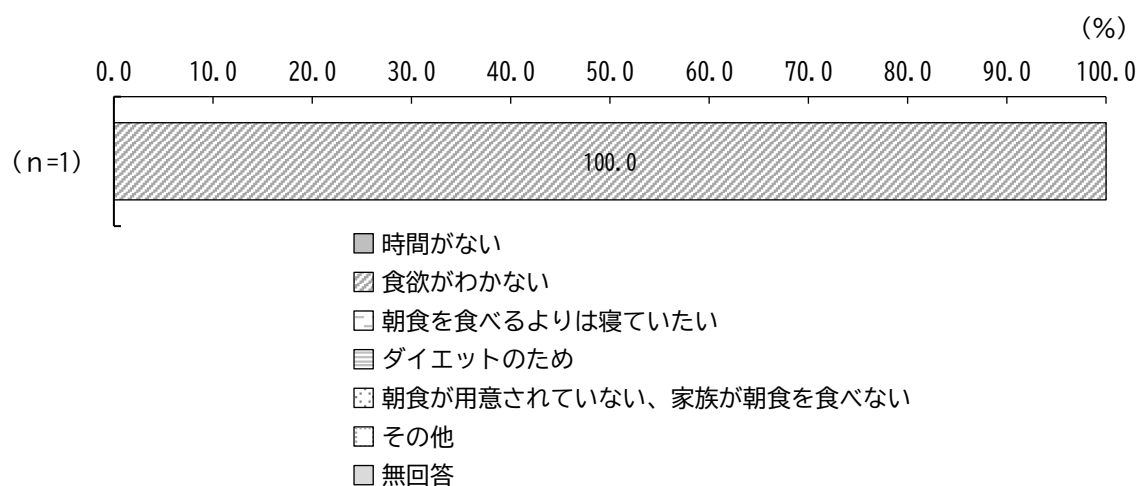
「毎朝食べる」が 81.5%と最も高く、次いで「食べることが多い」が 14.8%、「食べないことが多い」が 1.9%となっています。



※問3で「3. 食べないことが多い」「4. 食べない」を選んだ人におたずねします。

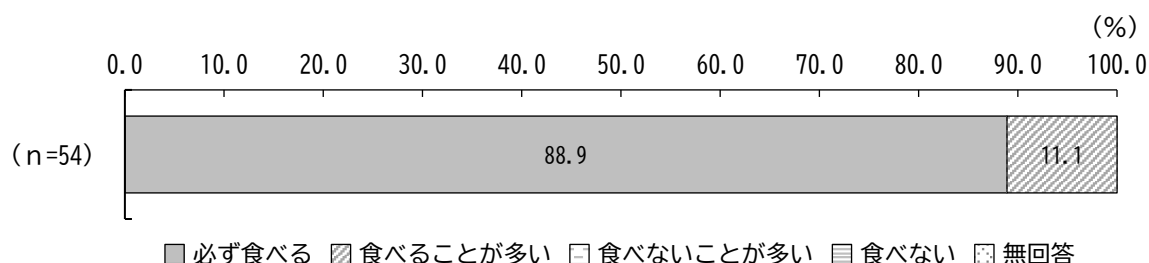
問3-1 あなたが朝ごはんを食べない理由は何ですか。

「食欲がわからない」が 100.0%となっています。



問4 夕食についておたずねします。あなたは週にどのくらい、夕食を食べていますか。

「必ず食べる」が 88.9%と最も高く、次いで「食べるが多い」が 11.1%となっています。



※問4で「3. 食べないが多い」「4. 食べない」を選んだ人におたずねします。

問4-1 あなたが夕食を食べない理由は何ですか。

該当者はありませんでした。

問4-2 次のことについて教えてください。

【家族の大人の人と一緒に夕食を食べていますか】

「はい」が90.7%となっています。

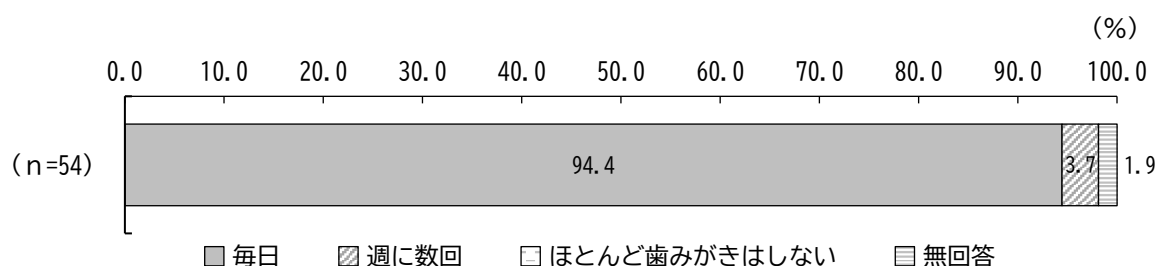
【自分が食べたい量の食事を食べられていますか】

「はい」が90.7%となっています。



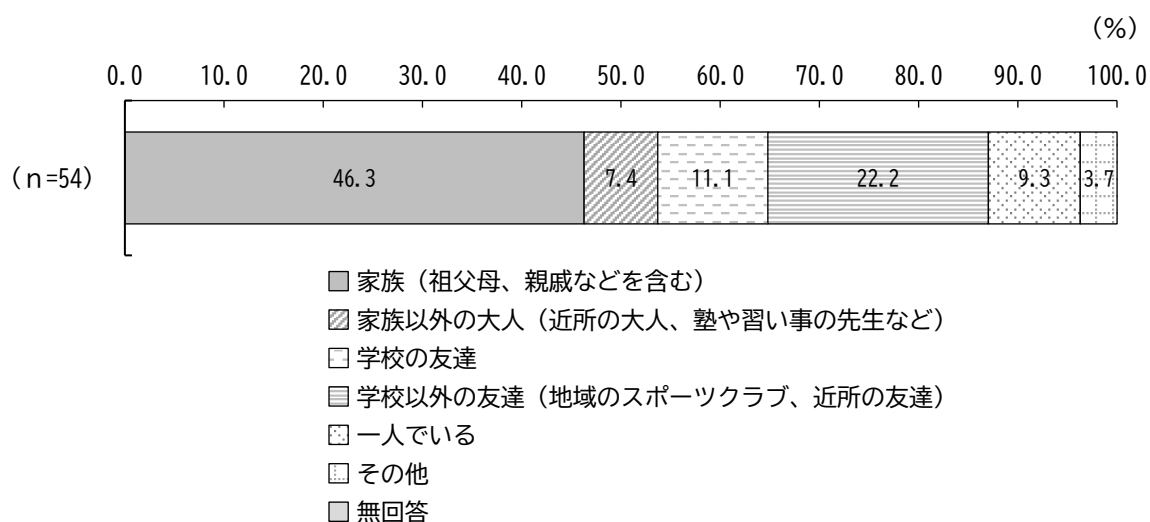
問5 あなたは、週にどれくらい歯みがきをしますか。

「毎日」が94.4%と最も高く、次いで「週に数回」が3.7%となっています。



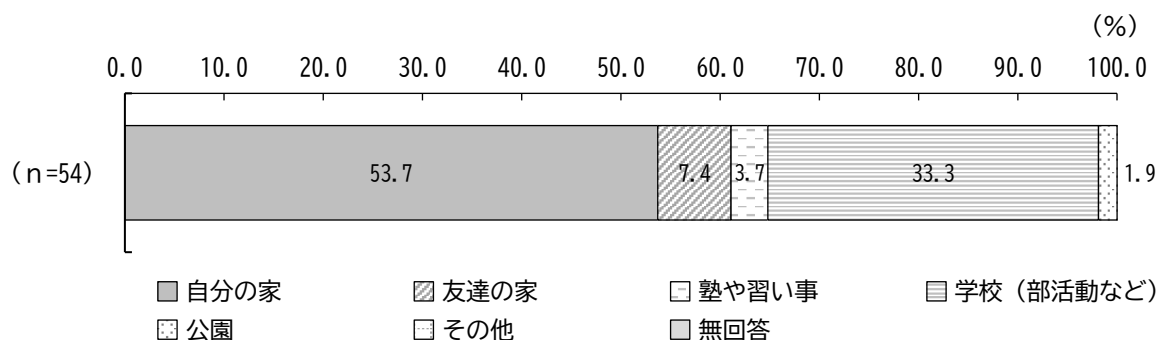
問6 あなたは、放課後だれと一緒に過ごすことが多いですか。

「家族(祖父母、親戚などを含む)」が46.3%と最も高く、次いで「学校以外の友達(地域のスポーツクラブ、近所の友達)」が22.2%、「学校の友達」が11.1%となっています。



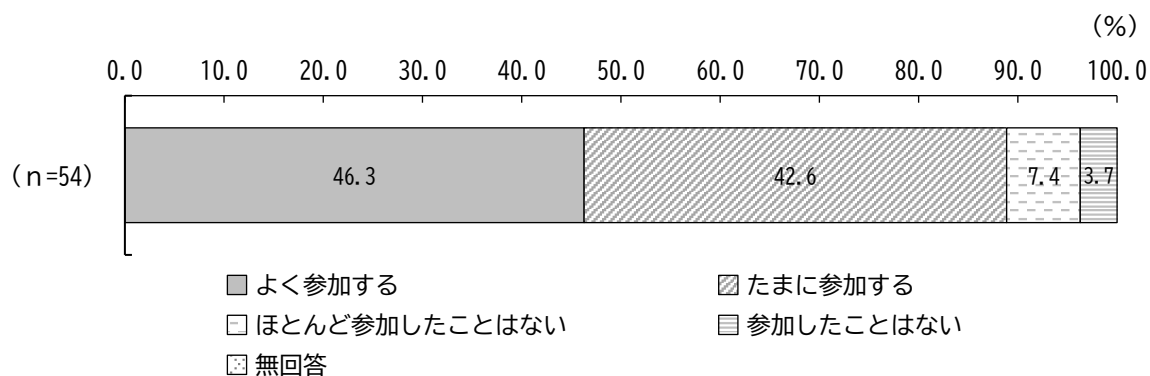
問7 あなたは、放課後はどこで過ごすことが一番多いですか。

「自分の家」が53.7%と最も高く、次いで「学校(部活動など)」が33.3%、「友達の家」が7.4%となっています。



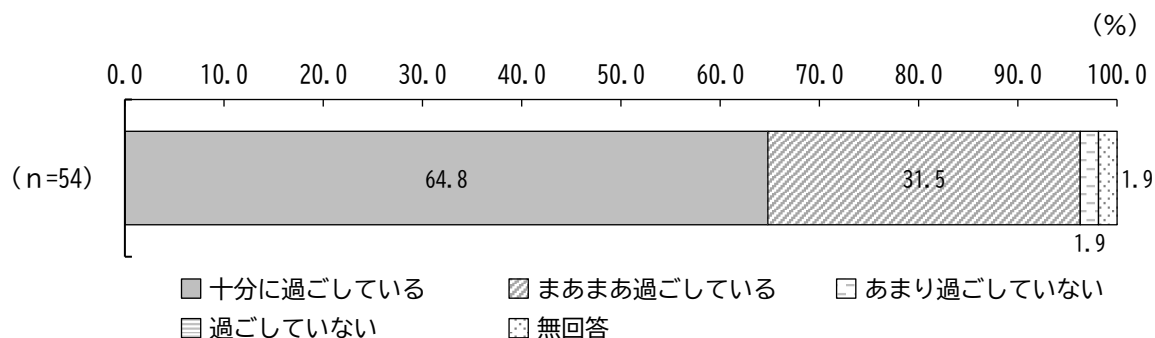
問8 あなたは、家族の人と一緒に地域やこども会の行事へ参加していますか。

「よく参加する」が46.3%と最も高く、次いで「たまに参加する」が42.6%、「ほとんど参加したことはない」が7.4%となっています。



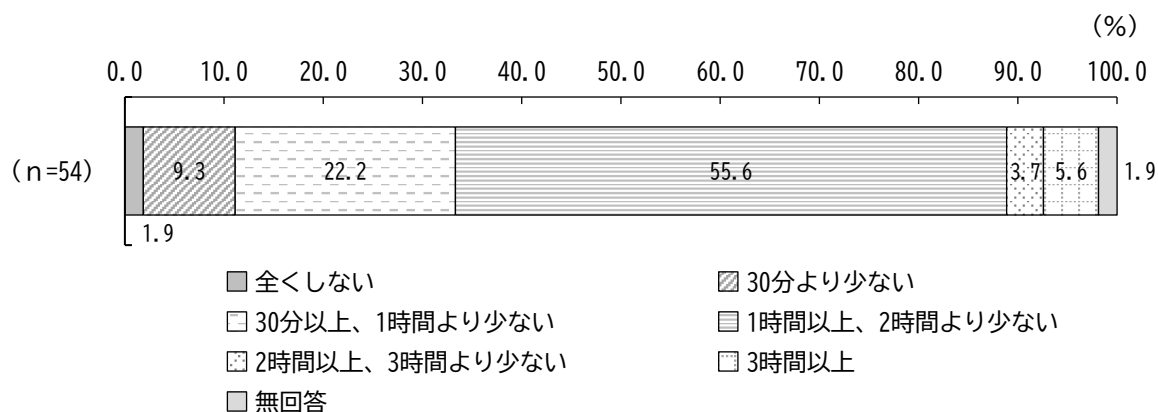
問9 あなたは、どのくらい家族と一緒に時間を過ごしていますか。

「十分に過ごしている」が64.8%と最も高く、次いで「まあまあ過ごしている」が31.5%、「あまり過ごしていない」が1.9%となっています。



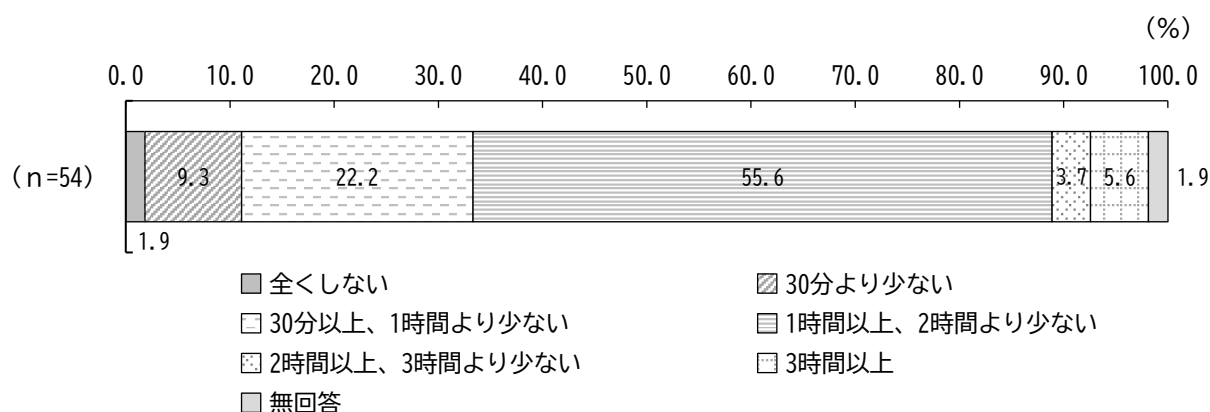
問10 あなたは、学校以外で1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。

「1時間以上、2時間より少ない」が 55.6%と最も高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が 22.2%、「30分より少ない」が 9.3%となっています。



問11 学校の勉強について、あなたの気持ちに近いものはどれですか。

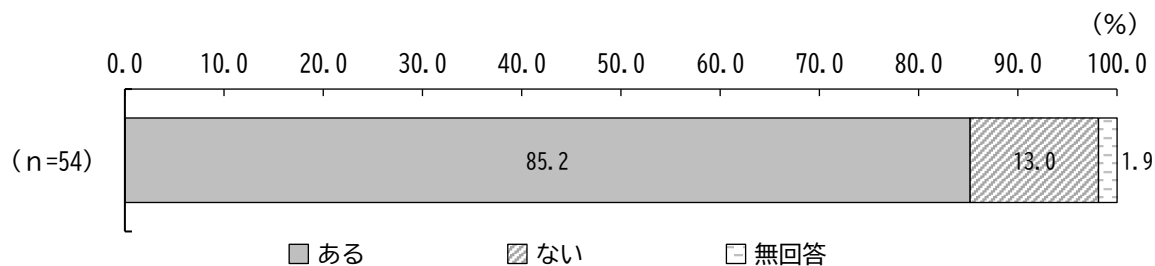
「だいたいわかる」が 55.6%と最も高く、次いで「よくわかる」が 38.9%、「ほとんどわからない」が 3.7%となっています。



将来の夢について

問12 あなたには将来の夢がありますか。

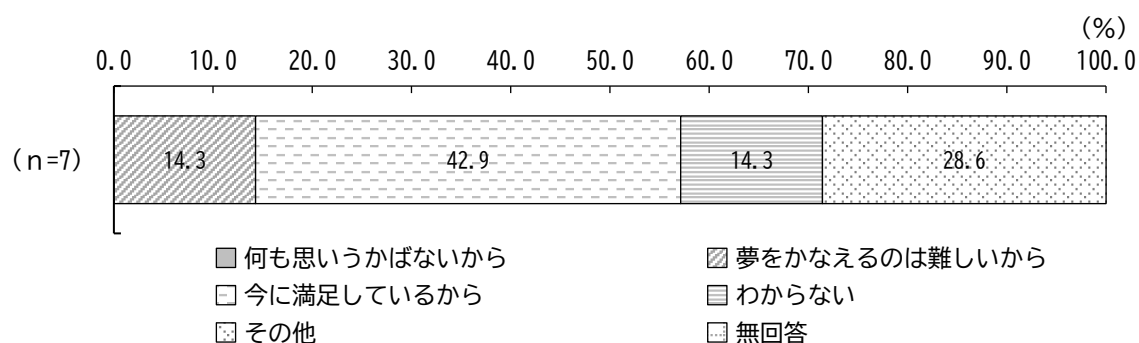
「ある」が 85.2%、「ない」が 13.0%となっています。



※問 12 で将来の夢が「2. ない」と答えた方におたずねします

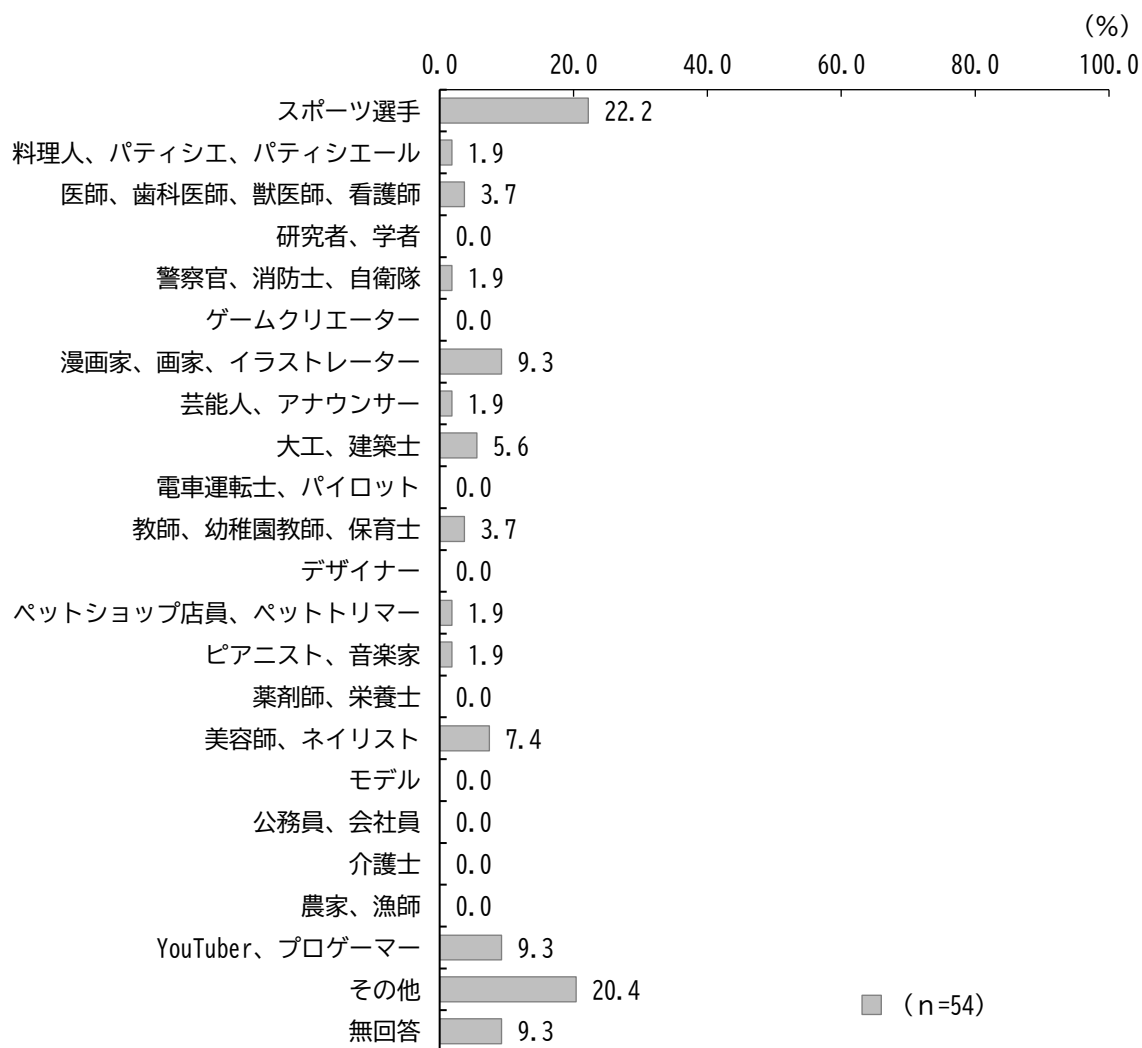
問12-1 将来の夢がない理由を教えてください。

「今に満足しているから」が 42.9%と最も高く、次いで「その他」が 28.6%、「夢をかなえるのは難しいから」「わからない」がともに 14.3%となっています。



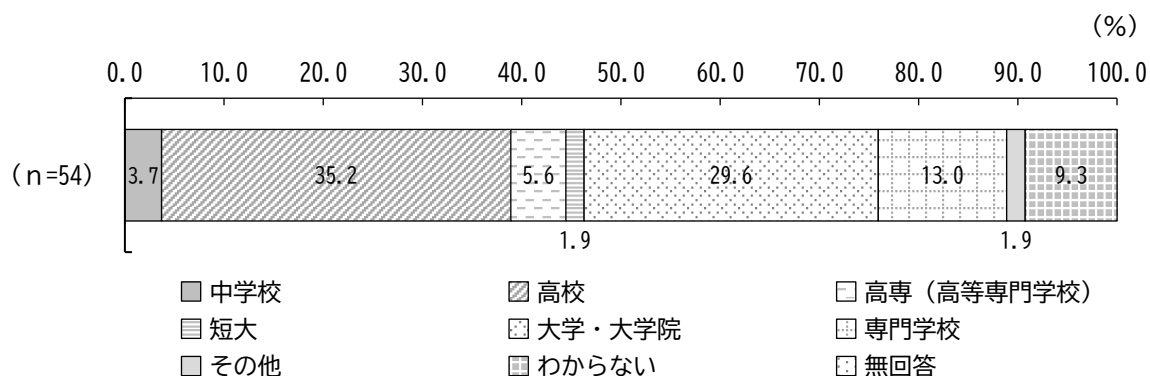
問13 あなたが将来なりたい職業について教えてください。

「スポーツ選手」が 22.2%と最も高く、次いで「その他」が 20.4%、「漫画家、画家、イラストレーター」「YouTuber、プロゲーマー」がともに 9.3%となっています。



問14 あなたは、できれば将来どの学校まで行きたいと思いますか。

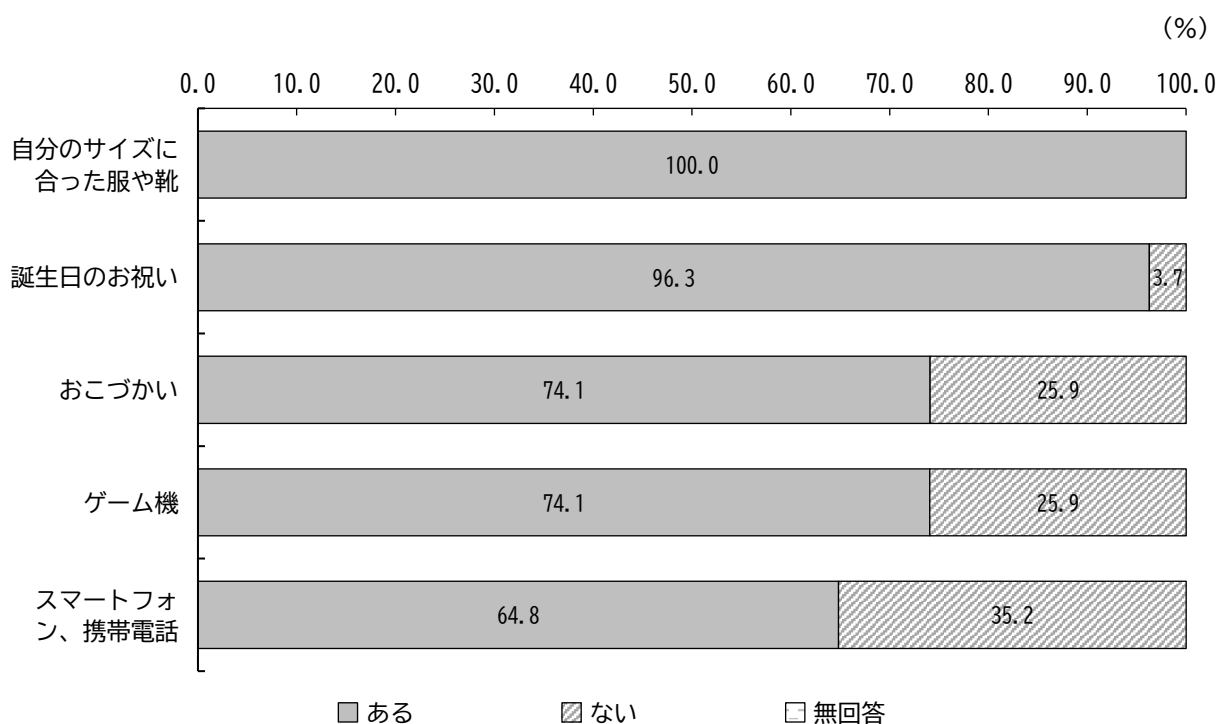
「高校」が35.2%と最も高く、次いで「大学・大学院」が29.6%、「専門学校」が13.0%となっています。



持っている物について

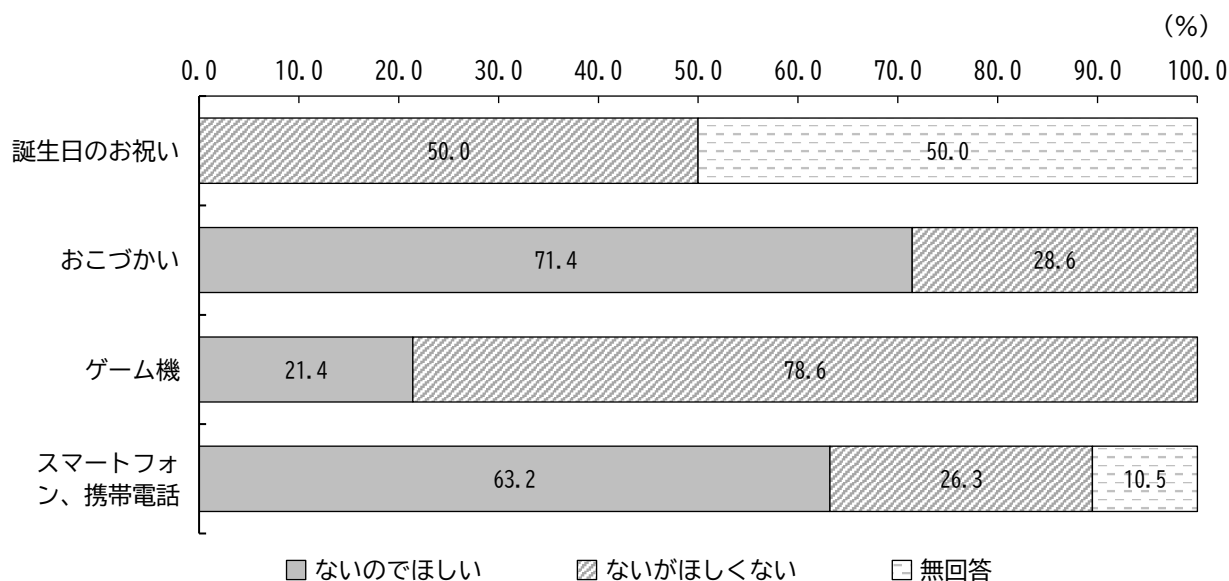
問15 次の中に、あなたが持っている物がありますか。

「ある」では、「自分のサイズに合った服や靴」が100.0%、「誕生日のお祝い」が96.3%、「おこづかい」「ゲーム機」がともに74.1%、「スマートフォン、携帯電話」が64.8%となっています。



【「ない」と回答した方】

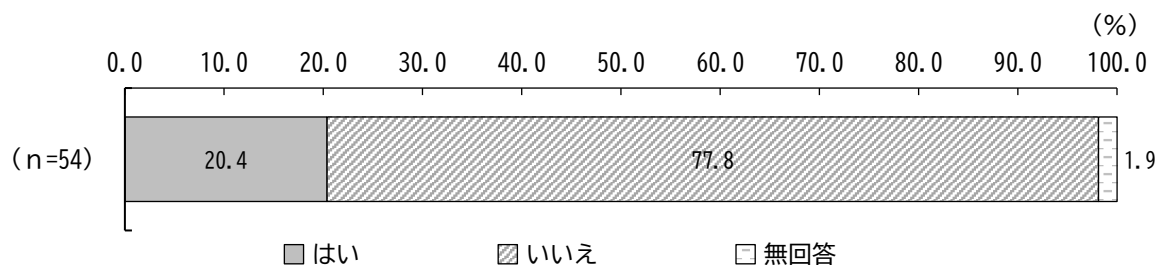
「ない」では「おこづかい」が 71.4%、「スマートフォン、携帯電話」が 63.2%となっています。「ないがほしくない」は「誕生日のお祝い」が 50.0%、「ゲーム機」が 78.6%となっています。



日常生活の状況について

問16 あなたには、嫌なことや悩んでいることはありますか。

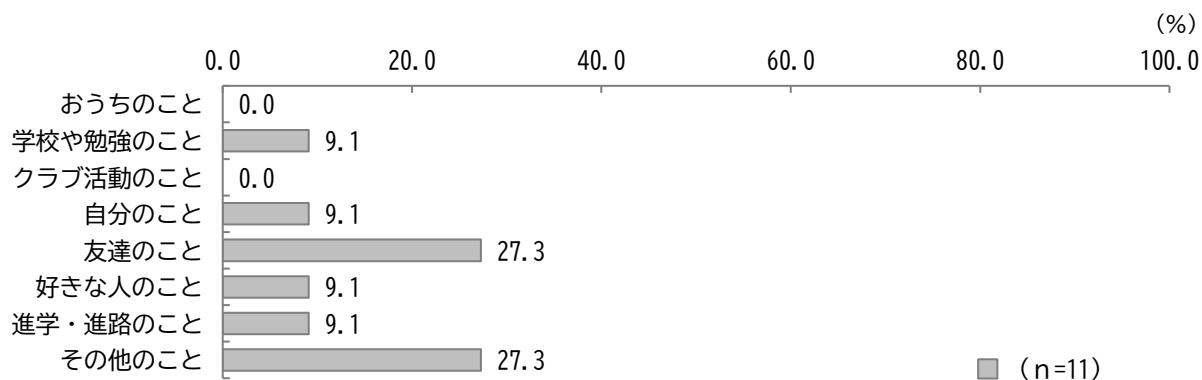
「はい」が 20.4%、「いいえ」が 77.8%となっています。



※問 16 で「1. はい」と答えた方におたずねします。

問16-1 嫌なことや悩んでいることは何ですか。

「友達のこと」「その他のこと」がともに 27.3%と最も高く、次いで「学校や勉強のこと」「自分のこと」「好きな人のこと」「進学・進路のこと」がいずれも 9.1%となっています。



※問 16 で「1. はい」と答えた方におたずねします。

問16-2 あなたには、嫌なことや悩んでいることを相談できる人がいますか。

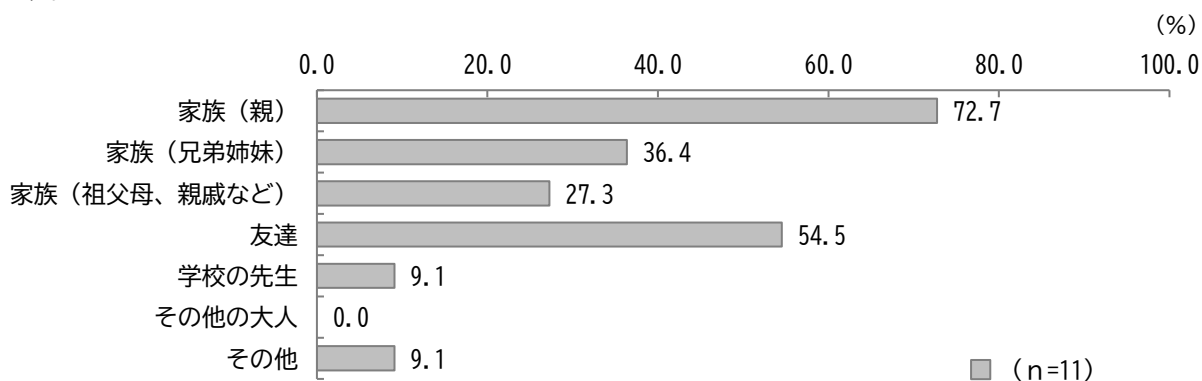
「はい」が100.0%となっています。



※問 16-2 で「1. はい」と答えた方におたずねします。

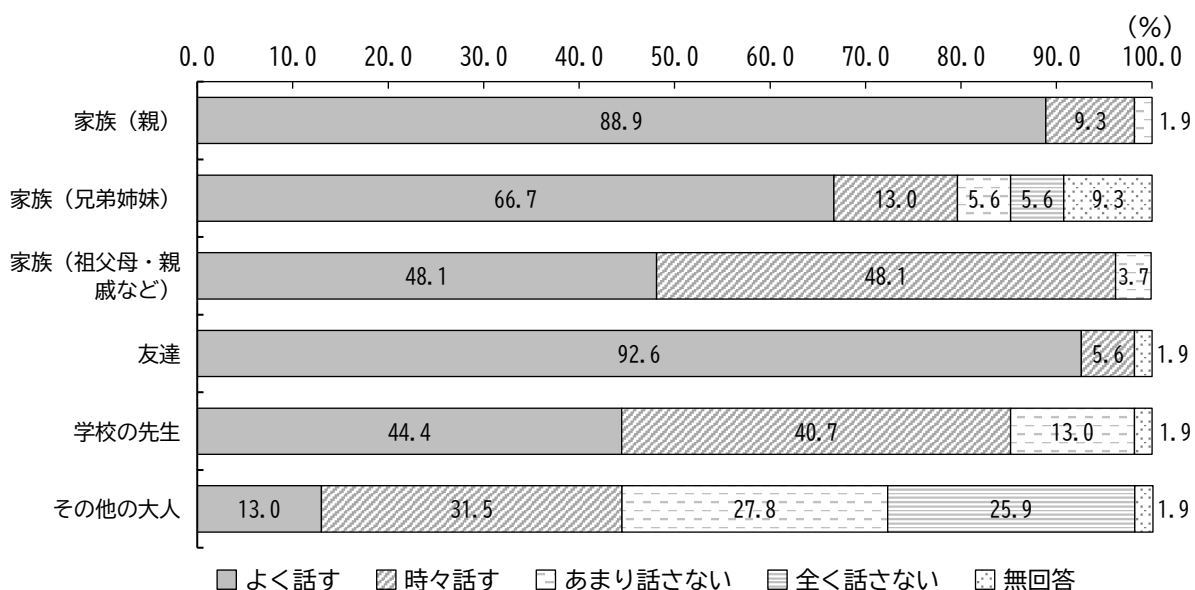
問16-3 あなたは、嫌なことや悩んでいることなどがあった場合、だれに相談していますか。

「家族(親)」が72.7%と最も高く、次いで「友達」が54.5%、「家族(兄弟姉妹)」が36.4%となっています。



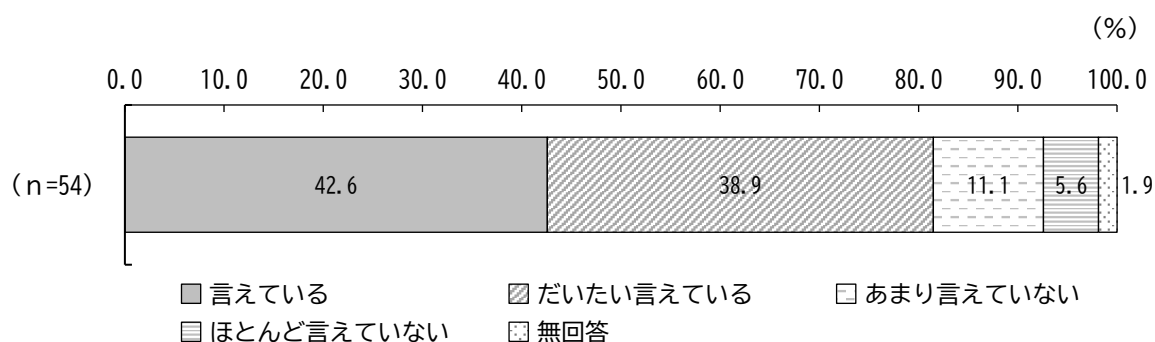
問17 あなたは、ふだんどれくらい会話をしますか。

「話す(よく話す+時々話す)」では「家族(親)」「家族(祖父母・親戚など)」「友達」が9割台、「学校の先生」が8割台、「家族(兄弟姉妹)」が7割台となっているものの、「その他の大人」は4割台となっています。



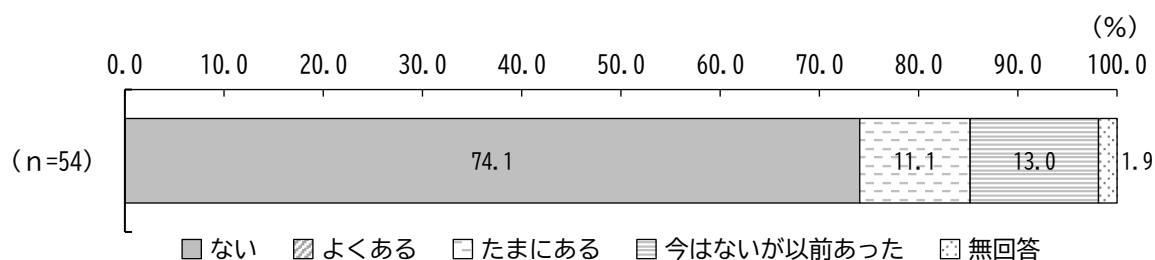
問18 あなたは、大人に自分の気持ちや言いたいことを言えていますか。

「言えている」が 42.6%と最も高く、次いで「だいたい言えている」が 38.9%、「あまり言えていない」が 11.1%となっています。



問19 あなたは、大人に暴力をふるわれたことがありますか。

「ない」が 74.1%と最も高く、次いで「今はないが以前あった」が 13.0%、「たまにある」が 11.1%となっています。



問20 あなたは次の(1)～(4)の場所を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合、今後利用したいと思いますか。

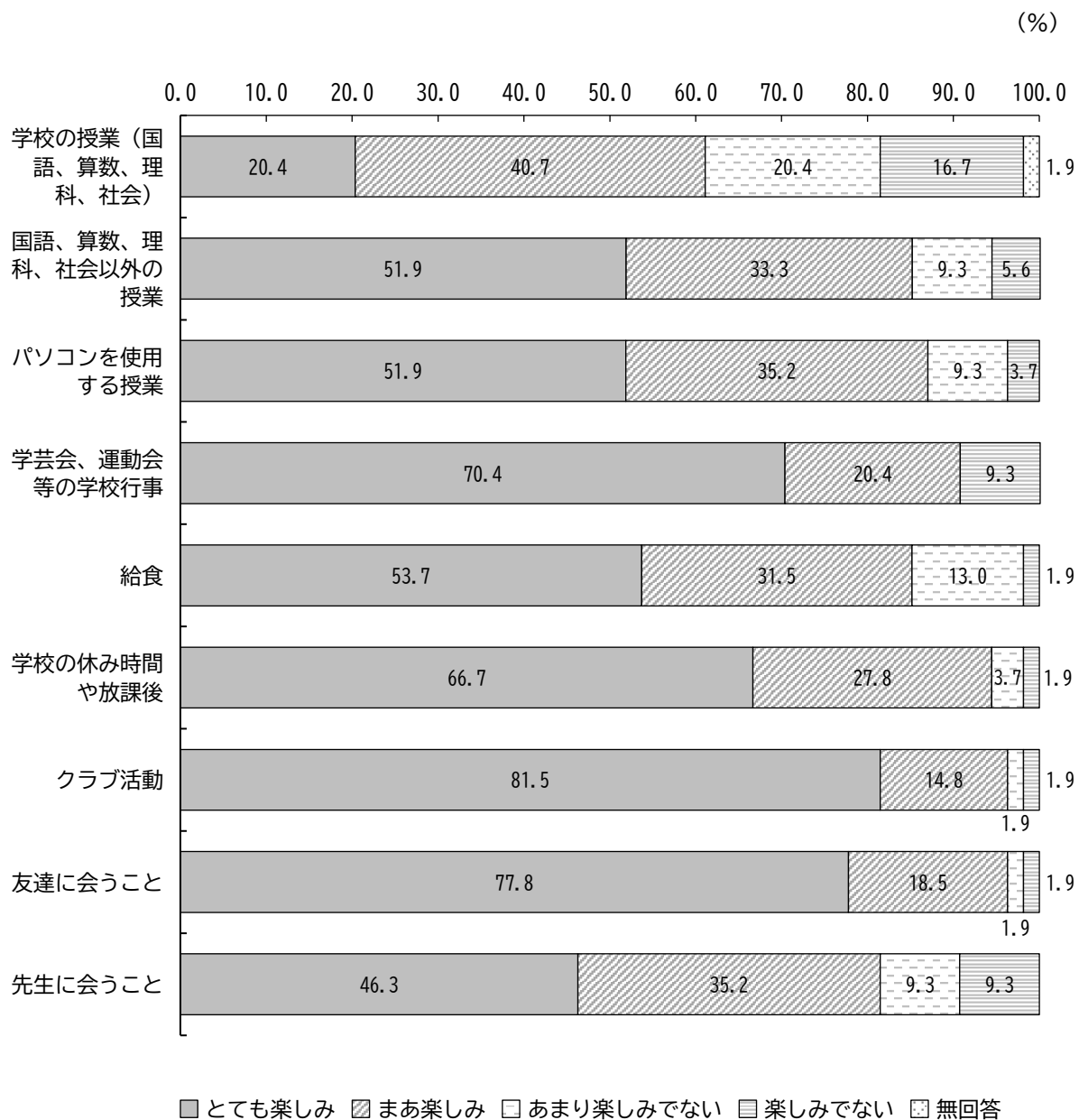
「利用したことがある」では「自分や友達の家、お店以外で、放課後や休日を無料で過ごすことができる場所(図書館、公民館、公園)」が 72.2%、「自分や友達の家以外で、ご飯を無料で、または安く食べることができる場所(こども食堂など)」が 50.0%となっているものの、他の項目は1割台以下となっています。

単位 (%)

	利用したことがある	あれば利用したい	今後も利用したいと思わない	今後利用したいかどうかわからない	無回答
自分や友達の家、お店以外で、放課後や休日を無料で過ごすことができる場所(図書館、公民館、公園)	72.2	16.7	5.6	3.7	1.9
自分や友達の家以外で、ご飯を無料で、または安く食べることができる場所(こども食堂など)	50.0	27.8	9.3	11.1	1.9
勉強を無料で見てくれる場所	18.5	29.6	25.9	24.1	1.9
家や学校以外で悩みや困ったことを相談できる場所(電話やネット相談も含む)	7.4	29.6	29.6	31.5	1.9

問21 あなたが学校生活の中で、楽しみにしていることについて教えてください。

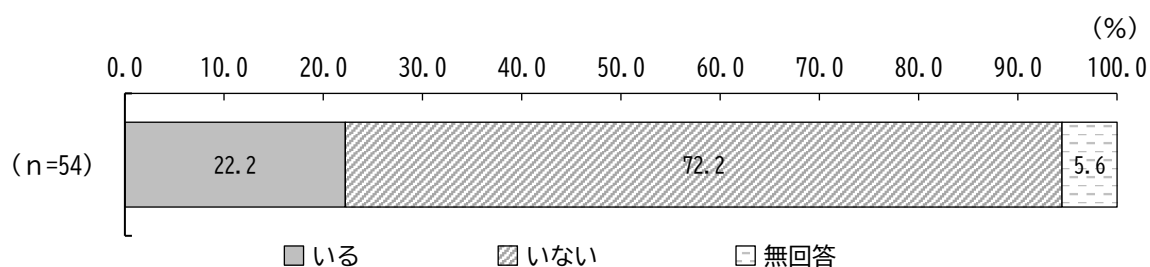
「学校の授業(国語、算数、理科、社会)」では「楽しみ(とても楽しみ+まあ楽しみ)」の割合が6割台であるものの、他の項目では8割台以上を占めています。



家庭や家族のことについて

問22 家族の中にあなたが「お世話」をしている人はいますか。

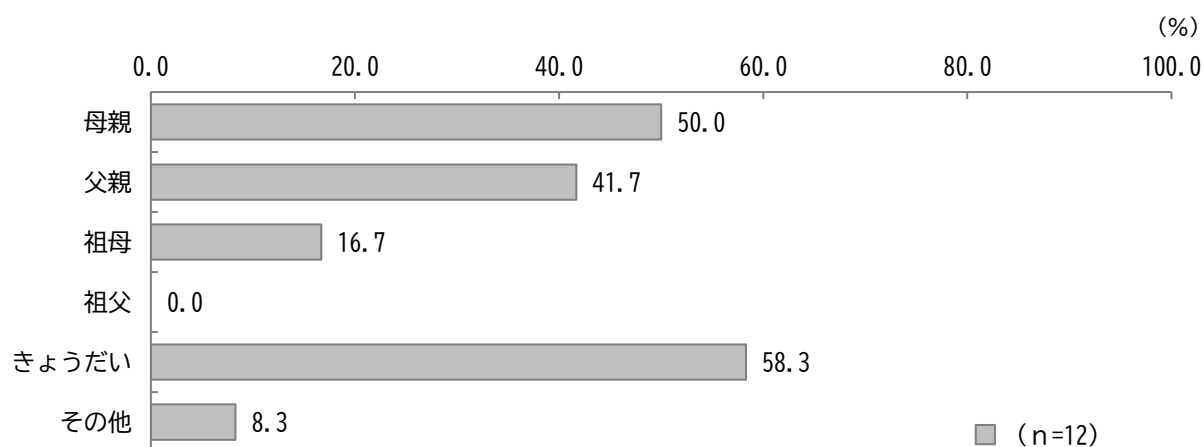
「いる」が22.2%、「いない」が72.2%となっています。



※問22で「1. いる」と答えた方にうかがいます。

問23 お世話の状況について教えてください。お世話を必要としている方は次のどなたですか。

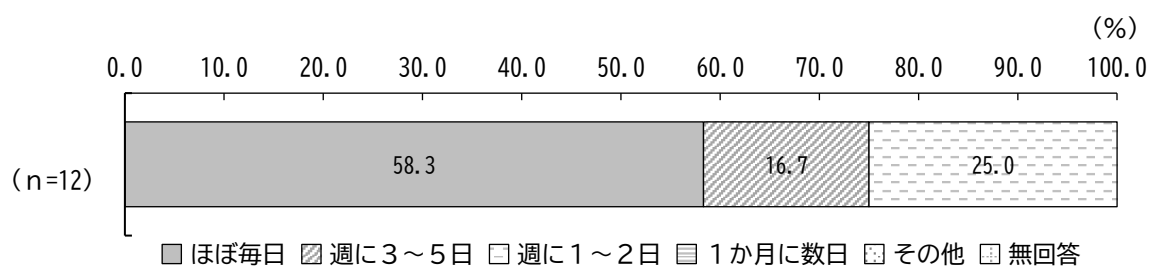
「きょうだい」が58.3%と最も高く、次いで「母親」が50.0%、「父親」が41.7%となっています。



※問22で「1. いる」と答えた方にうかがいます。

問24 お世話をしている頻度を教えてください。

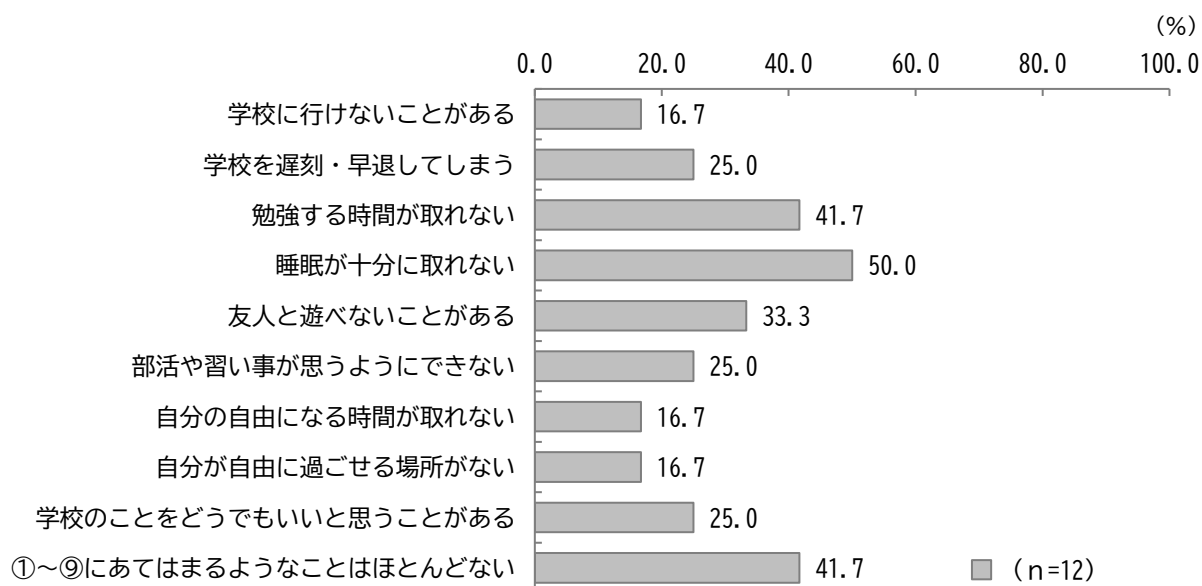
「ほぼ毎日」が58.3%と最も高く、次いで「週に1～2日」が25.0%、「週に3～5日」が16.7%となっています。



※問 22 で「1. いる」と答えた方にうかがいます。

問25 あなたは、お世話をしていることで、次のようなことはありますか。

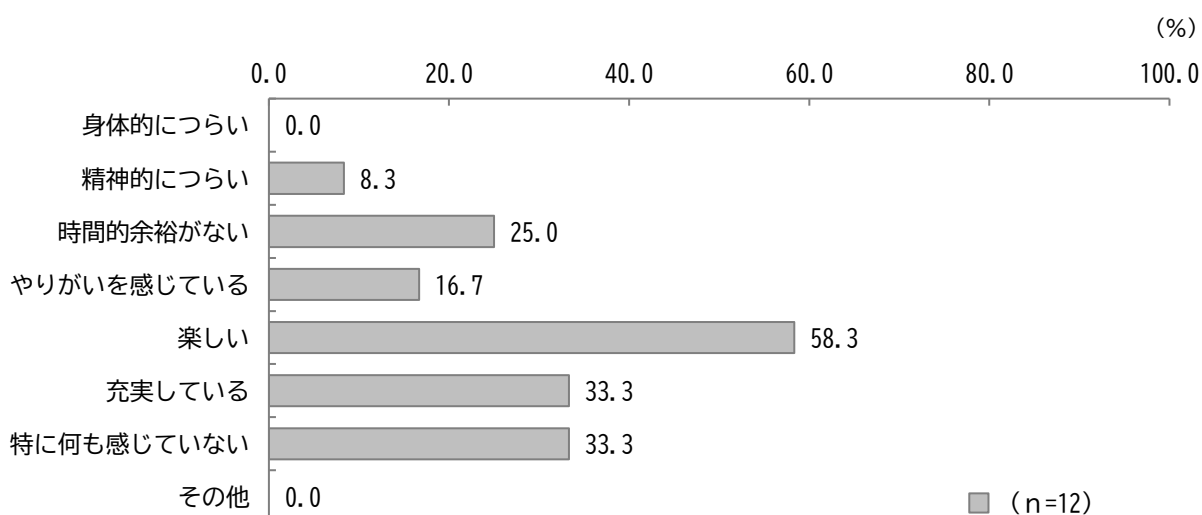
「睡眠が十分に取れない」が 50.0%と最も高く、次いで「勉強する時間が取れない」「①～⑨にあてはまるようなことはほとんどない」がともに 41.7%、「友人と遊べないことがある」が 33.3%となっています。



※問 22 で「1. いる」と答えた方にうかがいます。

問26 あなたは、お世話をするについて、次のようなことを感じていますか。

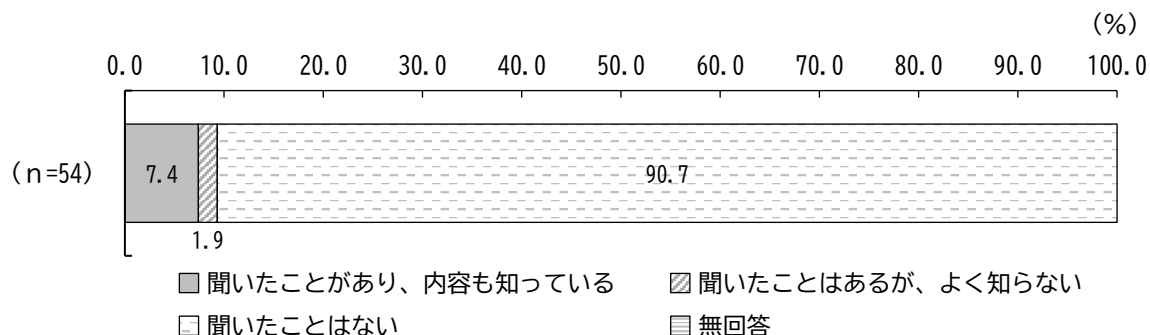
「楽しい」が 58.3%と最も高く、次いで「充実している」「特に何も感じていない」がともに 33.3%、「時間的余裕がない」が 25.0%となっています。



ヤングケアラーについて

問27 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。

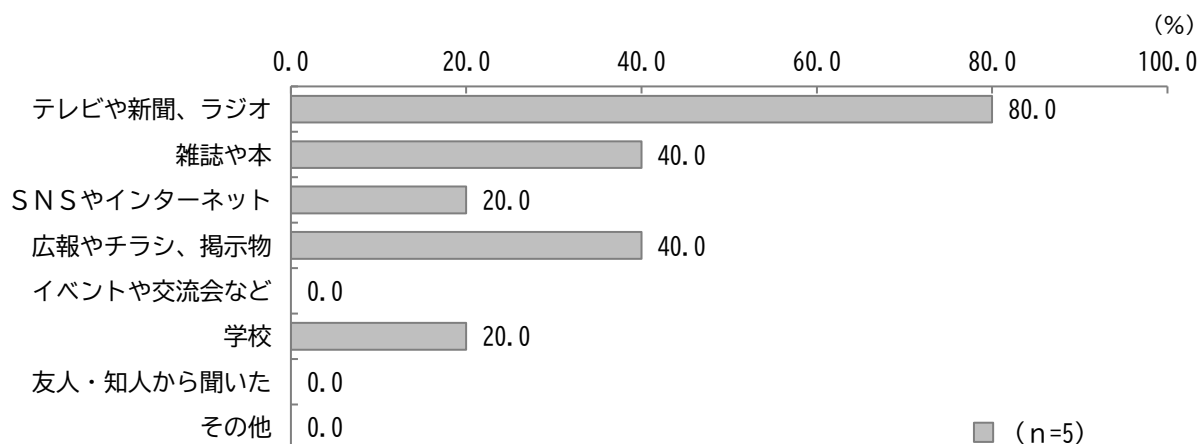
「聞いたことはない」が 90.7%と最も高く、次いで「聞いたことがあり、内容も知っている」が 7.4%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が 1.9%となっています。



※問27で「1. 聞いたことがあり、内容も知っている」「2. 聞いたことはあるが、よく知らない」と答えた方にかがいます。

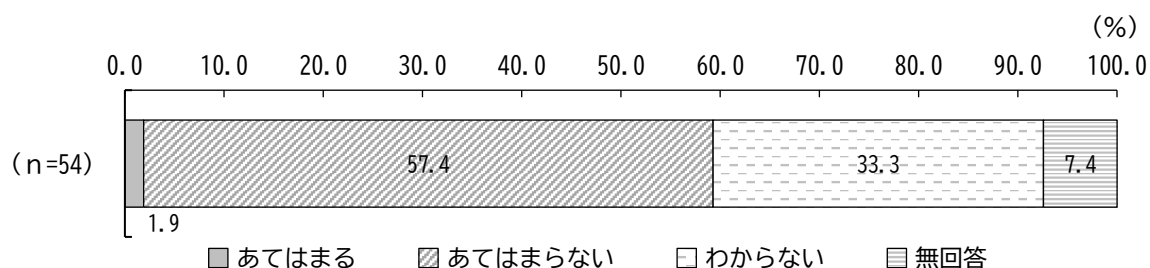
問28 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。

「テレビや新聞、ラジオ」が 80.0%と最も高く、次いで「雑誌や本」「広報やチラシ、掲示物」がともに 40.0%、「SNSやインターネット」「学校」がともに 20.0%となっています。



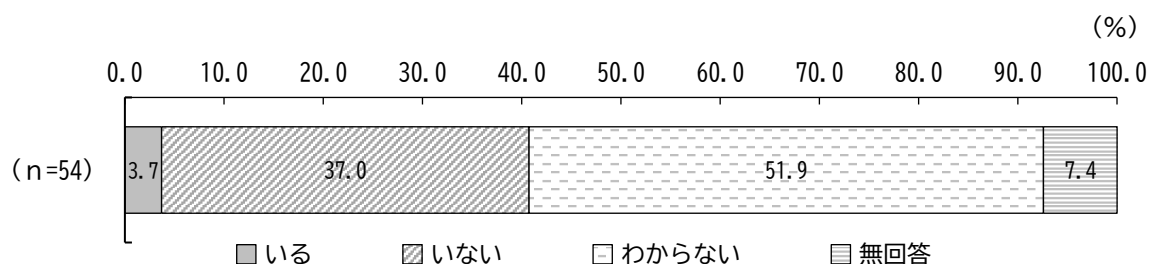
問29 あなたは「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。

「あてはまらない」が 57.4%と最も高く、次いで「わからない」が 33.3%、「あてはまる」が 1.9%となっています。



問30 あなたの周りに「ヤングケアラー」にあてはまる人がいますか。

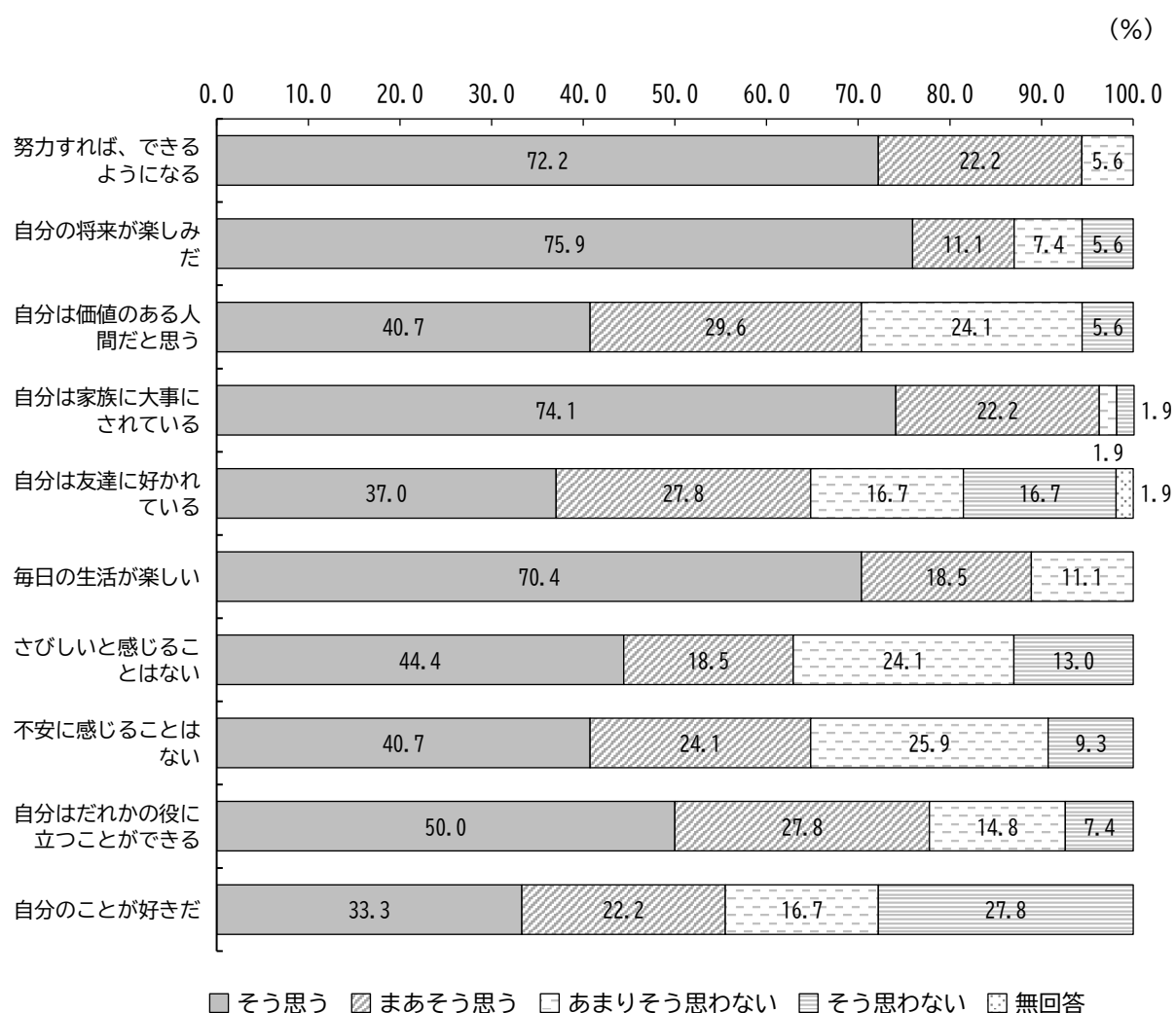
「わからない」が51.9%と最も高く、次いで「いない」が37.0%、「いる」が3.7%となっています、



日常生活の中で感じていることについて

問31 あなたが日常生活の中で感じていることについて、教えてください。

「思う(そう思う+まあそう思う)」では「努力すれば、できるようになる」「自分は家族に大事にされている」が9割台、「自分の将来が楽しみだ」「毎日の生活が楽しい」が8割台、「自分は価値のある人間だと思う」「自分はだれかの役に立つことができる」が7割台、「自分は友達に好かれている」「さびしいと感じることはない」「不安を感じることはない」が6割台、「自分のことが好きだ」が5割台となっています。

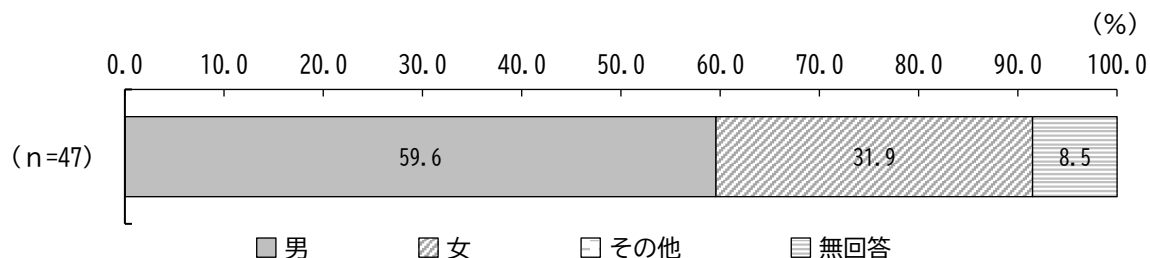


VI 調査結果【生活に関する意識調査(中学2年生)】

属性

あなたの性別について教えてください。

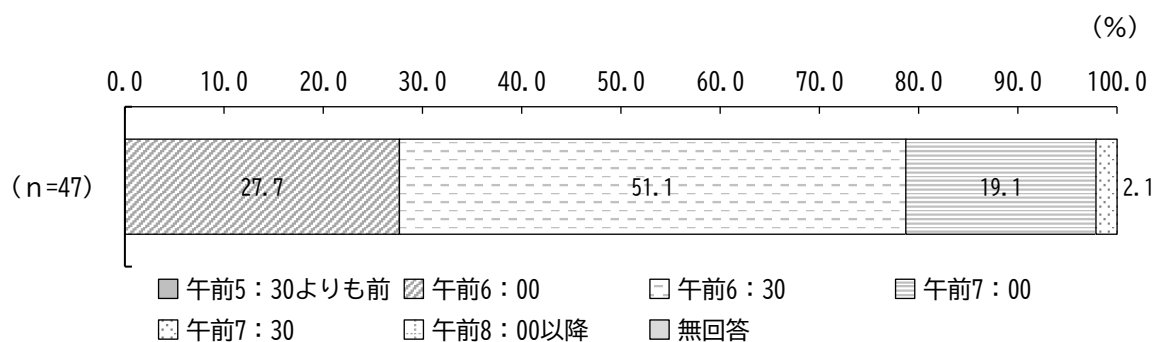
「男」が 59.6%と最も高く、次いで「女」が 31.9%となっています。



あなたの普段の生活のことについて

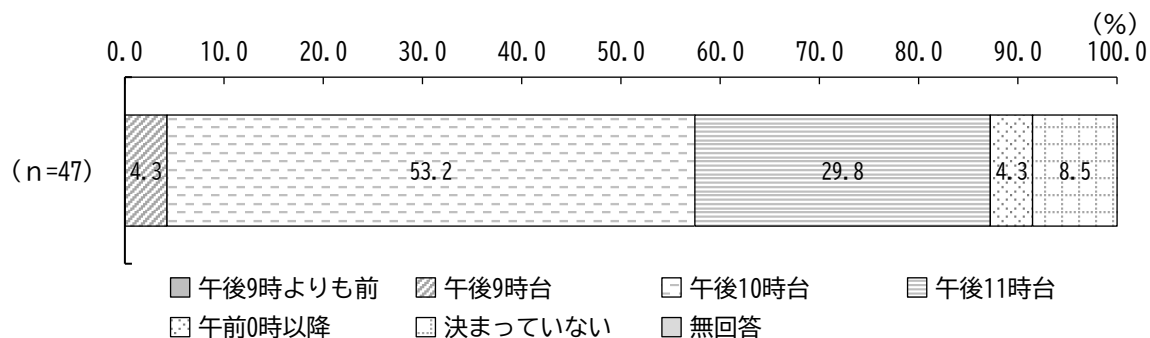
問1 あなたは、学校のある日は何時に起きていますか。

「午前 6:30」が 51.1%と最も高く、次いで「午前 6:00」が 27.7%、「午前 7:00」が 19.1%となっています。



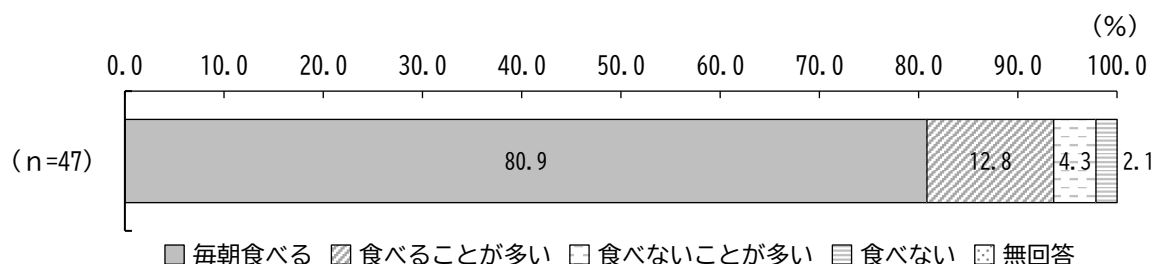
問2 あなたは、学校のある日は何時に寝ていますか。

「午後 10 時台」が 53.2%と最も高く、次いで「午後 11 時台」が 29.8%、「決まっていない」が 8.5%となっています。



問3 朝食についておたずねします。あなたは週にどのくらい、朝食を食べていますか。

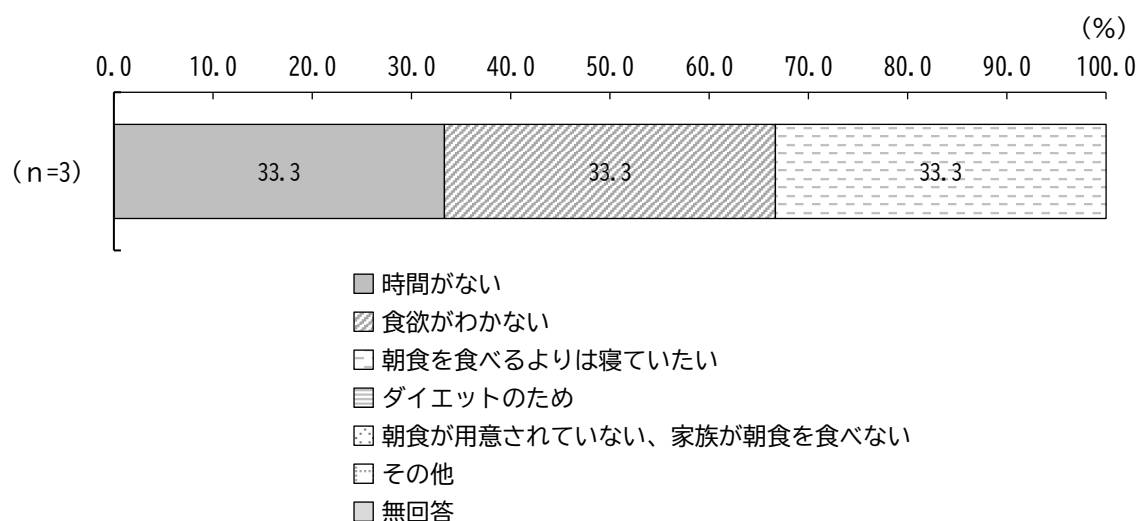
「毎朝食べる」が 80.9%と最も高く、次いで「食べることが多い」が 12.8%、「食べないことが多い」が 4.3%となっています。



※問3で「3. 食べないことが多い」「4. 食べない」を選んだ人におたずねします。

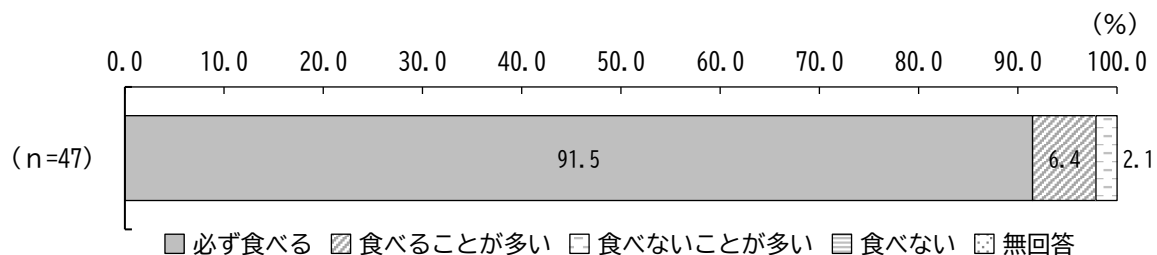
問3-1 あなたが朝ごはんを食べない理由は何ですか。

「時間がない」「食欲がわからない」「朝食を食べるよりは寝ていたい」がいずれも 33.3%となっています。



問4 夕食についておたずねします。あなたは週にどのくらい、夕食を食べていますか。

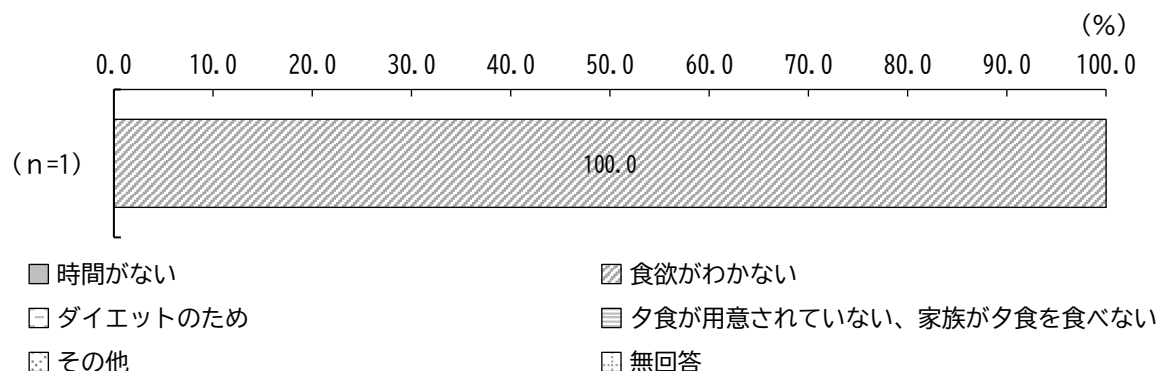
「必ず食べる」が 91.5%と最も高く、次いで「食べるが多い」が 6.4%、「食べないことが多い」が 2.1%となっています。



※問4で「3. 食べないことが多い」「4. 食べない」を選んだ人におたずねします。

問4-1 あなたが夕食を食べない理由は何ですか。

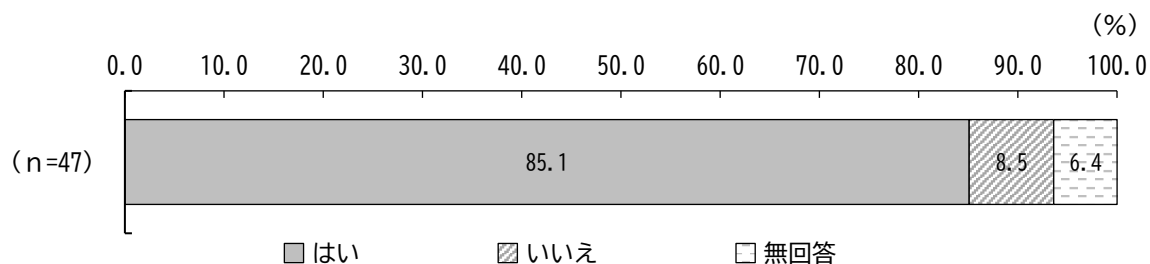
「食欲がわからない」が100.0%となっています。



問4-2 次のことについて教えてください。

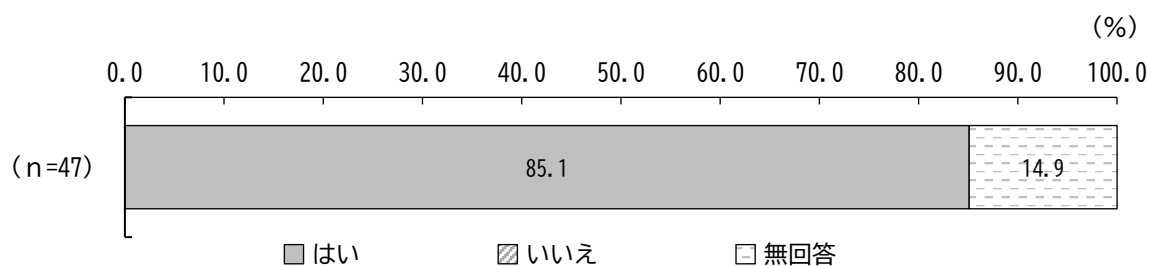
【家族の大人の人と一緒に夕食を食べていますか】

「はい」が85.1%、「いいえ」が8.5%となっています。



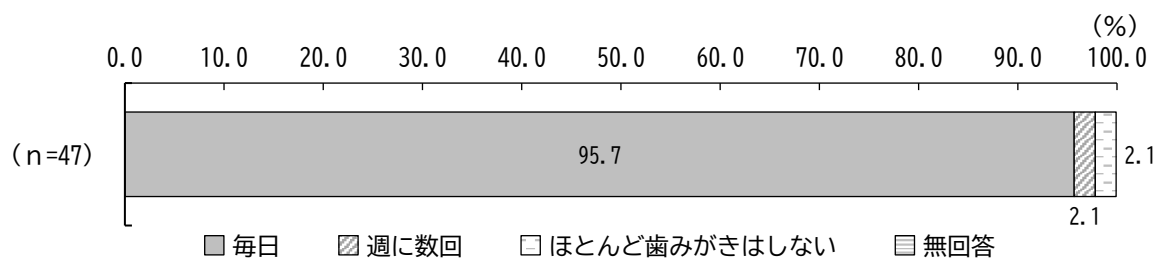
【自分が食べたい量の食事を食べられていますか】

「はい」が85.1%となっています。



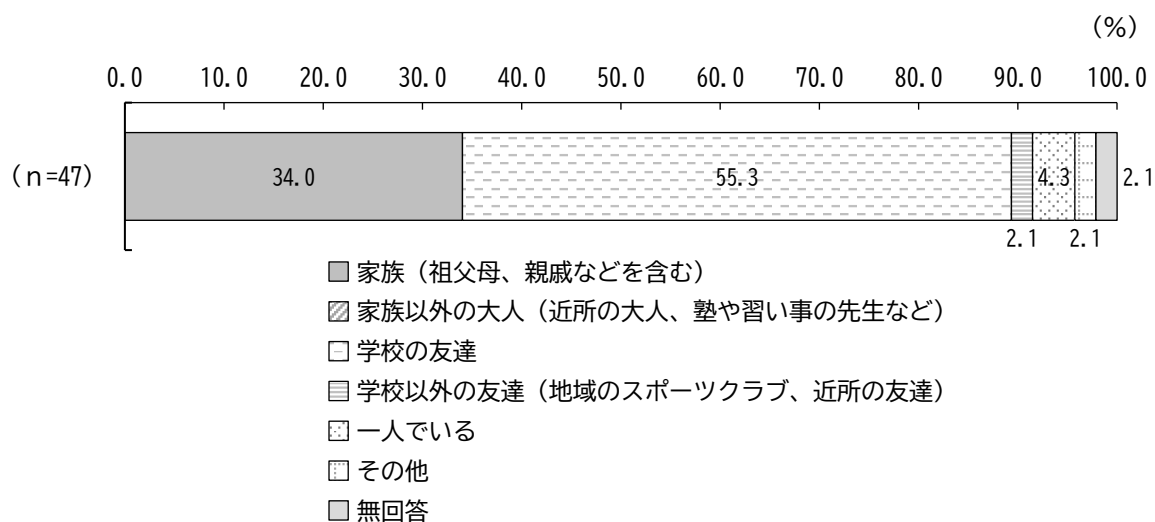
問5 あなたは、週にどれくらい歯みがきをしますか。

「毎日」が95.7%と最も高く、次いで「週に数回」「ほとんど歯みがきはしない」がともに2.1%となっています。



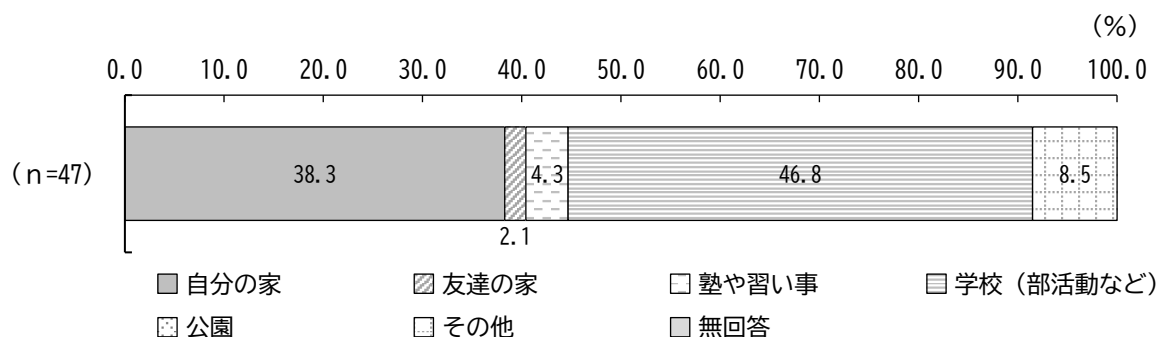
問6 あなたは、放課後だれと一緒に過ごすことが多いですか。

「学校の友達」が 55.3%と最も高く、次いで「家族(祖父母、親戚などを含む)」が 34.0%、「一人でいる」が4.3%となっています。



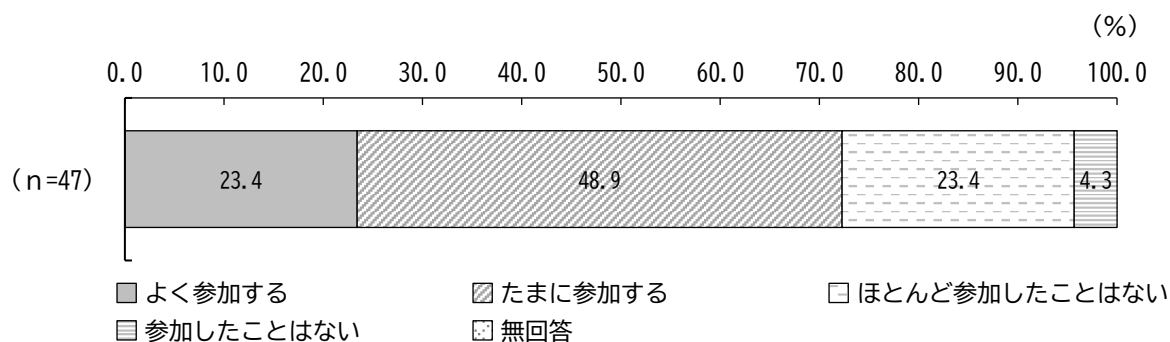
問7 あなたは、放課後はどこで過ごすことが一番多いですか。

「学校(部活動など)」が 46.8%と最も高く、次いで「自分の家」が 38.3%、「その他」が 8.5%となっています。



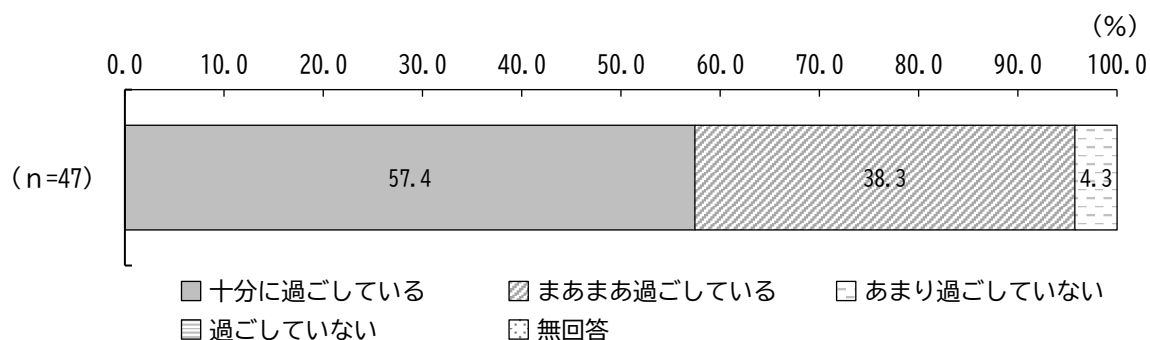
問8 あなたは、家族の人と一緒に地域やこども会の行事へ参加していますか。

「たまに参加する」が 48.9%と最も高く、次いで「よく参加する」「ほとんど参加したことはない」がともに 23.4%、「参加したことはない」が 4.3%となっています。



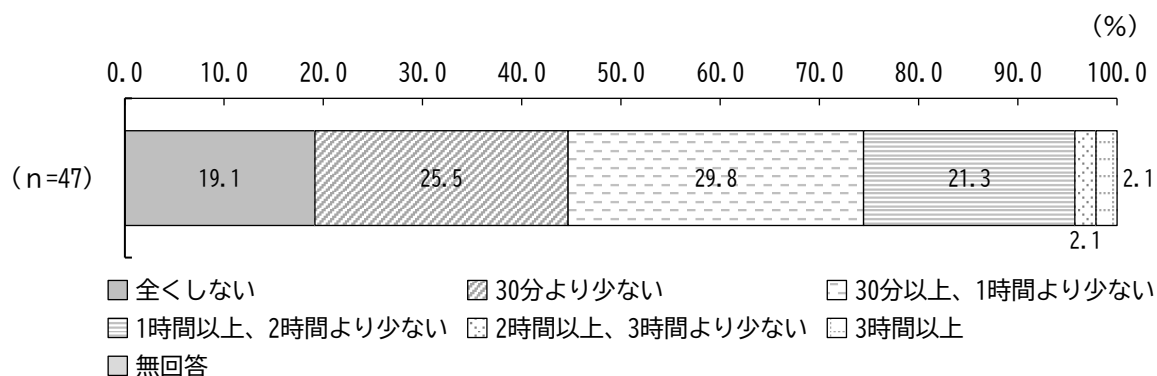
問9 あなたは、どのくらい家族と一緒に時間を過ごしていますか。

「十分に過ごしている」が 57.4%と最も高く、次いで「まあまあ過ごしている」が 38.3%、「あまり過ごしていない」が 4.3%となっています。



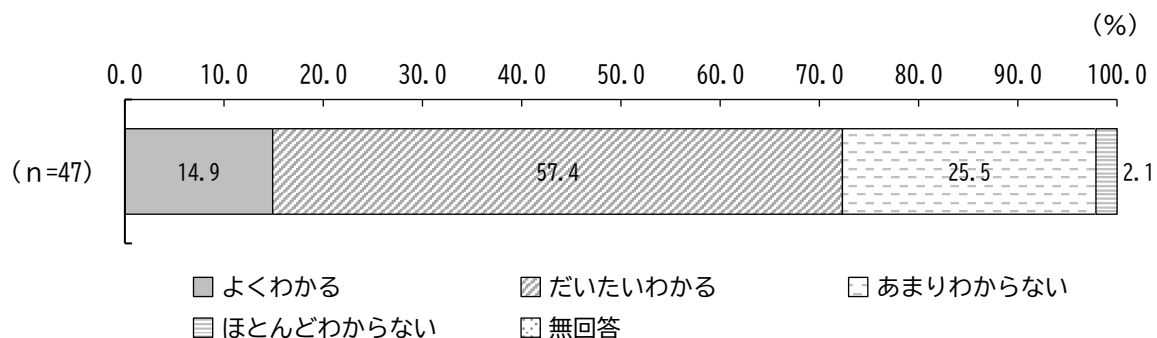
問10 あなたは、学校以外で1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。

「30分以上、1時間より少ない」が 29.8%と最も高く、次いで「30分より少ない」が 25.5%、「1時間以上、2時間より少ない」が 21.3%となっています。



問11 学校の勉強について、あなたの気持ちに近いものはどれですか。

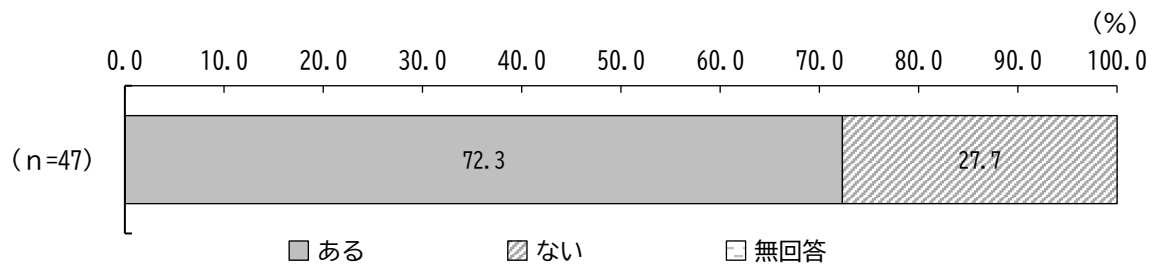
「だいたいわかる」が 57.4%と最も高く、次いで「あまりわからない」が 25.5%、「よくわかる」が 14.9%となっています。



将来の夢について

問12 あなたには将来の夢がありますか。

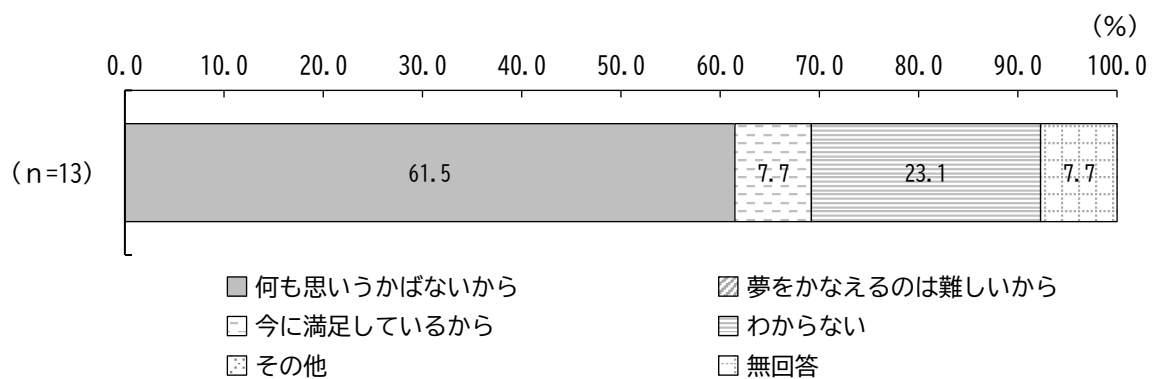
「ある」が 72.3%、「ない」が 27.7%となっています。



※問 12 で将来の夢が「2. ない」と答えた方におたずねします

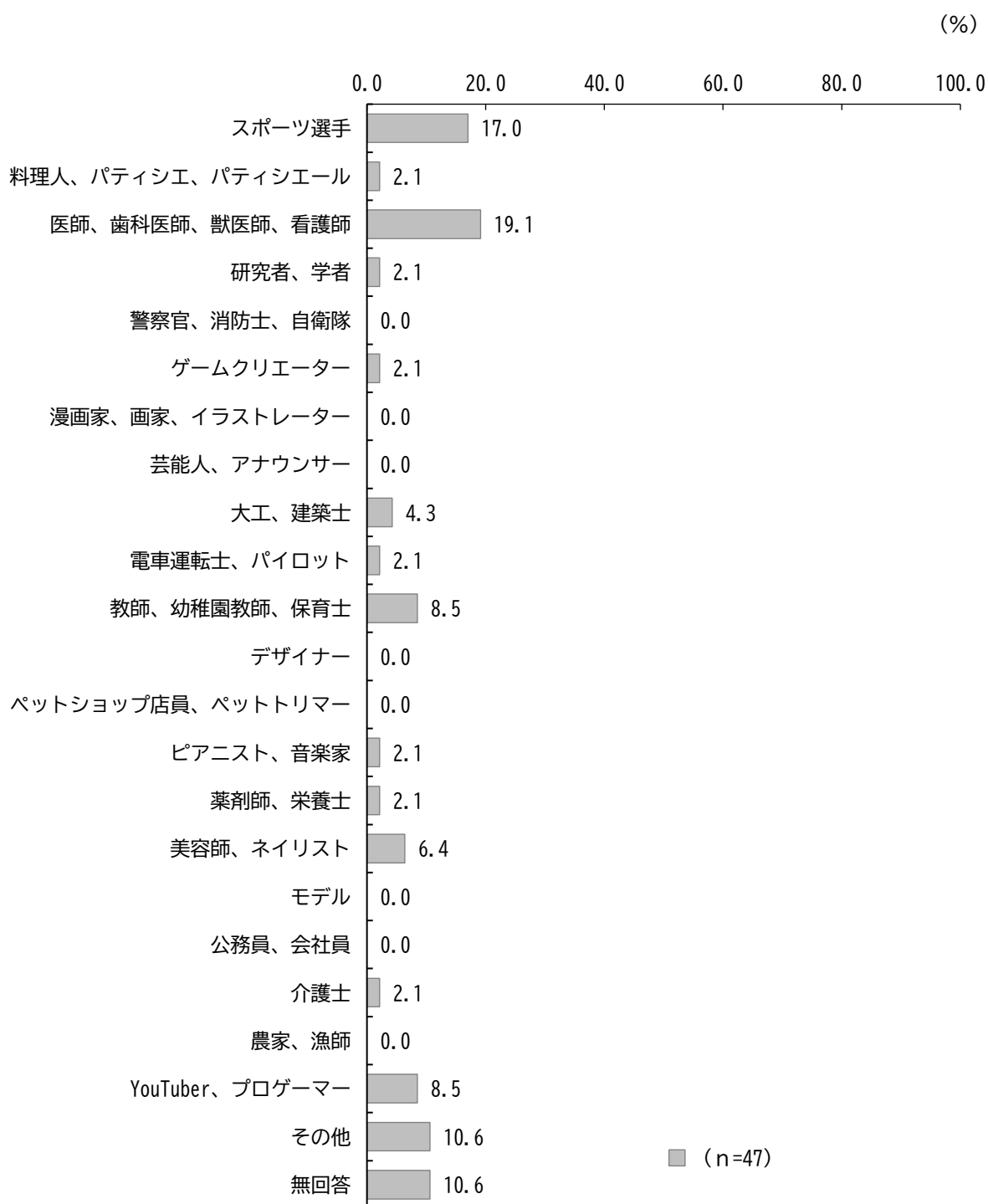
問12-1 将来の夢がない理由を教えてください。

「何も思いうかばないから」が 61.5%と最も高く、次いで「わからない」が 23.1%、「今に満足しているから」が 7.7%となっています。



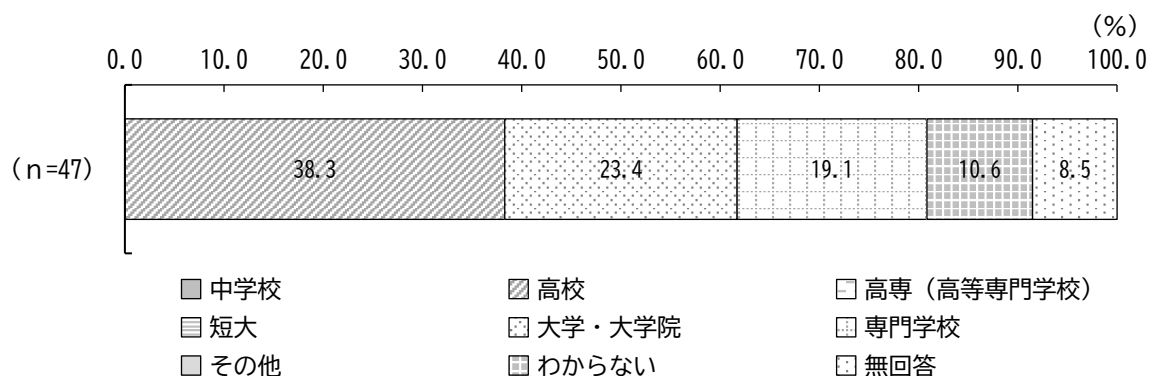
問13 あなたが将来なりたい職業について教えてください。

「医師、歯科医師、獣医師、看護師」が 19.1%と最も高く、次いで「スポーツ選手」が 17.0%、「その他」が 10.6%となっています。



問14 あなたは、できれば将来どの学校まで行きたいと思いますか。

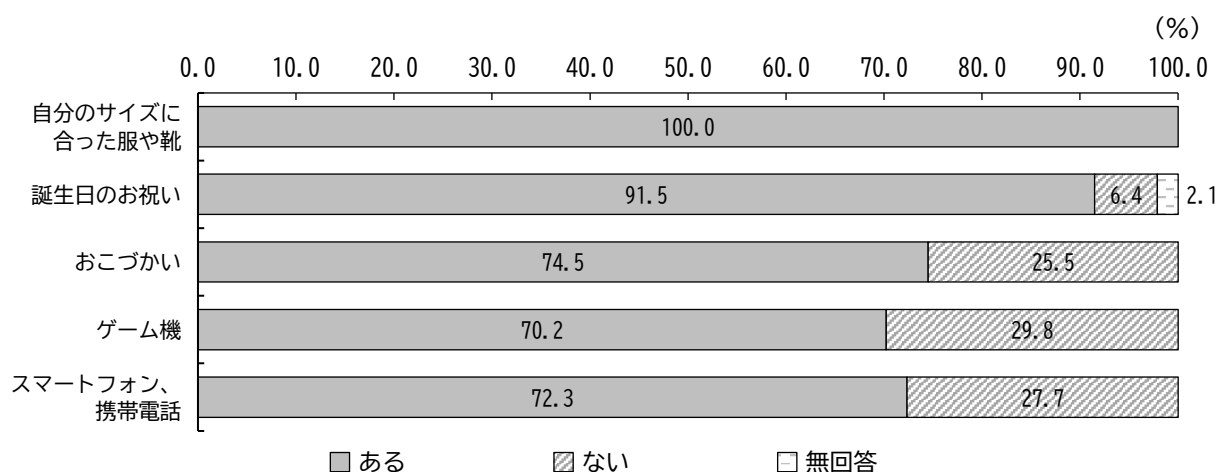
「高校」が38.3%と最も高く、次いで「大学・大学院」が23.4%、「専門学校」が19.1%となっています。



持っている物について

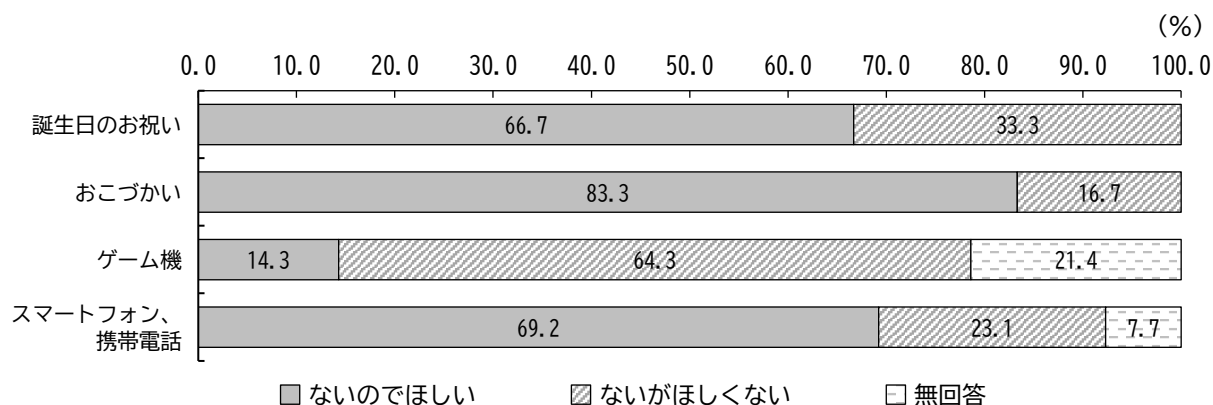
問15 次の中に、あなたが持っている物がありますか。

「ある」では、「自分のサイズに合った服や靴」が100.0%、「誕生日のお祝い」が91.5%、「おこづかい」が74.5%、「スマートフォン、携帯電話」が72.3%、「ゲーム機」が70.2%となっています。



【「ない」と回答した方】

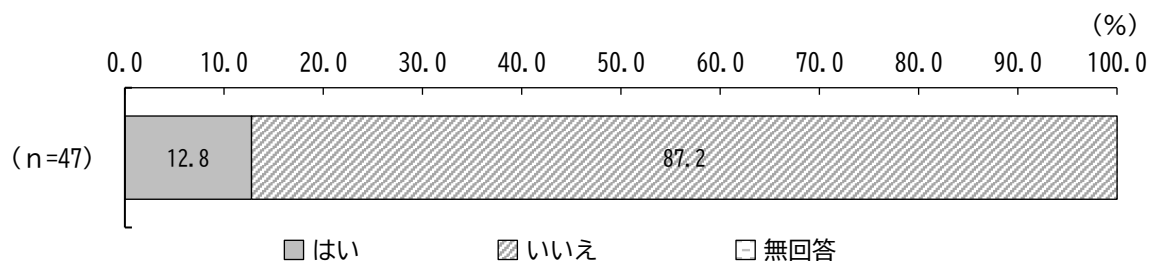
「ないのでほしい」は「おこづかい」が83.3%、「スマートフォン、携帯電話」が69.2%、「誕生日のお祝い」が66.7%となっています。「ないがほしくない」は「ゲーム機」が64.3%となっています。



日常生活の状況について

問 16 あなたには、嫌なことや悩んでいることはありますか。

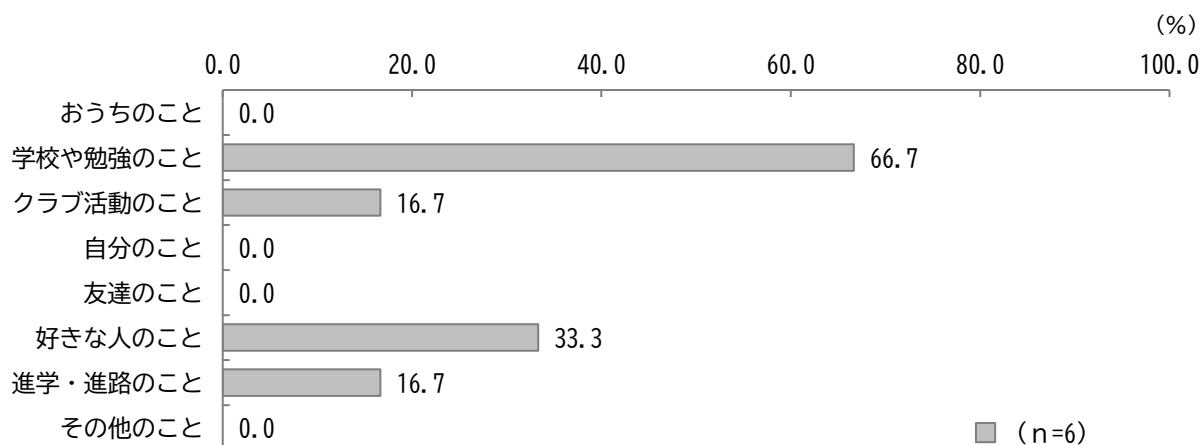
「はい」が12.8%、「いいえ」が87.2%となっています。



※問 16 で「1. はい」と答えた方におたずねします。

問 16-1 嫌なことや悩んでいることは何ですか。

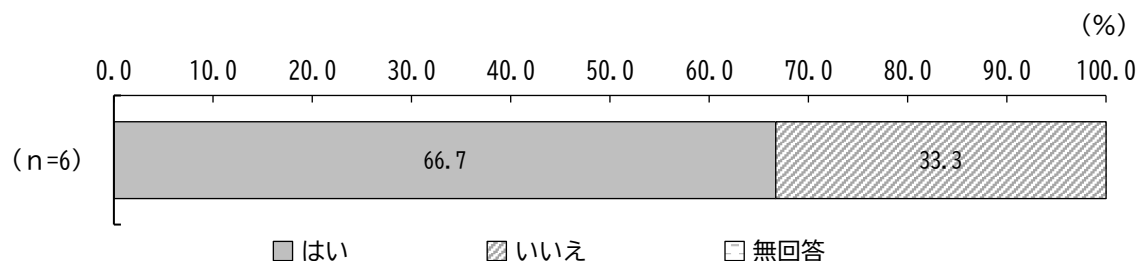
「学校や勉強のこと」が 66.7%と最も高く、次いで「好きな人のこと」が 33.3%、「クラブ活動のこと」「進学・進路のこと」がともに 16.7%となっています。



※問 16 で「1. はい」と答えた方におたずねします。

問 16-2 あなたには、嫌なことや悩んでいることを相談できる人がいますか。

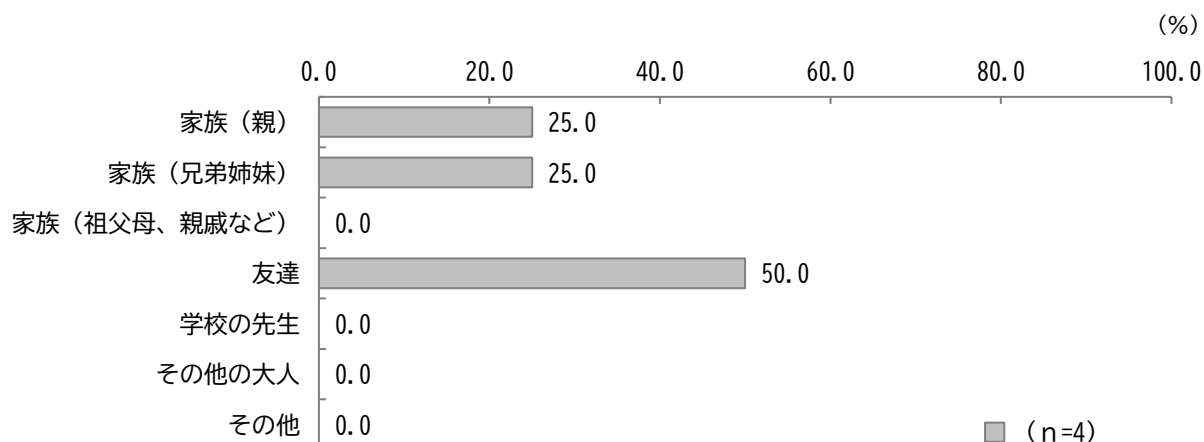
「はい」が66.7%、「いいえ」が33.3%となっています。



※問 16-2で「1. はい」と答えた方におたずねします。

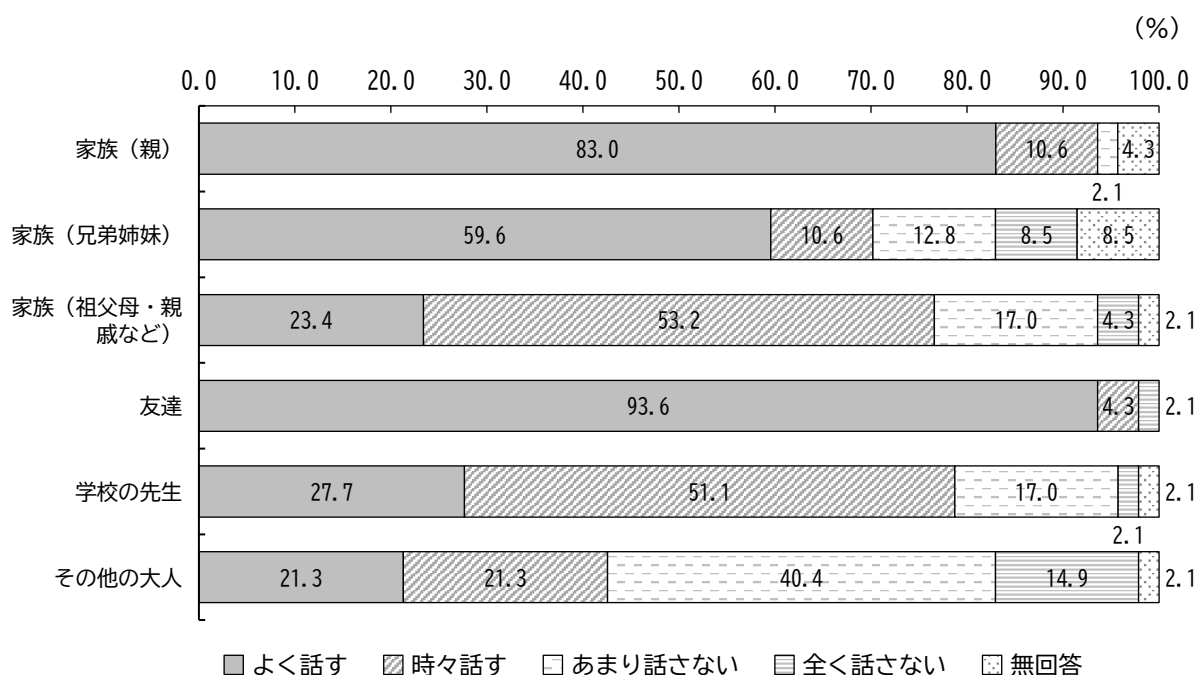
問 16-3 あなたは、嫌なことや悩んでいることなどがあった場合、だれに相談していますか。

「友達」が 50.0%と最も高く、次いで「家族(親)」「家族(兄弟姉妹)」がともに 25.0%となっています。



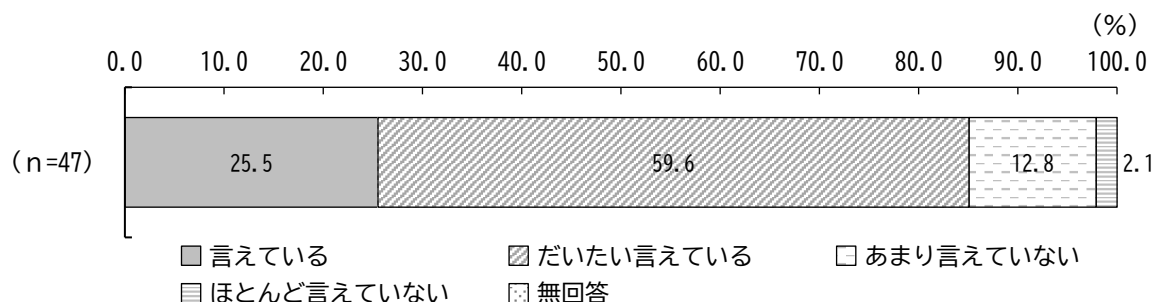
問 17 あなたは、ふだんどれくらい会話をしますか。

「話す(よく話す+時々話す)」では「家族(親)」「友達」が9割台、「家族(兄弟姉妹)」「家族(祖父母・親戚など)」「学校の先生」が7割台となっているものの、「その他の大人」は半数を下回っています。



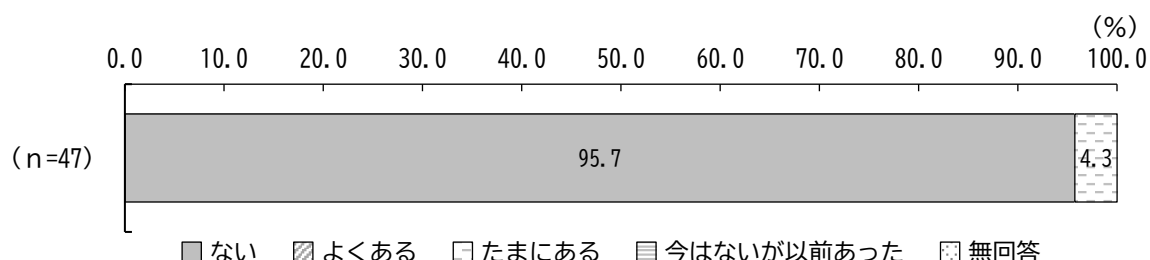
問 18 あなたは、大人に自分の気持ちや言いたいことを言えていますか。

「だいたい言えている」が 59.6%と最も高く、次いで「言えている」が 25.5%、「あまり言えていない」が 12.8%となっています。



問 19 あなたは、大人に暴力をふるわれたことがありますか。

「ない」が 95.7%と最も高く、次いで「たまにある」が 4.3%となっています。



問20 あなたは次の(1)～(4)の場所を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合、今後利用したいと思いますか。

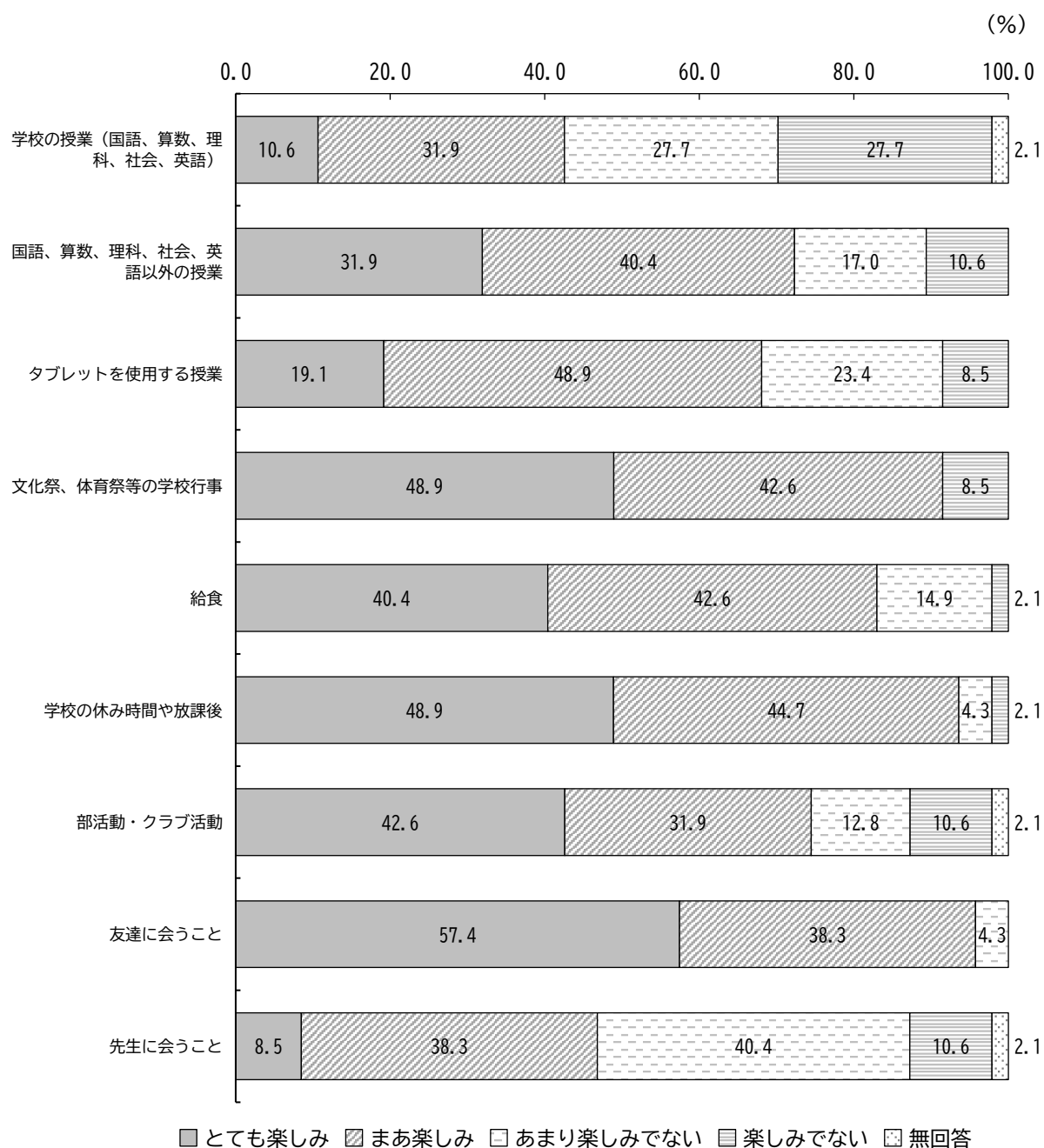
「利用したことがある」では「自分や友達の家、お店以外で、放課後や休日を無料で過ごすことができる場所(図書館、公民館、公園)」が 83.0%となっているものの、他の項目は3割台以下となっています。

単位 (%)

	利用したことがある	あれば利用したい	今後も利用したいと思わない	今後利用したいかわからない	無回答
自分や友達の家、お店以外で、放課後や休日を無料で過ごすことができる場所（図書館、公民館、公園）	83.0	8.5	4.3	4.3	0.0
自分や友達の家以外で、ご飯を無料で、または安く食べることができる場所（こども食堂など）	31.9	38.3	14.9	10.6	4.3
勉強を無料で見てくれる場所	31.9	19.1	27.7	19.1	2.1
家や学校以外で悩みや困ったことを相談できる場所（電話やネット相談も含む）	2.1	12.8	59.6	23.4	2.1

問21 あなたが学校生活の中で、楽しみにしていることについて教えてください。

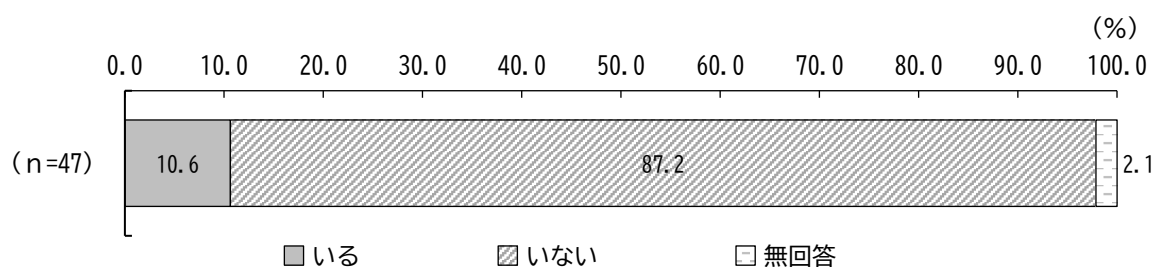
「学校の授業(国語、算数、理科、社会、英語)」「先生に会うこと」では「楽しみ(とても楽しみ+まあ楽しみ)」の割合が4割台であるものの、他の項目では6割台以上を占めています。



家庭や家族のことについて

問22 家族の中にあなたが「お世話」をしている人はいますか。

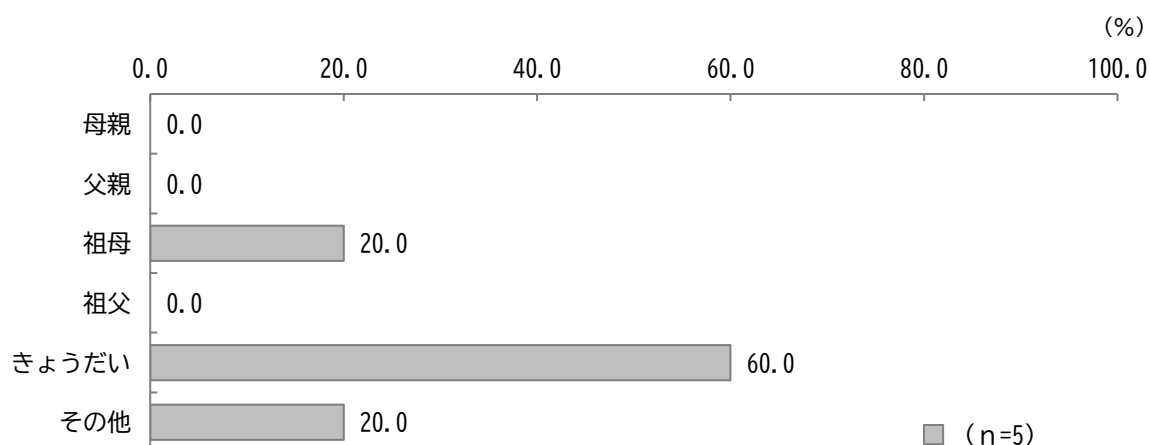
「いる」が10.6%、「いない」が87.2%となっています。



※問22で「1. いる」と答えた方にうかがいます。

問23 お世話の状況について教えてください。お世話を必要としている方は次のどなたですか。

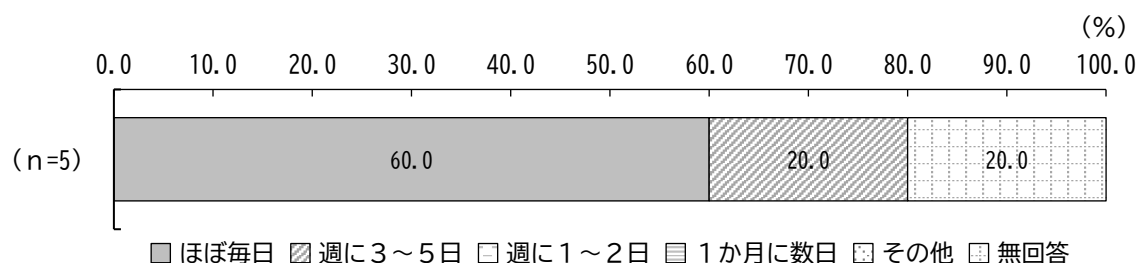
「きょうだい」が60.0%と最も高く、次いで「祖母」「その他」がともに20.0%となっています。



※問22で「1. いる」と答えた方にうかがいます。

問24 お世話をしている頻度を教えてください。

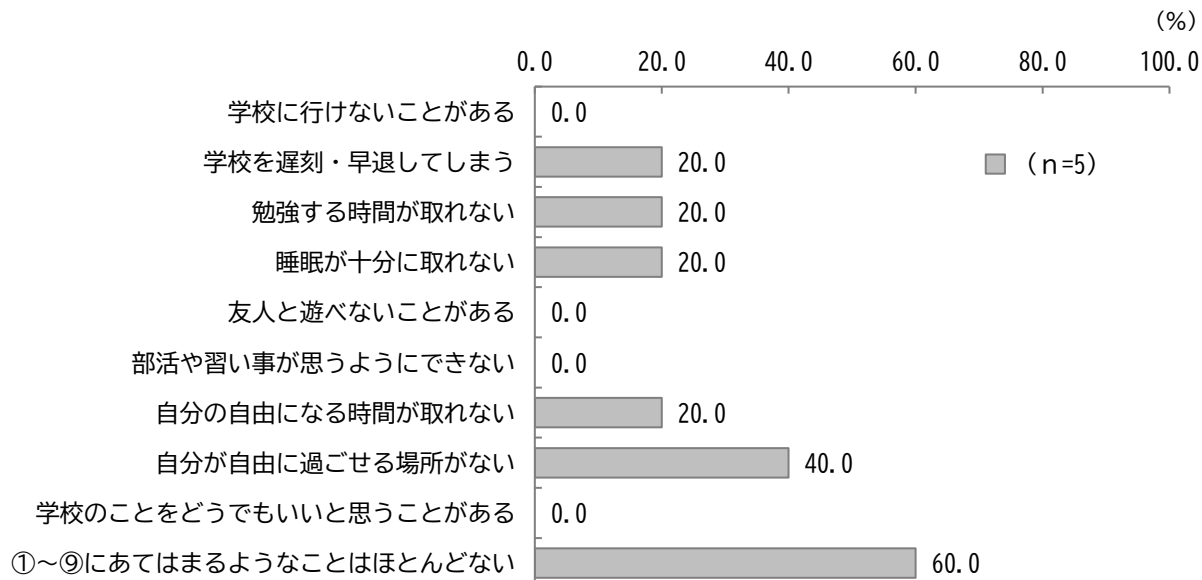
「ほぼ毎日」が60.0%と最も高く、次いで「週に3～5日」が20.0%となっています。



※問 22 で「1. いる」と答えた方にうかがいます。

問25 あなたは、お世話をしていることで、次のようなことはありますか。

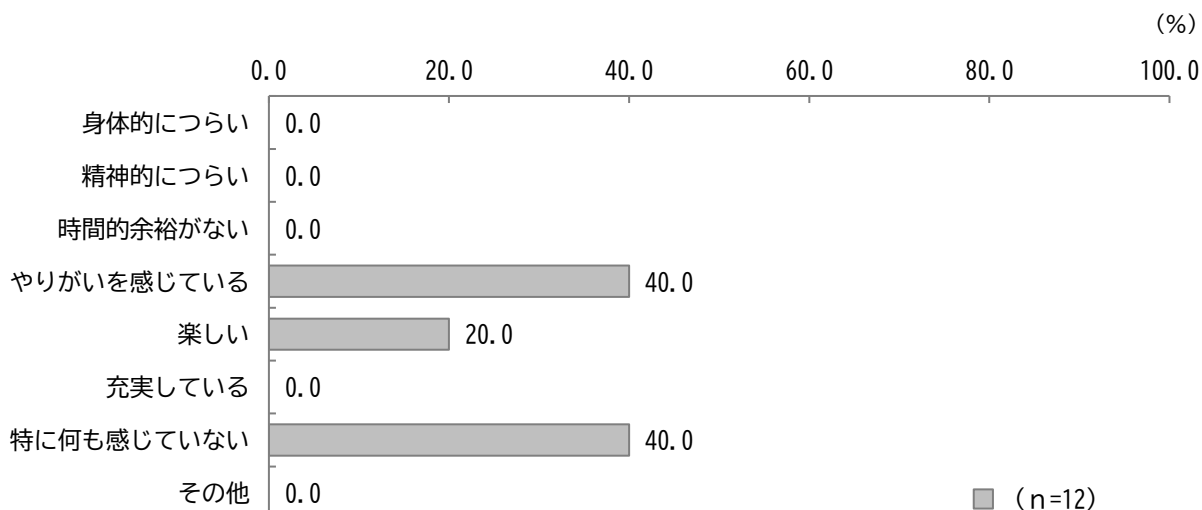
「①～⑨にあてはまるようなことはほとんどない」が 60.0%と最も高く、次いで「自分が自由に過ごせる場所がない」が 40.0%、「学校を遅刻・早退してしまう」「勉強する時間が取れない」「睡眠が十分に取れない」「自分の自由になる時間が取れない」がいずれも 20.0%となっています。



※問 22 で「1. いる」と答えた方にうかがいます。

問26 あなたは、お世話をするについて、次のようなことを感じていますか。

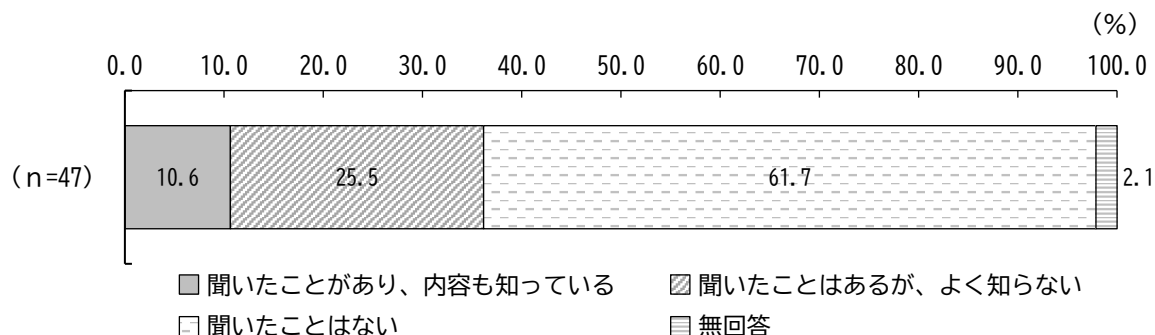
「やりがいを感じている」「特に何も感じていない」がともに 40.0%と最も高く、次いで「楽しい」が 20.0%となっています。



ヤングケアラーについて

問27 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。

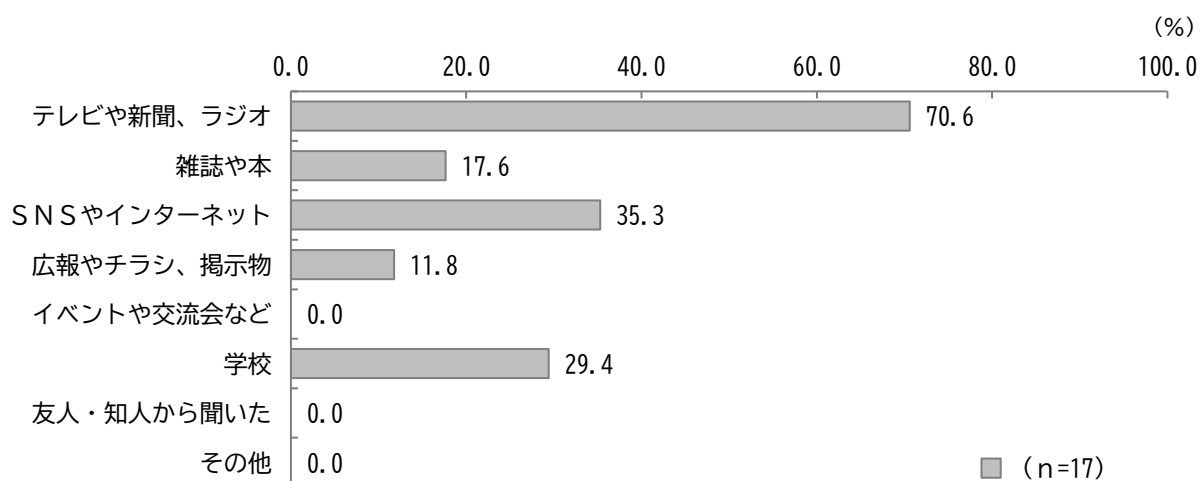
「聞いたことはない」が 61.7%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」が 25.5%、「聞いたことがあり、内容も知っている」が 10.6%となっています。



※問27で「1. 聞いたことがあり、内容も知っている」「2. 聞いたことはあるが、よく知らない」と答えた方にかがいます。

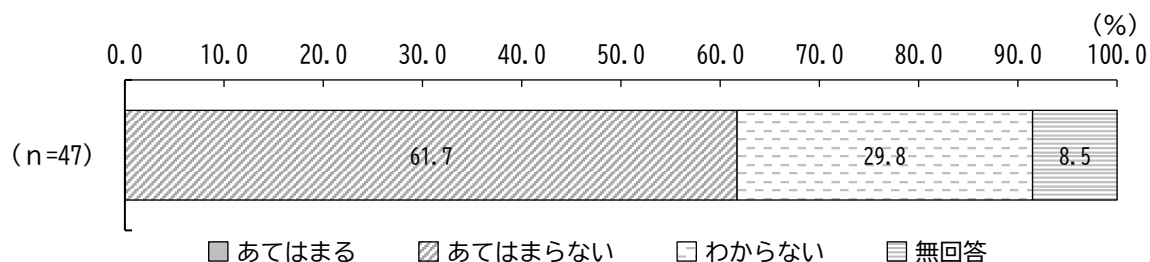
問28 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。

「テレビや新聞、ラジオ」が 70.6%と最も高く、次いで「SNSやインターネット」が 35.3%、「学校」が 29.4%となっています。



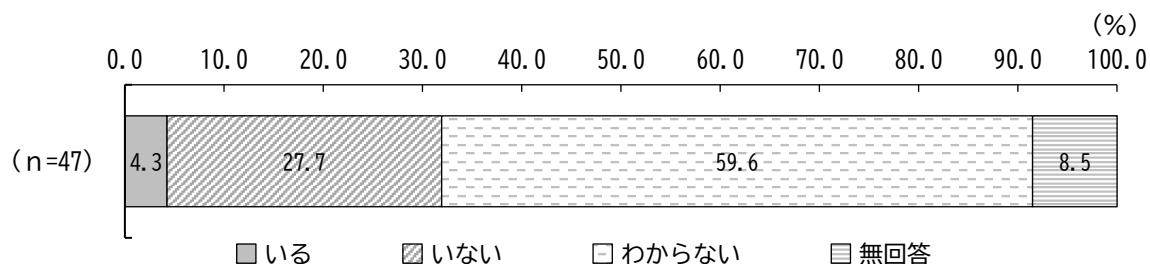
問29 あなたは「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。

「あてはまらない」が 61.7%と最も高く、次いで「わからない」が 29.8%となっています。



問30 あなたの周りに「ヤングケアラー」にあてはまる人がいますか。

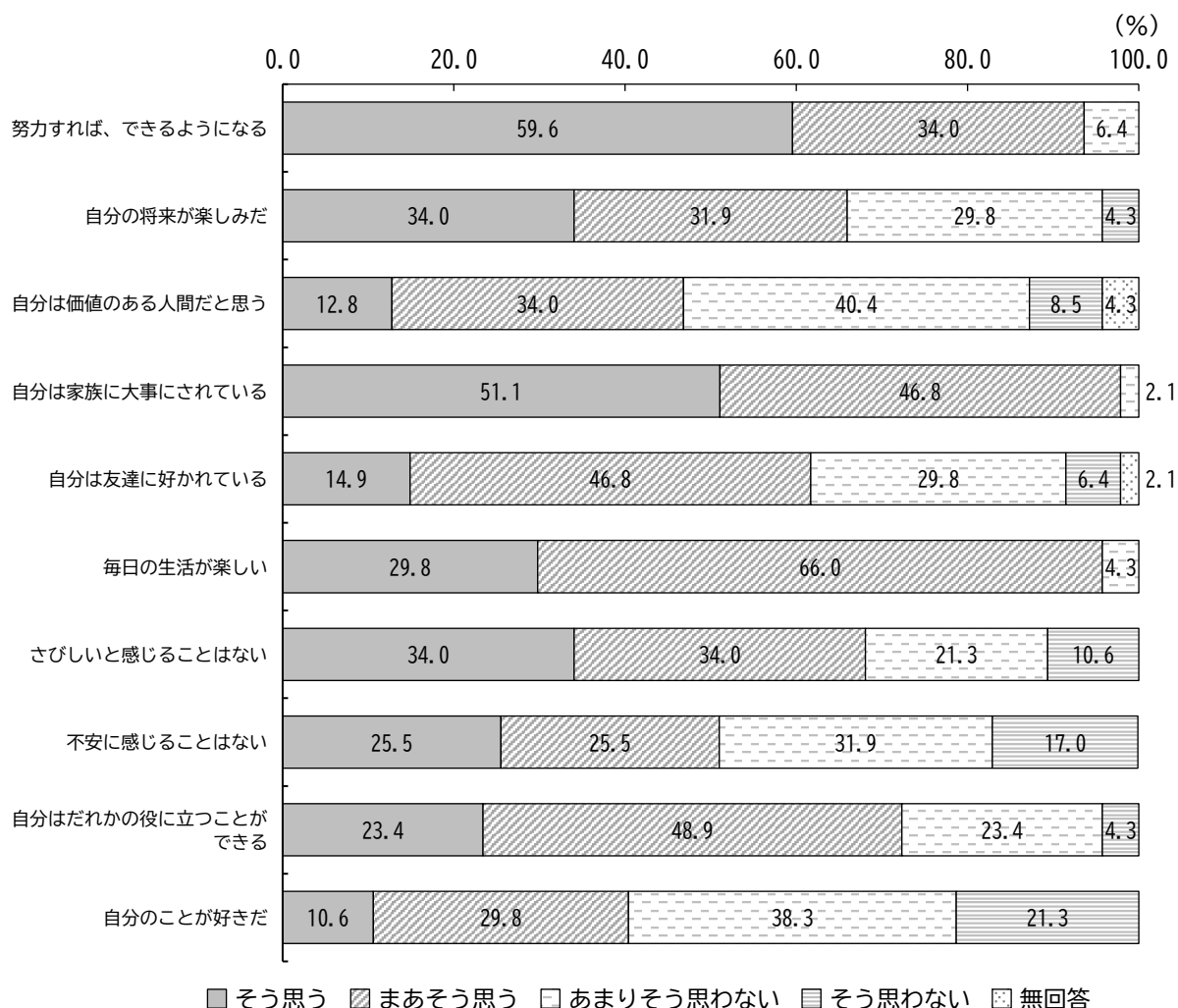
「わからない」が59.6%と最も高く、次いで「いない」が27.7%、「いる」が4.3%となっています。



日常生活の中で感じていることについて

問31 あなたが日常生活の中で感じていることについて、教えてください。

「思う(そう思う+まあそう思う)」では「努力すれば、できるようになる」「自分は家族に大事にされている」「毎日の生活が楽しい」が9割台、「自分はだれかの役に立つことができる」が7割台、「自分の将来が楽しみだ」「自分は友達に好かれている」「さびしいと感じることはない」が6割台、「不安を感じることはない」が5割台となっていますが、「自分は価値のある人間だと思う」「自分のことが好きだ」では半数を下回っています。

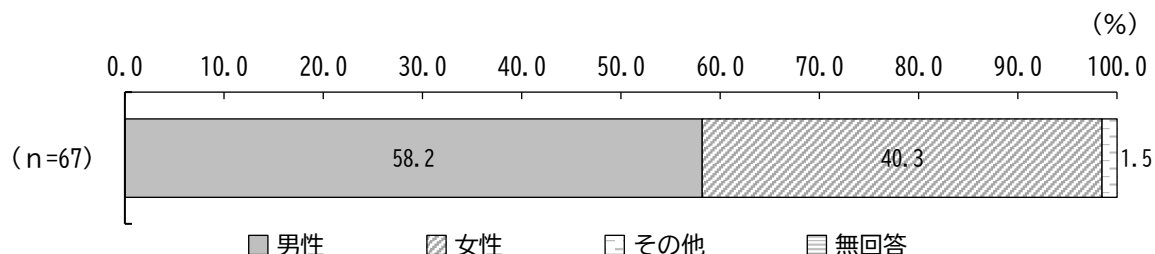


VII 調査結果【子ども・若者の意識調査】

あなた自身のことについて

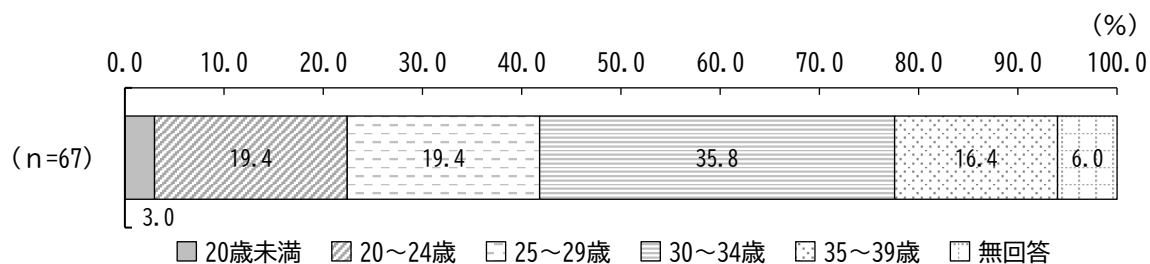
F1 あなたの性別をお答えください。

「男性」が58.2%と最も高く、次いで「女性」が40.3%、「その他」が1.5%となっています。



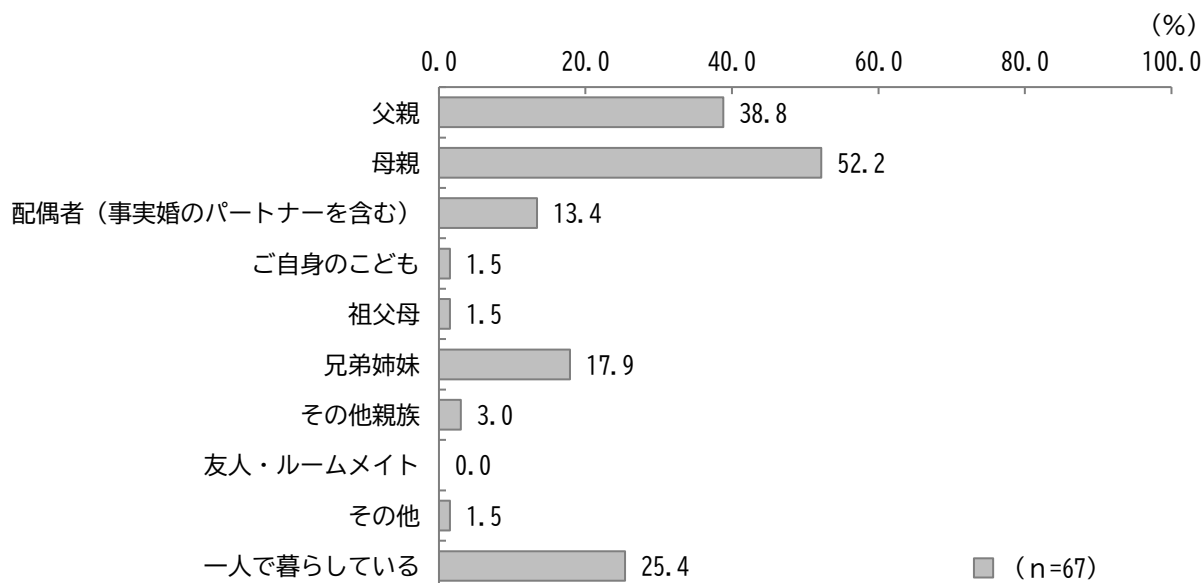
F2 あなたの年齢をお答えください。(令和6年4月1日現在)

「30～34 歳」が35.8%と最も高く、次いで「20～24 歳」「25～29 歳」がともに19.4%、「35～39 歳」が16.4%となっています。



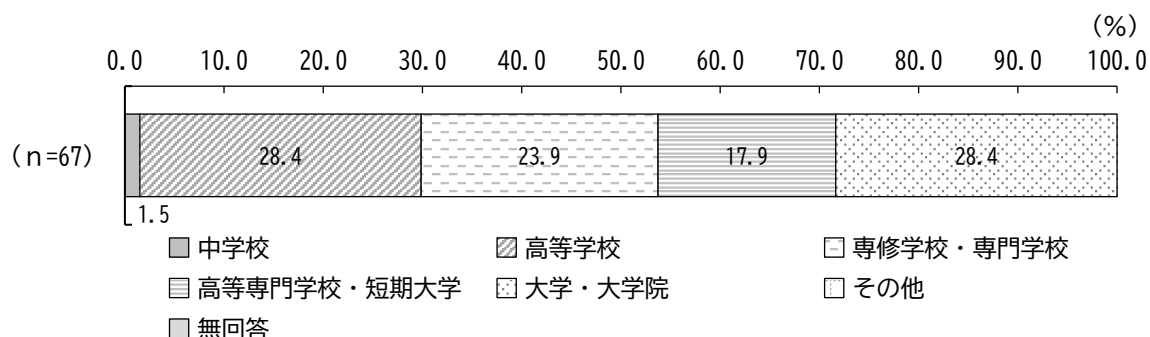
F3 現在、あなたが同居している方をお答えください。

「母親」が52.2%と最も高く、次いで「父親」が38.8%、「一人で暮らしている」が25.4%となっています。



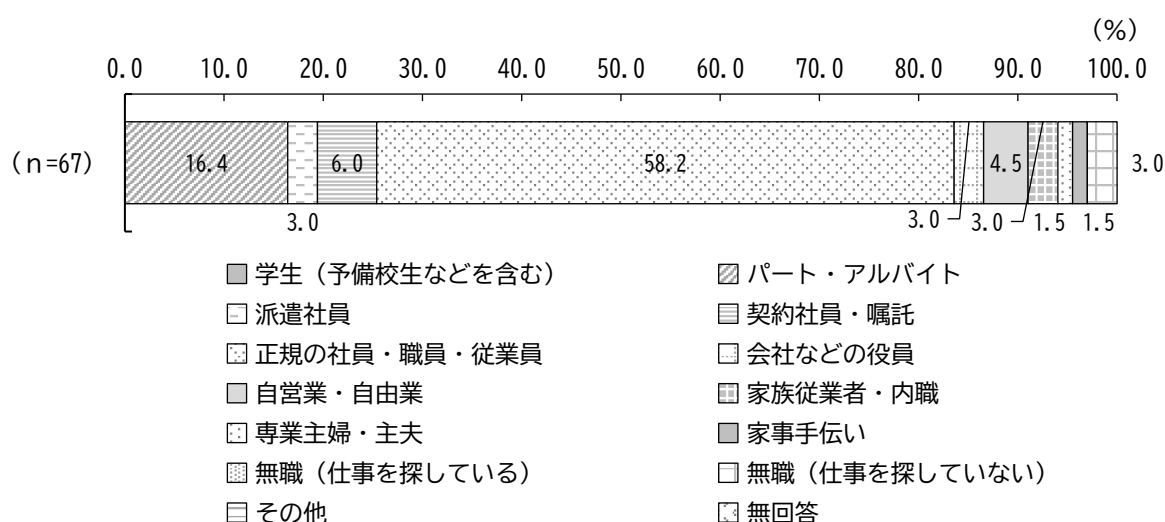
F4 あなたが最後に卒業(中退を含む)した学校はどこですか。在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。

「高等学校」「大学・大学院」がともに 28.4%と最も高く、次いで「専修学校・専門学校」が 23.9%、「高等専門学校・短期大学」が 17.9%となっています。



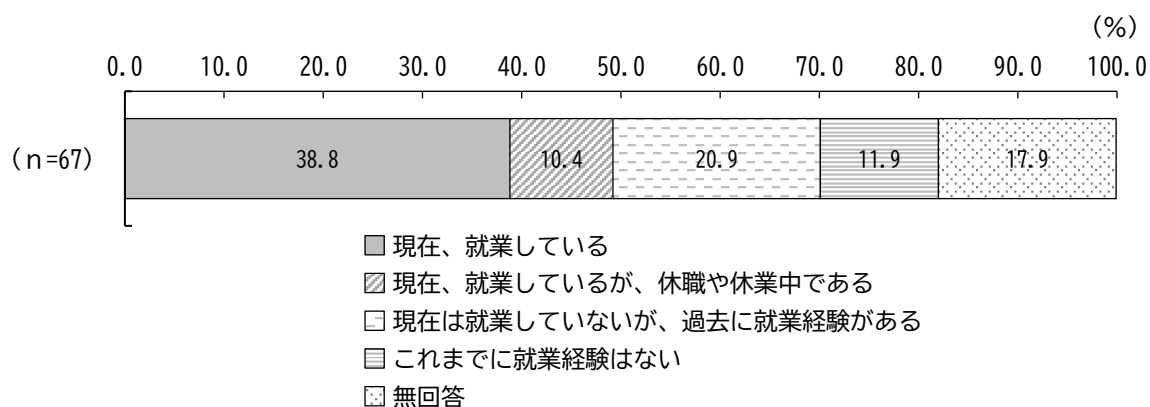
F5 あなたが現在、主にしていることをお答えください。

「正規の社員・職員・従業員」が 58.2%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」が 16.4%、「契約社員・嘱託」が 6.0%となっています。



F6 あなたの就業についてお答えください。(パート・アルバイトを含む)

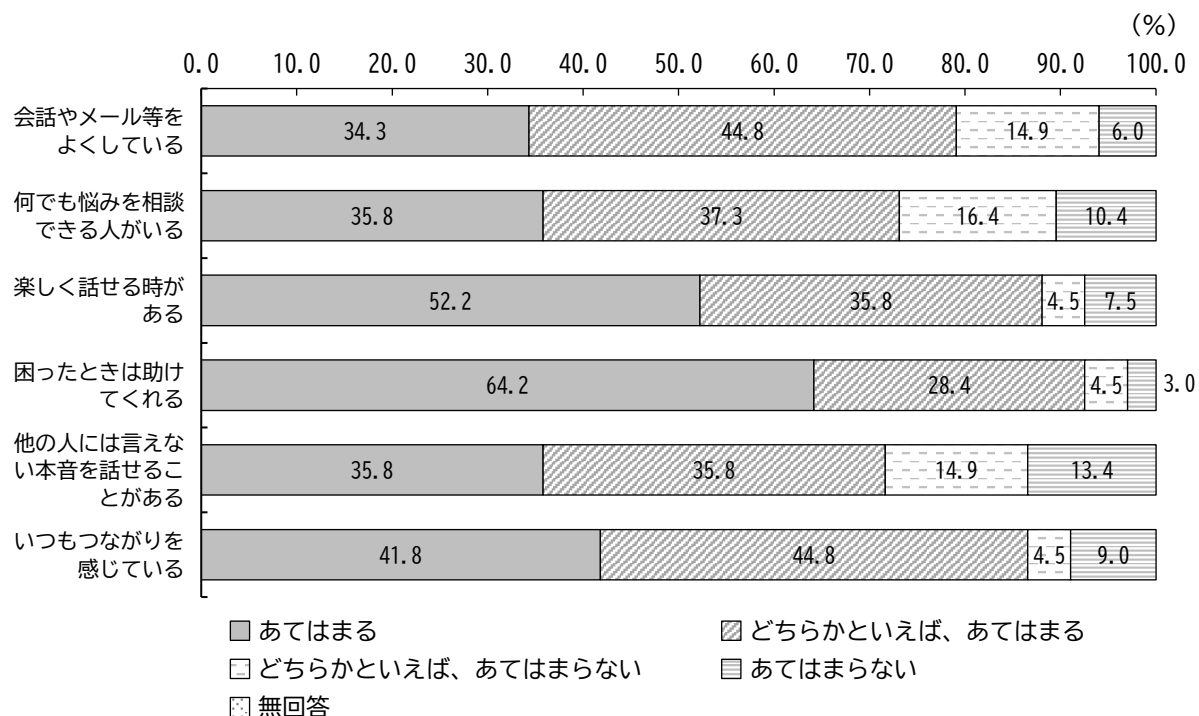
「現在、就業している」が 38.8%と最も高く、次いで「現在は就業していないが、過去に就業経験がある」が 20.9%、「これまでに就業経験はない」が 11.9%となっています。



周囲の人とのかかわりについて

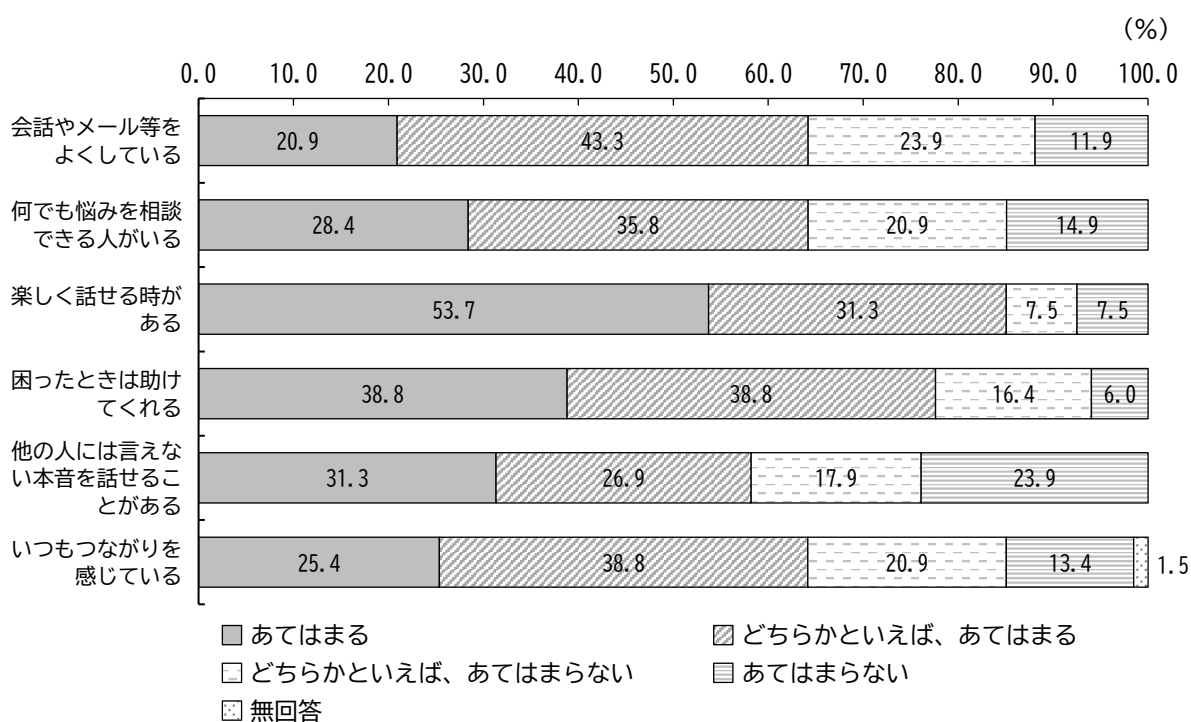
問1 家族・親族とあなたのかかわりは、どのようなものですか。

「あてはまる(あてはまる+どちらかといえば、あてはまる)」の割合が全ての項目で7割台以上となっています。



問2 学校で出会った友人(現在通っている学校の友人、かつての同窓生など)と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。

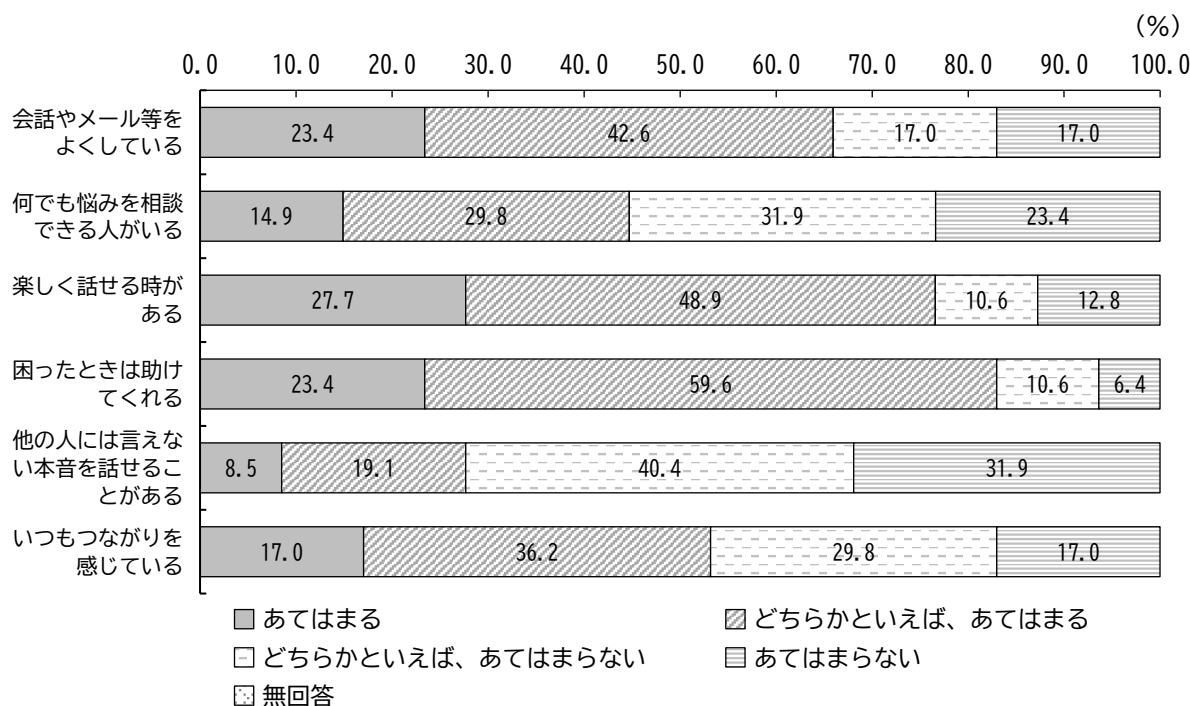
「あてはまる(あてはまる+どちらかといえば、あてはまる)」の割合は「楽しく話せる時がある」が8割台、「困ったときは助けてくれる」が7割台で、他の項目に比べて高くなっています。



※F6で「1」、「2」、「3」を選んだ方のみ、お答えください

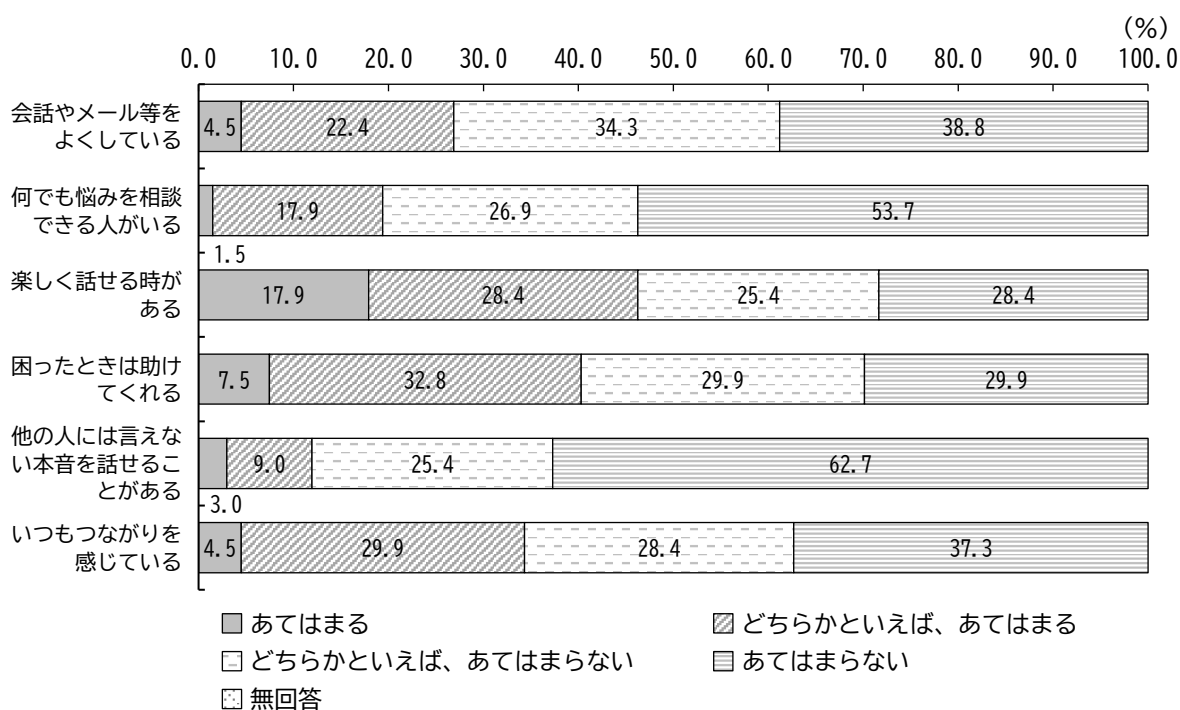
問3 職場・アルバイト関係の人(現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など)と、あなたの現在のかかわりは、どのようなものですか。

「あてはまる(あてはまる+どちらかといえば、あてはまる)」の割合は「困ったときは助けてくれる」が8割台、「楽しく話せる時がある」が7割台で、他の項目に比べて高くなっています。



問4 地域の人(近所の人、町内会などの知人、消防団などの地域活動での知人、塾や習い事での知人、参加している NPO 法人など)と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。

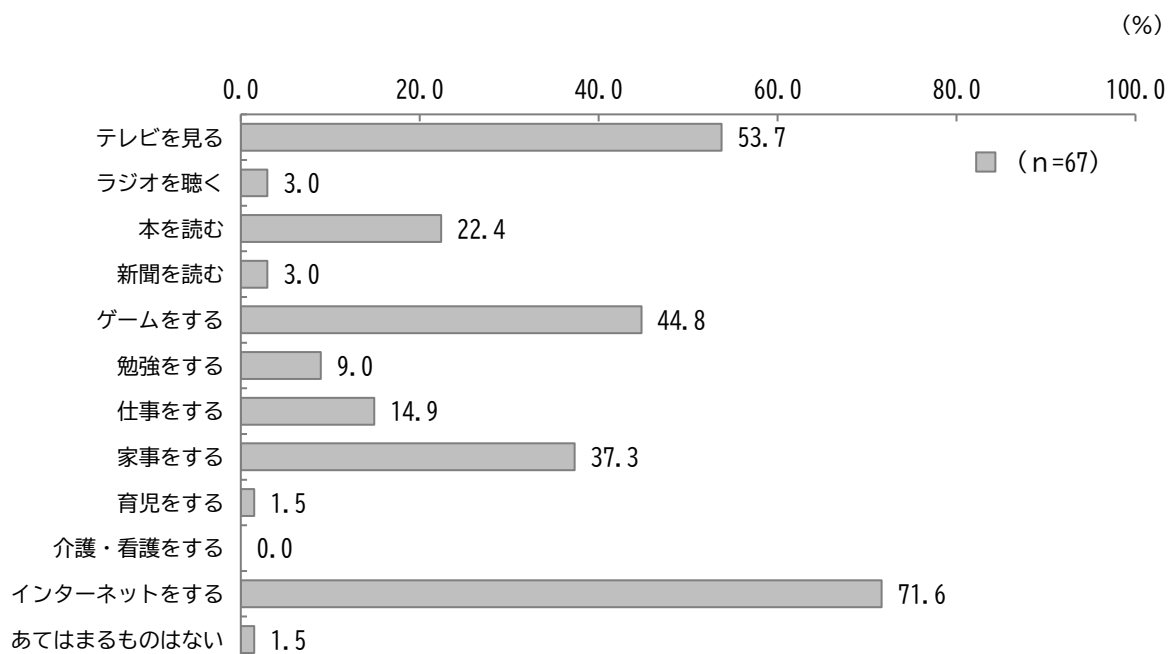
「あてはまる(あてはまる+どちらかといえば、あてはまる)」の割合は「楽しく話せる時がある」「困ったときは助けてくれる」が4割台で、他の項目に比べて高くなっています。



普段の生活について

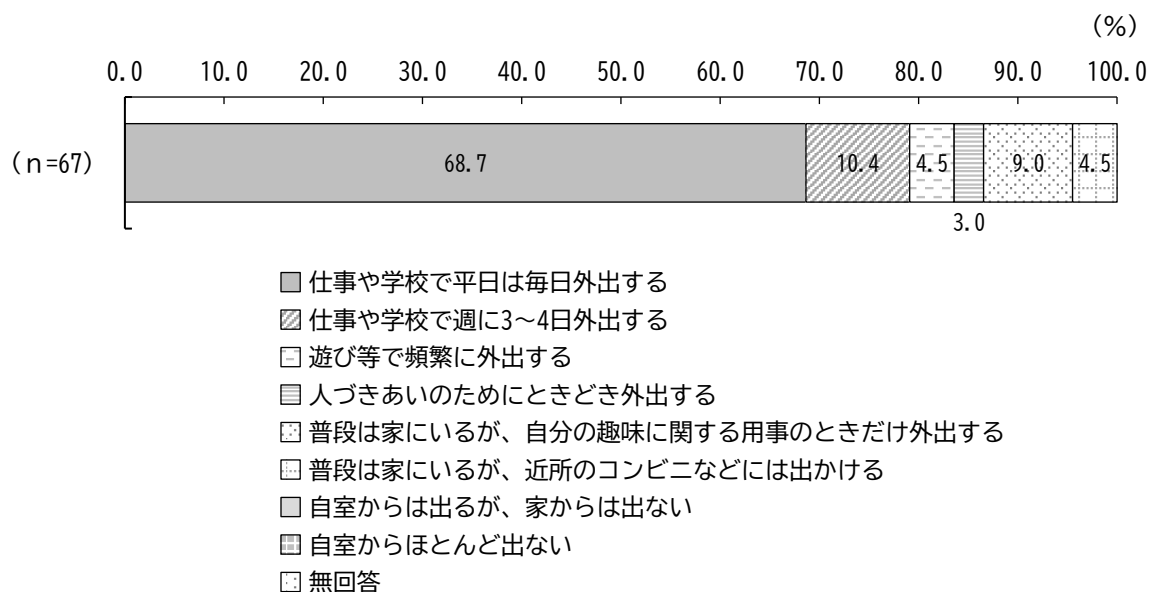
問5 普段ご自宅(暮らしている場所)にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。よくしていることをすべて選んでください。

「インターネットをする」が 71.6%と最も高く、次いで「テレビを見る」が 53.7%、「ゲームをする」が 44.8%となっています。



問6 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。

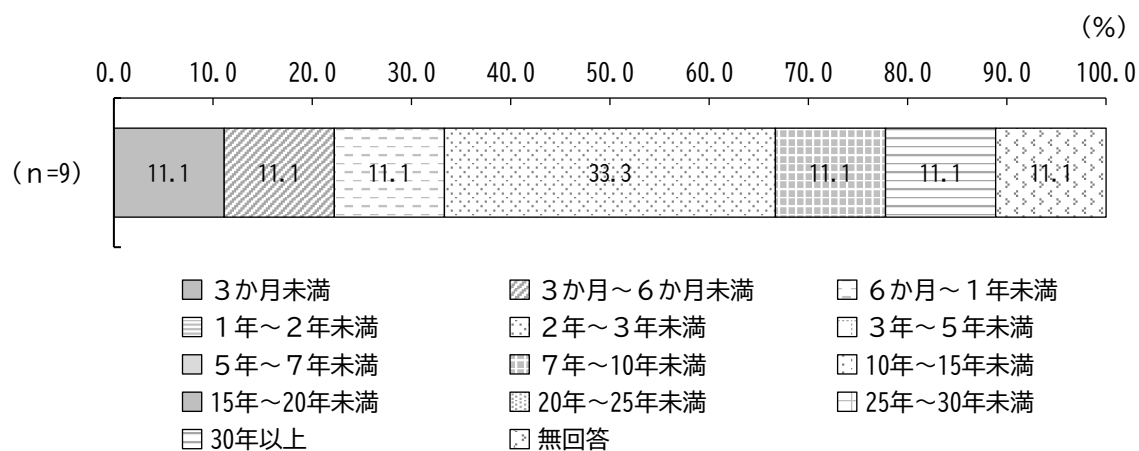
「仕事や学校で平日は毎日外出する」が 68.7%と最も高く、次いで「仕事や学校で週に 3～4 日外出する」が 10.4%、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」が 9.0%となっています。



※問6で「5」～「8」を選んだ方のみ、お答えください

問7 あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。

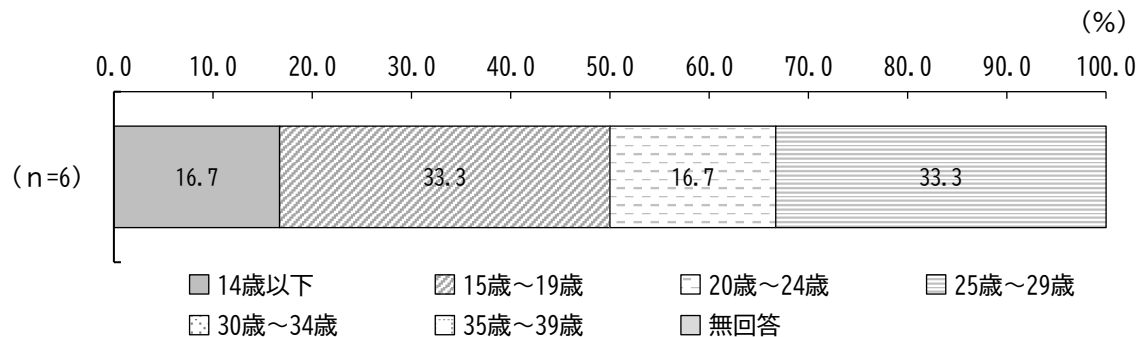
「2年～3年未満」が 33.3%と最も高く、次いで「3か月未満」「3か月～6か月未満」「6か月～1年未満」「7年～10年未満」「30年以上」がいずれも 11.1%となっています。



※問7で「3」～「13」を選んだ方のみ、お答えください

問8 あなたの外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。

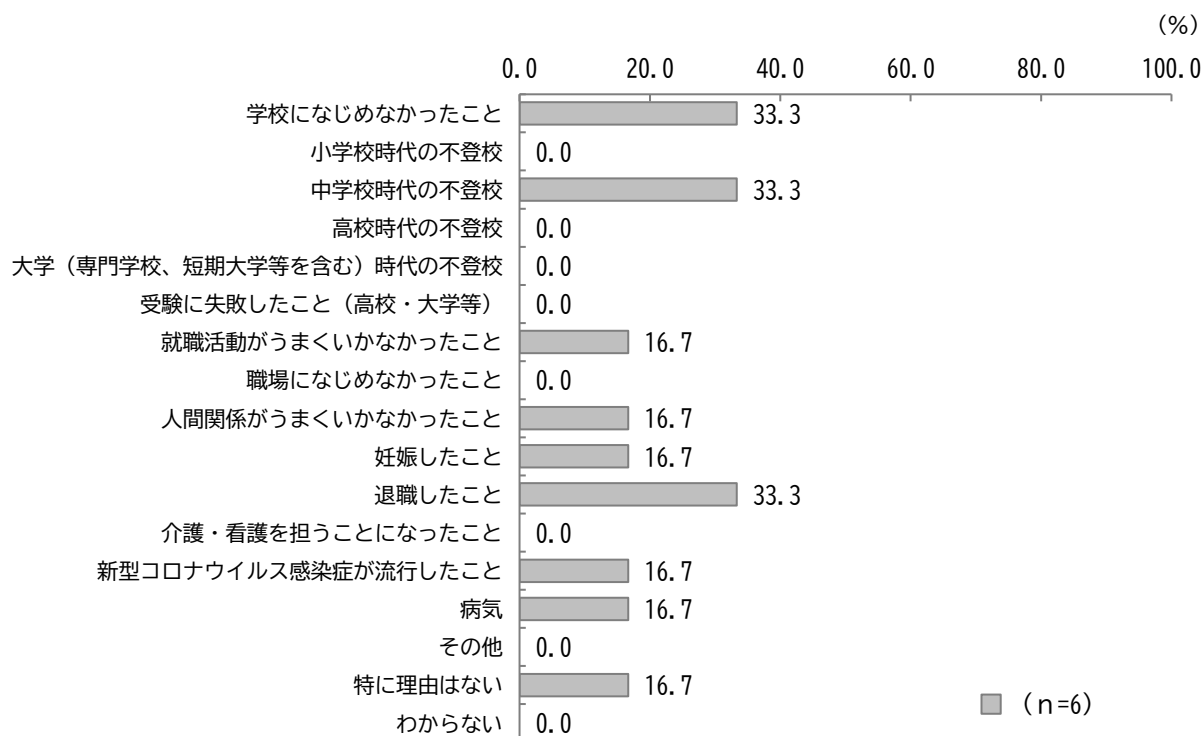
「15歳～19歳」「25歳～29歳」がともに 33.3%と最も高く、次いで「14歳以下」「20歳～24歳」がともに 16.7%となっています。



※問7で「3」～「13」を選んだ方のみ、お答えください

問 9-1 あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。

「学校になじめなかったこと」「中学校時代の不登校」「退職したこと」がいずれも 33.3%と最も高く、次いで「就職活動がうまくいかなかったこと」「人間関係がうまくいかなかったこと」「妊娠したこと」「新型コロナウイルス感染症が流行したこと」「病気」「特に理由はない」がいずれも 16.7%となっています。



※問9-1で「1」～「15」を選んだ方のみ、お答えください

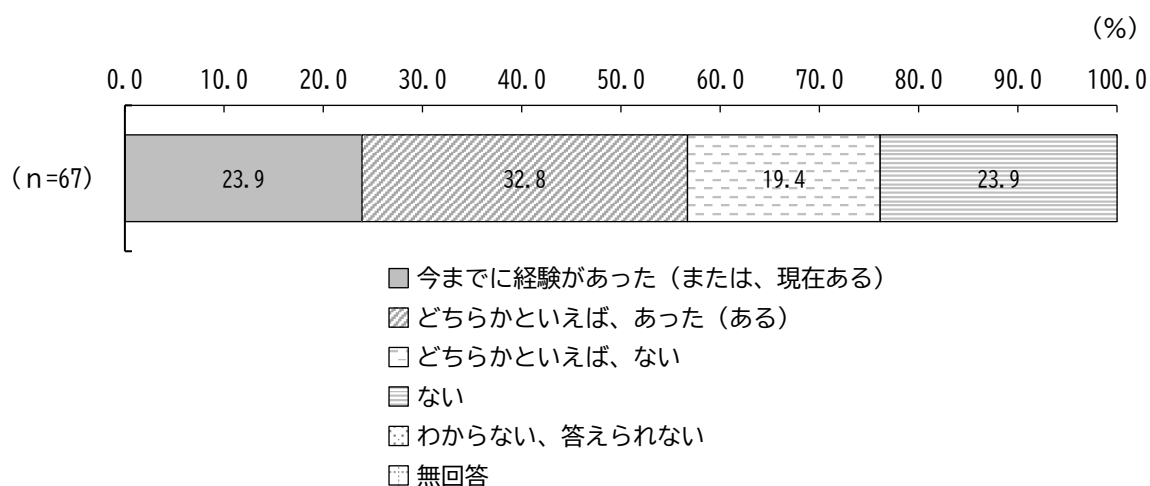
問9-2 あなたの外出状況が現在の状態になった最も大きな理由は何ですか。

「中学校時代の不登校」「退職したこと」がともに 13.3%と最も高く、次いで「職場になじめなかったこと」「人間関係がうまくいかなかったこと」「新型コロナウイルス感染症が流行したこと」がいずれも 6.7%となっています。

(n=4)			
項目	割合 (%)	項目	割合 (%)
学校になじめなかったこと	0	妊娠したこと	0
小学校時代の不登校	0	退職したこと	25.0
中学校時代の不登校	50.0	介護・看護を担うことになったこと	0
高校時代の不登校	0	新型コロナウイルス感染症が流行したこと	0
大学（専門学校、短期大学等を含む）時代の不登校	0	病気	0
受験に失敗したこと（高校・大学等）	0	その他	0
就職活動がうまくいかなかったこと	0	特に理由はない	0
職場になじめなかったこと	0	わからない	0
人間関係がうまくいかなかったこと	25.0	無回答	0

問 10 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありましたか。または、現在、社会生活や日常生活を円滑に送れていない状況がありますか。最もあてはまるものを選んでください。(1つだけ)

「どちらかといえば、あった(ある)」が 32.8%と最も高く、次いで「今までに経験があった(または、現在ある)」「ない」がともに 23.9%、「どちらかといえば、ない」が 19.4%となっています。

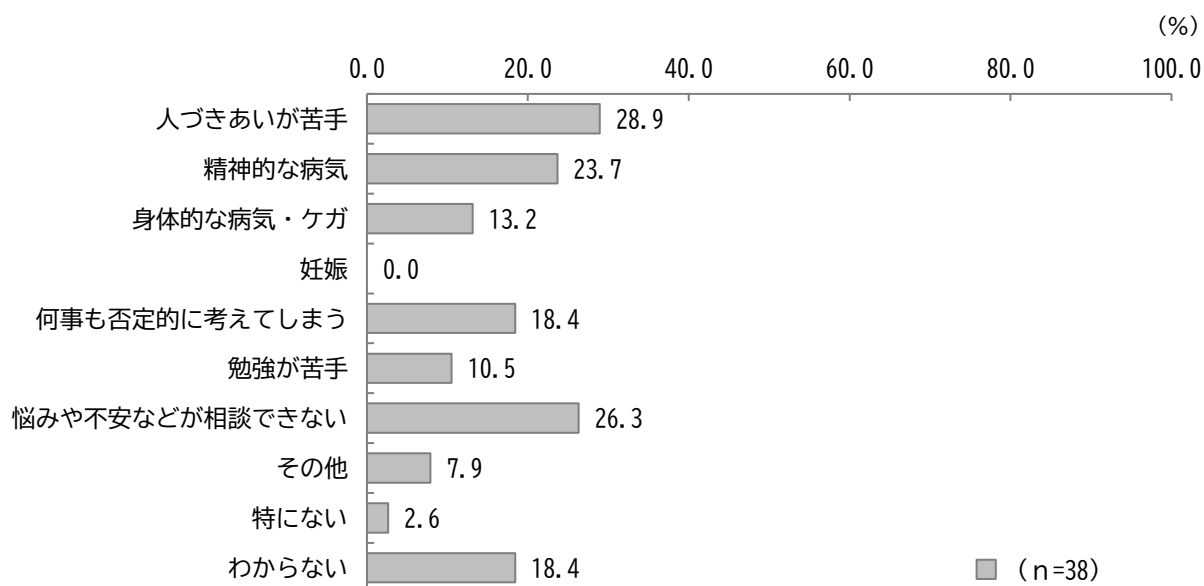


※問 10 で「1」または「2」を選んだ方のみ、お答えください

問 11 そうした問題を経験した、又は現在経験している主な原因は何ですか。以下の(1)～(4)のそれぞれにお答えください。

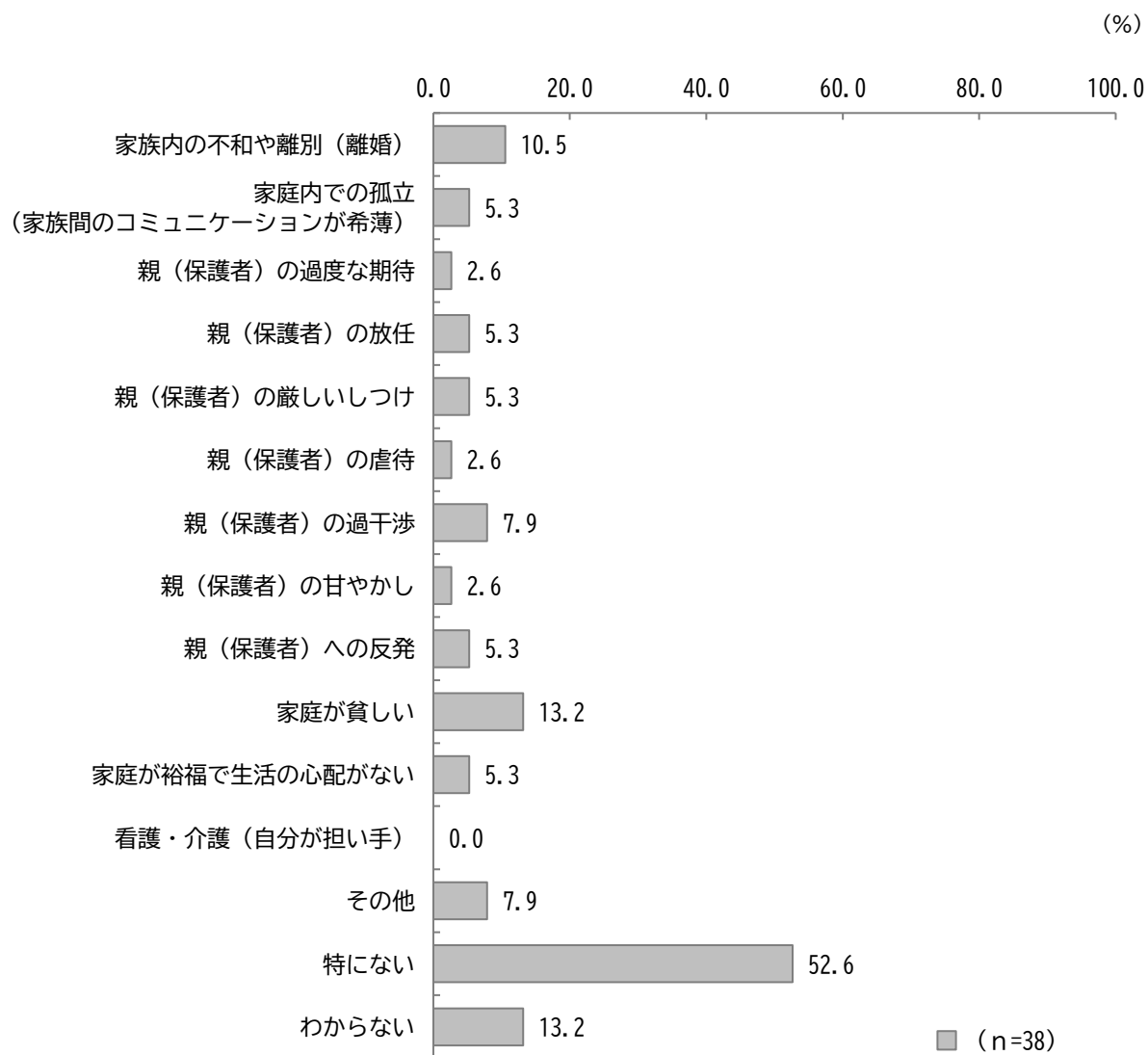
(1) 自分自身について

「人づきあいが苦手」が 28.9%と最も高く、次いで「悩みや不安などが相談できない」が 26.3%、「精神的な病気」が 23.7%となっています。



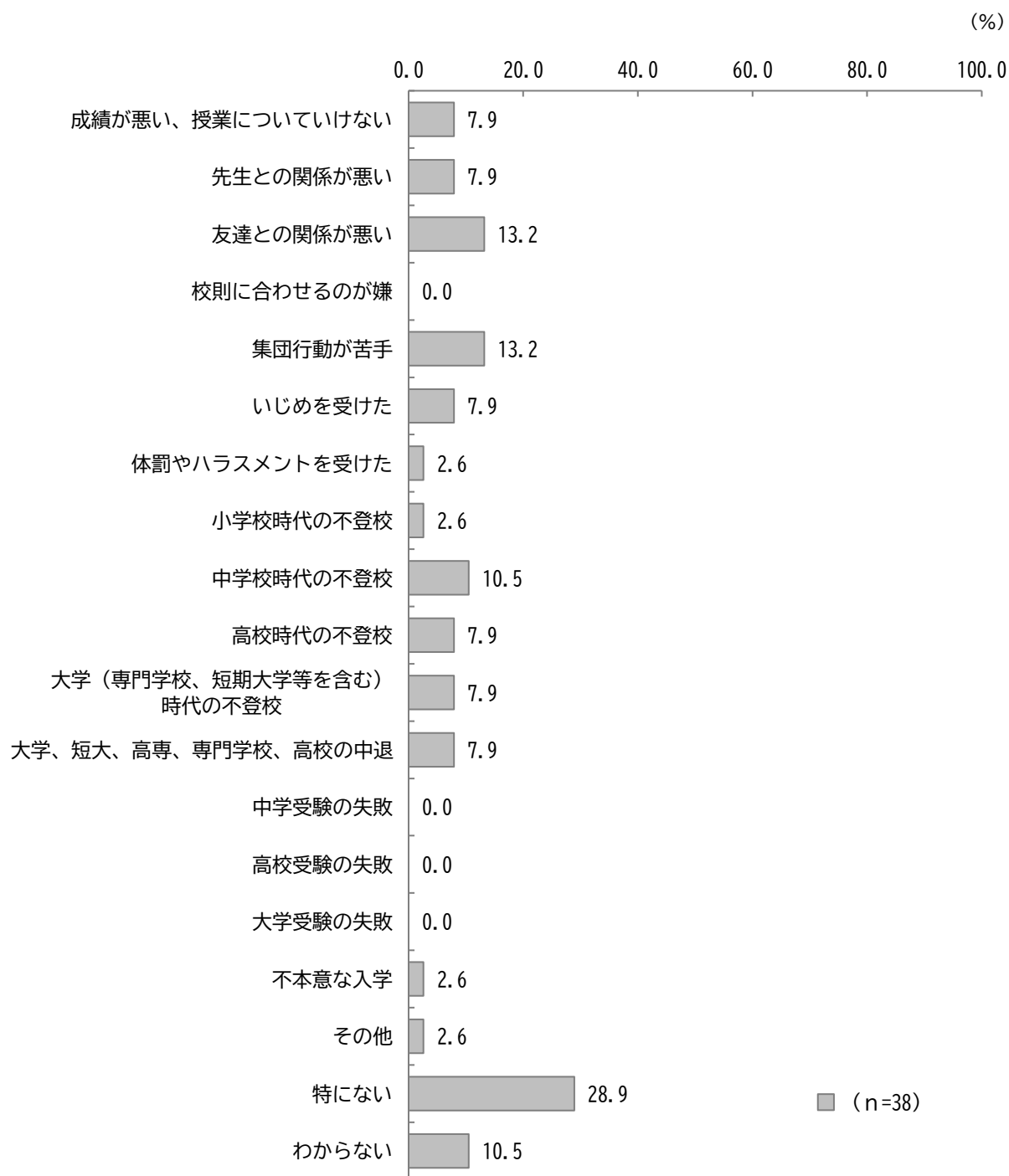
(2) 家族・家庭について

「特にない」が52.6%と最も高く、次いで「家庭が貧しい」が13.2%、「家族内の不和や離別(離婚)」が10.5%となっています。



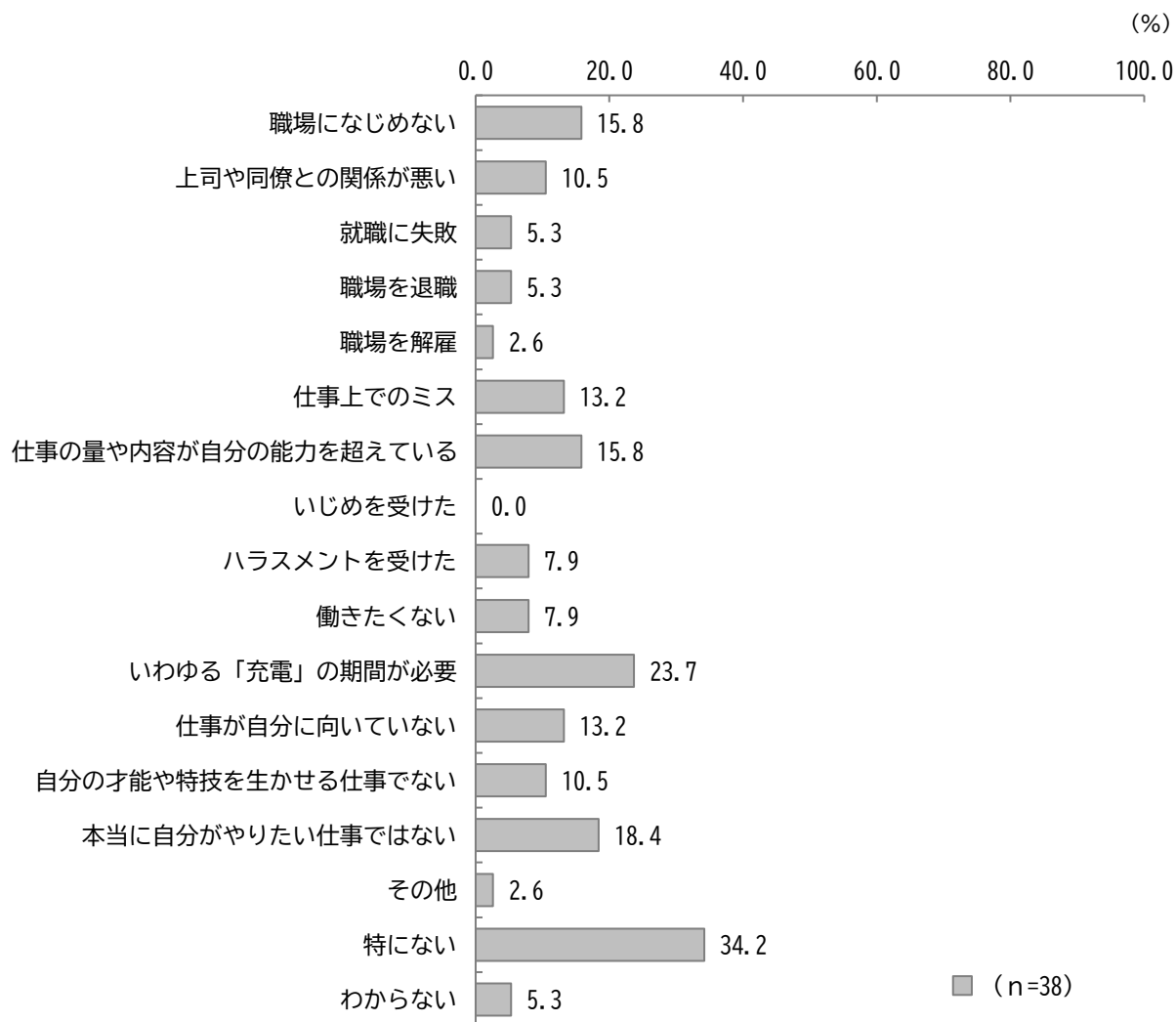
(3) 学校について

「特にない」が 28.9%と最も高く、次いで「友達との関係が悪い」「集団行動が苦手」がともに 13.2%、「中学校時代の不登校」「わからない」がともに 10.5%となっています。



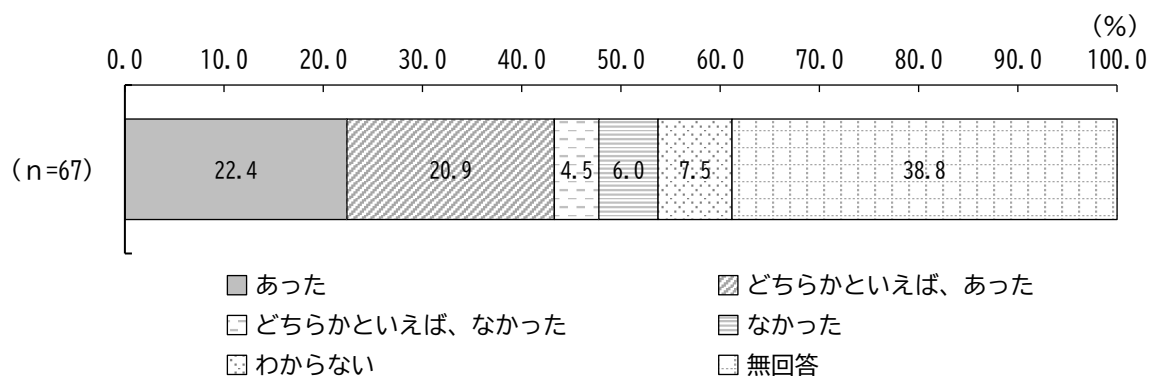
(4) 仕事・職場について

「特にない」が 34.2%と最も高く、次いで「いわゆる「充電」の期間が必要」が 23.7%、「本当に自分がやりたい仕事ではない」が 18.4%となっています。



問 12 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験がありましたか。最もあてはまるものを選んでください。(1つだけ)

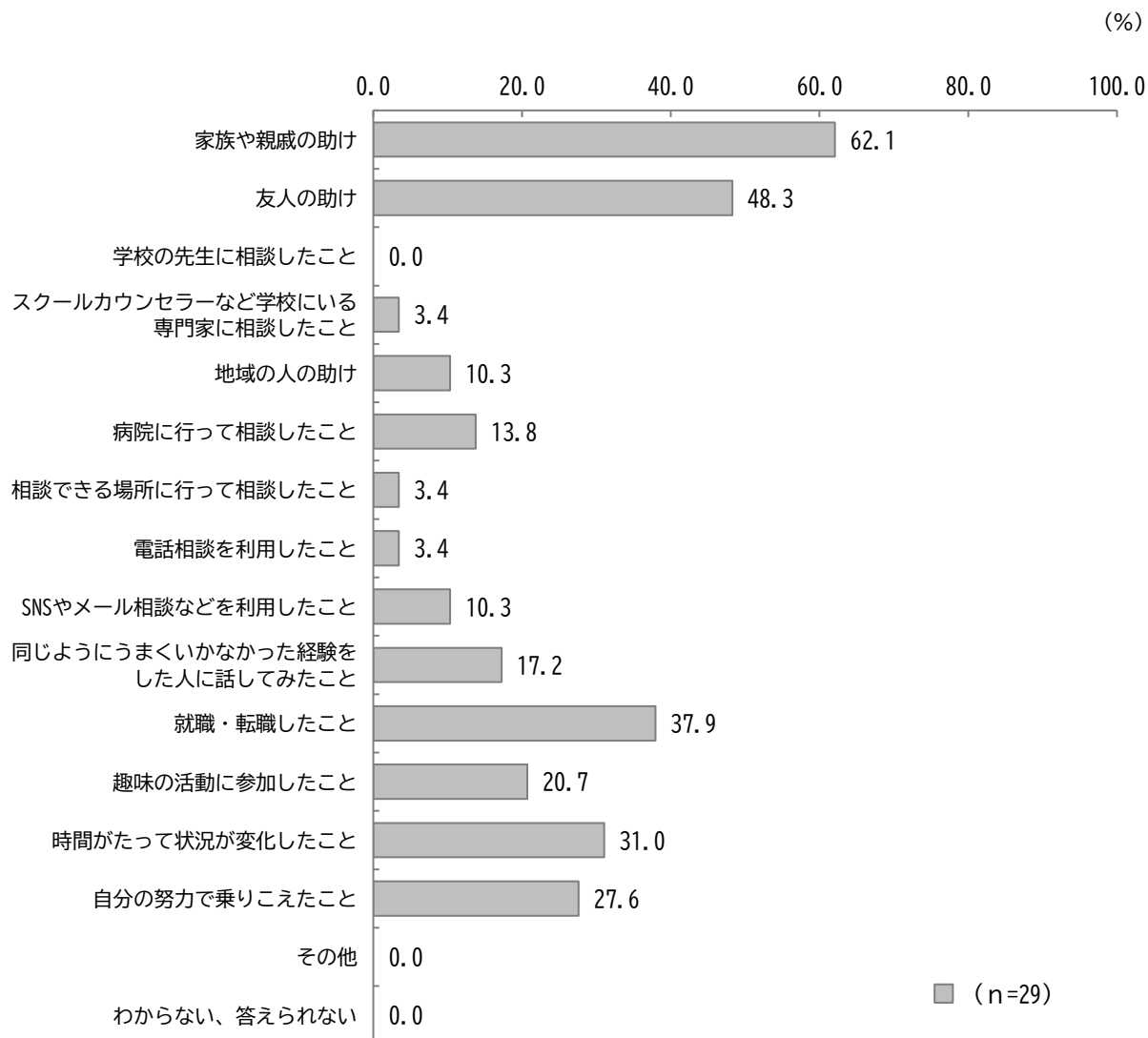
「あった」が 22.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば、あった」が 20.9%、「わからない」が 7.5%となっています。



※問 12 で「1」または「2」を選んだ方のみ、お答えください

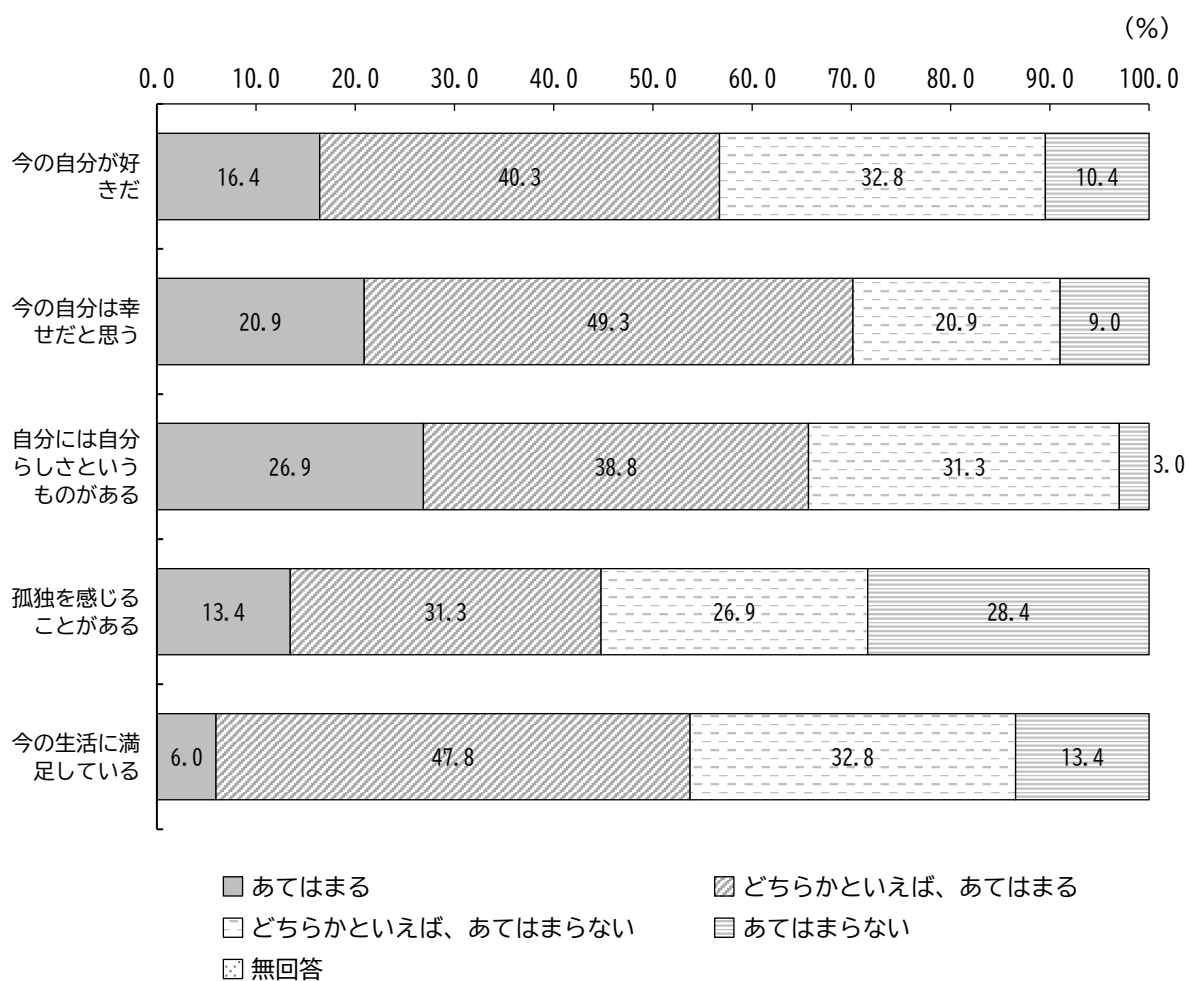
問 13 状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思えますか。(いくつでも)

「家族や親戚の助け」が 62.1%と最も高く、次いで「友人の助け」が 48.3%、「就職・転職したこと」が 37.9%となっています。



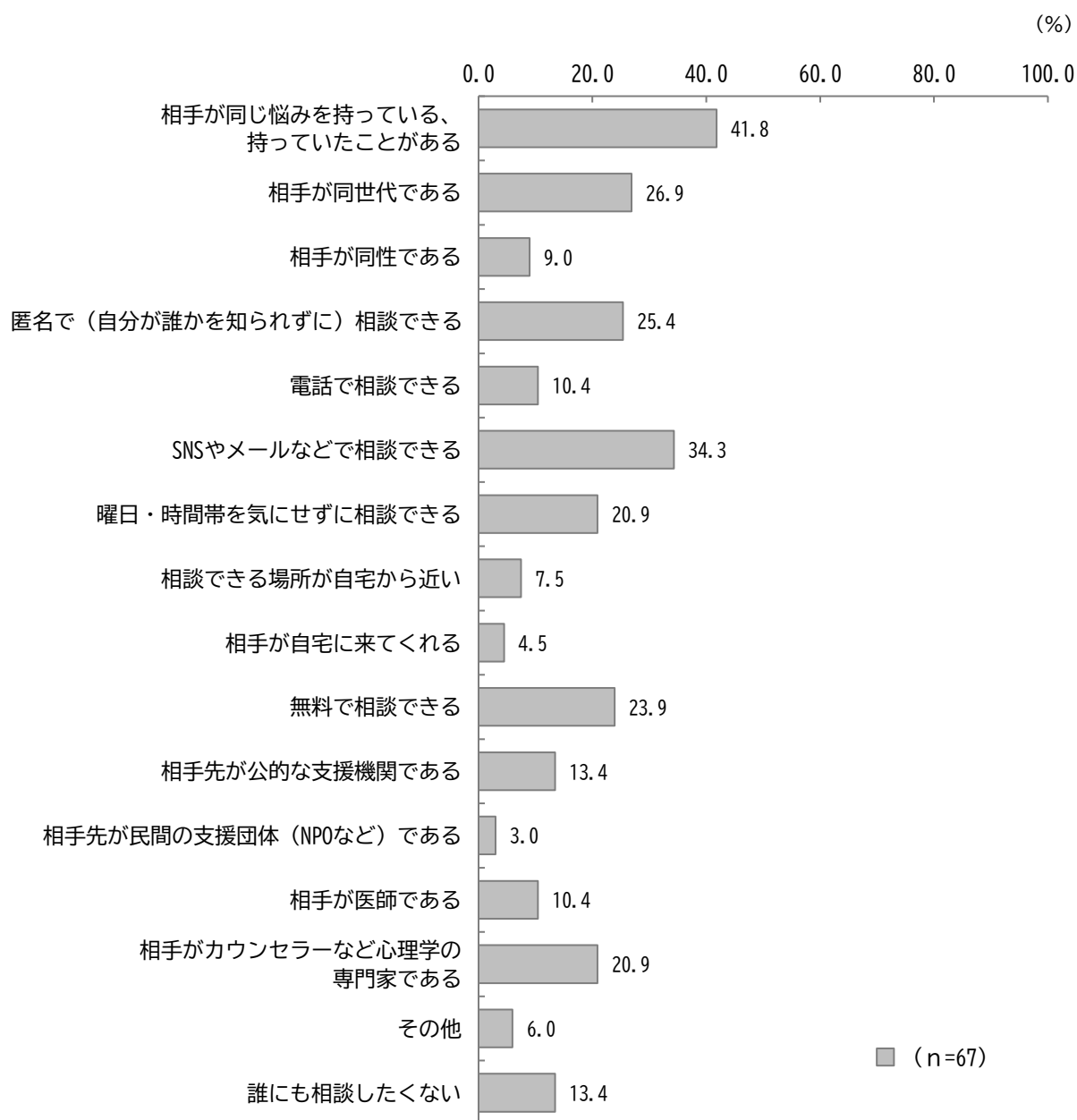
問 14 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。

「あてはまる(あてはまる+どちらかといえば、あてはまる)」の割合が「今の自分は幸せだと思う」で7割台あるものの、「孤独を感じることもある」では「あてはまらない(どちらかといえば、あてはまらない+あてはまらない)」の割合が5割台となっています。



問 15 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。(いくつでも)

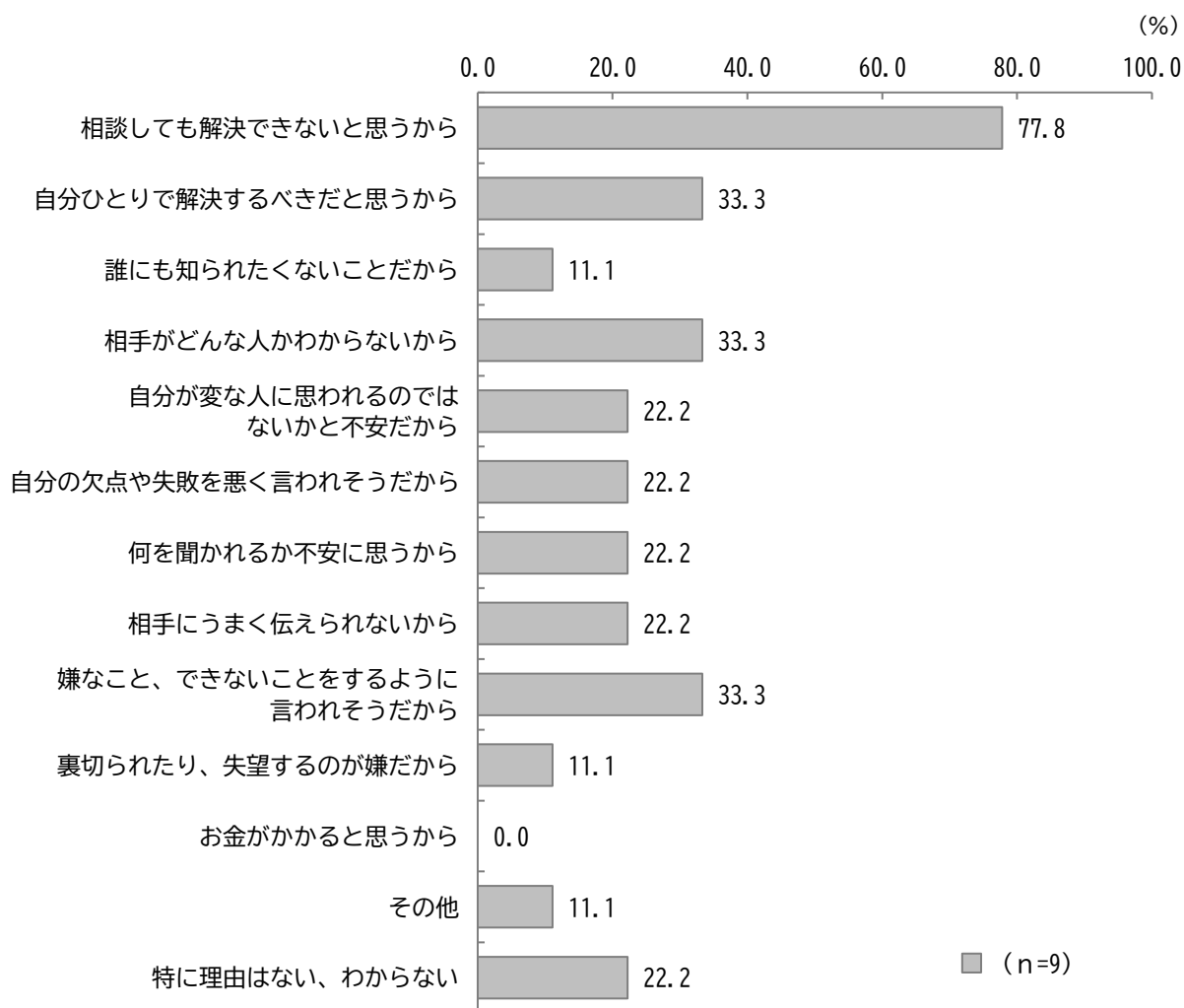
「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」が 41.8%と最も高く、次いで「SNS やメールなどで相談できる」が 34.3%、「相手が同世代である」が 26.9%となっています。



※問 15 で「16. 誰にも相談したくない」を選んだ方のみ、お答えください

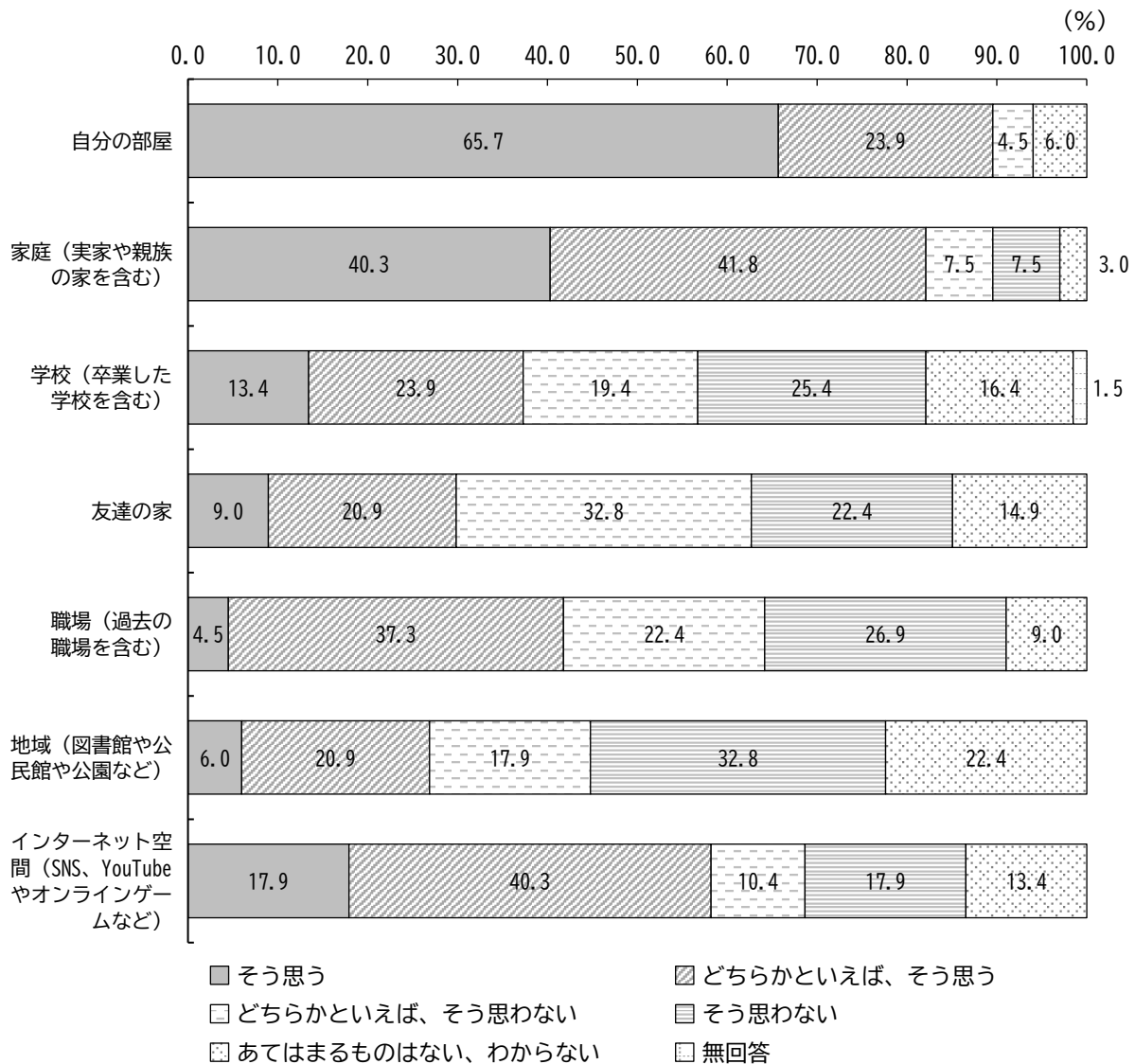
問 15-1 相談したくないと思う理由は何ですか。

「相談しても解決できないと思うから」が 77.8%と最も高く、次いで「自分ひとりで解決すべきだと思うから」「相手がどんな人かわからないから」「嫌なこと、できないことをするように言われそうだから」がいずれも 33.3%、「自分が変な人に思われるのではないかと不安だから」「自分の欠点や失敗を悪く言われそうだから」「何を聞かれるか不安に思うから」「相手にうまく伝えられないから」「特に理由はない、わからない」がいずれも 22.2%となっています。



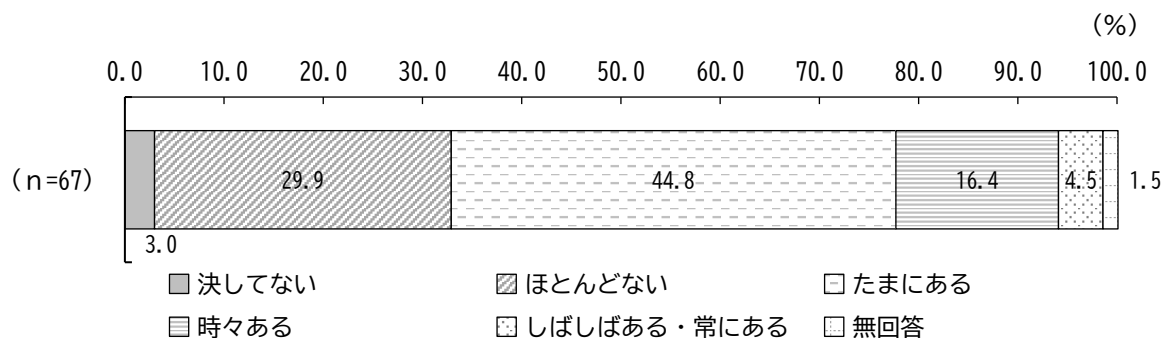
問 16 次の場所は、今のあなたにとって居場所(ほっとできる場所、居心地の良い場所など)になっていますか。

居場所についてみると、「思う(そう思う+どちらかといえば、そう思う)」の割合が「自分の部屋」「家庭(実家や親族の家を含む)」で8割台を占め、他の項目に比べ高くなっています。



問 17 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(1つだけ)

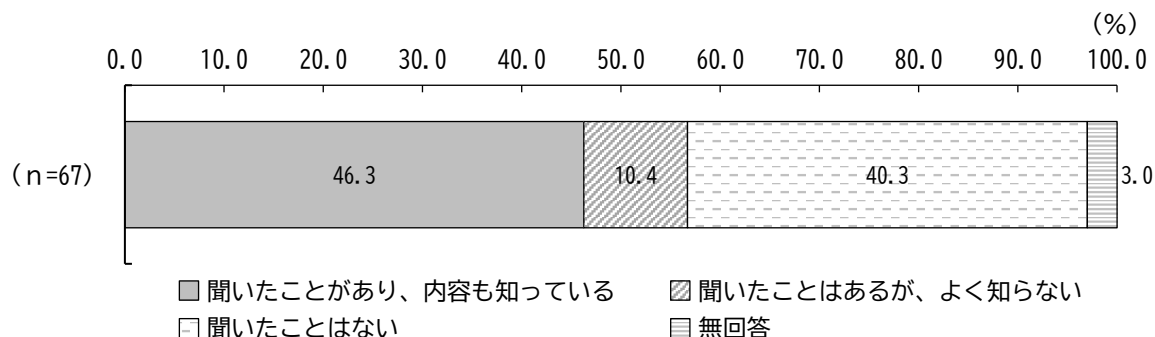
「たまにある」が 44.8%と最も高く、次いで「ほとんどない」が 29.9%、「時々ある」が 16.4%となっています。



ヤングケアラーについて

問 18 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。(1つだけ)

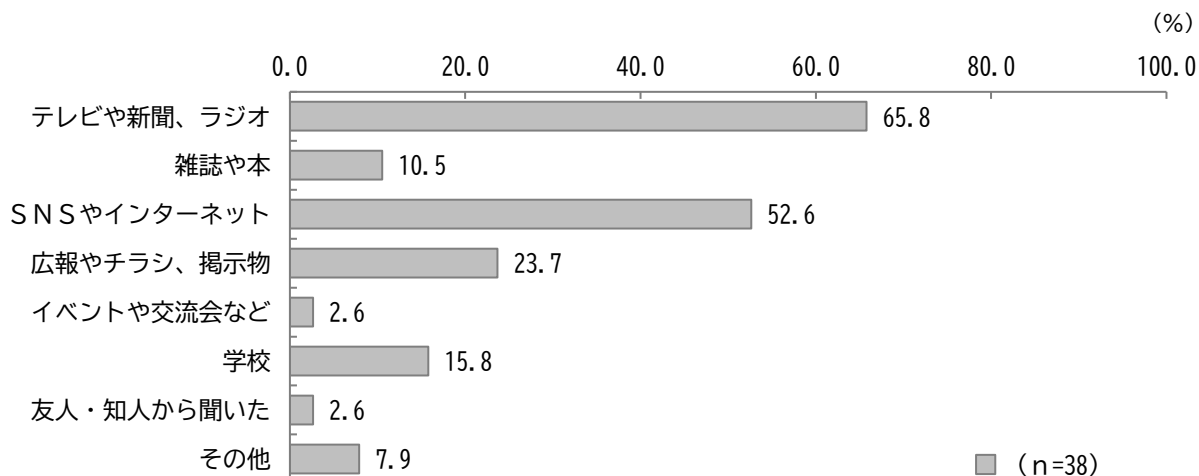
「聞いたことがあり、内容も知っている」が 46.3%と最も高く、次いで「聞いたことはない」が 40.3%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が 10.4%となっています。



※問 18 で「1.」「2.」を選んだ方のみ、お答えください

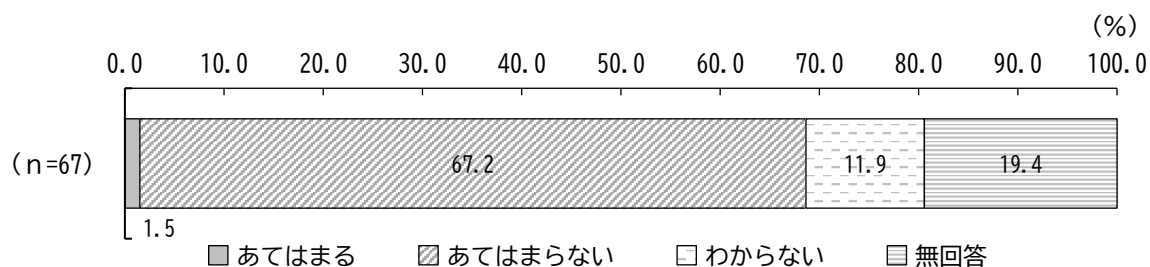
問 19 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(いくつでも)

「テレビや新聞、ラジオ」が 65.8%と最も高く、次いで「SNSやインターネット」が 52.6%、「広報やチラシ、掲示物」が 23.7%となっています。



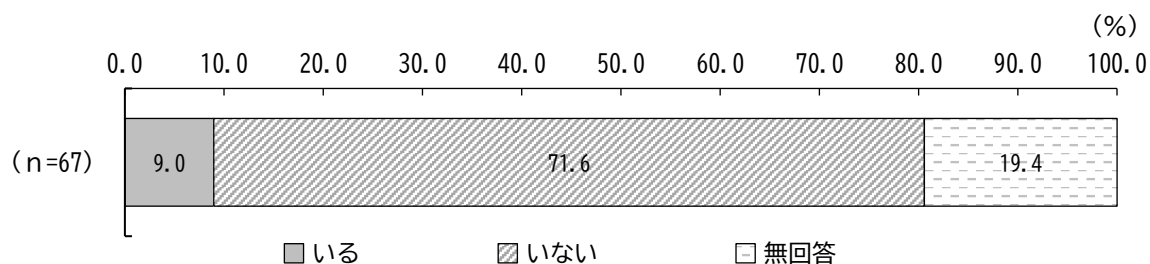
問 20 あなたは「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。(1つだけ)

「あてはまらない」が 67.2%と最も高く、次いで「わからない」が 11.9%、「あてはまる」が 1.5%となっています。



問 21 現在、あなたの周囲のこどもの中で、「ヤングケアラーに該当する」と感じるこどもはい
ますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

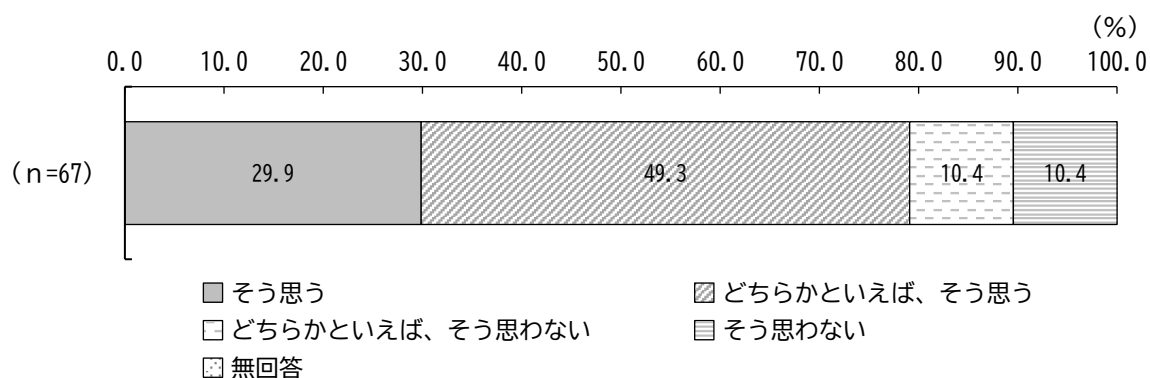
「いる」が9.0%、「いない」が71.6%となっています。



将来のことについて

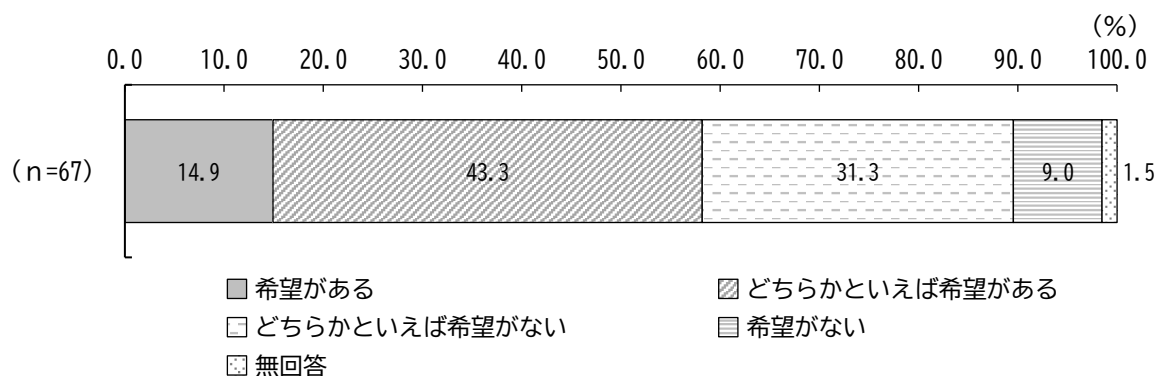
問 22 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。(1つだけ)

「どちらかといえば、そう思う」が49.3%と最も高く、次いで「そう思う」が29.9%、「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」がともに10.4%となっています。



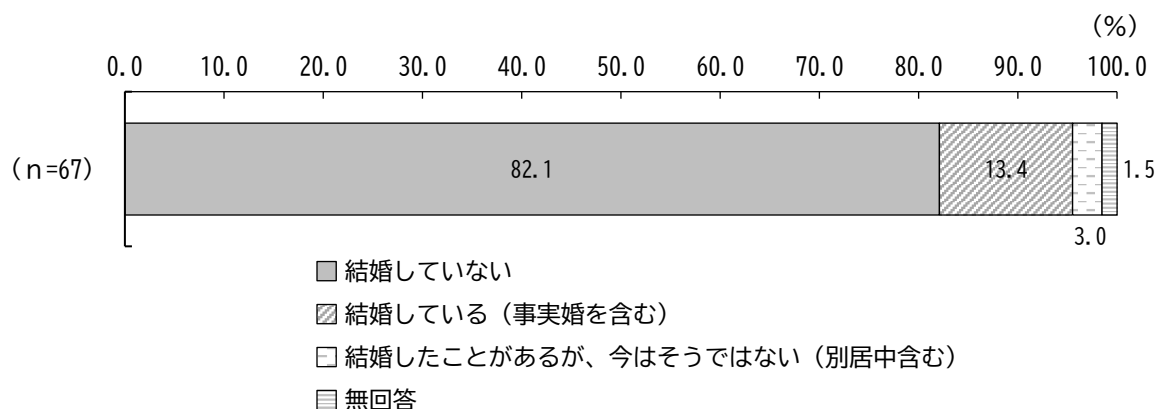
問 23 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。あてはまるものを1つ選
んでください。(1つだけ)

「どちらかといえば希望がある」が43.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば希望がない」が31.3%、「希望がある」が14.9%となっています。



問 24 あなたは結婚していますか。(1つだけ)

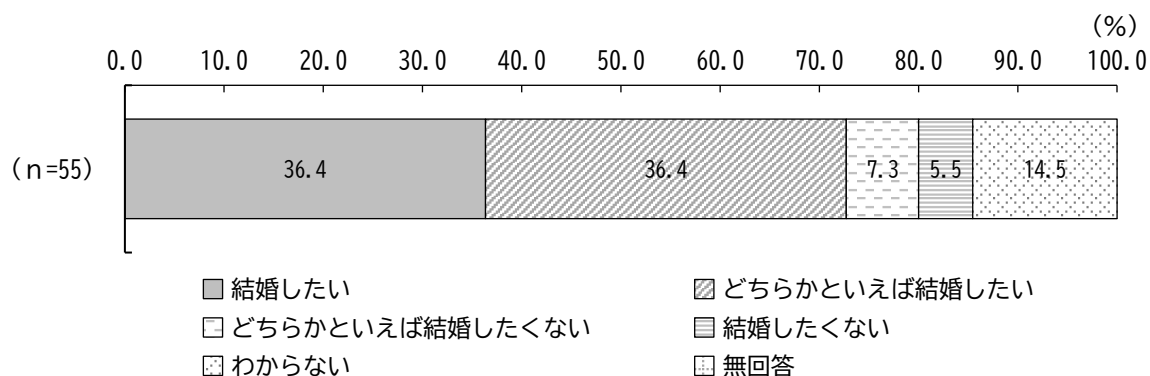
「結婚していない」が 82.1%と最も高く、次いで「結婚している(事実婚を含む)」が 13.4%、「結婚したことがあるが、今はそうではない(別居中含む)」が 3.0%となっています。



※問 24 で「1」または「2」を選んだ方のみ、お答えください

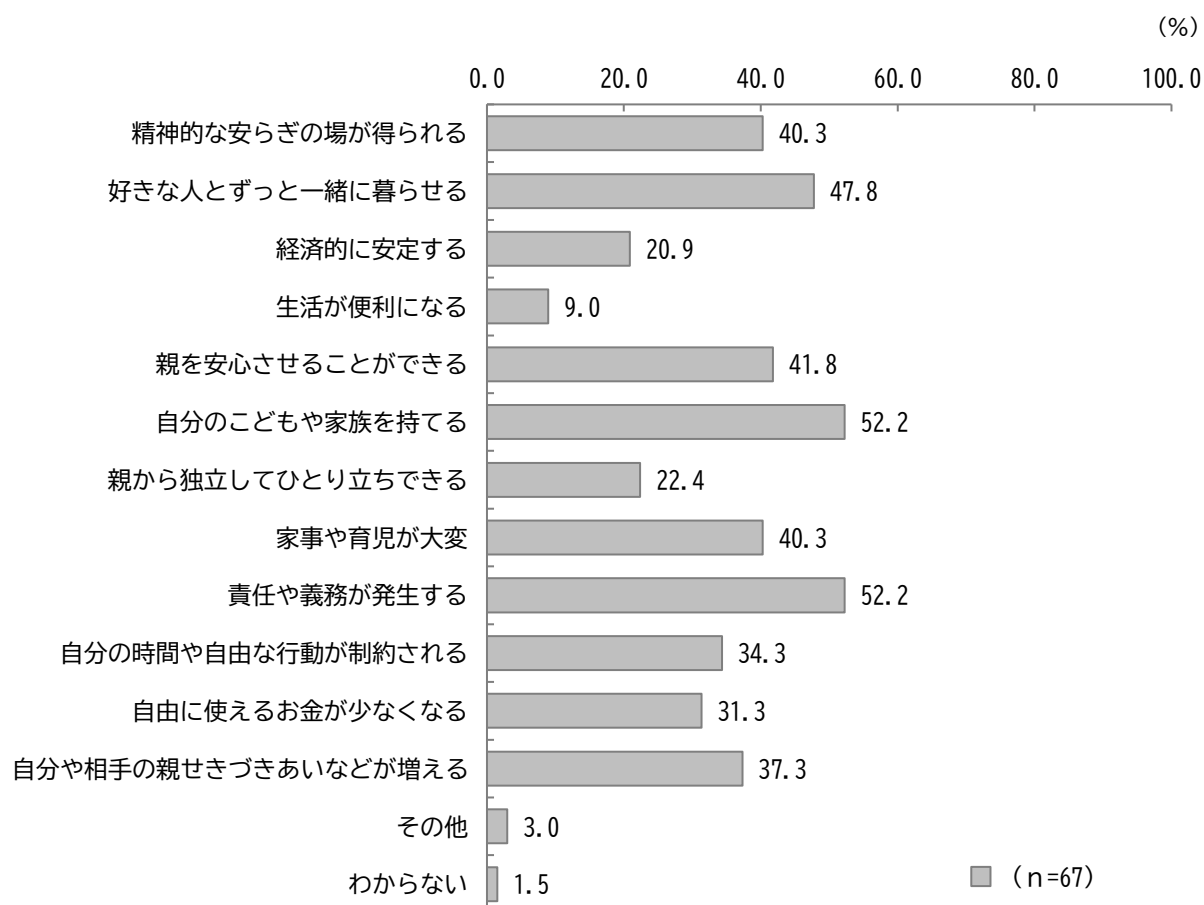
問 25 あなたは将来結婚したいですか。(1つだけ)

「結婚したい」「どちらかといえば結婚したい」がともに 36.4%と最も高く、次いで「わからない」が 14.5%、「どちらかといえば結婚したくない」が 7.3%となっています。



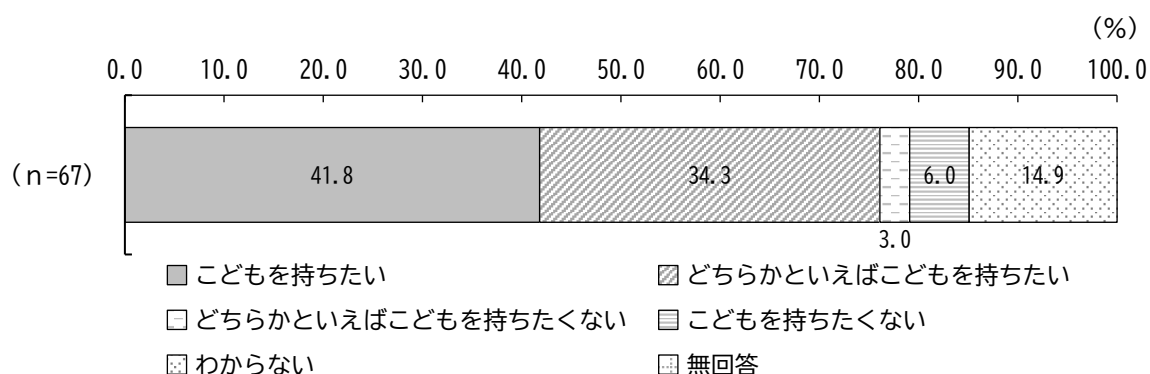
問 26 あなたは「結婚」をどのように考えますか。(いくつでも)

「自分の子どもや家族を持てる」「責任や義務が発生する」がともに 52.2%と最も高く、次いで「好きな人とずっと一緒に暮らせる」が 47.8%、「親を安心させることができる」が 41.8%となっています。



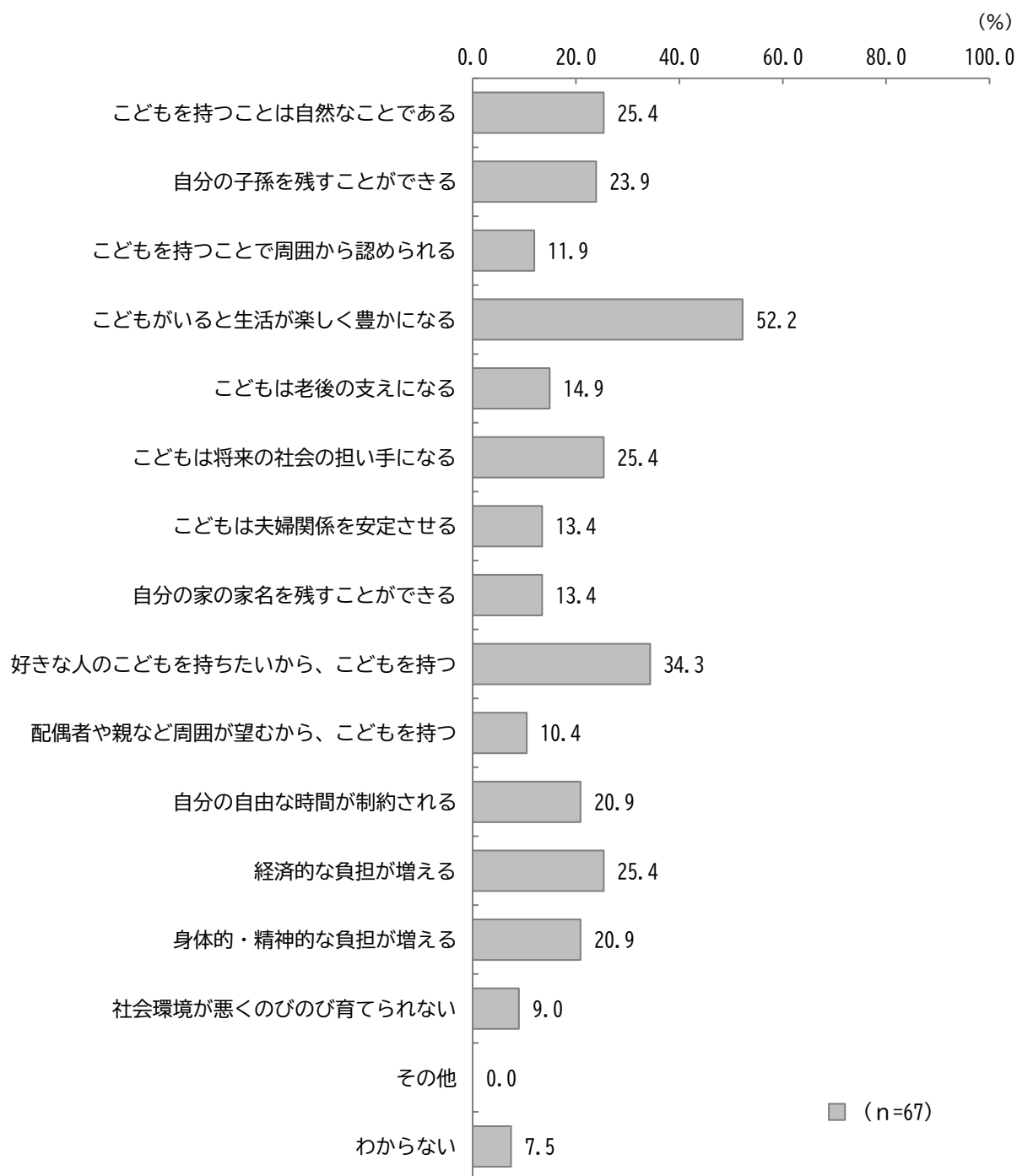
問 27 あなたは将来、子どもを持ちたいと思いますか。(1つだけ)

「子どもを持ちたい」が 41.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば子どもを持ちたい」が 34.3%、「わからない」が 14.9%となっています。



問 28 あなたは「こどもを持つこと」をどのように考えますか。(いくつでも)

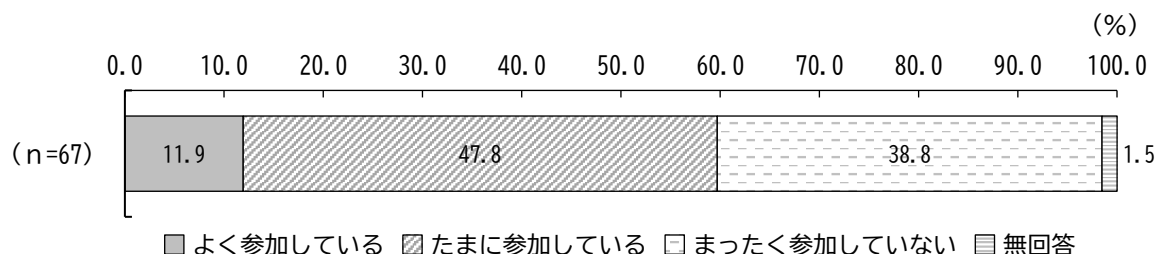
「こどもがいると生活が楽しく豊かになる」が 52.2%と最も高く、次いで「好きな人のこどもを持ちたいから、こどもを持つ」が 34.3%、「こどもを持つことは自然なことである」「こどもは将来の社会の担い手になる」「経済的な負担が増える」がいずれも 25.4%となっています。



地域とのかかわりや町の実組について

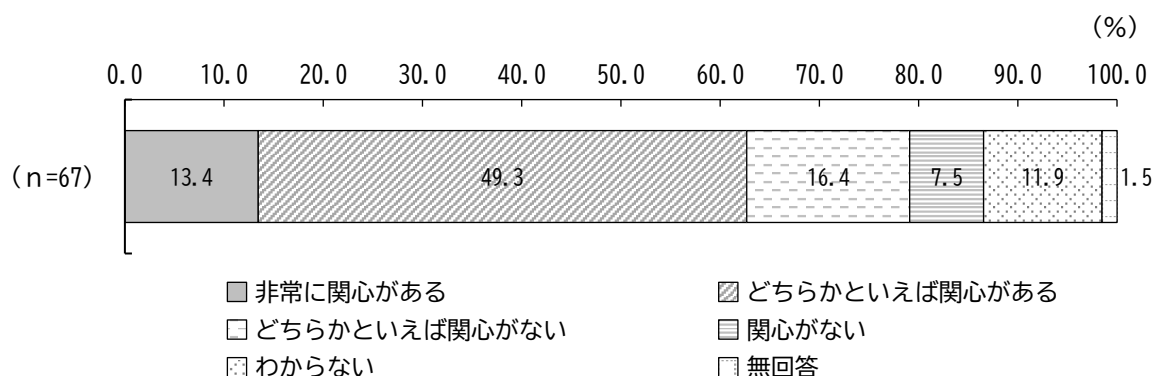
問 29 あなたは、地域の活動や行事にどの程度参加していますか。(1つだけ)

「たまに参加している」が47.8%と最も高く、次いで「まったく参加していない」が38.8%、「よく参加している」が11.9%となっています。



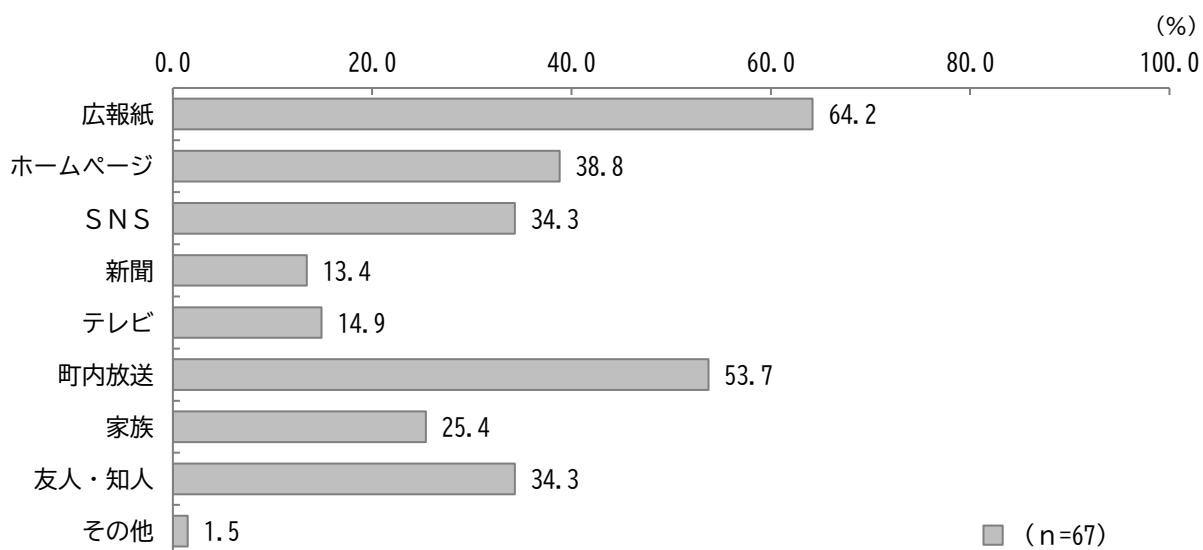
問 30 あなたは、今の天城町の行政にどのくらい関心がありますか。(1つだけ)

「どちらかといえば関心がある」が49.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば関心がない」が16.4%、「非常に関心がある」が13.4%となっています。



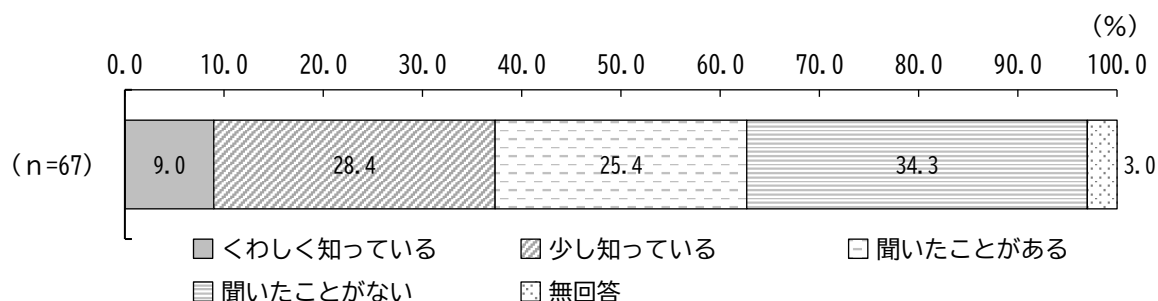
問 31 あなたは、地域や行政の情報を何から得ていますか。(いくつでも)

「広報紙」が64.2%と最も高く、次いで「町内放送」が53.7%、「ホームページ」が38.8%となっています。



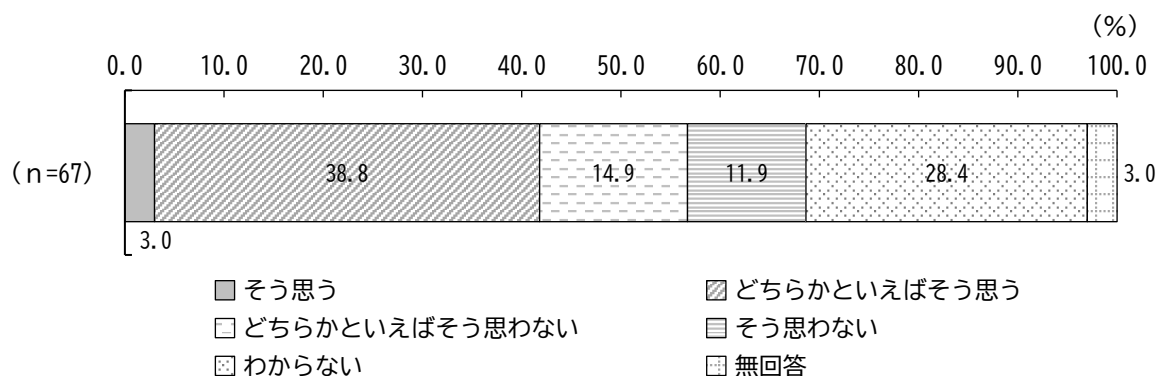
問 32 「こどもの権利」とは、こどもが大人と同じく一人の人間として持つ権利であり、安心して生活できること、自由に意見を言ったり活動したりできることなどが含まれます。あなたは、「こどもの権利」について知っていますか。(1つだけ)

「聞いたことがない」が 34.3%と最も高く、次いで「少し知っている」が 28.4%、「聞いたことがある」が 25.4%となっています。



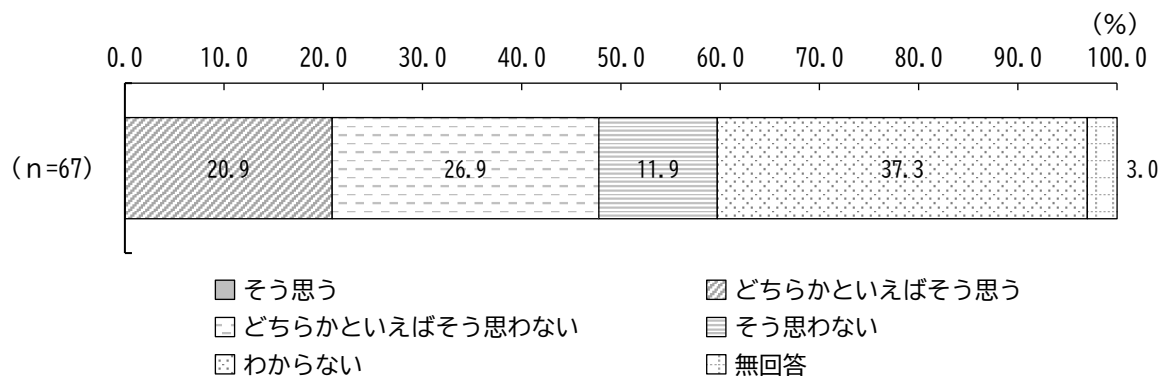
問 33 あなたは、天城町が「こどもまんなか社会」の実現に向かっていていると思いますか。(1つだけ)

「どちらかといえばそう思う」が 38.8%と最も高く、次いで「わからない」が 28.4%、「どちらかといえばそう思わない」が 14.9%となっています。



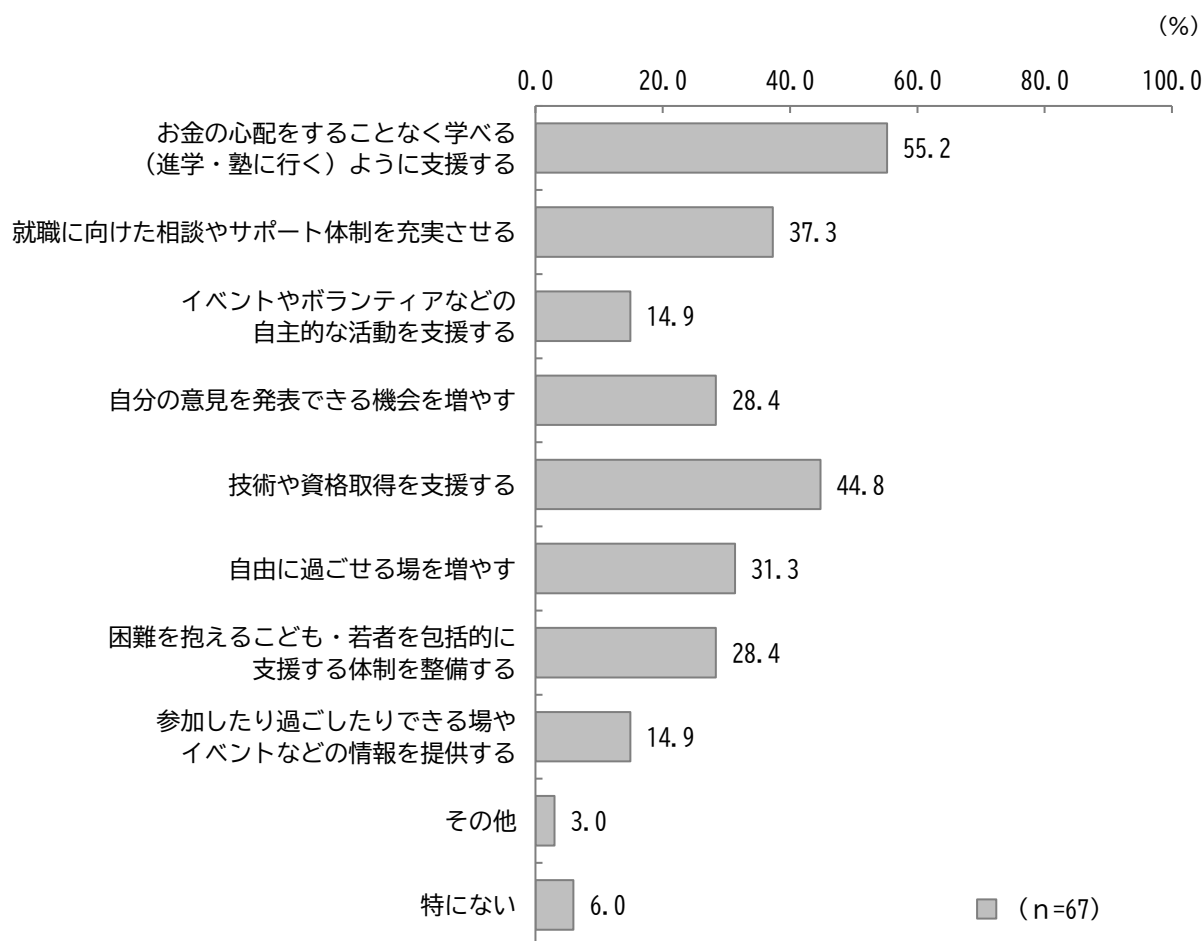
問 34 あなたは、こども政策に関して自身の意見を聴いてもらえていると思いますか。(1つだけ)

「わからない」が 37.3%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 26.9%、「どちらかといえばそう思う」が 20.9%となっています。



問 35 これから子ども・若者のために必要な取組は何だと思いますか。(3つまで)

「お金の心配をすることなく学べる(進学・塾に行く)ように支援する」が 55.2%と最も高く、次いで「技術や資格取得を支援する」が 44.8%、「就職に向けた相談やサポート体制を充実させる」が 37.3%となっています。

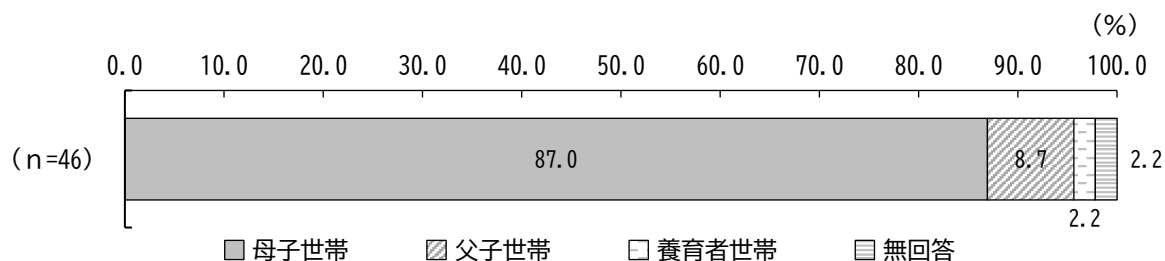


VIII 調査結果【ひとり親家庭の生活と意識に関する調査】

世帯及びあて名のご本人の状況について

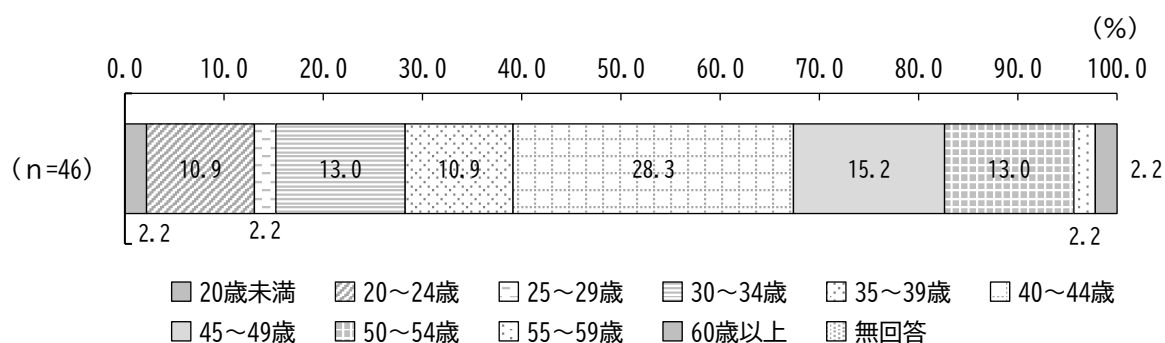
問1 あなたのご世帯は、次のうちどれですか。(○は1つ)

「母子世帯」が 87.0%と最も高く、次いで「父子世帯」が 8.7%、「養育者世帯」が 2.2%となっています。



問2 あなたの年齢はおいくつですか。(令和6年8月1日現在)(○は1つ)

「40～44 歳」が 28.3%と最も高く、次いで「45～49 歳」が 15.2%、「30～34 歳」「50～54 歳」がともに 13.0%となっています。



問3 家族構成についてお答えください。

養育している子どもは、「小学生」が 43.5%と最も高く、次いで「中学生」が 34.8%、「小学校入学前」が 28.3%となっています。

同居人は、「親」が 23.9%と最も高く、次いで「兄弟姉妹」が 4.3%となっています。

養育している子ども	全体(件)	割合(%)
小学校入学前	13	28.3
小学生	20	43.5
中学生	16	34.8
高校生	11	23.9
高等専門学校生	1	2.2
大学生・短大生	1	2.2
専門学校生	0	0.0
仕事をしている	1	2.2
その他	2	4.3

同居人	全体(件)	割合(%)
親	11	23.9
兄弟姉妹	2	4.3
その他	0	0.0

問4 養育しているお子さんの年齢はおいくつですか。

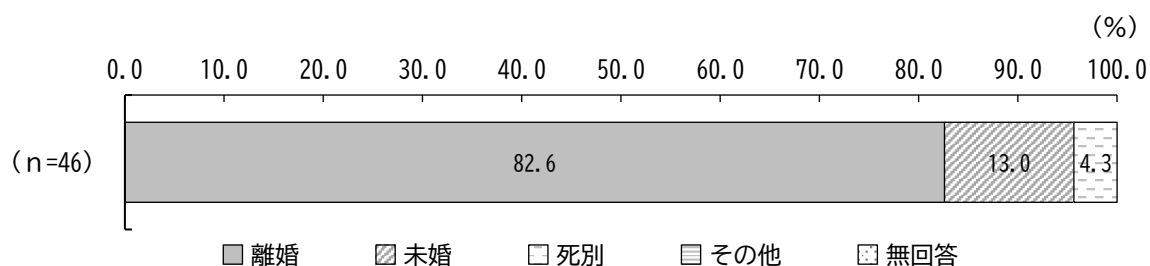
養育している子どもの年齢は下表の通りとなっています。

単位 (%)

	第1子	第2子	第3子	第4子	第5子
未就学児 (0～2 歳)	9.3	17.4	0.0	0.0	0.0
未就学児 (3～4 歳)	9.3	0.0	10.0	0.0	0.0
未就学児 (5～6 歳)	4.7	17.4	10.0	0.0	0.0
小学生 (7～12 歳)	30.2	30.4	40.0	33.3	100.0
中学生 (13～15 歳)	23.3	21.7	10.0	66.7	0.0
高校生 (16～18 歳)	16.3	8.7	30.0	0.0	0.0
大学生・専門学校生以上 (19 歳以上)	7.0	4.3	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

問5 ひとり親になった理由は何ですか。(○は1つ)

「離婚」が 82.6%と最も高く、次いで「未婚」が 13.0%、「死別」が 4.3%となっています。



問6 お子さんに希望する(していた)進路等を教えてください。

子どもに希望する(していた)進路等は下表の通りとなっています。

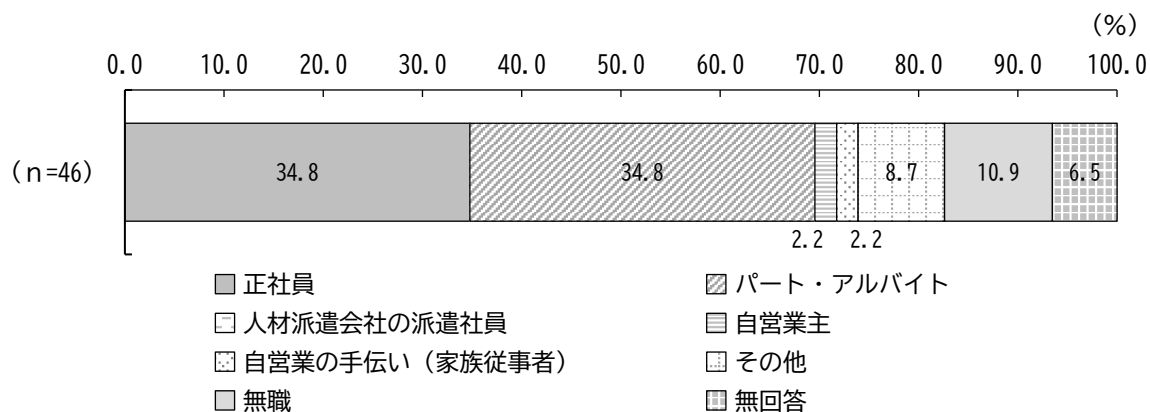
単位 (%)

	第1子	第2子	第3子	第4子	第5子
中学卒	2.5	9.1	0.0	0.0	0.0
高校卒	20.0	18.2	20.0	0.0	0.0
短大卒	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大学卒	7.5	9.1	0.0	0.0	0.0
大学院卒	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0
専門学校卒	5.0	0.0	10.0	0.0	0.0
就労	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0
子どもの意思に任せる	60.0	63.6	70.0	100.0	100.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

仕事と収入について

問7 「現在」のあなたの就業形態は、次のうちどれにあてはまりますか。(○は1つ)

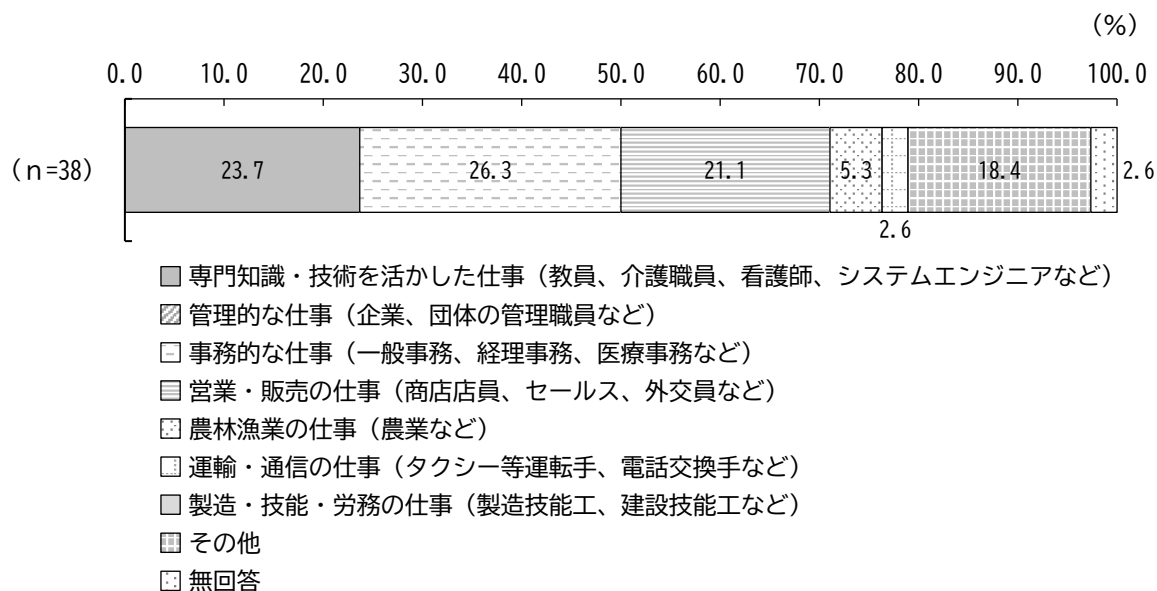
「正社員」「パート・アルバイト」がともに 34.8%と最も高く、次いで「無職」が 10.9%、「その他」が 8.7%となっています。



※問7で「1」～「6」のいずれかに回答した方にお聞きます

問7-1 「現在」のあなたの職種について、どれにあてはまりますか。(○は1つ)

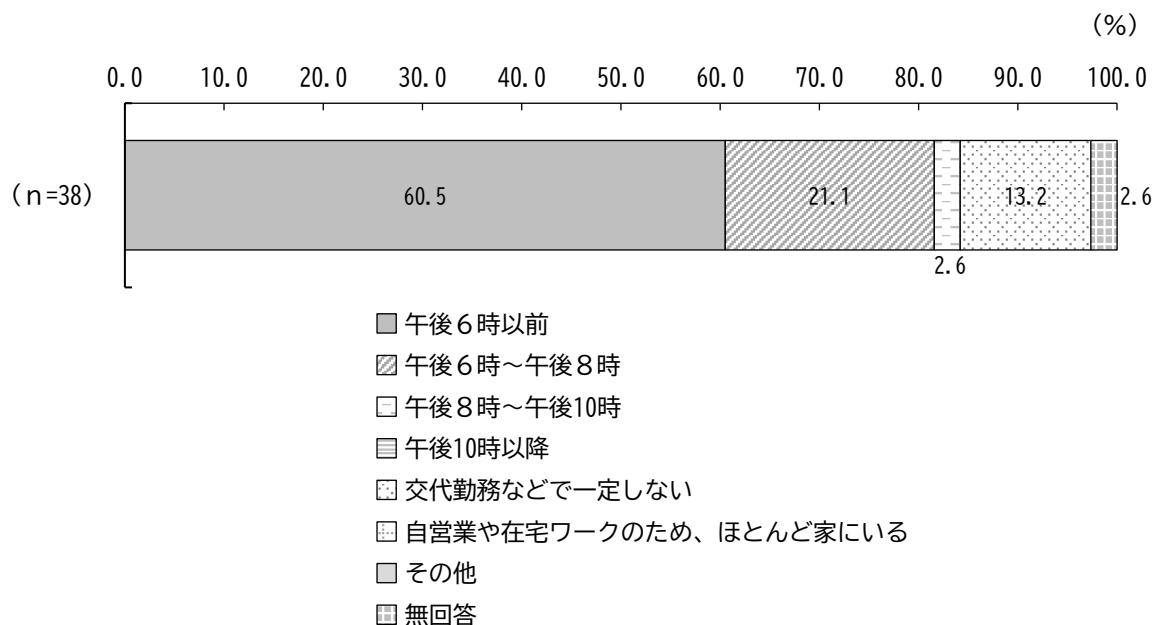
「事務的な仕事(一般事務、経理事務、医療事務など)」が 26.3%と最も高く、次いで「専門知識・技術を活かした仕事(教員、介護職員、看護師、システムエンジニアなど)」が 23.7%、「営業・販売の仕事(商店店員、セールス、外交員など)」が 21.1%となっています。



※問7で「1」～「6」のいずれかに回答した方にお聞きます

問7-2 あなたの帰宅時間は何時くらいですか。(○は1つ)

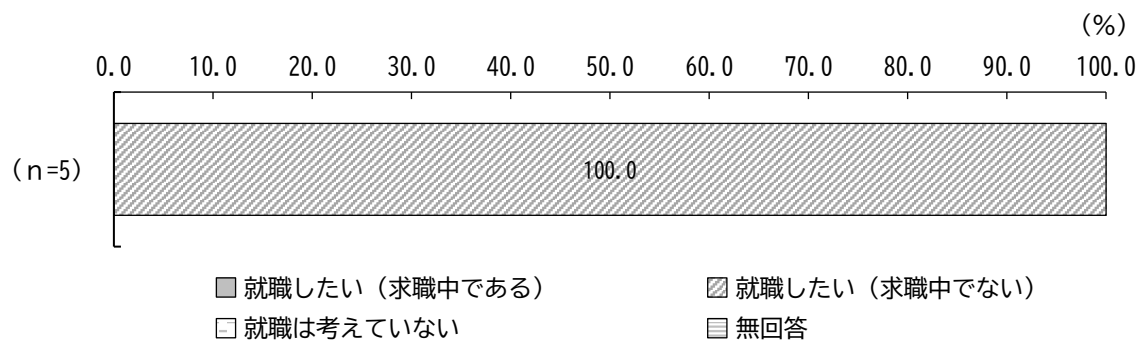
「午後6時以前」が 60.5%と最も高く、次いで「午後6時～午後8時」が 21.1%、「交代勤務などで一定しない」が 13.2%となっています。



※問7で「7 無職」と回答した方にお聞きます

問7-3 あなたには就職する希望がありますか。(○は1つ)

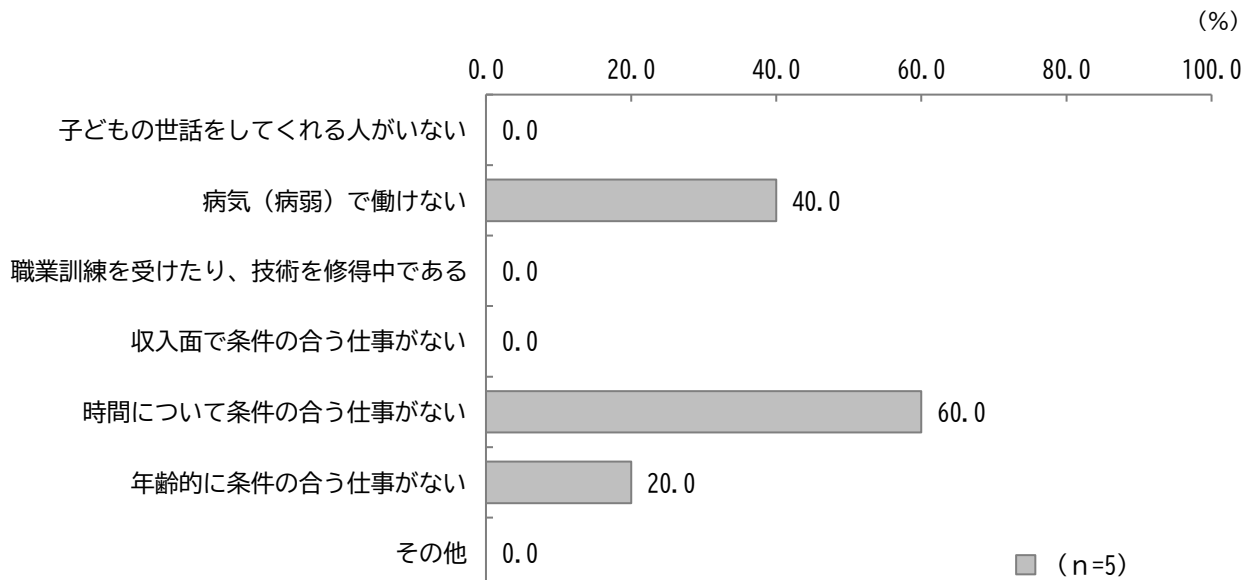
「就職したい(求職中でない)」が 100.0%となっています。



※問7-3で「2 就職したい(求職中でない)」と回答した方にお聞きします

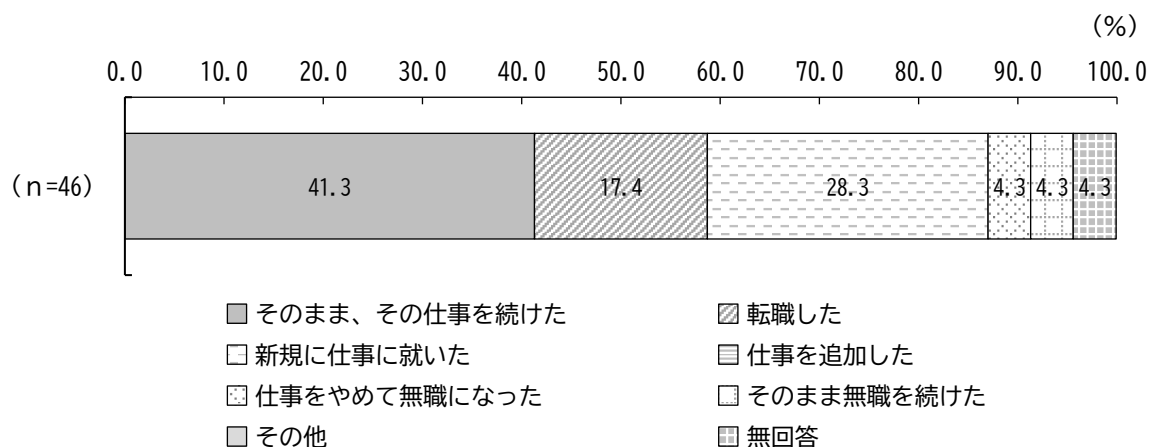
問7-4 就職したい(求職中でない)理由は、どれにあてはまりますか。(あてはまるすべてに○)

「時間について条件の合う仕事がない」が 60.0%と最も高く、次いで「病気(病弱)で働けない」が 40.0%、「年齢的に条件の合う仕事がない」が 20.0%となっています。



問8 ひとり親家庭になる前となった後でどのような変化がありましたか。(○は1つ)

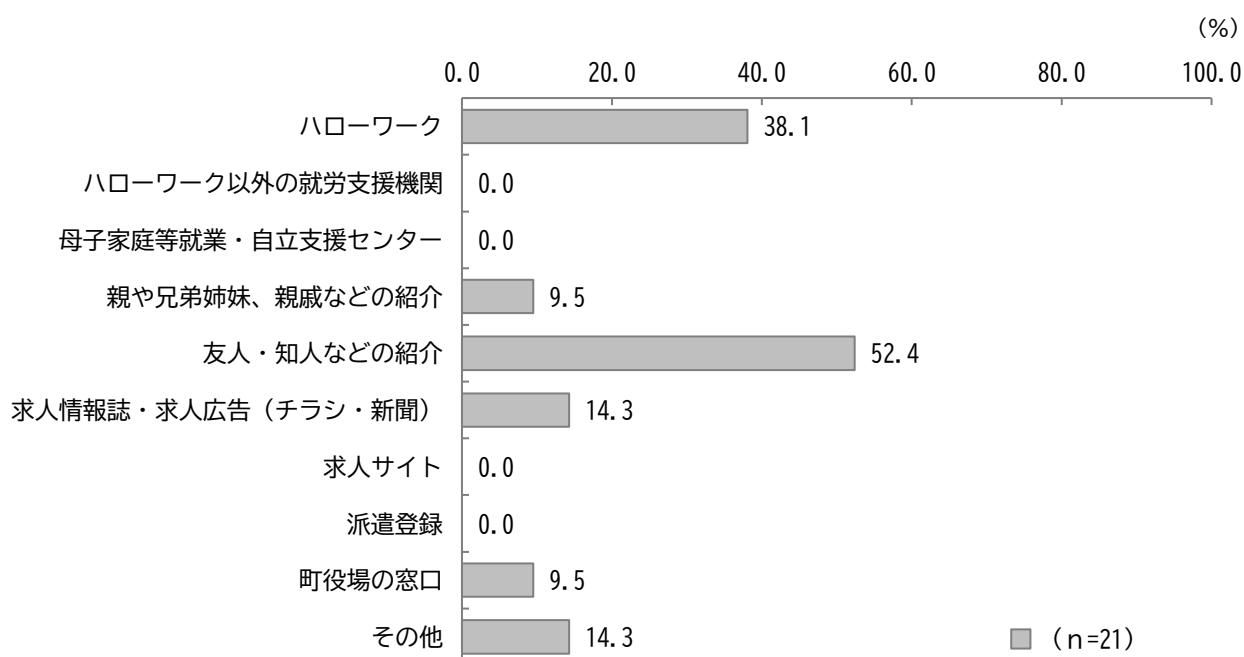
「そのまま、その仕事を続けた」が 41.3%と最も高く、次いで「新規に仕事に就いた」が 28.3%、「転職した」が 17.4%となっています。



※問8で「2」～「4」のいずれかに回答した方にお聞きします

問8-1 その仕事はどのようにして見つけましたか。(あてはまるすべてに○)

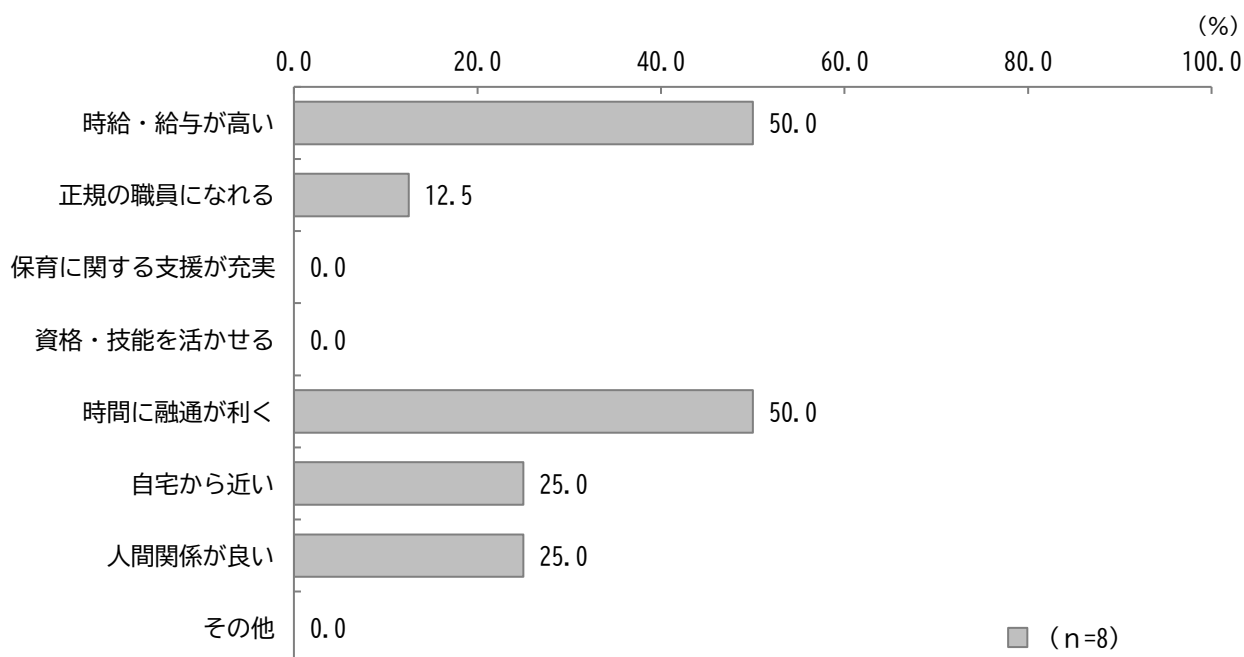
「友人・知人などの紹介」が 52.4%と最も高く、次いで「ハローワーク」が 38.1%、「求人情報誌・求人広告(チラシ・新聞)」「その他」がともに 14.3%となっています。



※問8で「2 転職した」と回答した方にお聞きします

問8-2 転職した主な理由は何ですか。(あてはまるすべてに○)

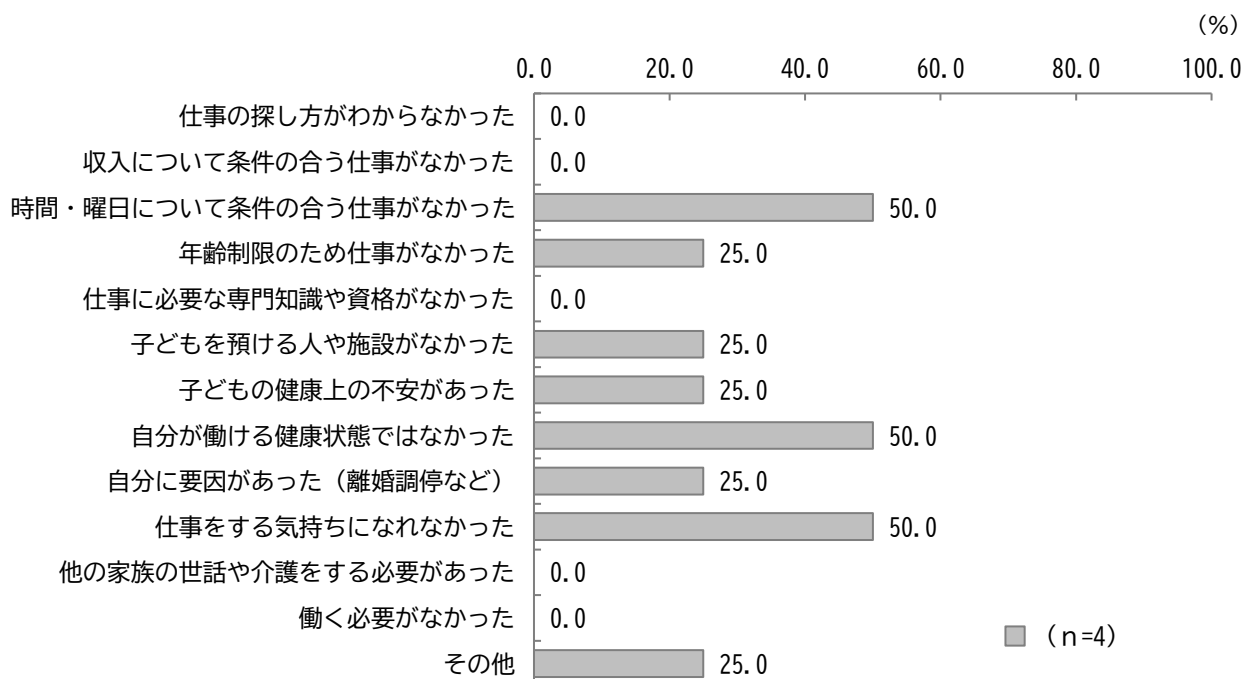
「時給・給与が高い」「時間に融通が利く」がともに 50.0%と最も高く、次いで「自宅から近い」「人間関係が良い」がともに 25.0%、「正規の職員になれる」が 12.5%となっています。



※問8で「5」または「6」と回答した方にお聞きします

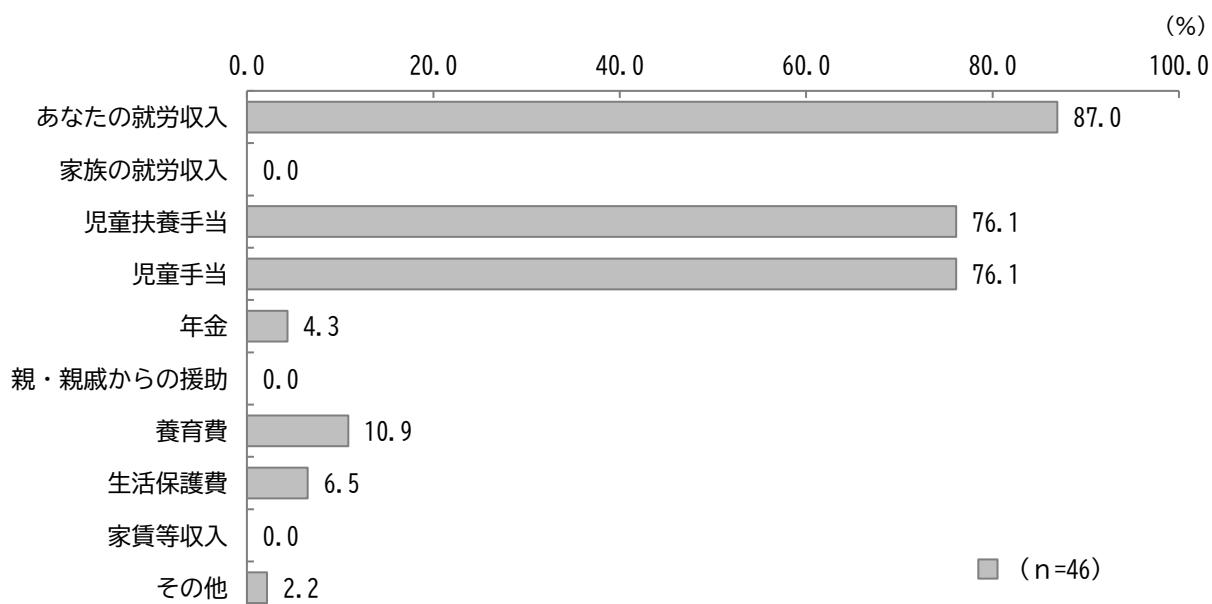
問8-3 ひとり親家庭になった直後、無職になった(または無職を続けた)主な理由は何ですか。(あてはまるすべてに○)

「時間・曜日について条件の合う仕事なかった」「自分が働ける健康状態ではなかった」「仕事をする気持ちになれなかった」がいずれも 50.0%と最も高く、次いで「年齢制限のため仕事なかった」「子どもを預ける人や施設なかった」「子どもの健康上の不安があった」「自分に要因があった(離婚調停など)」がいずれも 25.0%となっています。



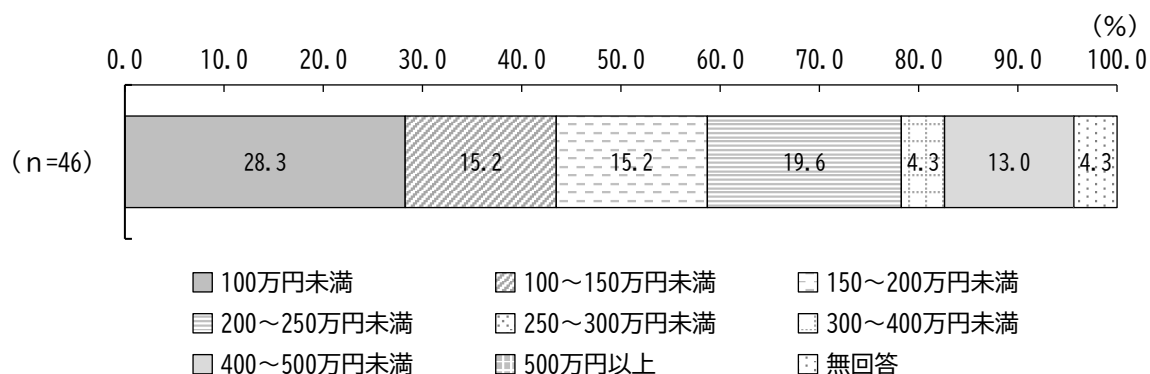
問9 あなたの世帯ではどのような収入がありますか。(あてはまるすべてに○)

「あなたの就労収入」が 87.0%と最も高く、次いで「児童扶養手当」「児童手当」がともに 76.1%、「養育費」が 10.9%となっています。



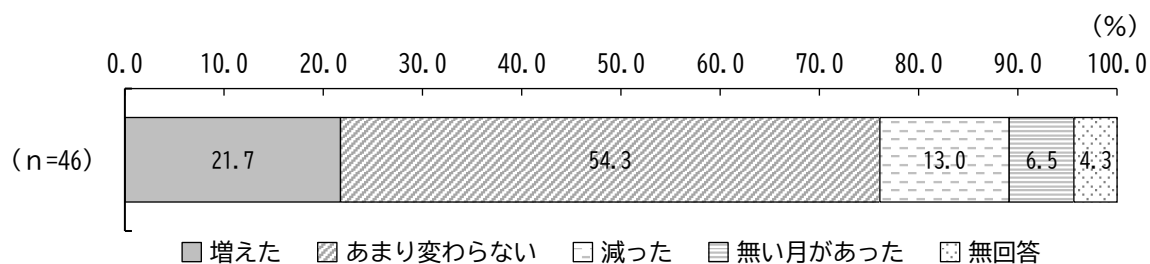
問10 あなたの令和5年(1月から12月)の年間総収入(給与等の総支給額)はどのくらいですか。(○は1つ)

「100万円未満」が28.3%と最も高く、次いで「200～250万円未満」が19.6%、「100～150万円未満」「150～200万円未満」がともに15.2%となっています。



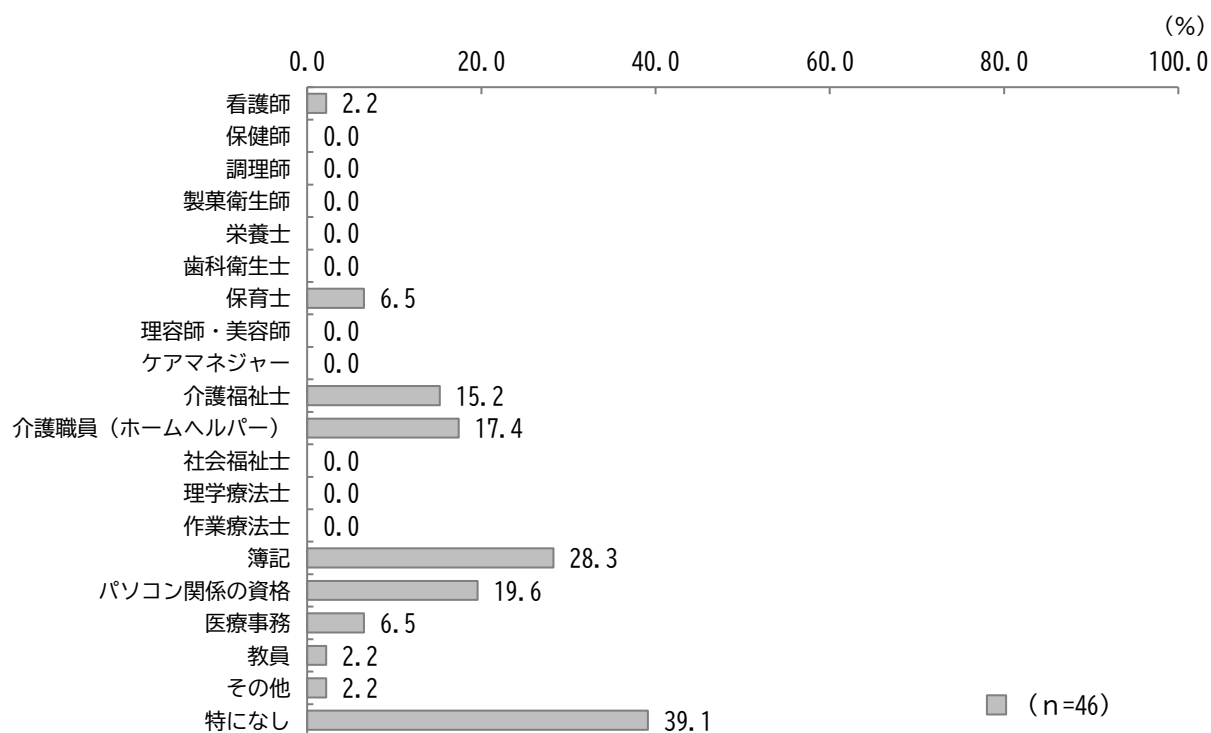
問11 この1年で収入に変化がありましたか。(○は1つ)

「あまり変わらない」が54.3%と最も高く、次いで「増えた」が21.7%、「減った」が13.0%となっています。



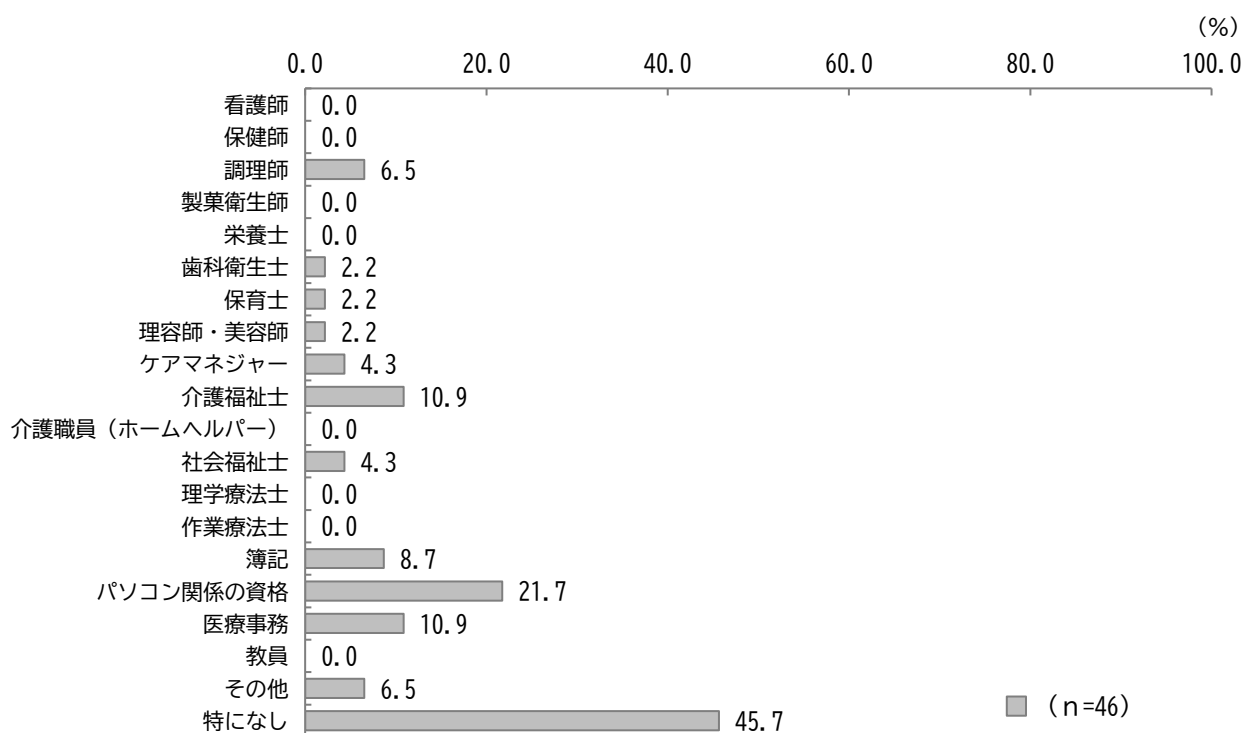
問12 あなたが仕事をするために「すでに取得している資格」はありますか。(あてはまるすべてに○)

「特になし」が 39.1%と最も高く、次いで「簿記」が 28.3%、「パソコン関係の資格」が 19.6%となっています。



問13 あなたが仕事をする上で「今後取得したい資格」はありますか。(あてはまるすべてに○)

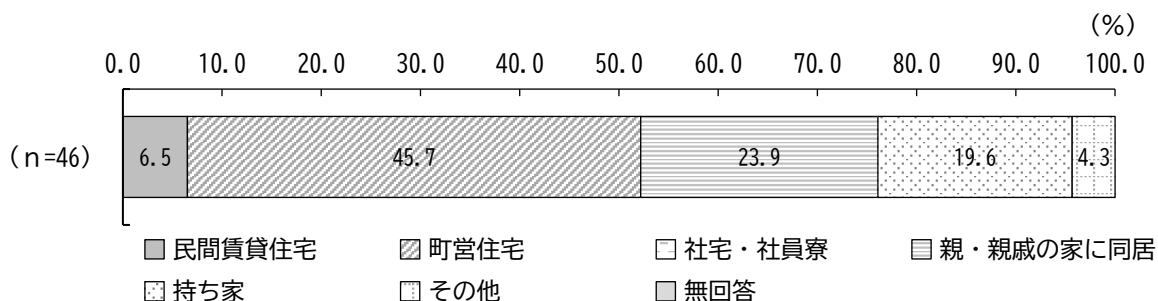
「特になし」が 45.7%と最も高く、次いで「パソコン関係の資格」が 21.7%、「介護福祉士」「医療事務」が 10.9%となっています。



住居について

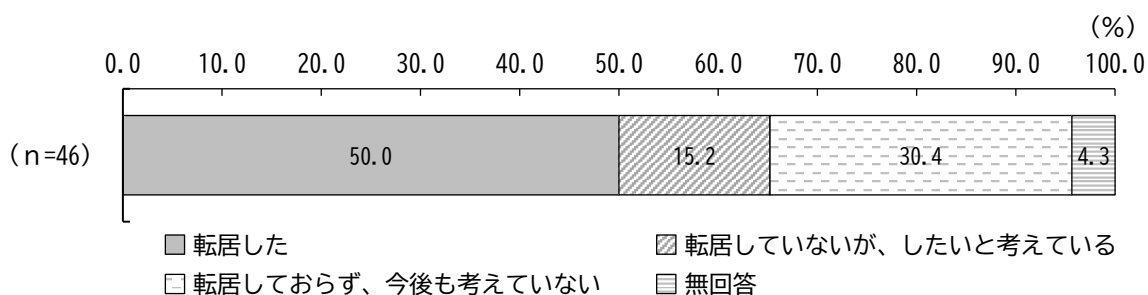
問14 現在のあなたの住居形態を教えてください。(○は1つ)

「町営住宅」が45.7%と最も高く、次いで「親・親戚の家に同居」が23.9%、「持ち家」が19.6%となっています。



問15 あなたは、ひとり親家庭になった後に転居しましたか。(○は1つ)

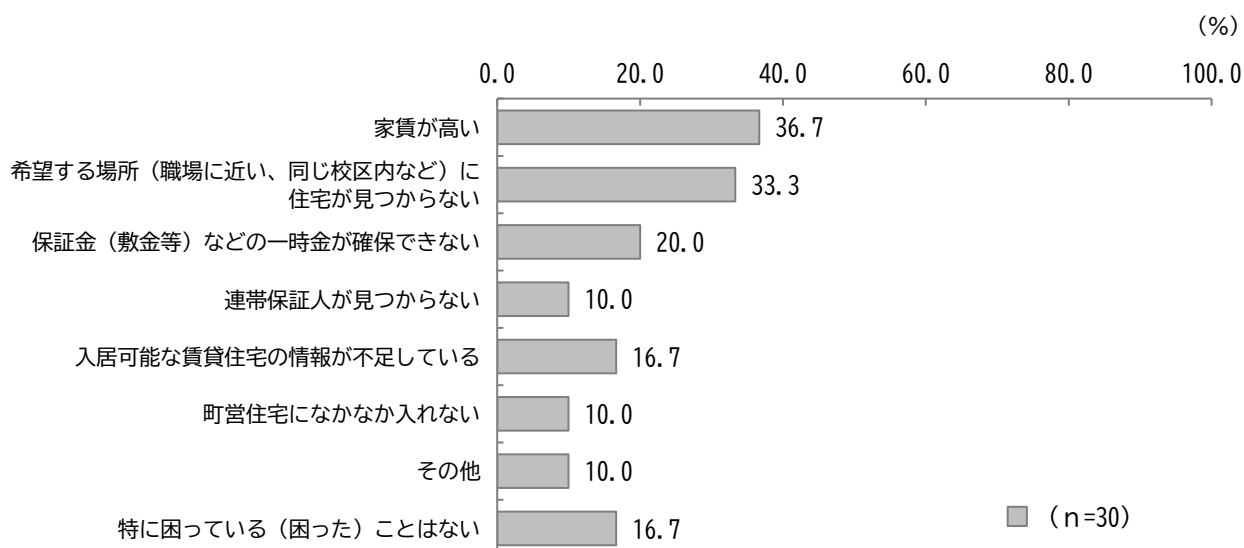
「転居した」が50.0%と最も高く、次いで「転居しておらず、今後も考えていない」が30.4%、「転居していないが、したいと考えている」が15.2%となっています。



※問15で「1」または「2」と回答した方にお聞きします

問15-1 ひとり親家庭として転居するにあたり、特に困っている(困った)ことは何ですか。(あてはまるすべてに○)

「家賃が高い」が36.7%と最も高く、次いで「希望する場所(職場に近い、同じ校区内など)に住宅が見つからない」が33.3%、「保証金(敷金等)などの一時金が確保できない」が20.0%となっています。

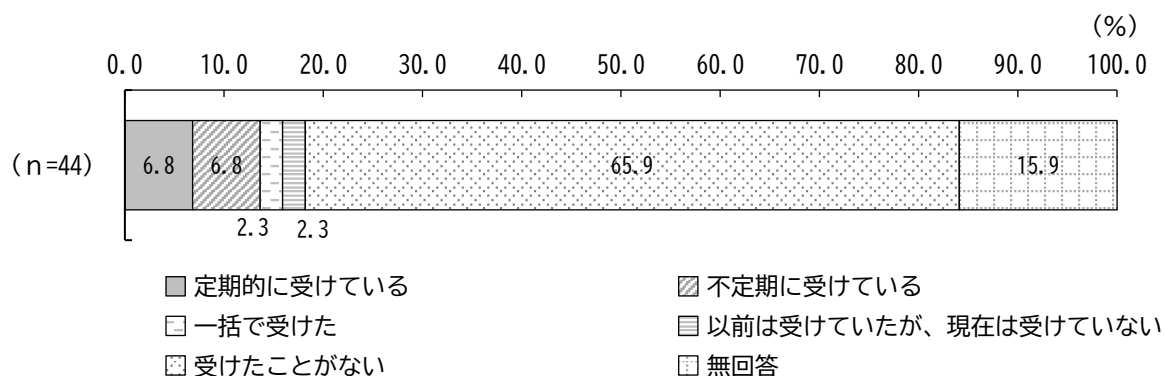


養育費等について

※ひとり親になった理由が「死別」の方以外にお聞きします

問 16 あなたは子どもの養育費を受けておられますか。(○は1つ)

「受けたことがない」が 65.9%と最も高く、次いで「定期的に受けている」「不定期に受けている」がともに 6.8%、「一括で受けた」「以前は受けていたが、現在は受けていない」がともに 2.3%となっています。

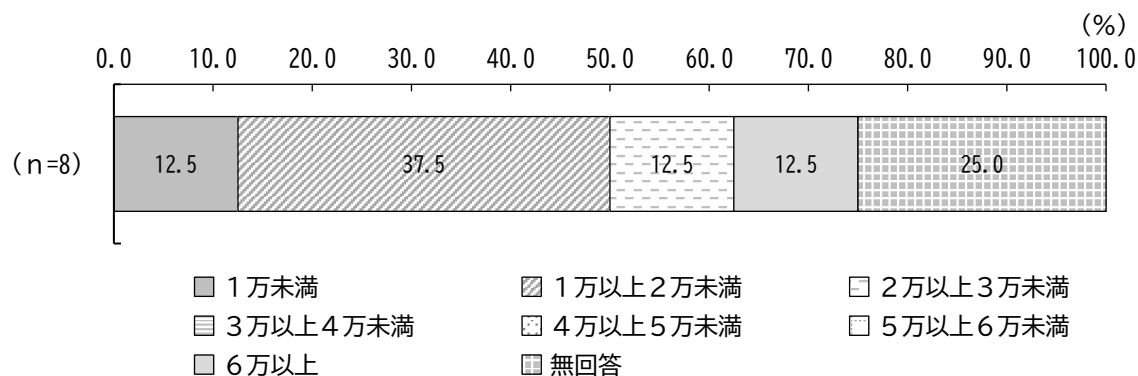


※ひとり親になった理由が「死別」の方以外にお聞きします

問 16-1 養育費の金額と受け取りについてどのような取り決めをされましたか。

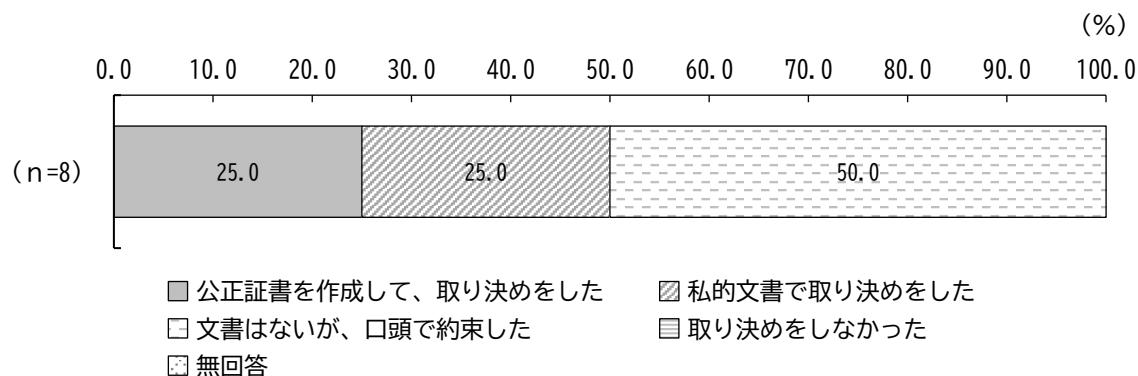
(1) 金額

「1万以上2万未満」が 37.5%と最も高く、次いで「1万未満」「2万以上3万未満」「6万以上」がいずれも 12.5%となっています。



(2) 受け取りについての取り決め (○は1つ)

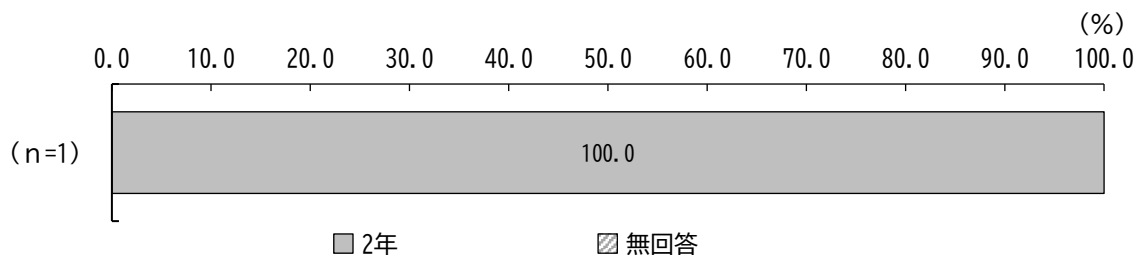
「文書はないが、口頭で約束した」が 50.0%と最も高く、次いで「公正証書を作成して、取り決めをした」「私的文書で取り決めをした」がともに 25.0%となっています。



※問 16 で「4」と回答した方にお聞きます

問 16-2 養育費を受け取ったおおむねの期間を記入してください。

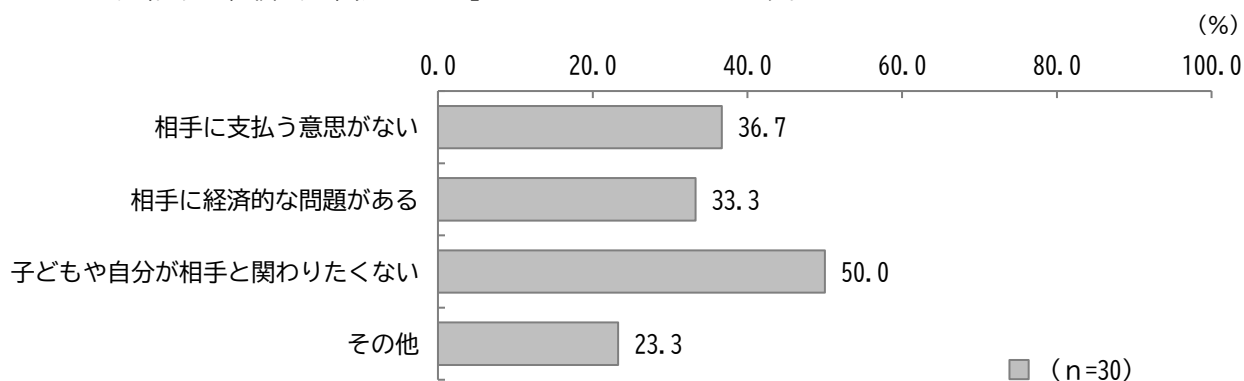
「2年」が 100.0%となっています。



※問 16 で「4」または「5」と回答した方にお聞きます

問 16-3 養育費を受け取ったおおむねの期間を記入してください。

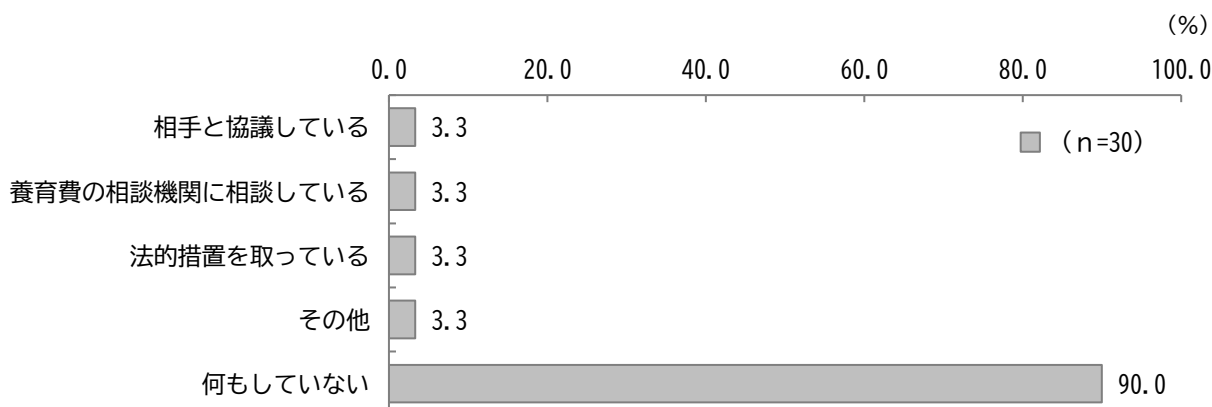
「子どもや自分が相手と関わりたくない」が 50.0%と最も高く、次いで「相手に支払う意思がない」が 36.7%、「相手に経済的な問題がある」が 33.3%となっています。



※問 16 で「4」または「5」と回答した方にお聞きます

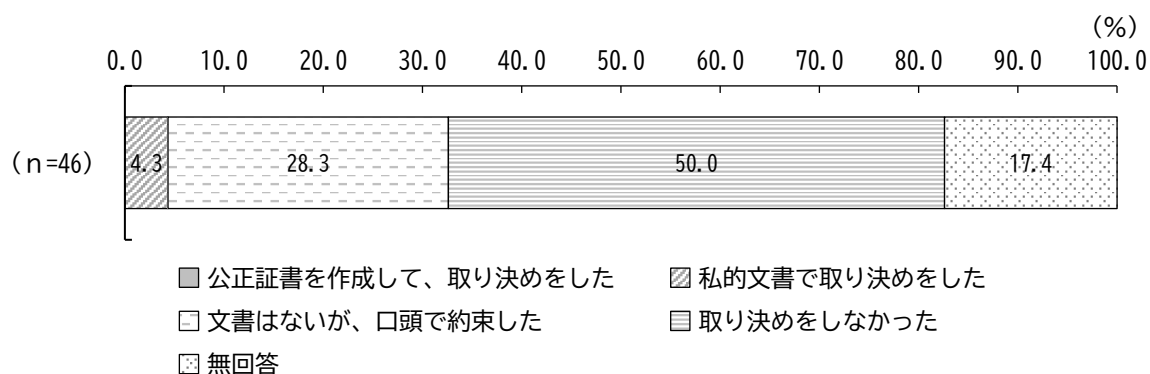
問 16-4 養育費が受け取れないことに対して何か行動をされていますか。

「何もしていない」が 90.0%と最も高く、次いで「相手と協議している」「養育費の相談機関に相談している」「法的措置を取っている」「その他」がいずれも 3.3%となっています。



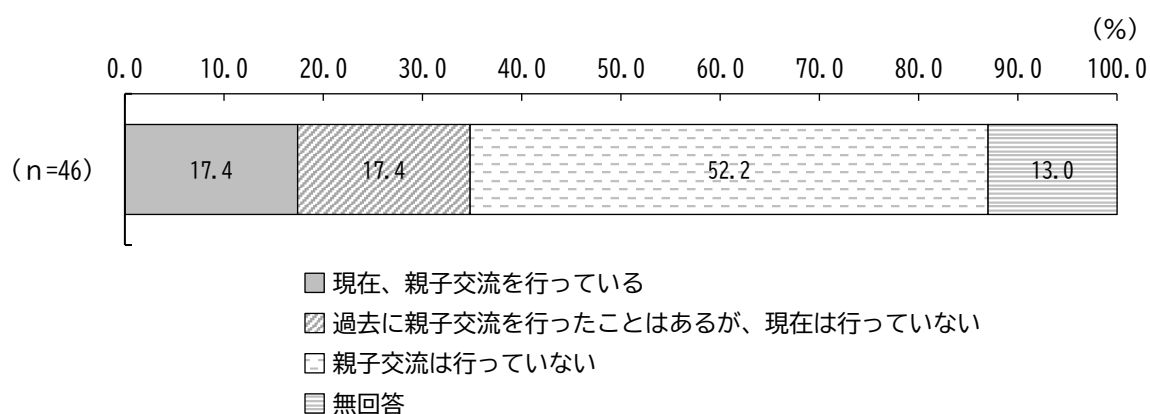
問 17 親子交流について、相手との取り決め状況は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

「取り決めをしなかった」が 50.0%と最も高く、次いで「文書はないが、口頭で約束した」が 28.3%、「私的文書で取り決めをした」が 4.3%となっています。



問 18 現在の親子交流の実施状況について、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

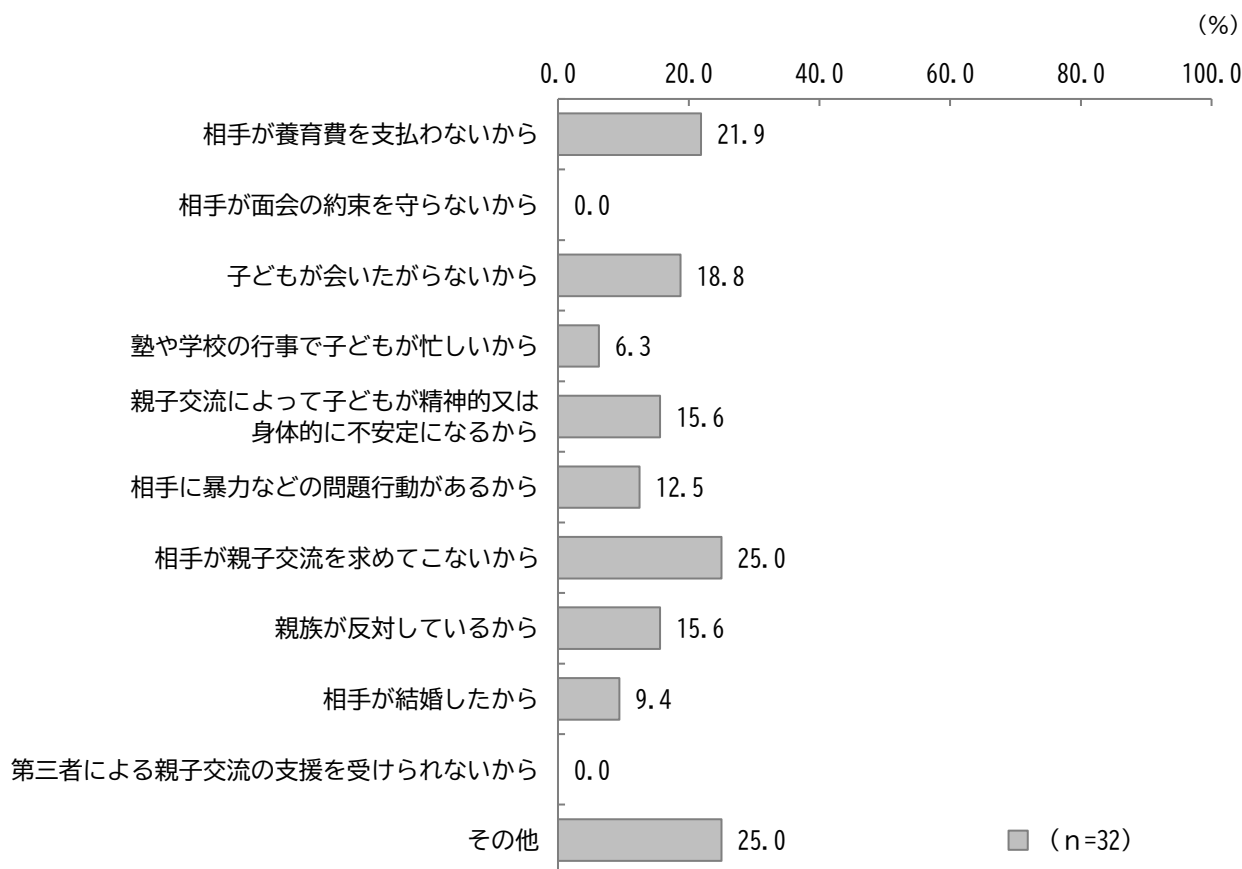
「親子交流は行っていない」が 52.2%と最も高く、次いで「現在、親子交流を行っている」「過去に親子交流を行ったことはあるが、現在は行っていない」がともに 17.4%となっています。



※問 18 で「2」または「3」と回答した方にお聞きます

問 18-1 親子交流を行っていない理由はどれにあてはまりますか。(あてはまるすべてに○)

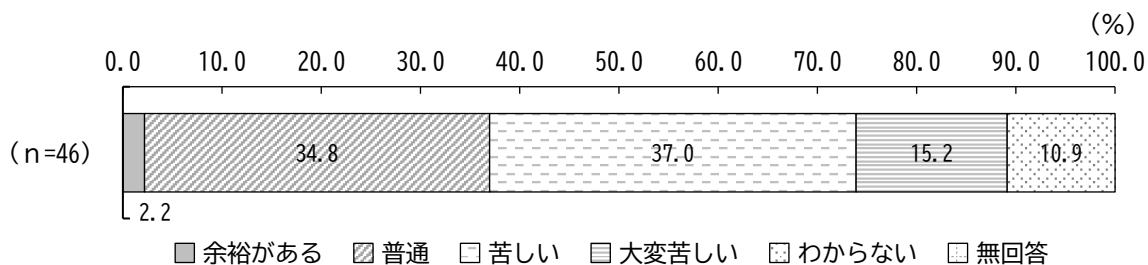
「相手が親子交流を求めてこないから」「その他」がともに 25.0%と最も高く、次いで「相手が養育費を支払わないから」が 21.9%、「子どもが会いたがらないから」が 18.8%となっています。



生活一般・各種制度について

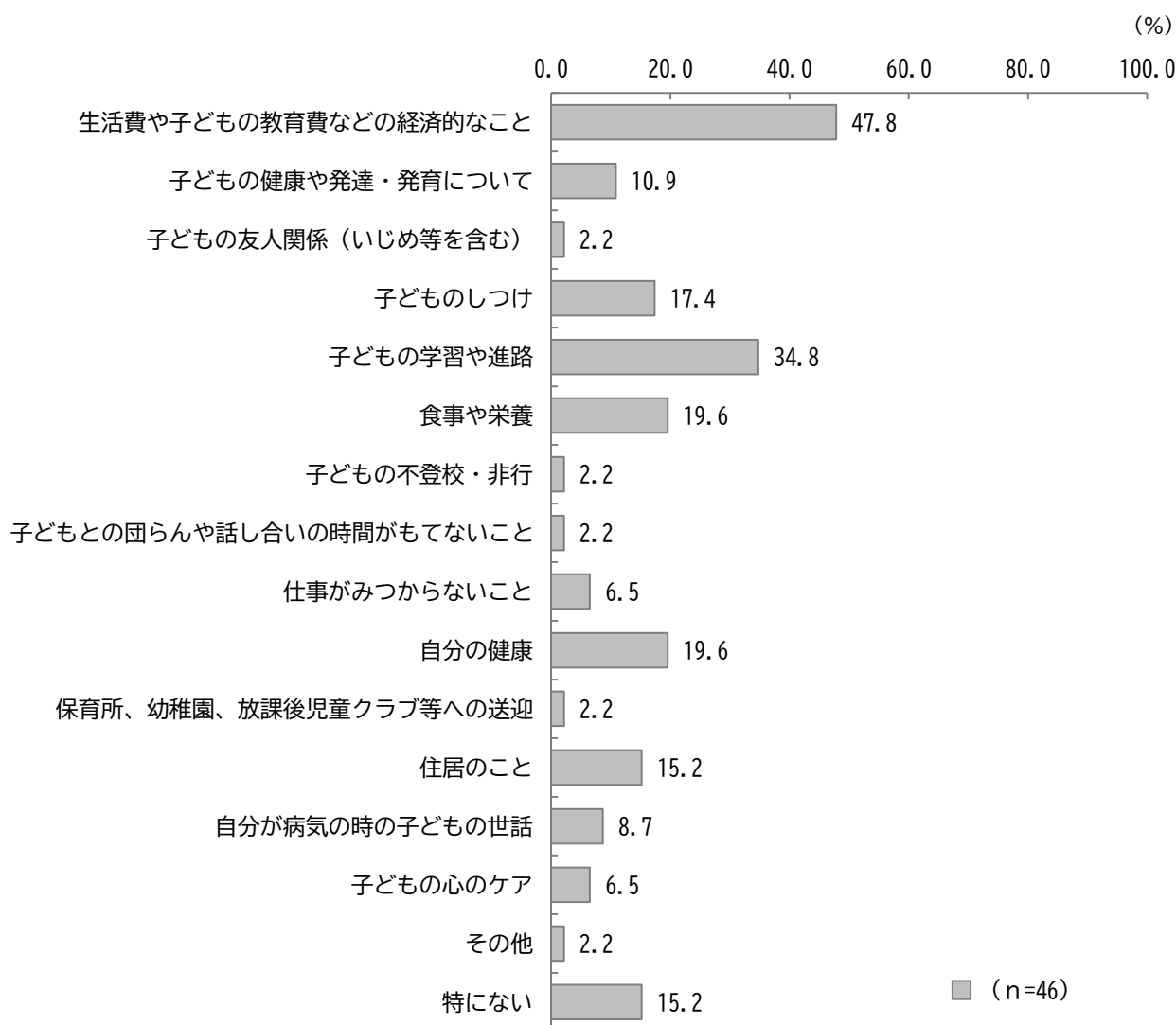
問 19 あなたは現在の生活状況をどのような状態とされていますか。(○は1つ)

「苦しい」が 37.0%と最も高く、次いで「普通」が 34.8%、「大変苦しい」が 15.2%となっています。



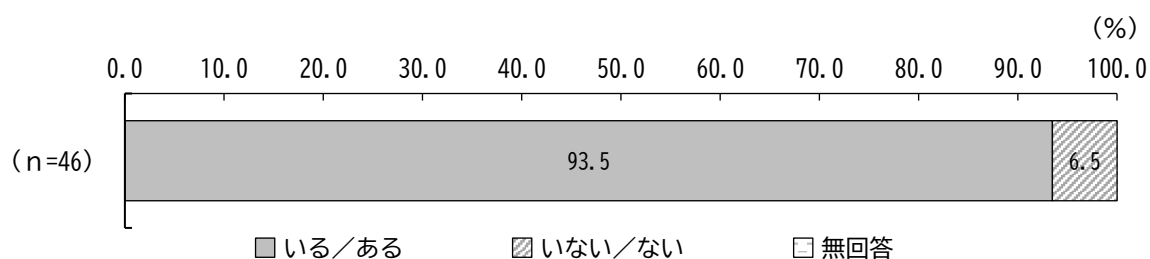
問20 あなたが日常的に困っていることはどんなことですか。(あてはまるすべてに○)

「生活費や子どもの教育費などの経済的なこと」が 47.8%と最も高く、次いで「子どもの学習や進路」が 34.8%、「食事や栄養」「自分の健康」がともに 19.6%となっています。



問21 子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所がありますか。(○は1つ)

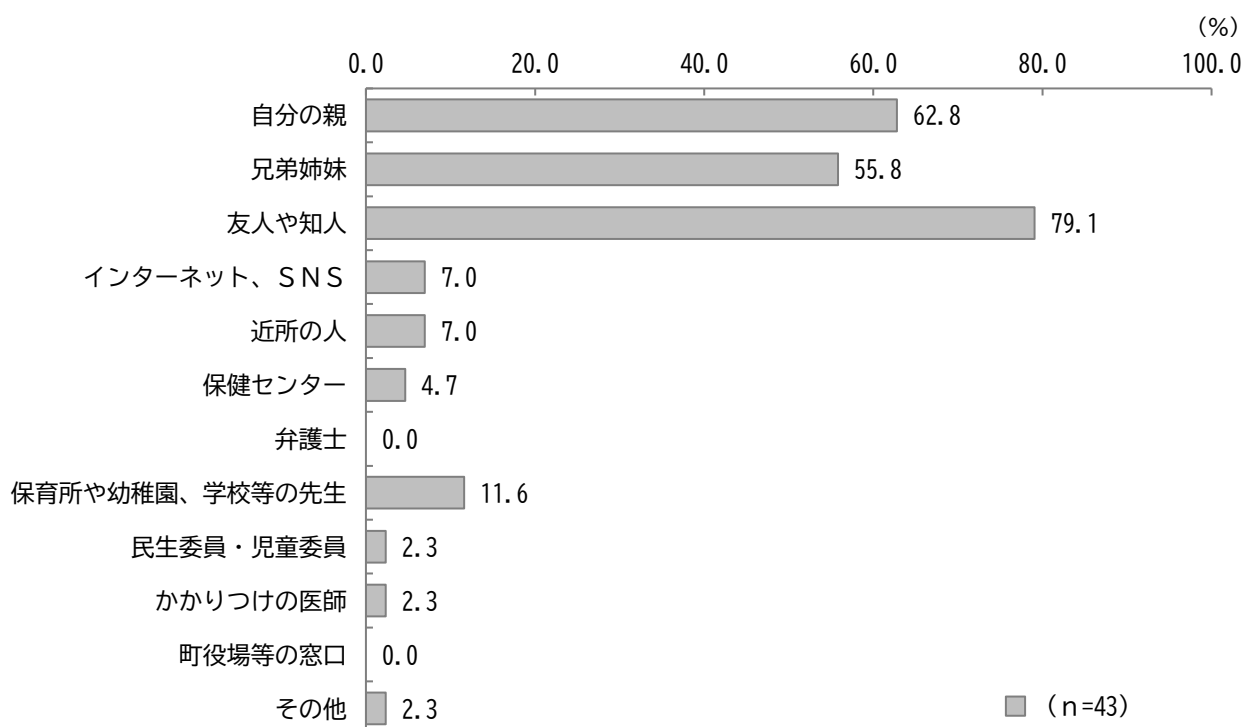
「いる／ある」が 93.5%、「いない／ない」が 6.5%となっています。



※問 21 で「1 いる／ある」と回答した方にお聞きします

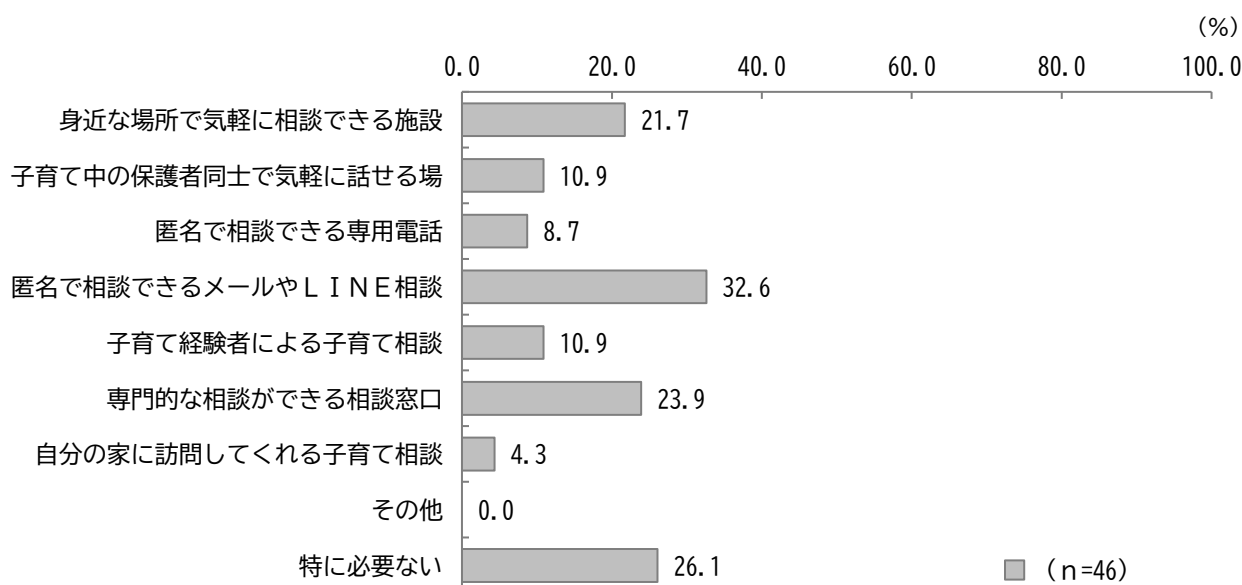
問 21-1 相談先をお答えください。(あてはまるすべてに○)

「友人や知人」が 79.1%と最も高く、次いで「自分の親」が 62.8%、「兄弟姉妹」が 55.8%となっています。



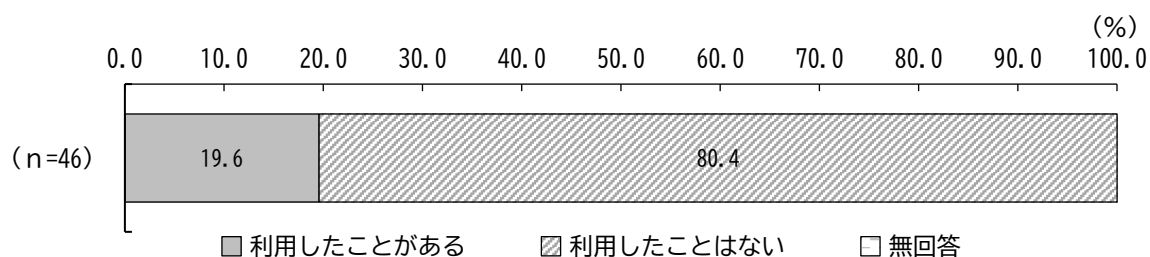
問22 次あなたは、子育てで不安や悩みを感じたときに、どのような相談先があればよい、または、よかったと思いますか。(あてはまるすべてに○)

「匿名で相談できるメールやLINE相談」が 32.6%と最も高く、次いで「特に必要ない」が 26.1%、「専門的な相談ができる相談窓口」が 23.9%となっています。



問23 あなたは、子ども食堂を利用したことがありますか。(○は1つ)

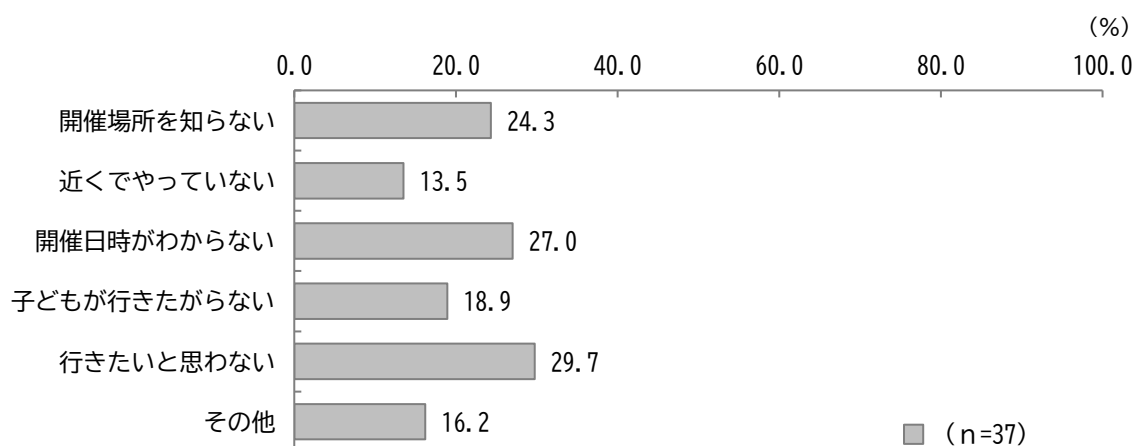
「利用したことがある」が 19.6%、「利用したことはない」が 80.4%となっています。



※問 23 で「2 利用したことはない」と回答した方にお聞きします

問 23-1 利用したことがない理由は何ですか。(あてはまるすべてに○)

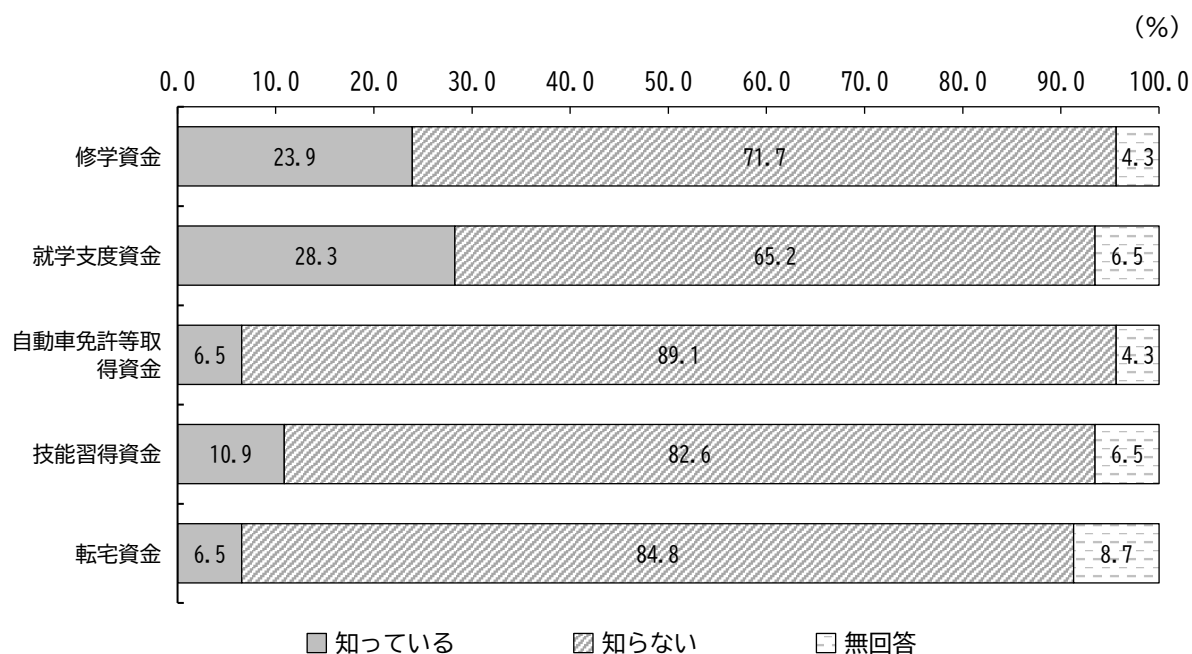
「行きたいと思わない」が 29.7%と最も高く、次いで「開催日時がわからない」が 27.0%、「開催場所を知らない」が 24.3%となっています。



問24 下記の母子父子寡婦福祉資金貸付制度のうち、あなたが知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものはありますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

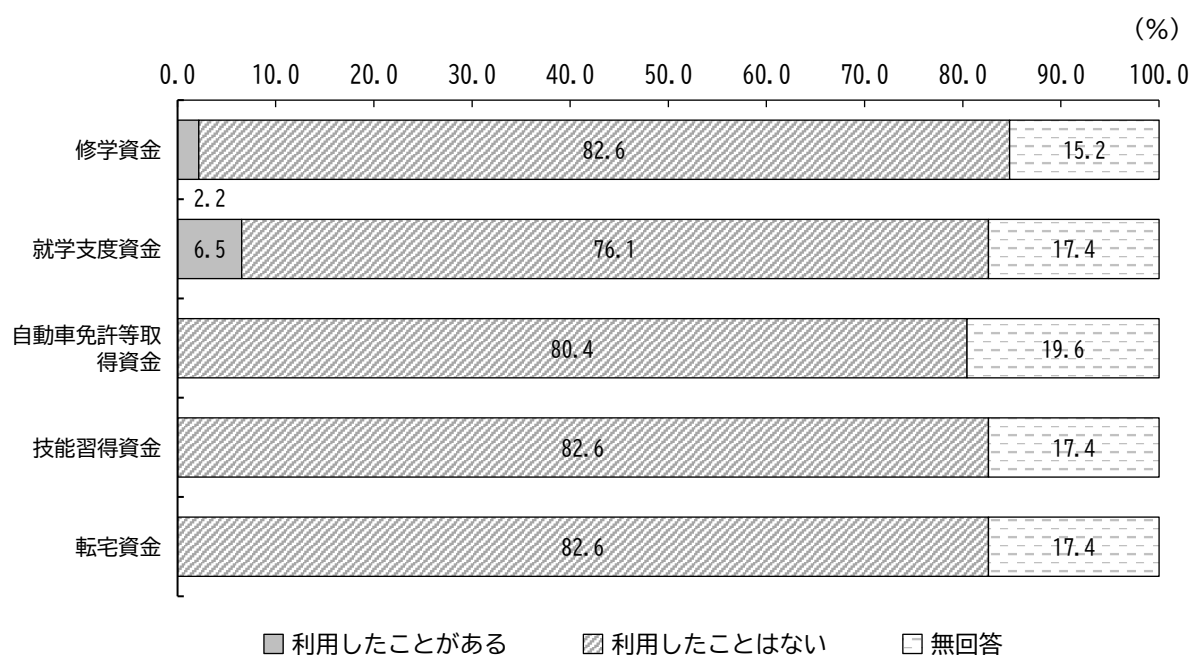
【認知度】

「修学資金」「就学支度資金」では2割台が「知っている」と回答しているものの、他の項目では1割台以下となっています。



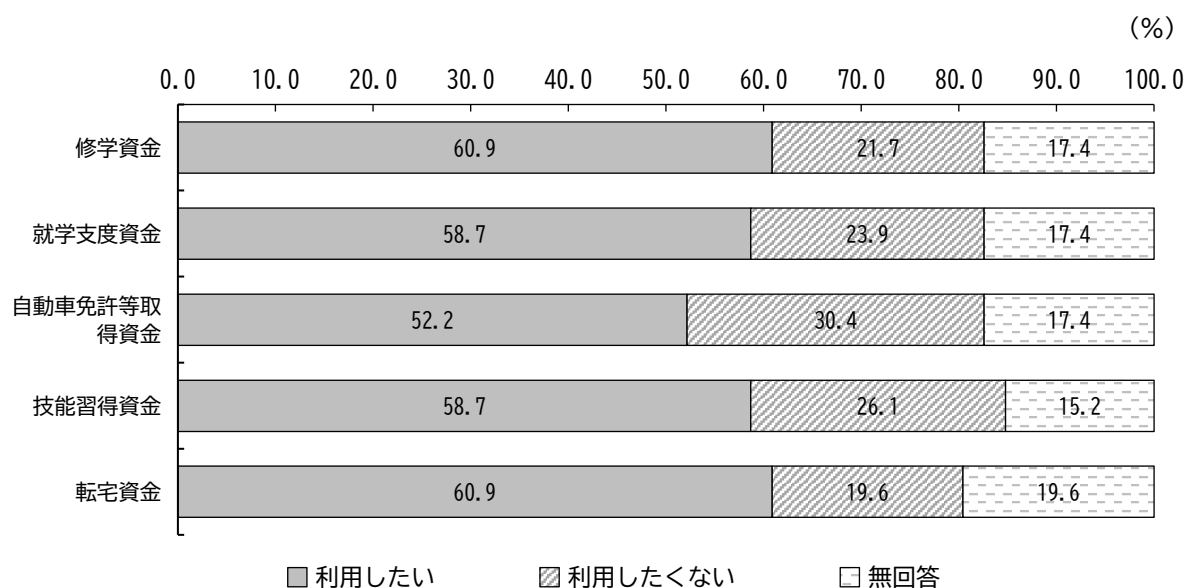
【利用状況】

「利用したことがある」の回答割合は、「修学資金」が 2.2%、「就学支度資金」が 6.5%となっており、全体的に利用状況は低くなっています。



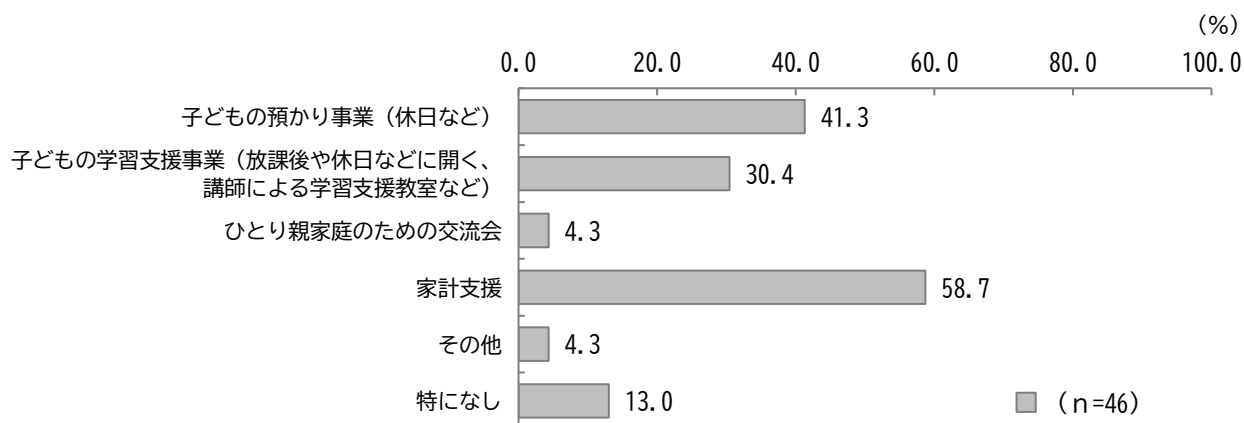
【利用意向】

全ての項目で5割以上が「利用したい」と回答しています。



問25 今後ひとり親家庭の方が自立し、安心・安定した生活を営むことができるために、どのような自立支援があればよいと思われますか。(あてはまるすべてに○)

「家計支援」が58.7%と最も高く、次いで「子どもの預かり事業(休日など)」が41.3%、「子どもの学習支援事業(放課後や休日などに開く、講師による学習支援教室など)」が30.4%となっています。



問26 天城町母子寡婦福祉会に入会していますか。

「はい」が15.2%、「いいえ」が71.7%となっています。

